ぐんま柔道

発行所　群馬県柔道連盟
発行人　関口　恒五郎
編集室
高崎市飯塚町１０４０
桜井　弘
電　話　0273—61—2502

嘉納師範遺訓

柔道は心身の力を最も有効に使用する道であるその修業は攻撃防御の練習に由って身体精神を鍛錬修養し斯道の神髄を体得する事であるそうして是に由って己を完成し世を補益するが柔道修行の究竟の目的である。

組織強化と58国体選手強化を

柔連総会

関口　恒五郎会長

県柔連定例総会は四月五日（月）午後二時から、前橋・みやま会館で開かれた。

永年、柔連発展のため多大の功績があった鑓英樹七段、関口孝義七段、荒井国義七段、今井孝造七段、関久一六段に柔連より感謝状が贈られた。

昨年も女子柔道界で大活躍された星野佐代子二段（利根沼田支部）は全日本女子選手権56kg級優勝、パンアメリカン第二回世界選手権出場と前大柔道部＝国立大学柔道大会優勝、及び群大医学部柔道部＝全日本医科王座決定戦で優勝が同席で表彰を受けた。

昭和五十五年度事業報告、収支決算報告が承認され、昭和五十六年度行事予定、予算が審議された。

尚関口副会長より国際柔道センター建設募金について説明があり、有段者に対する募金目標額も採択された。

初弐段	五、〇〇〇円	七段　七〇、〇〇〇円
参段	一〇、〇〇〇円	八段　一〇〇、〇〇〇円
四段	二〇、〇〇〇円	
五段	三〇、〇〇〇円	
六段	五〇、〇〇〇円	

本年は役員改選期であり、慎重審議の結果、関口会長以下の役員が決定した。

◇会長　関口恒五郎（北群馬・渋川＝再）
◇副会長　大林宥範（高崎＝再）山口智（多野・藤岡＝再）関口孝義（吾妻＝再）
◇理事長　山岸宗一（前橋＝再）
◇副理事長　柳谷勝之（前橋＝再）▽会長指名理事　須田信夫（利根・沼田＝再）小野貞義（碓氷・安中＝再）山本崇夫（勢多＝新）▽事務局　中島淳吉（庶務　佐波・伊勢崎＝新）荒井国義（会計　北群馬・渋川＝再）鑓英樹（審議　佐波・伊勢崎＝新）石倉貞幸（指導　前橋＝再）北爪隆雄（普及　勢多＝再）新井礼次郎（強化　勢多＝再）桜井弘（広報　高崎＝新）宮沢勉（行事　前橋＝再）

◇審判選考委員長　今井孝造（新）◇同副委員長　鈴木元一（新）◇同副委員長　柳谷勝之（再）◇委員　中島淳吉（新）山岸宗一（新）北爪隆雄（新）新井礼次郎（再）井出昌明（再）◇国体対策委員長　鈴木元一（再）◇同副委員長　柳谷勝之（再）◇同委員　新井礼次郎（再）今井孝造（再）中島淳吉（再）今井孝造（再）荒井国義（再）鑓英樹（再）北爪隆雄（再）宮沢勉（新）桜井弘（新）石倉貞幸（再）小竹恒夫（新・山本崇夫（再）
◇全柔連常任理事　関口恒五郎（再）◇同評議員　永井尊雄（新）
◇関柔連理事　関口恒五郎（再）
◇関柔連評議員　大林宥範（再）関口孝義（再）今井孝造（再）山岸宗一（再）鈴木元一（再）◇同審議員　大林宥範（再）関口智（再）◇県体協副会長　関口恒五郎（再）◇同理事　鈴木元一（再）◇同評議員　柳谷勝之（再）

新田太田支部総合で優勝

関口杯支部対抗

第十五回関口杯支部対抗柔道大一会は、四月十二日県武道館で開かれた。

県内十五支部から各支部七人、計百五人が参加し、三組に分かれリーグ戦が行われた。

A組は、三日に行われた県選手権大会の上位入賞者をそろえた前橋と、新人を加えた北群馬渋川との戦いとなったが、北群馬渋川戦に勝った前橋が優勝した。

B組は、前回三位の勢多が東京三洋を主力とする邑楽館林を総合得点差で破り優勝。C組は、Bから下りた新田太田が圧倒的な強さで総合得点一三〇点で優勝した。

尚最多得点をあげた新田太田が総合優勝を飾った。

◇試合結果

A組

支部名	甘楽・利根	前橋	桐生	吾妻	高崎	群馬	碓氷・安中	北群馬・渋川	佐波・伊勢崎	得点	順位
甘楽・利根		○	△	△	△	△	○	○	○	3	2
前橋	○		○	○	○	○	○	○	○	5	1
桐生	△	△		△	△	△	△	△	△	0	5
吾妻	△	△	○		△	△	△	△	△	1	4
高崎	△	△	○	○		△	△	△	△	2	3
群馬	△	△	○	○	○		△	△	△	3	2
碓氷・安中	○	△	○	○	○	○		△	△	4	1
北群馬・渋川	○	△	○	○	○	○	○		△	4	1
佐波・伊勢崎	○	△	○	○	○	○	○	○		5	1

◇成績

総合優勝　新田太田支部（初）

B組

支部名	吾妻	高崎	群馬	碓氷・安中	勢多	得点	順位
吾妻		△	○	△	△	1	4
高崎	○		○	△	△	2	3
群馬	△	△		△	△	0	5
碓氷・安中	○	○	○		△	3	2
勢多	○	○	○	○		4	1

◇二位　多野藤岡支部
◇三位　勢多支部
▽全勝者　木暮昌利五段（新田太田）川島国雄四段（同）小野塚弘三段（同）小森和孝三段（多野藤岡）

C組

支部名	吾妻	高崎	群馬	碓氷・安中	勢多	得点	順位
吾妻		○	○	△	○	3	2
高崎	△		△	△	○	1	4
群馬	△	○		△	○	2	3
碓氷・安中	○	○	○		○	4	1
勢多	△	△	△	△		0	5

昭和56年度行事予定表

群馬県柔道連盟

月	日	曜	研	県内行事	時間	会場
4	5	日		柔連本部総会	14:00	みやま会館
	12	日	○	第15回関東1杯支部対抗	10:00	県武道館
	19	日	○	審判講習会	10:00	〃
5	3	日		高校学年別個人選手権大会	9:00	〃
	16	土		第16回高校総体兼関東高校県予選	9:00	〃
	17	日				
	24	日		本部審査会（2.3.4段）	10:00	〃
	31	日		全国高校総体県予選（個人）	9:00	〃
6	7	日		第5回中学校選抜大会（団体）	10:00	〃
	14	日		同上（1年・2年～団体）	10:00	〃
	21	日	○	高校選手権兼全国高校県予選（団体）	9:00	〃
	28	日		全国教員県予選	10:00	〃
7	5	日		全国定通制高校県予選	9:00	〃
	5	日		女子柔道講習会	13:00	〃
	12	日		第36回国体第1次予選	10:00	〃
	19	日	○	同上第2次予選	10:00	〃
	19	日		壮年柔道大会	14:00	〃
	22	水		国体、全国高校、全国教員強化合宿	—	〃
	25	土				
	26	日		紅白試合	10:00	〃
	30	木		県中学校総体柔道大会（団体、個人）	9:00	〃
	31	金				
8	上	旬		夜技講習会	—	〃
	10	月		県スポーツ少年団柔道大会	10:00	〃
	16	日		国体選手選考会	—	〃
	19	水		本部著中積古、女子柔道講習会	9:00	〃
	23	日				
	28	金		県警察柔道大会	9:00	〃
	30	日		本部審査会（2.3.4段）	10:00	〃
	30	日		高段者大会	13:00	〃
9	6	日	○	警察一般合同大会	9:00	〃
	13	日		道場連合会大会	9:00	〃
	20	日		第26回定時制高校大会	9:00	前工
	25	金		県中体連指導者講習会	—	県武道館
	27	日		第26回青年祭	10:00	未定
	27	日		紙上審査会、高段者審査会（高推委）	13:00	県武道館
10	4	日		第7回実業団大会	10:00	〃
	4	日		形競技会	10:00	〃
	11	日		郡馬対抗本	11:00	〃
	16	金		護国神社大会	—	高崎市
	18	日		第5回小学生大会	9:00	県武道館
	25	日	○	第8回中学校新人大会	10:00	〃
11	1	日		第19回県民大会	11:00	〃
	8	日		東西対抗	13:00	前橋市武道館
	15	日		第29回高校新人大会	9:00	県武道館
	22	日		第4回関東高校新人県予選	9:00	〃
12	6	日		東北柔専対抗	13:00	〃
	20	日		本部審査会（2.3.4段）	10:00	〃
57・1	24	日		本部新年会・昇段祝賀会	—	未定
2	7	日	○	段別選手権大会	10:00	県武道館
	28	日		本部審査会（2.3.4段）	10:00	〃
3	7	日	○	県選手権大会	10:00	〃

月	日	曜	県外行事	会場
4	12	日	関東女子柔道選手権兼全日本女子関東予選	川口市
	19	日	第13回全国新人体重別選手権、関東予選	川口市
	28	火	全国高段者大会	講道館
	29	祝	全日本柔道選手権大会	日本武道館
5	24	日	第21回三笠記念関東七県対抗	横須賀市
	24	日	全日本女子柔道選手権大会	講道館
	24	日	関東大学体重別選手権	川口市
	31	日	七、八段昇段祝賀会	川口
6	13	土	関東高校大会	横須賀市
	14	日		
	13	土	全日本学生体重別選手権	大阪府立体育館
	14	日	全日本学生選手権	
	26	金	全国警察選手権	日本武道館
7	12	日	全国々立大学優勝大会	講道館
8	2	日	全日本少年錬成大会	日本武道館
	2	日	全国高校総体	千葉市
	4	火		
	未	定	関東甲信越大学大会	茨城大市
	12	水	関東中学校大会	甲府市
	19	水	全国中学校大会	日本武道館
	22	上	全国教員大会	島根県
	23	日	全国定通制大会	未定
	23	日	全国五地区大学大会	宇都宮市
	下	旬	全国医科学生柔道大会	群馬県武道館
9	6	日	関東大学選手権	浦和市
	13	日	関東高段者大会	千葉県武道館
10	6	火	関東警察大会	日本武道館
	9	金	六段審議会	栃木県
	14	水		
	16	金	第36回国民体育大会	滋賀県
11	5	木	全国警察大会	日本武道館
	8	日	六段形審査	千葉県武道館
	8	日	全日本学生柔道優勝大会	日本武道館
	未	定	北関東五大学親善大会	茨城大
57・1	31	日	六段昇段祝賀会	川口市
2	11	木	関東高校新人戦	未定
3	21	日	東京近県柔道大会	講道館
	21	日	全国高校選手権	日本武道館
	27	土	関東柔道連合会総会	埼玉県
	28	日	関東柔道選手権兼全日本関東予選	埼玉県

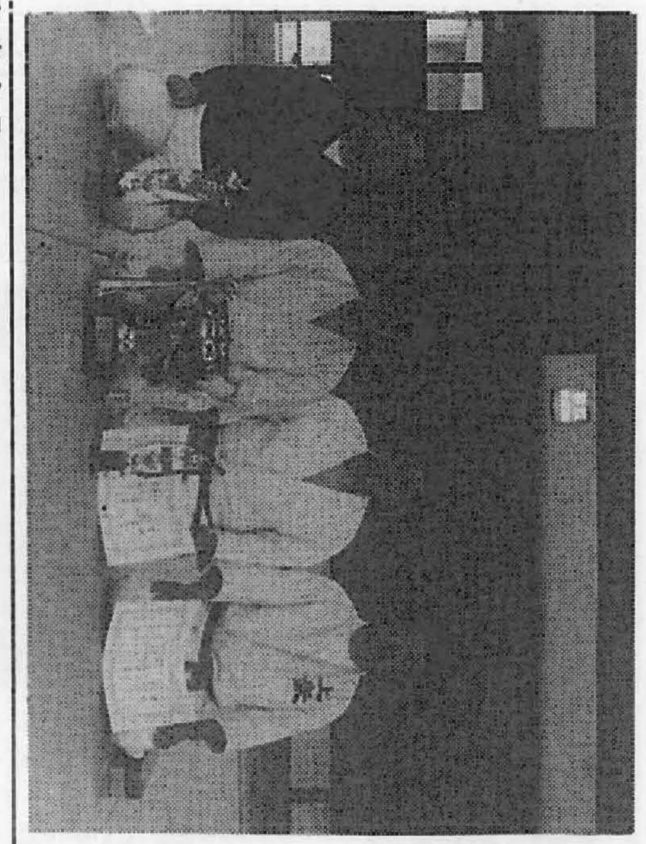
県強化練習会	毎週木曜日　午後7:00から	県武道館
柔道教室	毎週月・水・金曜日　午後5:30 ～ 午後7:30	県武道館

	所在地	電話
柔道連盟	前橋市岩神町1丁目4～6	0272—33—7516
県武道館	同上	0272—32—2642
群接会館	前橋市千代田町1丁目1～8	0272—34—2323

(注) 1．○印は国体各係員の研修を実施するので必ず出席されたい。
2．別途通知は上記に変更を生じたときとする。

群馬県柔道連盟　北群馬・渋川支部

支部長	小	竹	恒	夫	副支部長	星	野	勲
副支部長	島	田	教	雄	行事部長	山	田	吉	次
〃	横	内	正	晴	庶務部長	星	野	澄	夫
〃	神	宮	七	郎	指導部長	佐	藤	勇	夫
〃	柴	崎	洋	行	会計部長	伊	藤	孝	平



写真から

小澤・伊井・大沢・原

伊井四段大沢を破り初優勝

県柔道選手権

前商 全国高校選手権へ

関東高校新人

95kg超 青山四段（前工数）が勝つ

56年度前期国体予選会

市東はじめ四名が入賞

高体連別選手権

桜井（61kg）準優勝

県高校定通制 第25回 柔道大会

木暮二回戦へ進出

全日本選手権 関東予選

群馬県柔道連盟多野藤岡支部

神田産業株式会社
鉄鋼工業
取締役専務　神田　茂　博
藤岡市篠塚52　8
電話　02742（23）8181

五段周東制す 四段田渕 県段別選手権

昭和五十六年県段別選手権大会は、三月一日、県武道館で開催された。

初段の部では、森英也（前商）が圧倒的な強さで優勝、中学生選手として出場した石川雅明（玉村中）は、三位に入賞した。弐段の部では、新井隆義（前商）が一年生ながら大活躍し優勝、参段の部で大沢均（田島）が、四段の部では、昨年の県選手権者田渕吉二（渡工教）が、五段の部では、周東正夫（県警）がそれぞれ優勝した。

◇成績

▽初段の部
準々決勝
○森　英也　内　股　関　義明
茂木克之　関節技　○大川勝利
○石川雅明　逆し技　小渕伸治
島田　宏　大外刈　○岸部俊一
準決勝
○森　英也　横四方　大川勝利
石川雅明　僅　差　○岸部俊一
決　勝
○森　英也　大内刈　岸部俊一

▽二段の部
準々決勝
佐藤一也　僅　差　○井上英明
野尻　猛　僅　差　○永井俊行
○新井隆義　僅　差　星野知寿夫
○松沢　浩　一本背　丸山　勉
準決勝
井上英明　僅　差　○永井俊行
須田和之　僅　差　○小柴伸一
○原沢研祐　僅　差　長瀬高志
○諸田幸二　僅　差　中野恒夫
準決勝
○大沢　均　大外落　小柴伸一
○原沢研祐　大外刈　諸田幸二
決　勝
○大沢　均　小外掛　原沢祐研

▽三段の部
準々決勝
○大沢　均　僅　差　鳥飼英雄
須田和之　僅　差　○小柴伸一
○原沢研祐　僅　差　長瀬高志
○諸田幸二　僅　差　中野恒夫
準決勝
○大沢　均　大外落　小柴伸一
○原沢研祐　大外刈　諸田幸二
決　勝
○大沢　均　小外掛　原沢祐研

▽四段の部
準々決勝
○田渕吉二　僅　差　小島一夫
堀江英世　僅　差　○竹原敏郎
○大沢盛夫　上四方　角田能宏
○松浦一幸　不戦勝　伊丹弘明
準決勝
○田渕吉二　背負投　竹原敏郎
○大沢盛夫　僅　差　松浦一幸
決　勝
○田渕吉二　僅　差　大沢盛夫

▽五段の部
準決勝
○佐藤　隆　僅　差　木暮昌利
決　勝
○周東正夫　僅　差　佐藤　隆

左より森・新井・大沢・田渕・周東

前商三年連続12回目 個人 森英也（前商） 県高校総体

県高校総体柔道競技は五月十六・十七日の両日、県武道館で行われた。

初日の個人戦では、森（前商）岸部（育英）新井（前商）が実力通り上位を占め、関東大会出場を決めた。

二日目の団体戦は、共に準決勝をストレートで破った前商対育英の戦いとなり、前商が三年連続12回目の優勝を飾った。

◇個人戦（有46名出場）

▽予戦トーナメント　A組
一位　新井隆義　（前商）
二位　新井英智男　（利商）
三位　恵後厚力夫　（藤岡）
〃　松本昌弘　（渋川）

▽同B組
一位　岸部俊一　（育英）
二位　吉原季忠　（前商）
三位　松島克明　（桐南）
〃　宮本泰明　（高崎）

▽同C組
一位　森　英也　（前商）
二位　士肥悦男　（樹徳）
三位　星野幸雄　（渋川）
〃　石川雅明　（育英）

▽一位リーグ
○新井隆義　僅　差　岸部俊一
○森　英也　横四方　新井隆義
○岸部俊一　僅　差　森　英也

▽二位リーグ
○吉原秀忠　大内刈　新井英智男
○士肥悦男　後　腰　新井英智男
○士肥悦男　払　腰　吉原秀忠

▽三位決定戦
○新井隆義　合せ技　士肥悦男

◇成績
一位　森　英也　（前商）
二位　岸部俊一　（育英）
三位　新井隆義　（前商）

◇団体戦（48校出場）

▽準々決勝
前　商　④―0　前　工
樹　徳　②―2　沼　田
（内容勝）
利商商　③―1　高　崎
育　英　⑤―0　農　二

▽準決勝
前　商　①―1　育　英
若井勝則　引　分　永井俊行
○吉田　肇　内股選　緒方直樹
瀬下聖人　横四方　○佐藤達也
森　英也　引　分　岸部俊一
新井隆義　引　分　茂木克之
（代表戦）
○森　英也　大外刈　岸部俊一

▽敗者復活・一回戦
農　二　不戦勝　関　学
高　崎　③―1　伊　商
沼　田　①―1　中之条
（代表戦）
前　工　④―0　利　農

▽同二回戦
高　崎　②―2　農　二
（代表戦）
沼　田　③―1　前　工

◇成績
一位　前橋商業高校
二位　前橋育英高校
三位　樹徳高校
〃　利根商業高校
五位　高崎高校
〃　沼田高校

桜井道場 三回戦へ進出

第一回全国少年柔道大会

五月三・四日東京・講道館

◇成績

▽団体戦
一回戦
桜井道場　3―1　安藤道場（神）
二回戦
桜井道場　3―1　青雲館（神）
三回戦
桜井道場　1―2　岐阜道場（岐）

▽個人戦

▽小学校四年の部
戸塚信幸（群馬）　二回戦

▽小学校五年の部
高橋龍太（群馬）　二回戦

▽小学校六年の部
清水延浩（群馬）　三回戦

三年生の部 小室（前商）が制す

学年別選手権大会

昭和56年度県下高校学年別選手権大会は五月三日県武道館で行われた。

一年生の部は、58団体にあわせ体重制を採用、五階級で戦った。

▽成績

▽三年の部　①小室　亨（前商）
②恵後原力夫（藤岡）　②新井英智男（利商）・八木信行（高商）

▽二年の部　①新井隆義（前商）
②佐藤達也（育英）　③士肥悦男（樹徳）・森田喜美雄（前商）

▽一年の部

▽55kg級　①主代保彦（伊商）
②矢野勉（長野原）　③武井直樹（沼田）・戸丸章夫（利商）

▽60kg級　①仲田真次（前商）
②吉田宏（利商）　③羽鳥信二（育英）・中島智之（中之条）

▽71kg級　①塩英樹（育英）
②小畑順一（育英）　③寺沢保夫（高崎）・井野口吉正（前商）

▽86kg級　①吉原秀忠（前商）
②何部光浩（利商）　③佐藤正規（渋川）・高沢弘樹（育英）

▽無差別級　①石川雅明（育英）
②星野隆（前商）　③吉田一夫（前商）・渡辺文雄（育英）

前商 二回戦で惜敗

全国高校柔道選手権大会

三月十五日日本武道館

第三回全国高校柔道選手権大会

◇成績

▽一回戦
前橋商　一人残　高砂高
新井隆義　引　分分　森本
○森　英也　縦四方　山崎
森　英也　引分　大嶋
小室　亨　払　腰　○荒井
○武井光浩　小外掛　荒井
武井光浩　引　分　三谷

▽二回戦
高水高　一人残　前橋商
坂本　引分　新井隆義
馬場　引　分　小室　亨
藤井　引　分　森　英也
○片山　出足払　武井光浩
片山　引　分　森田喜美雄

私と柔道

五段 大井恵夫

昭和四年前橋市に生まれる。法大日文卒。中学教諭を経て現高高教諭、歌誌「地表」編集同人、県歌人クラブ委員。41年に県文学賞46年に法務大臣表彰を受ける。評論集「土星文明」、歌集「潮騒」などの著書もある。41年五段

私が柔道を始めたのは、小学校五年（昭和15年）のときである。といっても、それは体育の時間に武道として、柔道の基本技を教えられたのであった。当時、体育の時間が週何時間あったのか忘れたが、柔・剣道の練習にそれぞれ一時間が当てられていたように記憶する。

そのころ私の小学校（緑社町）には、柔道有段者の先生が三人おられた。岡田惣一、久保田保男、近藤義雄の三先生で、いずれも師範（現群大）のご出身、柔道部の選手だったと聞いている。岡田先生は四段、私の担任でもあった。当然のこと、柔道は岡田先生が教えてくれた。だが、それも当て身技、体さばきといった基本技ばかり。練習は、打つ、突く、蹴るの攻撃と、これへの防禦・反撃が主であった。上級生（高等科）のように、畳の上の稽古がしたい。そう思いながら、校庭での練習に二年間を過ごした。日華事変が長期化し、米・英両国との開戦も必至という時代だったから、こうした練習に耐えられたともいえる。それは、「青少年学徒ニ賜ハリタル勅語」（昭和14年5月22日）の発布により、私たち小学生も、国家の将来を担う「銃後の小国民」として教育されたためでもあろう。

こうして小学校を終え、私が中学（旧制・前橋）に入学した年、太平洋戦争は開戦二年目を迎えていた。早速入部した柔道部も、全員そろって練習できたのは一年足らずであった。柔道の先生も、佐藤先生から村沢肇先生に代わり、村沢先生も、二年の夏には出征された。後任の先生が田島行一先生だった。すでに戦争も破局に近づき、上級生は学徒動員令により、みな工場で働いていた。広い道場は空家同然だった。それに正課の柔道さえ実戦用といって、芝生の上でやる有様だった。つまり、学校の柔道部は、閉鎖というに等しかったのである。そこで、私はやむなく町道場や、武徳殿に練習相手を求めた。三年生になれば工場へ行かねばならない。それまでに初段を取ろう。そんな一途な気持ちからである。春の昇段試験に失敗したことも、これに拍車をかけていたのだ。

昭和二十年の春、私は理研前橋工場へ動員されることになった。黒帯への念願は、前年の夏果たしており、もう心に残るものはなかった。工場の生活にも慣れ、心の余裕も出てきたある日、私は若い工員から耳寄りな話を聞いた。この青年学校にも柔道部があり、講道館の先生が教えに来ている、というのだ。担任教師の許可をもらい、私は一人で夜の練習に参加した。監督が羽鳥治良松先生、師範は富所寛一郎先生であった。喜んだのも束の間、ここの練習も中止された。そして、信じられぬ終戦の日が来た。柔道に憑かれた少年の夢は絶たれたのである。

戦後、私は柔道を離れ、陸上競技に転向した。が、柔道を捨て切れず、柴崎松太郎先生の門をたたいた。知命を過ぎた今、元気な高校生の練習を見ていると、私は胸の熱くなるのを禁じえない。

本のことなら
本のデパート 天理堂へ
本 店 高崎中央銀座通り
TEL (25) 2311
支 店 高崎駅前ニチイデパート7F
TEL (23) 7260

砂利砕石生産販売・埋土造成工事
藤田工業株式会社
代表取締役 藤 田 正 植
藤岡市神田1393
☎ 0274―22―2125(代)

第10回沼田市民柔道大会

九月七日・沼田小

◇試合結果（団体）

①東部 ②中部 ③西部 薄根

（新井隆夫記）

第29回部会対抗 第12回高校学年別 利根・沼田

十月十二日

▽部会対抗

①新治 ②沼田B ③沼田A 池田

▽中学・市の部 ①池田中 ②利南中 ③沼田中

▽同・郡の部 ①水上中 ②昭南中 ③新治中 昭東中

▽高校一年 ①佐藤美洋 ②竹内明彦 ③須藤真矢

▽同二年 ①神保健夫 ②新井美智男 ③渡辺崇

（新井隆夫記）

館林市秋季 市民柔道大会

九月十四日・館林邑楽武道館

▽小学生低学年

①川島洋志 ②舟木信行 ③寺崎孝 木村和弘

▽同高学年

①石岩光彦 ②斉藤邦久 ③著井秀樹 吉川幸次

▽中学団体

①多々良中A ②多々良中B ③館林三中A 館林三中B

（中里伍一記）

群馬郡民柔道大会

9月14日、倉渕中学武道場

▽団体

①箕郷町 ②榛名町 ③群馬町

▽個人・一般

①宮崎幸二 ②日野原保 ③能沢紀

▽同高校

①長堀正明 ②藤原和弘 ③加藤正人 戸塚英雄

（江原隆起記）

第27回藤岡 市民柔道大会

十月十二日・藤岡体育館

▽団体（中学）

①東中 ②北中 ③西中

◇個人（小学）

▽一年 ①柴田誠二 ②内山貴之 ③柳井順司 塚田秀樹

▽二年 ①真山隆之 ②岩城弘織 ③高橋幸子 新井一光

▽三年軽量 ①水上博和 ②堀越裕子 ③宮下明男 真下幸生

▽同重量 ①川村和己 ②金井駒 ③八木崇 小幡学宏

▽四年軽量 ①坂本泰治 ②根岸山香里 ③水沼裕之 石渕康之

▽同重量 ①広瀬義昭 ②松本茂昌 ③清水一義 秋山純一

▽五年軽量 ①柳井陽一 ②中尾根信一 ③山内一浩 斉藤茂光

▽同重量 ①新井佳文 ②福島央大 ③竹木敬二 内山文樹

▽六年軽量 ①高橋正治 ②二通宏久 ③板倉杉宏 柴田明浩

▽同重量 ①岡泉茂 ②薄葉保彦 ③飯島敏弘 堀口浩

◇個人（中学）

▽一年軽量 ①須永剛 ②池田英一 ③滝上幸之 掛川博幸

▽同重量 ①広瀬悟 ②井上義夫 ③野田聡 斉藤誠

▽二年軽量 ①大野政宏 ②堀越美伸 ③高野弘 高山元

▽同重量 ①田中明夫 ②岸幸人 ③城田雅之 高田智己

▽一般無段 ①飯出三成 ②酒井哲也 ③山名健夫

▽同有段 ①恵後原力夫 ②堀越政克 ③大品広 沢本勝弥

（竹田重信記）

東軍勝つ 桐生東西対抗

桐生支部では、十月十二日、市立青年の家武道場で、桐生近郷少年柔道大会と桐生市東南対抗柔道大会を行った。

◇少年柔道大会

▽低学年の部

一位 足利道士館

二位 桐生柔道少年団A

三位 境町柔道教室

▽高学年の部

一位 桐生柔道少年団A

二位 足利道士館

三位 木暮柔道館

◇真西対抗

優勝 東軍

○最優秀選手 上肥悦男

○優秀選手 村上金弥 小川原康夫 田部井哲男

○敢斗賞 大畑孝幸 田沼実 早川浩嗣 高畑直規 和田昇 高橋幸夫

（須永伸一記）

第十回渋川市民スポーツ祭 柔道大会

十月十日・渋川工業高校

▽小学一年の部

①篠田秀 ②萩原吉史 ③矢島尚行 鈴木正幸

▽同二年の部

①小幡智之 ②須田始 ③小林学 富永誠

▽同三年の部

①堀江明典 ②須田徳全 ③小竹斉 米山正宗

▽同四年の部

①川野伸二 ②内林裕二 ③小野沢次男 福島正幸

▽同五年の部

①内林哲也 ②狩野秀夫 ③斉藤栄作 星野伸夫

▽同六年の部

①塩田直勝 ②田辺宏 ③土野英治 小林幸治

▽中学二年の部

①星野悟 ②須田好和 ③大久保知彦 石田昌樹

▽同三年の部

①市東幸之輔 ②狩野浩二 ③大島哲久 初見一博

▽同三年の部

①星野隆 ②佐藤正規 ③深見大治 本多隆幸

▽高校一年の部

①新井隆義 ②七五三木稔 ③山藤秋照 岸文雄

▽同二年の部

①星野幸雄 ②園田忠 ③丸岡正弘 上原権治

（伊藤孝平記）

第二十四回 県護国神社奉賛 武道大会

十月十六日・高崎市武道館

◇個人

▽中学一年

①牛込憲寿 ②石野雅己 ③浜田剛 栗原正人

▽同二年

①佐藤信治 ②小林一彦 ③高橋秀人 芝崎敏勝

▽同三年

①吉原秀忠 ②高橋和美 ③仲田良次 中島隆二

▽無段

①本多博之 ②阿久沢正彦 ③吉田昌司 村岡誠

▽有段

①玉木英介 安田正司 萩原賢 宮本泰明

◇団体

①農大二高A ②農大二高B ③高々A 高経大A

（牛込祥浩記）

北群馬渋川勢多 市町村対抗

十一月二十四日・渋高

◇成績

①渋川A ②勢秋A ③渋川B 子持B

（伊藤孝平記）

第22回 利根沼田青少年 柔道大会

十一月二十四日・沼田小学校

▽団体（中学）

①新治中 ②沼田中 ③池田中

▽個人（高校）

①藤塚博幸 ②新井美智男 ③星野克行 須藤真矢

（新井隆夫記）

大胡町民柔道大会

十一月九日大胡中

▽小学低学年

①福田幸広 ②飯塚敬史 ③上原浩二 椎沢広樹

▽同高学年

①町田和彦 ②山口真 ③松田康 細井則之

▽同女子

①鈴木浩美 ②山口みち子 ③鹿沼布美子 阿久津美津枝

▽中学

①品川公博 ②松村明宏 ③松本寛 河野勝義

国体だより(3)

渋川市国体室長 町田修市

第38回国民体育大会は、テーマを「あかぎ国体」、「風に向かって走ろう」をスローガンとして、58年に群馬県内で開催されます。

このうち渋川市では柔道競技会場地として、競技運営を担当することになりました。

渋川市としましては、この国体をより有意義な大会とするために、競技団体と手を取り合って渋川市民挙げての準備体制を確立し、市民総参加のもとに国体が開催できるようその準備を進めているところであります。

今回は、その渋川市の準備状況を施設、宿泊、輸送、業務執行体制についてお知らせします。

◎施設

柔道競技会場は、渋川市総合公園内に、渋川総合公園体育館として昨年10月に完成し、今春オープンいたします。

総工費5億2千万円をかけ鉄筋コンクリート造一部鉄骨造二階建大体育室一八七二㎡（48m×39m）小体育室二〇〇㎡（17・7m×17m）、放送室、事務室、会議室、医務室、更衣室、シャワー室、器具庫、便所等を備えてあるものです。観客席は二三〇席と少ないが国体時には仮設による観客席を予定しております。

この体育館の景観は西に水沢山東には「あかぎ国体」を象徴するかのような雄大なあかぎ連山を望むことができる会場です。

◎宿泊

宿泊関係は、選手監督、役員等の参加予定人員は約一二〇〇名であり、柔道に七〇〇名、弓道五〇〇名であります。

渋川市内の宿泊可能人員は六〇〇名程でありますので、弓道関係者を渋川市内に宿泊予定し、柔道関係者は競技会場が渋川駅から8km、伊香保温泉中心街から3kmに位置しておりますので、伊香保町に宿泊をお願いしております。

◎輸送

輸送計画は、路線バスによるほか、宿舎付近から競技会場、練習会場について、必要に応じバスによる計画輸送を予定しております。

◎準備業務の執行体制

準備の執行体制については、54年4月に企画調整課内に国体係を設置し、専任職員一名を配置し、55年1月渋川市準備委員会を設立し、委員三七八名を委嘱いたしました。

55年7月には国体の開催が正式決定されました。この決定を受けまして、同月に準備委員会を実行委員会に改組し、8月実行委員会の中に総務企画専門委員会を設置し、基本計画及び第35回梅の競国体視察について検討していただき10月には国体係を国体室とし、梅の競国体に一二〇名の大視察団を編成し競技運営等視察してまいりました。そして12月には「接待」「施設」「輸送宿泊」「環境衛生」「警備」「競技式典」「市民運動」の七つの専門委員会を設置し専門的分野での検討を準備しております。この間中央競技団体からの会場地視察、来県指導を受け、県内ではリハーサル大会としての全国中学校大会関係者、宿泊関係者等各関係機関、団体と話し合い準備を進めております。

柔道連盟の皆様におかれましては、「あかぎ国体」の趣旨を十分にご理解いただき、競技団体と県渋川市が一体となり、競技運営について万全を期して行かなければならないと思っておりますので、今後とも一層のご協力とご配慮を賜りますようお願い申しあげます。

渋川市国体室長　町田修市記

審判員講習

四月十九日（日）

県柔道連盟では、四月十九日（日）午前九時から午後四時まで、県武道館において審判員講習会を開催した。

特に今回は、去る二月二十六日から二十八日講道館で行われた全日本柔道連盟指導者講習の伝達を兼ねて行ったもので、昨年六月から実施されている新規定と併せて「講道館柔道試合審判規定取扱い統一基準」について、講習研修が行われた。

受講者は、八十名余が早朝より集まり、熱心に聴講実技研修を行った。

講師は、国体対策委員長鈴木七段、指導部長石井六段はか指導部がこれに当った。

（鈴木元二記）

編集後記

「ぐんま柔道の編集に力を注いでこられた山本崇夫広報部長は、学校業務の都合上、四月一日をもって広報部を去られました。御苦労様でした。

後任に、桜井弘六段（高崎Ⅱ元普及部長）が就任、部員共々広報部を担当することになりました。

各支部からの試合結果の掲載が紙面の都合上遅れております。次号に掲載予定です。御容赦下さい

（江原隆起）

道場訪問 こんにちは 佐藤道場（高崎市）

佐藤道場が誕生したのは、昭和五十四年七月三日である。

「道場を始めたといっても、三ケ月前に思いたって始めたものですから、数週間かは入門者がいないのではないかと心配で寝る事も出来ませんでした。立地条件が悪い上、名前も売れてるわけではありませんからネ、ところが七人の小学生が入門してくれました。嬉しかったですネ」と二年前の開設時を語ってくれた。

今、稽古が終ったばかりだが、稽古中の気合の入った顔から親しみ深い笑顔で応えるが、この人の柔道歴は異色だ。

中学時代は、陸上競技、高校時代にはラグビーに燃えた。

ラグビーに対する情熱は、なお激しい格闘技へと加熱し、昭和三十九年、高崎経済大学へ進学と同時に「柔道」に身を委ねる。

桜井四五郎師範に師事し、ラグビーで鍛えた足腰は柔道部員同志で相撲をとっても決して引けをとらなかったという。

天性の根性と鋼（はがね）のような足腰に加え、無類の稽古好きは、柔道の進歩にも眼を見張るものがあり、同大学の大学史にも残る程で、大学卒業後一年半のブランク後、昭和四十四年九月、同大学柔道部の監督に就任したが、この時代も学生達の何倍もの稽古をしたという。

指導には、山田修三段、土子行雄二段の他、高経大柔道部員があたる。

道場の目的として、(1)豊かな心(2)正しい礼儀作法、(3)たくましい身体、(4)団体生活と自立心、(5)社会性の育成、をあげている。

稽古時間が終了した道場で数人の小学生が、自発的に打ち込みを始めたが、基礎づくりをへて、飛躍しようとする道場の意気が感じられた。

道場・高崎市貝沢町一〇九七

電話・〇二七三 62 七七四一

（牛込祥浩記）

群馬県柔道連盟　邑楽・館林支部

指導部	道	勇志雄男誠勇	
〃	政	仁照利善	
〃	野田	村沢沢増	
〃	館山	木渋奥西徳	
〃	一道	三一一弘	
〃	伍政勝恵文康		
〃	里野倉山子川		
広報部	中館麦横金市		
〃			
〃及普			
〃			
長務	市		
副支部長	一一男一人		
庶務	伍加松晴靖		
〃	口里井良朏田		
〃	原中金奈大内		
支部長			

ぐんま柔道

発行所　群馬県柔道連盟
発行人　関口　恒五郎
編集室
高崎市飯塚町1040
桜井　弘
電話　0273—61—2502

嘉納師範遺訓

柔道は心身の力を最も有効に使用する道であるその修業は攻撃防御の練習に由って身体精神を鍛錬修養し斯道の神髄を体得する事であるそうして是に由って己を完成し世を補益するが柔道修行の究竟の目的である。

待望のホープ登場

58国体強化選手

取・寺町選手　受・青山選手

58国体を二年後に控えた群柔連では、組織と選手強化に万全を期している。

青山光一四段、寺町良次四段は共に本年筑波大学を卒業、本県の高校教師として教壇に立つ傍、世界へ向って精進している。

両選手は六月七日福岡市民体育館で行われた第十四回全日本選抜柔道体重別選手権大会へ出場、本県が期待する大型新人である。

ここで両選手を紹介し、58国体での活躍を期待したい。

青山光一　四段

前工教員

出身地‖神奈川県横浜市鶴見区
生年月日‖S33・12・5　22才
出身校‖桐蔭学園高等学校・筑波大学体育専門学群
サイズ‖身長200・体重110・胸囲115・足29
柔道歴（四段）‖S52・国民体育大会優勝　S53・全日本新人体重別柔道選手権大会優勝　S53・全日本学生体重別柔道選手権大会第三位　S55・全日本学生優勝大会も高校時代の練習が一番苦しく、山に囲まれ自然が豊かであるので人柄も豊かで親切な人が多いと思います。僕のような県外の人間にも大変親切にしてもらっていることに感謝しています。

理想とする女性のタイプ‖性格の明るい女性が好きです。

小中高校生へのアドバイス‖私は高校時代の練習が一番苦しく、悔しかったことを今でもハッキリ憶えています。毎日苦しい練習をしている諸君、今この苦しい時代を乗り越えてこそ、練習が血となり、肉となるのです。苦しいけれども、58国体という大きな目標に向って毎日頑張って下さい。

58国体への目標‖一般と少年が一致団結して、総合優勝を勝ち取ることが目標です。私としても、精一杯努力します。

県柔連へ対する希望‖私共が、練習の面ですいぶん勝手をいい、県全体の皆様には、大変御迷惑をおかけして申し訳ないと常日頃思っています。これからも御迷惑をおかけすると思いますが、御指導御鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

寺町良次　四段

前高教員

出身地‖愛媛県今治市
生年月日‖S32・4・16　24才
出身校‖新田高等学校（松山市）・筑波大学体育専門学群
職業‖教員・前橋高等学校勤務
サイズ‖身長167・体重64・胸囲100・足25.5
柔道歴（四段）‖S49・全国高校総合体育大会個人軽量級優勝　S50・国民体育大会少年の部準優勝　S50・全日本ジュニア体重別選手権大会軽量級優勝　S52・国民体育大会青年の部準優勝　S52全日本学生体重別選手権大会軽量級第三位　S52・全日本ジュニア体重別選手権大会65kg以下級第三位　S53・54・全日本学生体重別選手権大会65kg以下級優勝　全日本体重別選手権大会三回出場。

家族構成‖両親・兄・義姉・姉
得意技‖背負投・体落し・巴投
趣味‖釣り・音楽鑑賞・読書

好きな言葉‖「人間辛抱だ」
目標‖柔道の向上（競技力・指導力）・自己錬磨。
恩師‖（高校）福家藏先生（大学）川村貞三先生、竹内善徳先生　中村良三先生。
親友とライバル‖柏崎克彦・佐原恭輔両氏。
柔道との出合‖小学校四年生の時、市内の大会を見学して。
群馬県の印象‖自然が豊かである。人間性がよく、親切である。
理想とする女性のタイプ‖やさしくほがらかで明るい女性。スポーツ愛好家。
小中高校生へのアドバイス‖苦労はいつか実となって表われるもの。
58国体への目標‖少年・一般の総合優勝
県柔連に対する希望‖練習面について①県強化練習が毎週木曜日であるが、私としては、月ー水曜日にしてもらえると現在の所参加し、練習出来る。②県内合宿はやっているようだが、県外や大学へ行って合宿を行い柔道の実力向上をはかるともっと強化になるのではないか。

国体だより(4)

強化部長　新井禮次郎

県柔連では58年の「あかぎ国体」強化指定企業、指定選手を別記のとおり決定した。

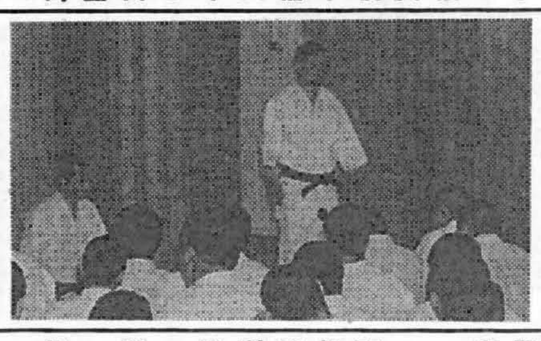
成年は各階級2名以内とし、少年は58年に高校3年になる者、即ち現在の1年生を体重別に各階級3名ずつ選んだ。

少年は体重の増加により階級の移動が考えられる。また技術の急激な伸長もあり、最終的な候補者を絞るのはまだ先のことである。来年高校へ入ってくる者も当然該当するわけで、とくに軽量2階級では入れ換え戦が熾（し）烈なものになろう。成、少年とも来年は強化選手のわくはもっと狭くなる。

成年の鳥居（旧姓田渕）、寺町、青山3選手は各自の母校筑波大学へ毎週練習に通っており、そろって今年の国体選手に選ばれた。今年の成績はこの3選手に負うところが大きい。

少年は1次予選通過者を各級5名にし、石川、羽鳥両選手が通過したが2次予選通過者3名のわくには入れなかった。

少年の強化選手一行はインターハイ直後の8月6～12日、新井強化部長、松本、新井信雄強化部員の引率のもとに県立和歌山北高校へ遠征した。同校は44年に全日本学生選手権をとり、全日本選手権8回出場の偉業を持つ正木照夫六段の指導する学校。インターハイでは54年5位、55年2位、56年5位の実績を持つ。公立校では富山の小杉高校、福岡の嘉穂高校と並ぶ3傑である。厳しい練習の合間に10数回の練習試合を行った。ベストメンバーで行うとこちらが優位であり、体重別にすると71kg級以下で弱体がめだつ。こちらは連合チームであり先方は単独校である。圧勝できなければならない。どの階級もまだ脆（ぜい）弱である。上級生の県総体、関東、全国大会対策で手が抜けた部分をこれから埋め直し、来年はこの中から国体選手が出るようにしたい。



講義中の新井強化部長

強化指定企業
県警　関口病院（渋川）

強化指定選手
成年
60kg　諸田幸二・県警　寺町良次
前高教　71kg　鳥居吉一・渋工教
86kg　伊丹弘明・前南高教　竹原敏郎・前東高教　86kg以上、無差別　青山光一・前工教　神田興一
関口病院　小林茂・同　大沢均・東京薬専

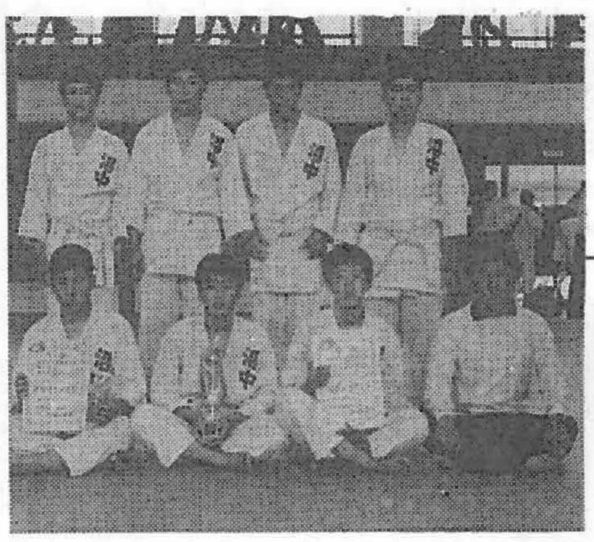
少年
55kg　武井直樹・沼田　玉代保彦
伊商　戸丸章夫・利商
60kg　羽鳥信二・育英　吉田宏・利商　中島智之・中之条
71kg　塙田英樹・育英　小畑順一・同　塚沢弘・利商
86kg　吉原秀忠・前商　阿部光浩・利商　佐藤正規・渋川
無差別　石川雅明・育英　星野隆・前商　吉田一夫・同

沼田中優勝

来年度の全中大会に期待

中学選抜2年生大会

二年生を中心とした選抜柔道大会は、六月十四日、県武道館で行なわれた。この大会は58国体の前哨戦として、また五十七年に渋川市を会場として第七回関東中学校柔道大会及び第十三回全国中学校柔道大会が開催される時、中心になって活躍する選手の大会である



決勝戦は準決勝戦を共に四対一で勝った、沼田中学校と尾島中学校の対戦になったが、試合はこびのうまさと体力にまさる沼田中学校の圧勝に終った。大会を通じて目についたことは、沼田中の各選手が、相手選手のわずかなすきをついて確実にポイントをとる試合巧者であり、また体力的に恵まれていることで、予選リーグ、決勝トーナメントを比較的に楽に勝ち進んだ。その他、今後活躍が期待できるチームとして、尾島中、下仁田東中、新治中、子持中が気力、技、試合巧者であげられる。

◇試合結果
◇決勝トーナメント
▽一回戦
子持中　③—1　伊勢崎二
沼田中　③—1　下仁田東
新治中　③—2　伊勢崎三
渋川北　0—③　尾島中
▽準決勝
子持中　1—④　沼田中
新治中　1—④　尾島中
▽決勝
沼田中　③—0　尾島中

第木幹夫　引分　川島雄治
生方浩哉○合せ技　白石和夫
笠間好雄○袈裟固　谷田　元
青木則夫○合せ技　松島雄二
竹渕伸二　引分　武田義伸

沼中　清水繁監督談

昨年行われた二年生大会では第三位となり、満足すべき成績とはいえず精進しなければと生徒に徹底してきた。

今回決勝戦で尾島中を三対〇と破り快勝の型であったが、この学年は来年度群馬で行われる全日中・関東大会等の該当学年でもあり、地元での大きな大会でもある。

選手とも気をひきしめ、精進して行かねばと責任を感じている次第です。

群馬県柔道連盟　群馬支部

支部長	志村喜八	常任理事	神保要一	常任理事	岸泰徳
副支部長	上野泰司	〃	小川実	〃	江原隆起
〃	斎藤鬼四郎	〃	新井文雄	〃	木村喜良
〃	森沢隆次	〃	浜名豊実	〃	萩原達
理事長	石井清一	〃	五十嵐康之		

田島道場優勝
第六回柔道まつり

第六回柔道まつりは、六月七日戸越体育館＝品川で行われた。試合は、全日本選抜道場対抗試合（団体）と少年学年別試合（個人）とが行われ、本県からは田島道場が出場、団体決勝戦で岸道場を代表戦で破り優勝した。

◇試合結果

〔団体戦〕

▽予選リーグ（田島二勝）

田島道場 ③―0幸柔道クラブ（川崎）

田島道場 ②―0松山（台東）

幸柔道 ③―0松山

▽準々決勝

田島道場 ③―0市島（目黒）

▽準決勝

田島道場 ②―0糸井（藤沢）

▽決勝

田島道場 ①―0岸（茅ケ崎）

（代表戦）

茂木引分松田

岸部引分鈴木

丸山引分大塚

（代表戦）

茂木○優勢大塚

〔少年学年別個人戦〕

▽小学校四年の部

奈良俊夫 一回戦

高山裕志 三位（敢闘賞）

河田孝嘉 三回戦

▽小学校五年の部

萩原洋二 二回戦

富沢秀之 五位（敢闘賞）

松枝義一 一回戦

▽小学校六年の部

登丸桂司 一回戦

奈良昇志 五位（敢闘賞）

田島章充 一回戦

▽中学一年の部

大久保徹二 一回戦

船津睦二 一回戦

酒水信晴 二回戦

（田島敏隆記）

光山武嘉七段
優秀選手賞受賞
全国高段者大会

全国柔道高段者大会は四月二十八日、東京・講道館で開催された。本県からは、24名が出場し、光山武嘉七段（佐波・伊勢崎）が優秀技能選手に選ばれた。

◇試合結果

▽五段の部

雛井良一 引分 向山（山）

堀込征吾 引分 渡辺（神）

伊藤利市 合せ技○富田（長）

池田進 合せ技○高橋（埼）

上原信一 引分 松島（長）

大藤忠昭 引分 永宗（東）

石井清一 小外刈○小林（東）

牛込祥浩 引分 幕田（埼）

高木照雄 引分 松本（東）

柴崎洋行○合せ技 関（埼）

安沢謙太郎十字絞○吉浜（神）

北沢広司 引分 山下（大）

▽六段の部

常見和民㊁優勢 菅野（茨）

井出昌明○不戦勝

佐藤勇夫 引分 鈴木（千）

柳谷勝之 優勢㊁菅原（神）

内山孝三郎引分 藤本（滋）

椎沢光雄 引分 都築（東）

北瓜隆雄 引分 松本（神）

▽七段の部

今井孝造 大外刈○大野（栃）

大林宥範 引分 小出島（秋）

丹羽文雄 上四方○佐藤（新）

関口孝義㊁優勢 高林（富）

光山武嘉○内股 佐藤（東）

（光山武嘉記）

群馬準優勝
第21回三笠艦記念

第21回三笠艦記念関東七県対抗柔道選手権大会は、五月二十四日横須賀学院体育館で行われ、準優勝を飾った。

◇試合結果

◇予選リーグ（二勝一負）

群馬 1―①埼玉

群馬 ④―0山梨

群馬 ②―1横須賀

◇決勝トーナメント

▽準々決勝

群馬 ③―2栃木

▽決勝

群馬 1―②神奈川

森 英也○絞推十字固栗原

新井隆義 引分 森岡

大沢均 引分 広田

大沢盛大 体落○御厨

堀江英也 背負投○藏訪問

（鈴木元一記）

鈴木監督と選手

東京三洋
三回戦へ進出
全日本実業団大会

第31回全日本実業団対抗柔道大会は、五月三十一日、富山県高岡市民体育館で開催された。

二部（78チーム参加）に出場した東京三洋は、三回戦で塩谷建設富山支店と対戦、一対一で惜敗した。二部優勝は、新日鉄広幅。

◇試合結果

▽一回戦

東京三洋 ③―1富士フィルム（神奈川）

（群馬）

▽二回戦

東京三洋 ③―0高岡市役所

（富山）

▽三回戦

東京三洋 1―②塩谷建設

（富山）

（遠塚卿雄記）

群馬大学
二連覇ならず
全国国立大学

全国々立大学柔道優勝大会は、七月十二日東京・講道館に四十三校が参加し行われた。

昨年初優勝の群馬大学は、準々決勝で埼玉大学に破れ二連覇をのがした。

◇試合結果

◇予選リーグ（群大二勝）

群馬大 ⑥―1豊橋技科大

豊技大 0―⑤宮崎大

群馬大 ④―1宮崎大

◇決勝トーナメント

▽一回戦

群馬大 ④―2北海道教大

熊井宏之○ 合せ技 小原

黒沢宏之○ 合せ技 服部

小畑弥寛○ 朽木倒 福重

北原陽之介 合せ技○熊谷

石坂克之 引分 西沢

高橋修 体落○川田

井野正彦○ 合せ技 名越

▽準々決勝

群馬大 3―③埼玉大

井野正彦 背負投○山崎

島田浩伸○ 内股 寺田

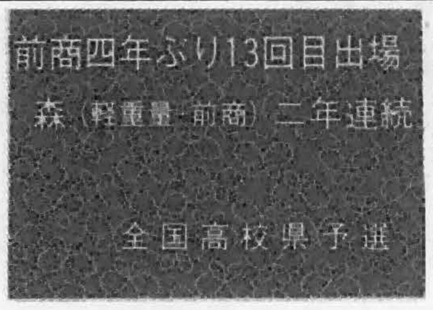
熊井宏之 送足払○中田

小畑弥寛㊁ 背負投 渡辺

富沢厚 体落○中里

石坂克之 引分 鎌塚

北原陽之介○払腰 柳原



第30回全国高等学校柔道大会県予選会（個人戦＝五月三十一日、団体戦＝六月二十一日）が県立武道館で開催された。

個人戦には、各校より二七七名の選手が参加、体重別の四階級にわかれ熱戦が展開された。

重量級では、第二シードの新井（前商）が岸部（育英）を僅差で破り優勝した。軽重量級で優勝した森（前商）は、二年連続出場の栄冠をものにした。

団体戦は、準決勝を五対〇と圧勝した前商と、四対〇で勝ち抜いた育英との間で戦われたが、前商は三対〇で育英を破り、四年ぶり13回目の出場を手中にした。

◇試合結果

〔団体戦〕（42校出場）

▽三回戦

前商 ⑤―0榛名

渋川 ④―0利農

高崎 ⑤―0蚕糸

前南 0―④樹徳

利商 ⑤―0桐南

高商 1―②沼田

佐農 0―④富岡

前工 0―⑤育英

▽準々決勝

前商 ④―0渋川

高崎 ③―2樹徳

利商 ④―0沼田

富岡 0―④育英

▽準決勝

前商 ⑤―0高崎

利商 0―④育英

▽決勝

前商 ③―0育英

先新井○裏投園 茂木

次小室 引分 佐藤

中森 ○大外刈 永井

副森田 引分 岸部

大武井㊁小外掛 綿貫

尾島中チーム
尾島中初優勝
第5回中学校選抜大会

選抜柔道大会は六月七日、県武道館で行なわれた。尾島中が初優勝を飾った。この大会に出場できるチームは、秋の県新人柔道大会で決勝トーナメントに出場した十四チームとそれに準じた活躍をした二チームの計十六チームによる大会である。決勝戦は共に初優勝をねらう新鋭同志の対戦になったが、代表戦で荻原（尾島中）が佐俣（新町中）を小内刈で有効をとりそのままにげきった。大会をふりかえってみると、秋の新人大会で優勝した渋川中が決勝トーナメント一回戦で尾島中に破れる波乱はあったが、小兵ながら動きのよい子持中や積極的に技をかける中央中の活躍や新田（尾島中）多野（新町中）の両地区の活躍は今までに上位入賞がなかっただけにすばらしかった。

▽決勝

尾島中学校①―1新町中学校

武田義伸 内股巻込 佐俣信行㊁

荻原正士 引分 川瀬秀明

毛呂達也 引分 金子忍

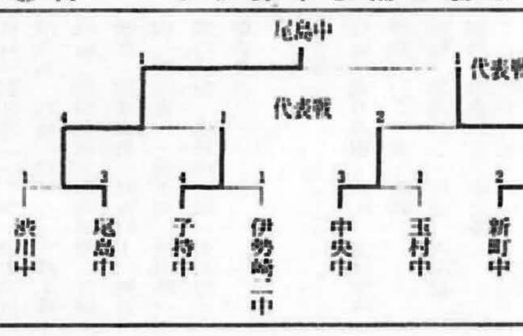
鏡真和㊁払い巻込 藤井浩志

川島雄浩 引分 丹羽弘之

代表戦

荻原正士㊁小内刈 佐俣信行

▽試合結果



◇試合成績

一位 前橋商業高等学校

二位 前橋育英高等学校

三位 高崎高等学校

三位 利根商業高等学校

〔個人戦〕

◇試合成績

▽軽量級（78名出場）

一位 若井勝則（前商）

二位 吉田肇（前商）

三位 野上斉（利商）

三位 星野竹志（沼田）

▽中量級（82名出場）

一位 永井俊行（育英）

二位 佐藤達也（育英）

三位 田中幸則（中之条）

三位 小沢修（前工）

▽軽量級（70名出場）

一位 森英也（前商）

二位 綿貫弘樹（育英）

三位 茂木克之（育英）

三位 小室亨（前商）

▽中量級（47名出場）

一位 新井隆義（前商）

二位 岸部俊一（育英）

三位 森田喜美雄（前商）

三位 新井美智男（利商）

整形外科
西富岡医院
富岡市七日市658
TEL 02746 (2) 0898

総合建設業
一級建築士設計事務所
中野建業
代表 中野秀吉
甘楽郡甘楽町小幡80312
TEL 02747 (4) 2104

第八回ザ・こんにゃく柔道大会

団体優勝 桜井道場A

第六回少年柔道親善大会（愛称ザ・こんにゃく大会）は三月二十九日高崎市武道館で開かれ、団体では高崎の桜井道場が優勝した。

今年の大会には、各地の柔道場や柔道教室など十五団体から五百七十五人の小中学生が参加し、応援にかけつけた父兄や指導者の声援の中で熱戦が繰りひろげられた。

◇試合成績

【団体戦】

①桜井道場A（高崎）‖戸塚信幸、高橋龍太、高木晋光、成沢昭浩、清水延浩、②石井道場（棟名）③高崎柔道教室、岡ノ谷道場（星利）

【個人戦】

▽幼稚園軽量級①登坂利之（石井）②斎藤幹夫（高崎）③門倉貴浩（桜井）江原由郎（石井）

▽同中量級①水井孝行（下仁田）②中島綾子（高崎）③菅野勇（東京、松山）金森智広（碓東）

▽同重量級①須永由貴子（星利）②石井久雄（石井）③平田稔（松山）樋口毅（桜井）

▽小学校一年軽量級①高沢充芳（石井）②藤崎智広（堤ケ岡）③塚越俊治（桜井）長壁正樹（石井）

▽同軽中量級①桜井太郎（桜井）②磯部光利（同）③小林寛澄（高崎）石向渡（岡ノ谷）

▽同中量級①清水健一（鎌塚）②佐藤義則（佐藤）③荻野憲一（下仁田）小牧英光（須藤）

▽同軽重量級①新井日出夫（桜井）②小沢充彦（佐藤）③神田一郎（鎌塚）千野雅之（下仁田）

▽同重量級①須永徳義（岡ノ谷）②飯野一也（松山）③柳沢剛（碓東）井口力也（桜井）

▽小学校二年軽量級①藤巻幹彦（鎌塚）②松本充俊（碓東）③佐藤聡（堤ケ岡）坂本忠広（桜井）

▽同軽中量級①納杉健司（鎌塚）②三木孝之（石井）③千野剛（桜井）酒井裕次（同）

▽同中量級①広兼昌隆（佐藤）②塚越晃（桜井）③曽根晋樹（同）清水真（石井）

▽同軽重量級①瀬間武（佐藤）②長谷川博士（同）③植原英樹（桜井）西沢修一（同）

▽同重量級①斎藤忠雄（高崎）②石岩光彦（下仁田）今井智明（同）

▽同超重量級①松本光弘（石井）②吉山裕希（松山）③清水和樹（碓東）外処清美（鎌塚）

▽同中量級①成沢昭浩（桜井）②佐藤昇一（下仁田）③諸星英一（桜井）清水満（石井）

▽同軽重量級①室田英紀（岡ノ谷）②松本光弘（佐藤）③武井正晴（桜井）千野純（下仁田）

▽同重量級①中島修（堤ケ岡）②小泉拓一郎（桜井）③都丸忠博（川田）石井角栄（高崎）

▽同超重量級①横物谷武（石井）②清水延浩（桜井）③植原秀信（須藤）宮寺雄一郎（湯浅）

▽小学校六年軽量級①植村雅史（岡ノ谷）②福田真樹（堤ケ岡）③市場昌広（川田）井上利昌（桜井）

▽同軽中量級①鳥潟隆（松山）②佐藤敏彦（石井）③栗原誠（岡ノ谷）高瀬雄一（桜井）

▽同中量級①品山仁希（松山）②坂本茂（桜井）③阿久津拓也（同）高橋健二（同）

▽同軽重量級①木暮広起（下仁田）②大塚光成（桜井）③黒沢一彦（下仁田）梅山勇示（須藤）

▽同重量級①河野恵介（松山）②田胡栄一（高崎）③石岩光彦（岡ノ谷）鳥雄二（桜井）

▽超重量級①高木孝彰（桜井）②松沢英行（須藤）③原雄一（桜井）小林大輔（高崎）

▽中学一年軽量級①吉田桂二（岡ノ谷）②繁浩一（桜井）③横山浩一（高崎）佐藤浩樹（下仁田）

▽同中量級①清水忍（下仁田）②細谷睦（石井）③千野雄一（下仁田）市場芳浩（川田）

▽同重量級①石岩里己（岡ノ谷）②高橋和美（高崎）③折原政一（岡ノ谷）神保浩之（桜井）

【女子個人戦】

▽小学校一・二年①武井佳絵（高崎）②石井菓子（石井）③本川滋子（高崎）石井智子（石井）

▽小学校三年①半田美希（松山）②茂原和子（高崎）③木間美由紀（堤ケ岡）柳井真奈美（佐藤）

▽小学校四年①早川貴子（桜井）②原佳子（同）③小松崎政子（佐藤）多田裕美子（堤ケ岡）

▽小学校五・六年①佐藤貴子（下仁田）②平柳美知子（同）③柳沢敏江（堤ケ岡）曽根幸子（桜井）

▽中学・高校・一般①原ふみ子（桜井）②早川美穂（同）③猪瀬明美（佐藤）木村恵理子（同）

高校初任体育指導者実技講習会

6.31・7.1・2　県武道館

六月三十日から三日間、県武道館において、昭和五十六年高校初任体育指導者柔道実技講習会が行われた。

これは、県教育委員会体育課の主催で、若い体育の教師に対してほぼ三年に一回行われるもので、今回は五四、五五、五六年に採用された県下各高等学校教職員四十人が対象であった。

今年度採用の教師の中には、各競技種目の58年あかぎ国体選手候補者も相当数おり、対象は種々様々であった。柔道をはじめてやる者や、上は全日本指定強化選手クラスも入りまじっていた。

講習内容は、礼法や補助運動、受身の練習など基礎的動作からはじまって、投技、固技の基本、応用、試合、形についてまで実技を主として、その他、スポーツ災害についての外来講義や、指導要領についての研究協議が行われた。

生徒を指導するためには、できるかぎり多くの技をおぼえなくてはならないし、まず正しい柔道を身につけなくてはならないので終日熱心な講習が行われた。

最終日、講習終了後、柔連山岸理事長並びに森審議部長と光山副部長など立合いのもとに昇段審査会も行われた。

講師

内堀整形外科医院長内堀直文先生
県警察学校教官　鈴木元一先生
県立渋川西高校教諭木村寿良先生
県立藤岡高校教諭　塚田伸也先生

◇学校柔道指導者講習会修了者

▽初段　田島定雄、林伸宏、高橋紀幸、村田直、諏訪部晃、阪西俊峰、平方享、伊藤誠一、保坂浩二、塚田元樹、清水実

▽弐段　大澤良夫、大塚理貴、田中克竜

（鈴木元一記）

受講された先生

240名が熱戦

兵藤(沼田)8人抜き

紅白試合

昭和五十六年度群柔連紅白試合は、七月二十六日二百四十名の選手が参加し、県武道館で行われた。

◇試合成績

（一級の部）　88名参加

▽三人抜き

松島健二（中之条高）
山口進（育英）

▽四人抜き

新井安典（安中二中）
井野晋博（育英）

▽五人抜き

星野悟（渋川北中）

▽六人抜き

高橋義典（高崎五中）
上塚栄太郎（中之条高）

（初段の部）　82名参加

▽三人抜き

有間正一（前商）
小渕伸治（東京三洋）
福下聖人（前商）
笠井建志（育英）

▽四人抜き

吉田肇（前商）

▽五人抜き

荻原賢一（農大二）

▽八人抜き

兵藤武志（沼田高）

（弐段の部）　31名参加

（参段の部）　29名参加

（四段の部）　10名参加

◇成績抜群者（限日昇段）

兵藤武志　八勝（弐段・沼高）
上塚栄太郎六勝（初段・中高）
高橋義典　六勝（初段・高五中）

第12回全国高校定通制大会代表選手決る

第12回全国高等学校定通制柔道大会県予選会は、七月五日県武道館にて行われた。

試合は、個人戦で四ブロックで予選リーグを行い、決勝トーナメントを行い、県代表選手を選んだ。

◇試合結果

◇決勝トーナメント

▽一回戦

松本○釣込腰　斎藤
新井○裸絞　戸部
大河原○　前横四　前田
野口　前横四　○西山
▽準決勝
松本○　内股　新井
大河原　前横四　○西山
▽決勝
松本○　上四方　西山
▽三・四位決定戦
新井○　裸絞　大河原
▽五・六位決定戦
大河原○　前横四　前田
野口　払腰　○戸部
▽七・八位決定戦
前田○　けさ固　斎藤

◇試合成績

一位　松本国己（沼田高校）
二位　西山忠夫（高崎工業）
三位　新井光一（高崎工業）
四位　大河原広己（富岡高校）
五位　戸部始（沼田高校）
六位　野口和久（中之条高）
七位　前田芳明（中之条高）

県代表の団体は、上位七人、個人代表一位、二位は、八月二十三日東京講道館で行われる全国高等学校定通制柔道大会に出場する。

岡野氏を招き講習会

利根・沼田支部

六月二十六日・群柔連利根沼田支部（支部長・石沢稲之助）では中・高校生の強化練習会を開催するにあたり、講師に岡野功六段（流通経済大学助教授）を沼田小記念体育館に招き、開催された。

受講者は、地元一般、中高校生はもちろん、県警からも十五名の参加を加え二百名を越えた。

講習内容は、実技と理論を午前午後の二回にわけ行われ、先生の得意技である背負投、小内刈、それに寝技を関連づけた講習と、オリンピックや世界選手権、全日本選手権等で得た経験や独自の理論を交えた指導が行われ、参加者より熱心な質問もとび有意義な講習会であった。

指導する岡野六段

中・高校生はもとより、一般修業者、指導者も今後の修業及び後進の指導に多大なる成果を発揮出来るものと思います。

（相馬利幸記）

壮年柔道大会

七月十九日県武道館

◇試合結果

初橋本正雄○小外掛　初岡本照男
初橋本正雄　袈後固　弐西村満郎
初岡本昭男○送襟絞　弐西村満郎

▽弐段の部

手島英樹　引　分　梅沢要一
井上照夫◎跳　腰　久保田務
井上照夫○跳　腰　梅沢要一
手島英樹○合せ技　久保田務
梅沢要一○キケン　久保田務
手島英樹　跳　腰○井上盟夫

▽参段の部

横沢求　袈後固○松島英男
横沢求　大内刈○内田靖人
松島英男　キケン○内田靖夫
田部井米司引　分　松島茂
田部井米司○送襟絞谷口浩之
松島茂○袈後固　谷口浩之

▽四段の部

小沢陸男　袈後固○三橋好
小沢陸男◎体　落　赤川崇朗
三橋好○横四方　赤川崇朗
上村美喜雄引　分　三浦昭男
三浦昭男　引　分　真下順次
上村美喜雄内　股○真下順次
神永剛引　分　安喰亮二
安喰亮二　引　分　津久井彦一
神永剛引　分　津久井彦一

（北爪隆雄記）

全国教員県予選会

青山 竹原 碓井 が優勝

第六回全国教員柔道大会県予選会は、六月二十八日県武道館で行われた。混戦が予想される昭和二十九年四月以降生れの部では、新卒の青山（前南教）が優勝、伊丹（前南教）が二位に入った。

◇試合成績

▽昭和二十九年四月以降生の部

一位　青山光一（前工教）
二位　伊丹弘明（前南教）
三位　寺町良次（前高教）
四位　島居吉二（渋市工教）

▽昭和二十四年四月以降生の部

一位　竹原敏郎（前東教）
二位　永幡敏明（中之条高教）

▽昭和二十四年四月以前生の部

一位　碓井良一（月形中教）
二位　佐藤勇夫（利南教）

◇本県代表選手名

監督　島居吉二（渋市工教）
先生　寺町良治（前高教）
次鋒　竹原敏郎（前東教）
中堅　碓井良一（月形中教）
副将　青山光一（前工教）
大将　伊丹弘明（前南教）

各種自動車，販売，整備，鈑金塗装，車検ローン

有限会社 オグラモータース

大間々町桐生通り　TEL 02777 (3) 3355(代)

第21回職場対抗柔道大会
教職員チームが優勝
利根・沼田支部

桜舞う沼田城跡記念体育館において、第21回利根・沼田職場対抗柔道大会、第13回利根・沼田高校学年別柔道大会は、四月二十六日開催された。

職種を職場を共にする柔道愛好家が、それぞれにチームを作り、12団体が出場、予戦リーグを勝ち抜いた四チームで決勝トーナメントが行われ、教職員チームが警復師チームを二対〇で破り優勝した。

高校の部では、各学年共利根商が圧倒的な強さをみせ、各学年とも制した。

◇試合成績

▽予選リーグ1組
一位　警復師　一勝一分
二位　商工会館　一勝一分
三位　ナショナルA　〇勝二敗

▽同2組
一位　八田自動車　一勝一敗
二位　沼田商業会A　一勝一分
三位　ホテルジュラク〇勝二敗

▽同3組
一位　沼田警察　二勝
二位　沼田工業会　一勝一敗
三位　ナショナルB　〇勝二敗

▽同4組
一位　教職員　二勝
二位　久呂保運輸　一勝二敗
三位　沼田商業会B　〇勝二敗

▽決勝トーナメント

▽高校一年の部　①阿部光浩（利商）②原沢弘（同）③田上二也（育英）

▽同二年の部　①佐藤美洋（利商）②須藤貞矢（利商）③桑原辰治（利商）

▽同三年の部　①新井美智男（利商）②柳貫弘樹（育英）③星野克行（利商）

（新井隆記）

高崎市民体育大会
柔道競技

十一月三日・高崎市武道館

◇試合成績

▽幼稚園女子
①中島綾子　②佐藤美保

▽幼稚園
①新井昭和　②門倉貴浩　③横山敦

▽小学二・三年女子
①茂原和子　②武井佳子　③桜井美希恵　木川滋子

▽同五・六年女子
①早川貴子　②曽根幸子　③原佳子　武井聡美

▽同一年
①桜井太郎　②磯部光利　③大塚淳二　内山貴之

▽同二年
①斉藤忠雄　②青兼昌隆　③曽根智樹　酒井裕次

▽同三年
①戸塚信幸　②大竹明　③門倉真人　大谷秀樹

▽同四年
①宮野敦　②高橋竜太　③西沢康明　女部田正一

▽同五年
①清水延浩　②菅寺雄一郎　③成沢昭浩　青木新

▽同六年
①小暮大輔　②島雄二　③飯野和仁　原雄一

▽中学一年
①宮野学　②牛込章寿　③竹本晋也　高橋義典

▽同二年
①飯野圭一　②佐藤信治　③島方守　中田勝利

▽同三年
①吉原秀忠　②仲田真次　③三川敏男　山田高幸

▽高校・一般・無段
①広瀬勝　②福田善亮　③荻戸雅之　熊野輝明

▽同有段
①玉木亮介　②荻原賢一　③渡辺大輔　八木信二

▽中学一年生大会
①四中　②片中　③八中　④佐中　（牛込祥浩記）

碓氷安中柔道大会

碓氷・安中柔道大会は五十五年十一月二十四日安中第二中学校柔道場で行われた。

開会式の中で、柔道模範少年・少女（高木孝彰、松本晴美）が特別表彰を受けた。

◇試合成績

▽幼年の部①柿沢友成②金森賢広

▽小学校一年の部①古賀直樹②黛大輔③高橋一通、柳沢剛

▽小学校二年の部①木祥準②松木充俊③佐藤久光、中曽根新

▽小学校三年の部①柳沢健一②保坂匡③細野貴嗣、百崎司将

▽小学校四年の部①高木啓光②須藤正道③入沢健一、上原秀樹

▽小学校五年の部①田島伊三男②中曽根理③松本直志、伊勢崎悟

▽小学校六年の部①貫浦学②内川善順③須藤理人、上原将智

▽中学一年の部①中村勉②安藤紀之③安斉郁宏、小関智也

▽中学二年の部①橋本和義②外谷明久③新井安典、佐俣宏明

▽中学三年の部①佐藤佳丈②和田学③伊藤一弘

▽一般無段の部①高木孝彰②中島隆夫③貫浦学、内川善順

▽一般有段者の部①山崎悟②青木博③高木克彦、蒔田利一

前橋市民スポーツ祭柔道大会

十月十二日・県武道館

◇個人

▽小学一・二年　①新部剛　②斉藤直樹　③田島淑充

▽同三・四年　①富沢秀之　②高山裕志　③関口剛

▽同五・六年　①奈良昇志　②田島淳二　③古山幸一

▽中学一年　①高橋崇　②吉田聡　③小見山敦

▽同二年　①小林俊一　②富沢昌幸　③大沢章伸

▽同三年　①吉田一夫　②石田達彦　③渡辺文雄

▽高校　①丸山勉　②織田利雅　③富沢豊

▽一般無段　①大野圭介　②神山聖志　③富沢憲治

▽同初段　①藤原一夫　②片貝健二　③富田重則

▽同二段　①金子和明　②広神清行　③柿沼康樹

▽同三段　①小柴伸一　②土場始　③藤川進

▽同四段
茂木義幸　引分　岡知己
安喰完二　〃　三浦昭男
真下順次　〃　三橋好
狩野桂次郎　〃　川端義隆

▽同五段
大島克己　引分　池田進
北沢広司　技有　栗原洸
藤井恒雄　引分　中沢竜吉

▽同六段
三橋佐吉　引分　小畑兼五郎

▽同七段
再羽文雄　引分　高山明

◇団体

①一中地区　②二中地区　③三中地区　（小林充記）

武道館設立
多々良中学校

多々良中学校武道館竣工式は、三月二十八日に行われた。

群柔連邑楽・館林支部より、模範演技として、投の形・極の形が披露された。　（中里伍一記）

館林市柔道大会
一月十八日

館林市柔道大会は一月十六日邑楽館林武道館で行われた。

恒例の寒稽古は十四日から十七日（午前五時から八時まで行われ、十六日の納会、鏡開き式後同大会が行われた。

◇成績

▽小学校低学年の部①川島洋志（邑楽）②山内浩二（同）③早川教吉（同）、内田靖孝（館林）

▽小学校高学年の部①真下田貞夫（邑楽）②吉川幸次（同）③斎藤邦久（同）、山内昇（同）

▽中学生団体の部①多々良中A　②多々良中B　③昭林二中A、館林二中A

▽高校、一般の部①鯨野直樹（館高）②飯塚由紀夫（桜倉高）③戸井田斉（足工大付）、小貫裕康（館高）　（中里伍一記）

優勝石井道場A
群馬郡少年柔道

第3回群馬郡少年柔道大会は五月五日群馬町武道館で開催された。

◇試合成績

【団体戦】

【個人戦】

▽小学校一年の部軽量級①山田孝之（石井）②萩原敏行（石井）

▽同中量級①石井智起（石井）

▽小学校二年の部軽量級①山田孝之（石井）②萩原敏行（石井）

▽同中量級①石井智起（石井）

▽小学校三年の部軽量級①柳沢健一②戸塚直昭（石井）

▽小学校四年の部軽量級①木祥準②松木充俊（石井）③佐藤久光（中曽根新）

▽同中量級①石井智起（石井）

▽小学校五年の部軽量級①田島伊三男②中曽根理（石井）③松本直志（伊勢崎悟）

▽同中量級①石井智起（石井）

▽小学校六年の部軽量級①貫浦学②内川善順（石井）③須藤理人（上原将智）

▽同中量級①木祥準②松木充俊（石井）③佐藤久光（中曽根新）

▽同重量級①仁木和則（須藤）②福田一彦（堤ケ岡）③吉田光宣（堤ケ岡）小牧成一（堤ケ岡）

▽同重量級①大沢隆志（石井）

▽中学生団体の部①多々良中A　②多々良中B　③昭林二中A、館林二中A

▽高校、一般の部①鯨野直樹（館高）②飯塚由紀夫（桜倉高）③戸井田斉（足工大付）、小貫裕康（館高）　（中里伍一記）

優勝石井道場A
群馬郡少年柔道

第3回群馬郡少年柔道大会は五月五日群馬町武道館で開催された。

◇試合成績

【団体戦】

【個人戦】

▽小学校一年の部軽量級①山田孝之（石井）②萩原敏行（石井）

▽同中量級①石井智起（石井）

▽小学校二年の部軽量級①山田孝之（石井）②萩原敏行（石井）

▽同中量級①石井智起（石井）

▽小学校三年の部軽量級①柳沢健一②戸塚直昭（石井）

▽小学校四年の部軽量級①木祥準②松木充俊（石井）③佐藤久光（中曽根新）

▽同中量級①石井智起（石井）

▽小学校五年の部軽量級①田島伊三男②中曽根理（石井）③松本直志（伊勢崎悟）

▽同中量級①石井智起（石井）

▽小学校六年の部軽量級①貫浦学②内川善順（石井）③須藤理人（上原将智）

▽同中量級①木祥準②松木充俊（石井）③佐藤久光（中曽根新）

▽同重量級①仁木和則（須藤）②福田一彦（堤ケ岡）③吉田光宣（堤ケ岡）小牧成一（堤ケ岡）

▽同重量級①大沢隆志（石井）

▽中学生団体の部①多々良中A　②多々良中B　③昭林二中A、館林二中A

▽高校、一般の部①鯨野直樹（館高）②飯塚由紀夫（桜倉高）③戸井田斉（足工大付）、小貫裕康（館高）　（中里伍一記）

優勝石井道場A
群馬郡少年柔道

第3回群馬郡少年柔道大会は五月五日群馬町武道館で開催された。

◇試合成績

【団体戦】

【個人戦】

▽小学校一年の部軽量級①山田孝之（石井）②萩原敏行（石井）

▽同中量級①石井智起（石井）

▽小学校二年の部軽量級①山田孝之（石井）②萩原敏行（石井）

▽同中量級①石井智起（石井）

▽小学校三年の部軽量級①柳沢健一②戸塚直昭（石井）

▽小学校四年の部軽量級①木祥準②松木充俊（石井）③佐藤久光（中曽根新）

▽同中量級①石井智起（石井）

▽小学校五年の部軽量級①田島伊三男②中曽根理（石井）③松本直志（伊勢崎悟）

▽同中量級①石井智起（石井）

▽小学校六年の部軽量級①貫浦学②内川善順（石井）③須藤理人（上原将智）

▽同中量級①木祥準②松木充俊（石井）③佐藤久光（中曽根新）

▽同重量級①仁木和則（須藤）②福田一彦（堤ケ岡）③吉田光宣（堤ケ岡）小牧成一（堤ケ岡）

▽同重量級①大沢隆志（石井）

道場訪問
こんにちは
剣持道場（太田市）

剣持柔道館は、太田市東本町、富士重工の西、剣持整骨院に併設されている。正面に神棚、その下に三段久蔵先生の「無」の刻板、新しい三十畳の畳の同りはハメ板が長く、窓の大きい、明るく近代的な道場だ。昭和五十五年五月一日、熊②又吉八段、開庭重雄八段を名誉顧問に迎え開館した。

館長は剣持和彦氏（三十七歳）で、関東学園高校卒業後、東京柔道整復専門学校で整骨術と柔道を修業、現四段。同氏は昭和四十二年四月、市内に整骨院を開業し、県柔連新田、太田支部の役員としても活躍していたが、青少年の健全育成のためにひと役立てばと柔道館開館に踏み切った。

太田市内に町道場の灯が消えて二十年。昭和五十二年九月には、郊外の寺井に木暮得雄氏一門利氏の修道館木祥道場が誕生したが、旧市内は依然として空白状態だった。そこにこの道場の開館となり、旧市内柔道愛好家や地域の喜びは大きい。このことを反映してか、開館一年余なのに現館員五十五名と盛況である。小学生三十五名、中学生十名、成人十名で女子五名を含め、遠くは足利市、大泉町、邑楽町から通って来る。

そして、館長をはじめ、全面的に応援して下さる支部長の尾林信夫七段、友人の沢口卿夫四段らの指導陣の熱心さで成果も出つつある。例えば、中三の長竹秀子初段が関東大会三位、四十一歳の井上盟夫氏が県壮年大会で全勝、中三の井口忠隆君は一級ながら多くの黒帯を抑えて市中体連重量級で優勝し、さらに団体、道場、では、桐生近郊予道大会低学年の部、一一年生で、一年上体で優勝など卓かしい戦績を積んでいる。

年間行事は、正月の鏡開き、もちつき大会に始まり、集楽古、キャンプファイヤー、合宿、全員道場に泊り込み、暑中橋古、花火大会、バーベキューなど、柔道行事を軸として、子供達にとって楽しい行事も多い。父兄も熱心で、こういう時には労を嫌わず協力してくれ、花火大会などでは近所の人も一緒に楽しむという。また、毎月月例試合を学年別に行ない、上位者にトロフィー、帯などを授与して励ましている。

親からは、礼儀正しくなった、夜小便が無くなった、きちんとあいさつができるようになったなどと感謝されているが、教える側としては、世相を反映してか我が儘な子が多く教えにくい、ほんとうに良い選手を育てるのには六～十年ほどはかかるだろう（剣持館長）とのことだ。

ともあれ、旧市内に待望の本格的町道場が誕生したわけで、太田市を中心として、青少年の健全育成、柔道の底辺拡大・発展に大きく寄与していくことと思う。

道場・太田市東本町四〇の四
電話・〇二七六25・二〇二七

（岩林宏泰記）

第13回小中学校学年別大会
6・21　沼小記念体育館

◇試合成績

【小学生】

▽低学年の部（一～三年）15名
①平井克明（川田小）②井浦征彦（新巻小）③雄永英雄（川田小）。田中政行（川田小）

▽高学年の部（四～六年）12名
①笠間智雄（沼小）②井浦特文（新巻小）③茂木哲也（川田小）・田中洋也（川田小）

【中学生】

▽一年の部　11名参加
一位　木村守（昭南中）
二位　村田誠（瀬根中）
三位　西村正朗（水上中）
〃　梅沢均（沼田西中）

▽二年の部　10名参加
一位　笠間好雄（沼中）
二位　小林論（新治中）
三位　斎藤直市（水上中）
〃　三階堂章造（新治中）

▽三年の部　65名参加
一位　小林希（新治中）
二位　大渕雅樹（昭南中）
三位　田中和道（池田中）
〃　八田敏彦（〃）

（新井隆記）

編集後記

青山、寺町両選手の横顔いかがでしたか。

各支部で開催される大会および講習会等の記事が多数寄せられております。

編集室では、多くの記事が掲載出来るよう努力しております。

これは、群馬柔道の歴史でもあると信じているからです。

江原隆起

群馬県柔道連盟　新田・太田支部

支部長	尾林信夫	総務部	清水平司	会員部	荻原勲
副支部長	柴宮喜義	事業部	吉川隆之	〃	奥沢二郎
〃	奥沢二郎	会員部	岩瀬安春	指導部	関口清
理事長	関口清	〃	剣持和彦	〃	木暮史人
庶務部	岡島喜市	〃	木暮史人	〃	木暮昌利
会計部	大久保精万	〃	木暮昌利	普及部	栗原万吉

ぐんま柔道

発行所　群馬県柔道連盟
発行人　関口　恒五郎
編集室
高崎市飯塚町1040
桜井　弘
電話　0273—61—2502

嘉納師範遺訓

柔道は心身の力を最も有効に使用する道であるその修業は攻撃防御の練習に由って身体精神を鍛錬修養し斯道の神髄を体得する事であるそうして是に由って己を完成し世を補益するが柔道修行の究竟の目的である。

びわこ国体を観て

県柔連強化部長　新井稽次郎

少年二回戦

和歌山は昨年のインターハイ団体二位、今年五位の和歌山北高が主体のチーム。昨年の春、現在の二・三年の強化選手が、今年の八月には一年の強化選手が和歌山北高へ遠征し、合同合宿でお世話になった。いわば先方が兄貴分。

先鋒戦、立見は組んですぐ背負い落としで「有効」を取る。次鋒若井はこの一点を死守し引分け。しかし戦法がまずく「指導」をとられる。「注意」になりそうでヒヤヒヤ。永井・森は必死の防戦に会い引分け。大将新井は追われる立場。「指導」を受けそう。勢いこんで攻めてくる内股をすかして「技有り」。ラッキーな点を追加

少年三回戦

二回戦を偵察した限りでは相手が上。立見攻めると見せて引分け。若井片襟持ちで「指導」を取られながらなんとか分け。作戦が当たる。中堅の相手は二回戦に背負いであっさり負けているので観察できず。永井寝技に引込もうと背中についているうちに逆に横四方に抑えられて動けず。寝技自慢が裏穴を掘った。副将森は確実に優位内股、大腰で果敢に攻めるがくずしがなく、単調な攻めで利かない。一方的に攻めまくって残り20秒に内股をかけて戻ったところを、相手がたった一回かけた（かける意志のないような動きの）体落しで「一本」ベスト8進出の夢は断たれた。新井の相手は夏のインターハイ重量級の副将、野村（旭川竜谷高）を敗って出てきたか？、たいへんな馬力で、腰の重い新井だが内股、払い腰ともまともに受けたのでは守りきれない。相手がいたけだかに迫いかけて無防備に奥襟をつかみにくるところを背負いで簡単に取る。作戦が見事に当る。

成年二回戦

先鋒寺町優勢だがきめ技なくイライラ。終盤に巴投げで「有効」。鳥居は上手に引分け。中堅飯笹は大外刈りで三回投げられるがいずれも体をひねって辛うじて逃げるどれも「有効」を取られても文句は言えない。積古最と体の軟かさで助かる。終了15秒前に小内で「有効」を取る。副将青山の相手は百20kgはあるか。内股、大外と攻めるが固い守りを崩せず。大沢は逃げて「指導」になりそうだがどうにか引分け。

成年三回戦

寺町は背負い、巴で攻めきれず浮き技で「技有り」。飯笹の相手は長身で馬力がある。内股で三回「有効」を取る。青山の相手は逆転しようと背負いで攻め、内股との応酬になるが引分け。青山の内股、大外のパターンに一工夫はしい。大沢の相手はかなり力が上だったが、膝の負傷が悪化し再三試合を中断五分の時間切れになりそうで負傷を押しての続行で幸運な引分け。薄氷を踏む思いの勝利。青山に一点がほしかった。

成年四回戦

滋賀は先・次・副将が全柔連の強化選手。寺町・鳥居應せず攻め合い引分け。飯笹は形のように投げられた。副将伊藤は滋賀の至宝今年度全国警察官大会の個人戦優勝者。全日本選手権では山下が緒戦で対戦やっと「有効」を取っただけ。青山小外で「有効」を二度取られ、内股すかして「一本」となり万事休す。伊藤はこのあと準決勝で奈良の百50kgの正木を大外で、決勝では神奈川の白瀬にけさ固めで一本勝ちした。大将を持っている県は強い。大沢の相手は勝負がついたあとで意欲なく凡戦。

戦評

少年三回戦の永井・森の二点が悔まれる。好んで寝技に引込む永井だが、手応えて攻めきれる相手かどうか感じなければならない。抑えられてからの逃げ方の練習が足りなかった。森は攻め方が性急すぎた。じっくり勝機をうかがえば必ず勝てる相手だった。後ろの攻めがなかった。攻めながら計算できなければならない。関東、インターハイとも優秀選手に選ばれた森にしては拙攻だった。一点取れるところがマイナス一点になった。痛恨の一点だ。試合後、わかったことだが少年が三回戦を勝てばベスト8、五位になる。成少年ともベスト8だと東京・茨城と並んで総合三位になる。千載一遇のチャンスを逸した。逃がした魚はとてつもなく大きかった。

成年と少年を比較すると優位の相手に引分ける技術は成年の方がうまい。キャリアの差だ。いかにも引分け役というように姿勢を悪くしたり、組まずに逃げまわる。審判の心証も害する。誰にでも、どうしてもかなわない相手はある。それに分けるのも技術だ。強い相手を数多く練習していく中で学ぶことだ。

先鋒、次鋒が一勝一引分けて中堅に引継げばその試合はほとんど勝てる。群馬の勝った三試合もそのとおりだ。後半に確実なポイントゲッターのいるところはなお強い。少年の東京、成年の滋賀、神奈川がそうだ。一点負けてきてもタイにし、代表戦でも勝てる。つまり一人で二点稼げるわけだ。本県でも二点稼げる選手を作らねばならない。

地元滋賀が総合優勝

滋賀県の少年が優勝した。少年で地元が優勝したのは47年の鹿児島以来。インターハイの86kg級に入賞した者が一人いるだけのごく普通のチームだが地元の観衆の前に燃えに燃えた。緒戦でつまずきそうになったが声援に応えて立ち直った。四回戦では茨城の反則で勝ちを拾った。全てがプラスに働いた。勝つ時はこんなものだ。昨年の地元国体に続き、今年も一回戦で敗退した栃木チームは、滋賀県と練習試合をし勝っているという。群馬が滋賀県と対戦しても互角に戦えるだろう。少年チームはどこも紙一重の差だ。ひとはずみつけば三分の一くらいのチームが優勝者になり得る。滋賀県チームは地元の声援に奮いたち実力以上の勝負をした。燃えやすい性格の者は調子に乗ると大きな働きをするが逆に無感動の者は勝者にはなり得ない。滋賀県は少年が優勝、成年が二位で総合優勝を飾った。二年後の「あかぎ国体」でも天の時、地の利、人の和の総力を結集して滋賀に続きたい。

少年の部

▽二回戦
群馬 ②——0 和歌山
▽三回戦
群馬 1——② 北海道
立見秀文 引分 高橋
若井勝則 引分 小野
永井俊行 横四固○ 田辺
森 英也 体落し○ 浜埜
新井隆義○背負投 奈良

成年の部

▽二回戦
群馬 ②——0 三重
▽三回戦
群馬 ①——1 鹿児島
▽四回戦
群馬 0——② 滋賀
寺町良次 引分 矢嶋
鳥居吉二 引分 中右
飯笹明宏 払い巻○ 広瀬
青山光一 内股選○ 伊藤
大沢 均 引分 久保山

あかぎ国体(5)

県実連国体対策委員長　鈴本元一

審判員講習

1、四月一九日県武道館で、全柔連指導者講習結果の伝達講習を開催、連盟会員四八名出席。改正「講道館柔道試合審判規定」取扱い統一条項について研修を行なった。

2、一〇月三日渋川市総合運動公園体育館（国体会場）・翌四日県武道館に老松信一先生を招聘して審判研修を行なったところ、五八名が出席した。

競技係員研修

九月一九日、渋川工業高校へ井出友則先生を招聘して、競技係員の研修会を開催したところ、連盟関係六三名、渋川市関係七一名計一三四名が出席した。

その他

四月一二日　関口杯大会
六月二一日　県高校大会
七月一九日　びわこ国体予選
九月六　日　民管大会
一〇月二五日中学新人大会

といずれも県武道館において係員の研修会を行なったが欠席者が多くなっている。

これらの研修会出席状況をもとに、先日一三〇名ほどの候補者を推選してあるので、間もなく県国体事務局からの委嘱がある予定。

○演練者養成

形の演練者養成については、指導部を中心にコンクールなどを行なっているが、古形の形・投の形ともに候補者をしぼりつつある。

柔道舞踊についても地元女子高いためにも、選手も指導者もやらなければならない時である。

○係員養成

三月に連盟として仮委嘱し、以来、あかぎ国体競技会役（係）員予定者の講習、研修会を重ねている。

びわこ国体も終って、あかぎ国体までいよいよ一年余となった。柔道は、リハーサル大会として、来年全国中学校大会を行なう。

選手強化も、競技役（係）員養成も演練や施設や運営も、つめの段階に入ってきた。柔道連盟においても、会員はもとより県国体事務局、地元渋川市実行委員会、その他関係者の全面的な協力を得て準備に大わらわである。

○選手強化

これは、強化部長から前号でも詳しく近況をお知らせしてあるが最も力を入れなければならないところである。成年の部では、今年から青山・寺町両選手を容し、筑波大や東京でも練習を重ねているが、今回の国体でもベスト8入りを果し、ようやくということである。各級（体重）の選手が集まらないためか県内の練習はやや低り上りがない。

少年部特に一年生（五八年に三年生）も重点的に強化をやらなければならないが、各級とも必ずしも満足できる数の選手がいない。

とにかく、いかにしてより多く練習するかが鍵である。何とかなるだろうでは勝てない。後悔しないためにも、選手も指導者もやらなければならない時である。

くろおび

あかぎ国体まで、あと一年十ケ月と迫った。選手強化と大会準備が進む。滋賀国体で、本県成年の部は、初のベスト8入りを果たした。少年の部もベスト16、まずは選手と強化部コーチ諸氏に心より賛辞を贈りたい。◆本県全般のレベルは着実に上昇している。全日本学生選手権に群馬大学の初出場、上武大学の二度目の出場、群馬大学医学部の全国優勝、対東北柔専戦に見る圧勝ぶりや、小学生総体・中学・高校総体に見る充実ぶり等、朗報が続く◆だが五十八年にむけて、勝利に対する闘志不足を指摘する声も大きい。絶対に勝つと云う気力不足解消が、残る期間の課題だ◆昭和三十三年の富山国体で高校の部第三位入賞が、本県にとっての最高の成績だ。強敵北海道に3対1、強剛兵庫に4対1、柔道王国福岡に2対1、準決勝で宿敵神奈川に2対3と惜敗したが、三位決定戦では古豪京都に、先鋒、次鋒と二点を失ったが、中堅以下が気力で三連勝と見事な逆転勝ちをした◆当時のメンバーは、先鋒、金田正敏（前工、県警、機動捜査隊係長）次鋒、角屋光宏（沼高、法大、日鉄カーテンオール前橋営業所長）中堅、武藤立美（富高、県警、交通指導課長補佐）副将、田村眞靖（富高、明大、王子製紙苫小牧工場管財課長■全日本選手権六回出場）大将、井出昌明（前商、呉竹学園、井出接骨院長）の五選手だった。現在、全員六段に昇段している。技術、体力は勿論のこと、すばらしい闘志の持ち主ぞろいだった。彼等の武勇伝には事欠かない◆幸い、新井礼次郎強化部長を助けるひとりに、井出副部長がいる。井出氏の闘志と度胸の良さは天下一品だ。彼の指導力に期待したい◆強化部コーチ諸氏の、遠征合宿等で、家庭生活を犠牲にしての奮斗ぶりは、頭の下がるおもいです。尚一層のご指導を期待します◆二十三年前、富山での美酒は美味かった。あの感激を、もう一度味わいたい。五十八年は気力で絶対に勝つ。（桜）

群馬県柔道連盟前橋支部

支部長	高山　明	理事長	石倉　貞幸	指導部長	池田　進
副支部長	小畑兼五郎	副理事長	北澤　広司	強化部長	岩木昭太郎
〃	宮澤　勧	会計部長	田島　敏隆	庶務部長	栗原　洸
〃	三橋　佐吉	総務部長	大島　克己	渉外部長	藤井　恒雄
〃	柳谷　勝之	審議部長	井出　昌明	行事部長	樺澤　光雄

群大医学生連続日本
第15回全日本医科学生体育大会

第15回全日本医科学生体育大会柔道部門王座決定戦は八月三十日前橋市立武道館において開催された。

本大会は、先に行われた東西医科体育大会の予選で三位に入賞した大学が王座決定戦への出場資格を有し、五大学が出場、リーグ戦が行われた。

昨年初優勝した群馬大学は、対戦成績を三勝一引分とし、二年連続日本一に輝いた。

◇試合結果

【リーグ戦】

群馬大学2――2近畿大学
北原陽之助○払腰　原本
高橋　修　背負　○上田
井野正彦　○合技　尾鼻
石田秀行　引分　角谷
石井英昭　小外　○勝久

群馬大学③――0札幌医大
町田昌己　○払腰　佐藤
北原陽之助○〃　梅本
深堀能立　㊀大外　萩原
高橋　修　○横四　小早川

群馬大学②――0望アリアナ医大
高橋　修　○袈裟　相沢
深堀能立　㊀大外　松井
北原陽之助　引分　清水
井野正彦　引分　中島
町田昌己　○合技　高田

群馬大学②――1熊本大学
石田秀行　体落　○伊東山
北原陽之助㊀優勢　宮田
町田昌己　○内股　越智
高橋　修　引分　池水
井野正彦　引分　三股

◇試合成績

一位　群馬大学医学部
二位　熊本大学医学部
三位　近畿大学医学部
四位　札幌医科大学
五位　聖マリアンナ医科大学

（小川正行記）

前商10年ぶり
決勝トーナメント進出
吉原（1年）が活躍
全国高校総体

第30回全国高等学校総合体育大会柔道競技は、八月二日より三日間、千葉県立武道館で開催された。

団体戦に出場した前商は、昭和四十六年以来十年ぶりにリーグ戦を勝ち抜き決勝トーナメントへ進出、個人戦では森（前商）新井（同）が決勝トーナメントへ進出、両試合とも善戦をした。

◇試合結果

【団体戦】

▽リーグ戦（二回戦）
前　商　①――0東海大第一高（静岡）

▽リーグ戦（三回戦）
前　商　④――0鳴門商業（徳島）

▽決勝トーナメント一回戦
前　商　0――④　東海大第五（福岡）
新井隆義　引　分　松田亮一
森　英也　大内刈㊀浜田昭弘

一位　大泉署
二位　吾妻署
三位　大胡署

【個人戦】（各チーム一人出場）

一位　福田利直（伊勢崎署）
二位　土屋信明（館林署）
三位　神尾雅敬（前橋署）
〃　金子　守（高崎署）

【全勝賞】

田代忠男（機捜）藤塚博幸（学校）角田進（前橋）神尾雅敬（前橋）木村光雄（伊勢崎）三上正夫（大泉）岩井米亀松（吾妻）

【永年出場表彰者】

六本木俊男（教養）清水利男（機捜）永井忠一（保安）吉崎進（備二）杉田利幸（免許）高橋宗二（交機）沼田昌久男（前橋）新井昌代次（大胡）渡辺洋（沼田）

（桜沢光雄記）

●決勝トーナメント一回戦
㊀大内　田川（国東高）
縁　英也　払腰㊀猿俣（作新）

▽重量級（ベスト16位）
新井隆義　払腰㊀村上（今治南）
（前商）○上四　片山（高水高）
○不戦勝

●決勝トーナメント一回戦
新井隆義○逆十　茅野（近大福）

●決勝トーナメント二回戦
新井隆義　大外返㊀菱宿（小杉）

（松本邦夫記）

柔道一部は
刑事・防犯
個人は
福田利直（伊勢崎）
群馬県警察柔道大会

昭和五十六年度群馬県警察柔道大会は八月二十六日（金）県武道館で開催された。

一部は新たに前橋東署が加わり十四チーム、二部十チームの団体戦及び個人戦が行われた。

本大会は出場制限を柔道指名選手以外は出場出来ることにしたため、好試合が続出し、大会は大きな盛り上りを見せた。

◇試合結果

【団体戦】

▽柔道一部
一　位　刑事・防犯
二　位　前橋署
三　位　警務・学校

▽柔道二部
一　位　大泉署
二　位　沼田
三　位　太田

▽個人戦
一　位　大沢　均（接骨師）
二　位　周東　（警察）
三　位　島居吉二（教員）
〃　高松守人（岡口病院）

（桜沢光雄記）

生年月日＝S7・3・16　49才
家族構成＝妻・長男・妻の母
家族の協力度＝唯一の趣味と思っているのか、柔道に関しては理解し、協力している。
柔道歴（五段）＝第一回国体教員の部関東大会出場、県教職員大会四段の部優勝
指導歴（主な戦績）＝
【昭和南中】
全国大会　第五位　出場二回
関東大会　準優勝　出場二回
県大会　優勝二回
県大会五年連続（新人戦・選抜大会・関東予選・県総体）第三位以上に入賞
【子持中】
関東大会　第五位　出場二回
新人戦　優勝　一回
県総体　準優勝　一回
県総体　三位　二回
▽56年度
選抜大会　三位
選抜大会二年生大会　三位

監督訪問

松沢　巻雄先生（子持中学教員）

井野豊穴段、中村栄弥穴段

来年の全国中学生大会の抱負

群馬大会には、地元として何としても入賞させたいと思う。できれば自分で育てた生徒で、と思っている。

中学生指導上の要点＝

私が指導した生徒の大方は、中学校へ入学してはじめて柔道衣を着る者がほとんどで、それこそ帯の結び方から、受け身に至るまで初歩的な指導から入るため、不断の指導が最も大切である。

まず柔道が楽しいスポーツであることを理解させる。決して危険なスポーツでないことを長い月日をかけて教える（二―三か月）

ついで相手を投げたとき、爽快な気分、そして格斗技における勝ったときの勝利感など、これらを生徒の体に覚えさせればあとは喜んで練習に参加するのではないかと思う。

最終出身校＝拓殖大学
趣　味＝柔道
好きな言葉＝「克己心」
恩師＝湯浅林太郎先生・高橋宗太郎先生（故人）
競友とライバル＝佐藤元親五段

前商商業五回戦へ進出
第55回金鷲旗大会

昭和五十六年度金鷲旗高校柔道大会は七月二十四・二十五日、福岡市民体育館で開催された。

古くから「九州を制する者は全国を制す」と言われ、全国から二五七校が参加した。

この大会は、高校柔道大会では最大の参加校数を有し、今日では全国高校総合体育大会柔道競技の前哨戦とも言われている。

本県からは、前橋商業と育英高校が出場し、前橋商業は五回戦へ進出、地元福岡代表の東海大第五校（昨年度同大会優勝校）と対戦し不戦一人で惜敗した。

◇試合結果（上段が勝）

▽二回戦
前橋商業（不戦三人）西海学園
育英高校（不戦三人）鹿児島中央

▽三回戦
前橋商業（大将同士）国士館
正強高校（不戦二人）育英高校

▽四回戦
前橋商業（不戦二人）比叡山高

▽五回戦
東海五校（不戦一人）前橋商業

（松本邦夫記）

斎藤（新治）／個人で三位
荻原（尾島）
第一回関東中学大会

第六回関東中学校柔道大会は八月十二日山梨県営体育館で団体戦及び個人戦が行われた。

団体戦では、尾島中、新治中が第五位に入賞、個人戦では軽量級に出場した斎藤基（新治中）荻原正士（尾島中）が健斗し、第三位に入賞した。

◇試合結果

【団体戦】

▽予選リーグ（末瀬中二敗）
末瀬中　0――⑤　弦巻中（東）
〃　1――③　勝浦中（千）

▽予選リーグ（尾島中二勝）
尾島中　②――1　茂原中（千）
〃　②――2　甲府北（山）

▽予選リーグ（新治中二勝）
新治中　②――1　平磯中（茨）
〃　③――1　西那須野（栃）

▽決勝トーナメント一回戦
尾島中　2――③　黒磯中（栃）
新治中　1――①　明大中野（東）

（代表戦）

◇試合成績
第五位　尾島中学・新治中学

【個人戦】

◇軽量級（24名出場）

▽一回戦
館野博光　○―　石井（黒磯）
（末瀬中）
荻原正士　○―　竹川（甲府）
（尾島中）

▽二回戦
斎藤　基　○―　村松
（新治中）　（西那須野）
館野博光　○―　横堀（茂原）
荻原正士　○―　若井（藤田）

▽準々決勝
斎藤　基　○―　田沼（六郷）
館野博光　○―　古賀（弦巻）
荻原正士　○―　藤井（平磯）

▽準決勝
斎藤　基　○―　古賀
荻原正士　○―　宮崎（勝浦）

◇試合成績
第三位　斎藤　基（新治中学）
第三位　荻原正士（尾島中学）

◇重量級（24名出場）

▽一回戦
縁　真和　○―　松原（上里）
（尾島中）
二階堂達道　―○三好（吉岡一）
（新治中）

▽二回戦
椿　孝浩　―○　柏葉
（末瀬中）　（明大中野）
縁　真和　―○　笹崎（市貝）

一部　前橋
二部　大泉
23回警察一般柔道大会

第23回警察一般合同柔道大会は九月六日（日）県武道館において開催された。

試合は一部・二部とも三組に分かれ予選リーグを行い、各組代表が決勝リーグへと進み、一部では前橋が、二部では大泉がそれぞれ優勝した。

尚個人戦では大沢均（接骨師）が優勝した。

◇試合成績

▽団体戦
一　位　前橋
二　位　沼田
三　位　太田

▽個人戦
一　位　大沢　均（接骨師）
二　位　周東　（警察）
三　位　島居吉二（教員）
〃　高松守人（岡口病院）

（桜沢光雄記）

新治中予選リーグで惜敗
全国中学大会

第12回全国中学生柔道大会は、八月十八日・日本武道館で開催された。

本県からは、新治中学が出場、予選リーグで惜敗したが、来年度の開催地は、58国体リハーサルとして群馬県（渋川市）で行われることが決定している。

◇試合結果

◇団体戦（47チーム参加）

▽予選リーグ（新治中一分一敗）
新治中　1――②　南山（長崎）
〃　[2]――[2]　会津若松一（福島）

国通制大会
全定・8・23　於講道館

第12回全国高等学校定時制通信制柔道大会は八月二十三日東京・講道館で開催された。

◇試合結果

【団体戦】

▽予選リーグ（群馬二敗）
群　馬　1――④　宮城城
群　馬　2――③　沖　縄

【個人戦】

▽二回戦
西山忠夫　送り絞め○工藤（秋田工）
松本国己○袖釣込腰　和田（長岡西）
（沼田）

▽三回戦
松本国己　襟後絞め○松下（北野）

（江原教男記）

順道館　桜井道場
桜井接骨院

館　長　七段　桜井　四五郎
師　範　六段　桜井　弘
師範代　五段　牛込　祥浩　五段　井上　公明
四段　木暮　弘元　四段　桜井　豊茂
四段　篠田　強一　四段　小野　和男
四段　尾崎　高　四段　反町　和久

高崎市飯塚町1040　電話　61―2502

練心館須藤道場
須藤忍接骨院

高崎市大八木町火の見下
電話　62―5614

高松守人（三段の部）が初優勝
一般女子 竹内史乃（田島）が勝つ
――柔道場連合会大会――

第二十八回県柔道場連合大会は九月十三日・七百五十人の参加者をあつめ開催された。

試合は小学校一年から中学三年までの学年別体重制の部と青年初段から三段までの部、今年から新設された一般女子の部を含め各部ともトーナメント戦で行われた。

大会では有段者三段の部で渋川市の高松守人（弘道館）が初優勝中学二年重量級では高崎市の狩野学（桜井道場）が小学校二年から七連勝、一般女子の部では前橋の竹内史乃（田島道場）が初優勝を飾った。

◇試合成績

【小学校一年の部】

▽軽量級 ①神保幸宏（剣持）②笠間嘉光（同）③服部健（同）

▽中量級 ①剣持伸彦（剣持）②小島秀一（同）③今井聡（修道館）荻野仁史（剣持）

▽軽重量級 ①新井昭和（桜井）②清水仁（石井）③白井達行（弘道館）田村邦彦（古平）

▽重量級 ①樋口毅（桜井）②赤沢良太（田島）③笹沢正臣（古平）大谷朋大（修道館）

【小学校二年の部】

▽軽量級 ①服部明（剣持）②沢口直樹（同）③塚越俊治（桜井）福島千豊（富沢）

▽中量級 ①清水健一（湯浅）②小牧英光（須藤）③佐藤義則（佐藤）石倉敏光（田島）

▽軽重量級 ①清水信治（石井）②河野裕正（石井）③小林功幸（神宮）土屋智靖（剣持）

▽重量級 ①近野好秋（剣持）②斎藤直樹（田島）③吉良武夫（三浦）若井真（田島）

【小学校三年の部】

▽軽量級 ①藤巻朝彦（湯浅）②横杉健司（湯浅）③福島和幸（関）小嶋健二（佐藤）

▽中量級 ①根林秀充（石川）②曽根将樹（桜井）③清水真（石井）酒井裕次（桜井）

▽軽重量級 ①斎藤孝幸（修道館）②田島淑充（田島）③松村和彦（松村）植原英樹（桜井）

▽重量級 ①川原裕道（石井）②須田崇司（弘道館）③原健寿（桜井）岸秀人（同）

【小学校四年の部】

▽軽量級 ①長谷川亮（佐藤）②横山貴志（湯浅）③酒井克仁（須藤）田中智（栄崎）

▽軽重量級 ①星野伸夫（関）②斎藤雅彦（剣持）③崎代世支人（剣持）斎藤慎佳（須藤）

▽重量級 ①松物谷武（石井）②宮寺雄一郎（湯浅）③清水延浩（桜井）内林哲也（弘道館）

【中学一年の部】

▽軽量級 ①坂本度（桜井）②井上利昌（同）③福田英俊（石原）佐藤敏彦（石井）

▽中量級 ①木暮広起（桜井）②大木茂行（同）③斎藤則之（田島）村田宏一（石原）

▽軽重量級 ①田辺宏（関）②大久保徹（田島）③沢口雅彦（剣持）飯塚和樹（古平）

▽重量級 ①小暮大輔（湯浅）②小野関純也（須藤）③飯野和仁（湯浅）松沢英行（須藤）

【中学二年の部】

▽軽量級 ①須田好和（弘道館）②西脇栄一（石井）③横山浩一（湯浅）小山義弘（神宮）

▽中量級 ①千野雄一（桜井）②田島隆行（田島）③有坂等（神宮）井上和巳（三浦）

▽軽重量級 ①星野悟（関）②田島章充（田島）③須藤秀朗（須藤）田中智（栄崎）

▽重量級 ①星野伸夫（関）②斎藤則之（田島）③崎代世支人（剣持）斎藤慎佳（須藤）

【中学三年の部】

▽軽量級 ①大沢正弘（神宮）②岡田健英（湯浅）③伊藤正司（田島）星野実（桜井）

▽中量級 ①菅野浩一（弘道館）②初見一博（関）③小渕一明（田島）崎代光（修道館）

▽軽重量級 ①佐藤信治（桜井）②大沢章伸（田島）③新井義道（古平）

▽重量級 ①福島信雄（石川）②市東幸之輔（関）③大山浩（神宮）島方守（桜井）

【有段者の部】

▽初段 ①富沢豊（田島）②石関和幸（田島）③石田達彦（同）石川雅明（石川）

▽二段 ①八木原真一（田島）②峰川昌之（同）③桜井薫（同）小岩豊弘（同）

▽三段 ①高松守人（弘道館）②小林茂（同）③新井良信（同）本田弘敏（桜井）

【女子の部】

▽小学校一・二年生①出沢知美（田島）②石井葉子（石井）③丸山容理子（古平）山田喜久枝（修道館）

▽小学校三年生 ①本田暁子（田島）②保坂美栄子（松村）③木暮優子（木暮）久保田邦子（三浦）

▽小学校四年生 ①柳井真奈美（佐藤）②福田里奈（木暮）③茂原和子（湯浅）土屋美佐（剣持）

▽小学校五年生 ①原佳子（桜井）②真川智子（同）③竹内里佳（田島）板橋真有子（剣持）

▽小学校六年生 ①斎藤いずみ（田島）②青木美佐（田島）③岸万里子（桜井）曽根幸子（同）

▽中学三年生 ①長竹秀子（剣持）②水野修子（田島）

▽一般女子 ①竹内史乃（田島）②綿瀬明美（佐藤）③原ふみ子（桜井）目黒弥生（弘道館）

◇試合成績

【小学校一年の部】

▽軽量級 ①神保幸宏（剣持）②笠間嘉光（同）③服部健（同）三木良治（石井）

▽中量級 ①剣持伸彦（剣持）②小島秀一（同）③今井聡（修道館）荻野仁史（剣持）

▽軽重量級 ①新井昭和（桜井）②清水仁（石井）③白井達行（弘道館）田村邦彦（古平）

▽重量級 ①樋口毅（桜井）②赤沢良太（田島）③笹沢正臣（古平）大谷朋大（修道館）

【小学校二年の部】

▽軽量級 ①服部明（剣持）②沢口直樹（同）③塚越俊治（桜井）福島千豊（富沢）

▽中量級 ①清水健一（湯浅）②小牧英光（須藤）③佐藤義則（佐藤）石倉敏光（田島）

▽軽重量級 ①清水信治（石井）②河野裕正（石井）③小林功幸（神宮）土屋智靖（剣持）

▽重量級 ①近野好秋（剣持）②斎藤直樹（田島）③吉良武夫（三浦）若井真（田島）

【小学校三年の部】

▽軽量級 ①藤巻朝彦（湯浅）②横杉健司（湯浅）③福島和幸（関）小嶋健二（佐藤）

▽中量級 ①根林秀充（石川）②曽根将樹（桜井）③清水真（石井）酒井裕次（桜井）

▽軽重量級 ①斎藤孝幸（修道館）②田島淑充（田島）③松村和彦（松村）植原英樹（桜井）

▽重量級 ①川原裕道（石井）②須田崇司（弘道館）③原健寿（桜井）岸秀人（同）

【小学校四年の部】

▽軽量級 ①長谷川亮（佐藤）②横山貴志（湯浅）③酒井克仁（須藤）田中智（栄崎）

▽軽重量級 ①星野伸夫（関）②斎藤雅彦（剣持）③崎代世支人（剣持）斎藤慎佳（須藤）

▽重量級 ①松物谷武（石井）②宮寺雄一郎（湯浅）③清水延浩（桜井）内林哲也（弘道館）

【中学一年の部】

▽軽量級 ①坂本度（桜井）②井上利昌（同）③福田英俊（石原）佐藤敏彦（石井）

▽中量級 ①木暮広起（桜井）②大木茂行（同）③斎藤則之（田島）村田宏一（石原）

▽軽重量級 ①田辺宏（関）②大久保徹（田島）③沢口雅彦（剣持）飯塚和樹（古平）

▽重量級 ①小暮大輔（湯浅）②小野関純也（須藤）③飯野和仁（湯浅）松沢英行（須藤）

【中学二年の部】

▽軽量級 ①須田好和（弘道館）②西脇栄一（石井）③横山浩一（湯浅）小山義弘（神宮）

▽中量級 ①千野雄一（桜井）②田島隆行（田島）③有坂等（神宮）井上和巳（三浦）

▽軽重量級 ①星野悟（関）②牛込章寿（桜井）③板橋達也（剣持）中村幹志（三浦）

▽重量級 ①菅野学（桜井）②斎藤泰光（田島）③佐藤浩澄（桜井）斎藤健治（田島）

【中学三年の部】

▽軽量級 ①大沢正弘（神宮）②岡田健英（湯浅）③伊藤正司（田島）星野実（桜井）

▽中量級 ①菅野浩一（弘道館）②初見一博（関）③小渕一明（田島）崎代光（修道館）

▽軽重量級 ①佐藤信治（桜井）②大沢章伸（田島）③新井義道（古平）

▽重量級 ①福島信雄（石川）②市東幸之輔（関）③大山浩（神宮）島方守（桜井）

【有段者の部】

▽初段 ①富沢豊（田島）②石関和幸（田島）③石田達彦（同）石川雅明（石川）

▽二段 ①八木原真一（田島）②峰川昌之（同）③桜井薫（同）小岩豊弘（同）

▽三段 ①高松守人（弘道館）②小林茂（同）③新井良信（同）本田弘敏（桜井）

【女子の部】

▽小学校一・二年生①出沢知美（田島）②石井葉子（石井）③丸山容理子（古平）山田喜久枝（修道館）

▽小学校三年生 ①本田暁子（田島）②保坂美栄子（松村）③木暮優子（木暮）久保田邦子（三浦）

▽小学校四年生 ①柳井真奈美（佐藤）②福田里奈（木暮）③茂原和子（湯浅）土屋美佐（剣持）

▽小学校五年生 ①原佳子（桜井）②真川智子（同）③竹内里佳（田島）板橋真有子（剣持）

▽小学校六年生 ①斎藤いずみ（田島）②青木美佐（田島）③岸万里子（桜井）曽根幸子（同）

▽中学三年生 ①長竹秀子（剣持）②水野修子（田島）

▽一般女子 ①竹内史乃（田島）②綿瀬明美（佐藤）③原ふみ子（桜井）目黒弥生（弘道館）

私と柔道

七段　島野留吉

私の七十年の人生で柔道をやってきたことは、私の人間形成に有形、無形に大きなプラスになったと思う。私は昭和六年三月、群馬師範を初段で卒業し、現在の大泉北小（旧小泉小）へ赴任した。幸い大泉町に町道場があったので、早速そこへ行って練習をした。当時の邑楽館林地区の柔道普及度は他地区と比べ極めて低くかった。当時私の知っている柔道指導者は館林町の正田外平氏（三段）館林中学（現高校）の新海一氏（三段）館林南小の金子申氏（三段）位で剣道と比較すると指導者において

も実施者においても比較にならなかった。幸い私も前橋武徳殿の昇段試合にはよく出ていたので、三段になることができた。また経験の浅い私が指導者の一員として、各地区の大会や青年団の大会に出場したことは、私にとって果してよかったかどうか疑問であるが、地区の実状で已む得なかった。私が曲りなりにも柔道をやり通せたことは、よきライバルとして、金子申君がいたからで、彼は群師卒が一年先輩で、四年間寄宿舎で同じ釜の飯を食った仲で、勤務校も彼は館林南小、私は館林北小で共に切磋琢磨したものである。当時前橋は遠隔地で昇段試合は思うように出られなかったが、昭和十一年五月に四段に昇段することができた。

満州時代

昭和十年八月、小学校教師の憧れの的であった、文部省の中学校検定試験（保健体育）に合格するも実施者においても比較にならなかった。幸い私も前橋武徳殿の昇段試合にはよく出ていたので、三段になることができた。また経験の浅い私が指導者の一員として、各地区の大会や青年団の大会に出場したことは、私にとって果してよかったかどうか疑問であるが、地区の実状で已む得なかった。私が曲りなりにも柔道をやり通せたことは、よきライバルとして、金子申君がいたからで、彼は群師卒が一年先輩で、四年間寄宿舎で同じ釜の飯を食った仲で、勤務校も彼は館林南小、私は館林北小で共に切磋琢磨したものである。当時前橋は遠隔地で昇段試合は思うように出られなかったが、昭和十一年五月に四段に昇段することができた。

明治四十二年生れ。群馬師範卒
昭和十三年ハルピン日本人中学校出向、昭和二十二年館林一中復職その後、佐貫・長柄・大泉北中各校長を歴任。元県柔道邑楽館林支部長。　講道館七段。

昭和十年八月、小学校教師の憧れの的であった、文部省の中学校検定試験（保健体育）に合格するも実施者においても比較にならなかった。幸い私も前橋武徳殿の昇段試合にはよく出ていたので、三段になることができた。また経験の浅い私が指導者の一員として、各地区の大会や青年団の大会に出場したことは、私にとって果してよかったかどうか疑問であるが、地区の実状で已む得なかった。私が曲りなりにも柔道をやり通せたことは、よきライバルとして、金子申君がいたからで、彼は群師卒が一年先輩で、四年間寄宿舎で同じ釜の飯を食った仲で、勤務校も彼は館林南小、私は館林北小で共に切磋琢磨したものである。当時前橋は遠隔地で昇段試合は思うように出られなかったが、昭和十一年五月に四段に昇段することができた。

満州時代

荻野浩一（渋中三年）が優勝

渋川市スポーツ祭

昭和五十六年十月四日第十回群馬県スポーツ少年団大会は八月九日、総合開会式が県総合運動公園で開催された。

◇試合成績

〔小学生の部〕

▽一年の部　①田中智則（総社）②吉田雄二（同）③後丸元信（同）共上幸（弘道館）

▽二年の部　①高橋健（同）②矢島尚行（榛名）③星田秀（弘道館）④須田始（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽三年の部　①荻野浩一（渋中）②星谷庄一（榛名）③星田秀（弘道館）④須田和幸（同）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽四年の部　①堀込孝子（同）②米山正幸（同）③星谷秀安久（弘道館）④中沢貴幸（榛名）⑤川野辺一弘（前橋）⑥小林学（同）

▽五年の部　①川野辺一弘（前橋）②荻野浩也（榛名）③堀込孝子（同）

〔女子の部〕

▽一年の部　①岡部広美（昭和南中）

▽二年の部　①星田秀（弘道館）②矢島尚行（榛名）③星谷庄一（榛名）④須田始（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽三年の部　①星谷庄一（榛名）②星田秀（弘道館）③星谷秀安久（弘道館）④須田和幸（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽四年の部　①堀込孝子（同）②米山正幸（同）③星谷秀安久（弘道館）④中沢貴幸（榛名）⑤川野辺一弘（前橋）⑥小林学（同）

▽五年の部　①川野辺一弘（前橋）②荻野浩也（榛名）③堀込孝子（同）

〔中学生の部〕

▽一年の部　①星田秀（弘道館）②矢島尚行（榛名）③星谷庄一（榛名）④須田始（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽二年の部　①高橋健（同）②矢島尚行（榛名）③星谷庄一（榛名）④須田始（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽三年の部　①荻野浩一（渋中）②星田秀（弘道館）③星谷秀安久（弘道館）④須田和幸（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽一年の部　①星田秀（弘道館）②矢島尚行（榛名）③星谷庄一（榛名）④須田始（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽二年の部　①高橋健（同）②矢島尚行（榛名）③星谷庄一（榛名）④須田始（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽三年の部　①荻野浩一（渋中）②星田秀（弘道館）③星谷秀安久（弘道館）④須田和幸（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽四年の部　①堀込孝子（同）②米山正幸（同）③星谷秀安久（弘道館）④中沢貴幸（榛名）⑤川野辺一弘（前橋）⑥小林学（同）

▽五年の部　①川野辺一弘（前橋）②荻野浩也（榛名）③堀込孝子（同）

〔女子の部〕

▽一年の部　①岡部広美（昭和南中）

▽二年の部　①星田秀（弘道館）②矢島尚行（榛名）③星谷庄一（榛名）④須田始（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽三年の部　①荻野浩一（渋中）②星田秀（弘道館）③星谷秀安久（弘道館）④須田和幸（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽四年の部　①堀込孝子（同）②米山正幸（同）③星谷秀安久（弘道館）④中沢貴幸（榛名）⑤川野辺一弘（前橋）⑥小林学（同）

▽五年の部　①川野辺一弘（前橋）②荻野浩也（榛名）③堀込孝子（同）

新沼（渋中）が優勝

7・19剣振・沼田中学校体

◇試合成績

〔市の部〕

▽三一位　沼田中学校

▽三一位　池田中学校

▽三一位　利南中学校

▽個人戦（各種優勝者のみ）

中堅級　小林　孝（渋中）

重量級　佐藤一也（榛名）

▽女子の部

一位　岡部広美（昭和南中）

〔郡の部〕

▽団体戦

▽三一位　新沼中学校

▽三一位　水上中学校

▽個人戦（各種優勝者のみ）

中堅級　小林　孝（渋中）

重量級　佐藤一也（榛名）

▽女子の部

一位　岡部広美（昭和南中）

榛名町が優勝

群馬郡民体育大会

昭和56年度群馬郡民体育大会柔道競技は九月二十日榛名町武道館において開催された。

◇試合成績

〔団体の部〕

一位　榛名町チーム

二位　箕郷町チーム

三位　群馬町チーム

〔個人の部〕

▽一般の部（十名参加）

▽一回戦

（榛名）○一本勝ち●（箕郷）

▽二回戦

（榛名）○一本勝ち●（群馬）

▽準決勝

（榛名）○一本勝ち●（箕郷）

▽決勝

（榛名）○一本勝ち●（群馬）

〔中学生の部〕

▽一年の部　①川野辺秀明（渋中）②井野口吉正（前橋）③荻野浩也（榛名）④星谷庄一（榛名）

▽二・三年の部　①星田秀昭（渋中）

▽一般・初段の部　①榛井守也（伊香保中記）

柏物会（石井）が四年連続優勝

県小学生総体

第五回群馬県小学生総合柔道大会は十月十八日県武道館において開催された。

午前九時に開始された競技は、参加者八六三名（内女子四七名）、父母や先生の見守る中で熱戦が展開された。第一回戦で姿を消していく強豪たちの中で、（石井道場）は、六年生重量級決勝で高山（宮古道場）を下し四年連続の優勝を手中にした。

◇試合成績

〔小学校三年の部〕

▽軽重級　①荻原真也（榛名）②星谷庄一（榛名）③星田秀（弘道館）④須田始（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽中重級　①内村智幸（赤城）②星谷秀安久（弘道館）③星田秀（弘道館）④須田和幸（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽重重級　①荻原真也（榛名）②星谷庄一（榛名）③星田秀（弘道館）④須田始（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

〔小学校四年の部〕

▽軽重級　①荻原真也（榛名）②星谷庄一（榛名）③星田秀（弘道館）④須田和幸（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽中重級　①荻原真也（榛名）②星谷庄一（榛名）③星田秀（弘道館）④須田始（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽重重級　①荻原真也（榛名）②星谷庄一（榛名）③星田秀（弘道館）④須田始（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

〔小学校五年の部〕

▽軽重級　①荻原真也（榛名）②星谷庄一（榛名）③星田秀（弘道館）④須田和幸（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽中重級　①荻原真也（榛名）②星谷庄一（榛名）③星田秀（弘道館）④須田始（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽重重級　①荻原真也（榛名）②星谷庄一（榛名）③星田秀（弘道館）④須田始（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

〔小学校六年の部〕

▽軽重級　①荻原真也（榛名）②星谷庄一（榛名）③星田秀（弘道館）④須田和幸（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽中重級　①荻原真也（榛名）②星谷庄一（榛名）③星田秀（弘道館）④須田始（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽重重級　①荻原真也（榛名）②星谷庄一（榛名）③星田秀（弘道館）④須田始（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

〔中学生の部〕

▽軽重級　①荻原真也（榛名）②星谷庄一（榛名）③星田秀（弘道館）④須田和幸（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽中重級　①荻原真也（榛名）②星谷庄一（榛名）③星田秀（弘道館）④須田始（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

▽重重級　①荻原真也（榛名）②星谷庄一（榛名）③星田秀（弘道館）④須田始（榛名）⑤小林学（同）⑥星野正浩（伝馬）

農大二高優勝

25回群馬県社大会

第25回群馬県社会人柔道大会は十月十六日（金）高崎市武道館で

▽軽重級の部（参加者12名）

（伊香保記）

素道講習会

邑楽館林支部

邑楽館林支部では、七月十三日から二十八日まで、毎週日曜日に柔道の技術向上を図るため、小・中・高校・一般柔道をひとまとめにした講習会を開催した。

講習会は毎日六十名を越える参加があり、活発な稽古が展開され、合同の練習方法等を話し合い、指導部が指導し、参加者の充実をはかった。

（中里伍一記）

沼田市が優勝

青年柔素道大会

第8回群馬県青年柔道体育の集いは、四チームが参加し、九月二十日（日）県武道館において開催された。

◇試合成績

四位　三位　二位　沼田（三勝）　二位　利根（二勝一引分一敗）　三位　藤岡（二勝一引分一敗）

群馬地区支部

法社人団

群高崎・馬県接骨師会

清坂桜桜小鎌岡牛牛明
水井井暮塚田込込川
雄紀　正芳祥弘仙
三夫弘茂良浩明源
須新桜桜岸金大牛市
藤藤井井　井谷込岡
清漳豊四五郎倶秀万良
春二茂美美人輩夫三

松森間広鈴石中武横宮藤萩中筑武須清坂
沢下庭神木井沢井谷原井原村井田藤水井
清明陽達行　弘　利正猛通武良知　雄紀
昭光太郎枝正洋二勤夫孝司夫雄治之忍三夫
川間羽鈴小青贏吉湯丸平萩戸立高須清坂
浦庭鳥木野木　田浅山井原所木橋藤井井
美憲貞　和伸正秀林　亀俊芳其弘清漳豊
好一子保男一仁雄繁夫幸男澄子春二茂

ぐんま柔道

発行所　群馬県柔道連盟
発行人　関口　恒五郎
編集室
高崎市飯塚町1040
桜井　弘
電　話　0273—61—2502

嘉納師範遺訓

柔道は心身の力を最も有効に使用する道であるその修業は攻撃防御の練習に由って身体精神を鍛錬修養し斯道の神髄を体得する事であるそうして是に由って己を完成し世を補益するが柔道修行の究竟の目的である。

県段別選手権

初段・吉原、2段・秋元、3段・高松、4段・伊丹、5段・佐藤が優勝

昭和五十七年群馬県柔道段別選手権大会は二月七日、県武道館において開催された。

初段の部決勝は、吉原（前商）対岸部（育英）との対戦、吉原は内股、大内刈、送り足払いで攻勢に試合を進め、一発を狙う岸部の内股、背負をつぶし初優勝。

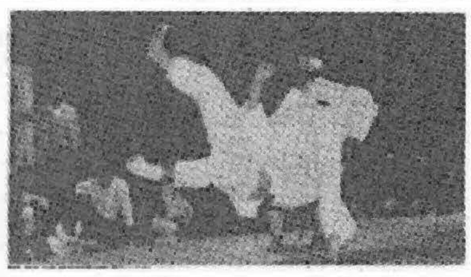
二段の部決勝は、秋元（上武）対菊地（三洋）との対戦で、秋元が試合開始直後の組み際、小外掛で技有りを取り、そのまま上四方固めで抑えて優勝。

三段の部では、高松（渋川）対金子（前橋）の決勝となり、金子左の内股で攻撃するが機を狙う高松は、左内股で極め優勝。

激戦が予想された四段の部では、順当勝ちしてきた伊丹（前橋）対沖田（渋川）の対戦となり、沖田が試合開始早々にかけた右大外刈を伊丹が見事な返し技で破り、優勝した。

五段の部決勝は、佐藤（富岡）対塚田（藤岡）との戦いとなり、佐藤右からの大外刈、払い腰と攻めるが効果なく、塚田も支釣込み足や右からのゆさぶりを見せるが両者極め手なく、再三攻撃にまわった佐藤が優勢勝となる。

◇試合結果
（初段の部）42人出場
▽準決勝
○岸部俊一　払い腰　星野隆（前商）
○吉原秀忠　払い腰　松本智（前商）
▽決勝
○吉原秀忠　僅差　岸部俊一（二段の部）19人出場
▽準決勝
○秋元利也　大内返　吉田一夫（上武）
○菊地修一　払い腰　長橋正宏（三洋）
▽決勝
○秋元利也　合せ技　菊地修一（三段の部）27人出場
▽準決勝
○金子利明　僅差　小柴伸一（前商）（県警）
○高松守人　僅差　須藤隆（渋川）（県警）
▽決勝
○高松守人　内股　金子利明（四段の部）14人出場
▽準決勝
○伊丹弘明　僅差　寺町良次（前橋）（渋川）
○沖田興一　僅差　大沢盛夫（渋川）（県警）
▽決勝
○伊丹弘明　大外返　沖田興一（五段の部）5人出場
▽準決勝
○佐藤隆　内股　関東正夫（富岡）（藤岡）
○塚田純也　僅差　雒井良一（富岡）（県警）
▽決勝
○佐藤隆　僅差　塚田純也



堀江、木暮を降して西軍の優勝を決める

市の部前橋
郡の部利根
県民大会

第十九回県民体育大会柔道競技は、十一月一日、県武道館で開催された。

市の部では、三年連続して渋川対前橋の決勝戦となり、渋川は前橋を破り三年連続、五回めの優勝を飾った。

郡の部では、常勝利根をどのチームが破るかに期待がもたれたが準決勝で勢多に内容勝をし、決勝でも甘楽を破り十六回めの優勝に輝いた。過去、利根以外の郡では勢多が一・十五回、吾妻が十六回大会に優勝しただけであり、他の郡の奮起が望まれる。

（市の部）
◇試合結果
▽一回戦
館林Ⓐ——⑤渋川
藤岡②——Ⓐ富岡
（内容）
前橋③——Ⓐ太田
▽二回戦
高崎Ⓐ——④渋川
伊勢崎④——Ⓐ安中
沼田④——Ⓐ藤岡
前橋④——Ⓐ制生
▽準決勝
渋川③——Ⓐ伊勢崎
沼田Ⓐ——②前橋
▽決勝
渋川③——Ⓐ前橋
○新井隆義　上四方　茂木克之
星野　隆　注意　㊁高橋康弘
㊀小林　茂　大外刈　大沢　均
鳥居吉二　引分　竹原敏郎
○沖田興一　大外刈　伊丹弘明
◇試合成績
①渋川　②前橋　③伊勢崎・沼田

（郡の部）
◇試合結果
▽一回戦
佐波④——Ⓐ群馬
新田Ⓐ——③甘楽
山田Ⓐ——③勢多
利根①——Ⓐ吾妻
▽二回戦
多野②——Ⓐ佐波
甘楽③——Ⓐ北群馬
邑楽Ⓐ——③勢多
利根⑤——Ⓐ碓氷
▽準決勝
甘楽③——Ⓐ多野
利根②——Ⓐ勢多
（内容）
▽決勝
利根①——Ⓐ甘楽
新井美智男引分　長井俊行
○綿貫弘樹　不戦勝　青井浩
原沢研祐　引分　中野恒次
生津義雄　引分　植木良夫
堤利夫　引分　碓氷良一
◇試合成績
①利根　②甘楽　③多野・勢多

利根郡チーム

東西対抗

優秀選手に、萩原・小林・大沢・堀江・木暮の五選手

第十六回群馬県東西対抗柔道大会は、昭和五十六年十一月八日、午後一時から前橋市民体育館柔道場で開催された。試合結果は左の通りで、西軍の五将堀江英也が、東軍の大将木暮昌利を見事な内股で決めて西軍が優勝した。

これで両軍の対戦成績は八勝八敗となった。

東軍
監督　七段　高山　明
コーチ　六段　桃澤　光雄

1	石川　雅明	初段	(佐伊)	前橋育英高校
2	富沢　豊	初段	(前橋)	前橋育英高校
3	磯田　利雅	初段	(前橋)	前橋育英高校
4	若井　勝則	初段	(佐伊)	前橋工業高校
5	吉田　一夫	初段	(前橋)	前橋商業高校
6	大川　勝利	初段	(邑館)	東京三洋
7	小淵　伸治	初段	(邑館)	東京三洋
8	佐藤　達也	二段	(前橋)	前橋商業高校
9	八木原真一	二段	(前橋)	前橋育英高校
10	大津　正幸	二段	(邑館)	東京三洋
11	菊地　修一	二段	(山田)	樹徳高校
12	茂木　克之	二段	(前橋)	前橋育英高校
13	野尻　猛	二段	(佐伊)	前橋工業高校
14	森　英也	二段	(勢多)	前橋商業高校
15	松沢　浩	二段	(邑館)	自営
16	生田目祐二	三段	(前橋)	千代田生命
17	小野塚　弘	三段	(新太)	関口接骨院
18	山崎　政男	三段	(前橋)	田島接骨院
19	成塚　文隆	三段	(山田)	関口接骨院
20	大沢　均	三段	(前橋)	東京柔専
21	奥沢　利男	四段	(邑館)	館林消防署
22	伊丹　弘明	四段	(前橋)	前橋南高校
23	竹原　敏郎	四段	(前橋)	前橋東高校
24	栗原　秀行	五段	(佐伊)	伊勢崎農協
25	木暮　昌利	五段	(新太)	自営

西軍
監督　七段　松本大五郎
コーチ　六段　桜井　弘

1	吉原　秀忠	初段	(高崎)	前橋商業高校
2	萩原　賢一	初段	(高崎)	東京農大二高
3	金井　福明	初段	(北渋)	渋川高校
4	森田喜美雄	初段	(北渋)	前橋商業高校
5	綿貫　弘樹	初段	(利沼)	前橋育英高校
6	佐藤　美洋	初段	(利沼)	利根商業高校
7	須藤　真矢	初段	(利沼)	利根商業高校
8	永井　俊行	二段	(確安)	前橋育英高校
9	小室　守	二段	(利沼)	前橋商業高校
10	緒方　直樹	二段	(利沼)	前橋育英高校
11	星部　俊一	二段	(確安)	前橋育英高校
12	恵後原力夫	二段	(多藤)	藤岡高校
13	清水　一彦	二段	(高崎)	桜井接骨院
14	武井　光浩	二段	(利沼)	前橋商業高校
15	新井　隆義	二段	(北渋)	前橋商業高校
16	荒木　泰三	三段	(北渋)	荒木工務店
17	大沢　哲夫	三段	(北渋)	前橋刑務所
18	高松　守人	三段	(北渋)	関口病院
19	小林　茂	三段	(北渋)	関口病院
20	萩原　正明	四段	(高崎)	牛込接骨院
21	堀江　英也	四段	(利沼)	池田中学
22	沖田　興一	四段	(北渋)	関口病院
23	鳥居　吉二	四段	(北渋)	渋川工業高校
24	佐藤　隆	五段	(甘富)	自営
25	雒井　良一	五段	(甘富)	月形中学校

くろおび

今年の県選手権大会は、史上最多の八十三人の選手が出場した。全日本選手権につながるこの大会は、言わば柔道選手の登竜門である。以前は参加者が少なく、関東予選に推せんで出場させた年もあった。正に隔世の感がする。

◆県柔連あげての柔道普及と選手強化の成果である。とくに各支部長の不断のご努力と強化部の熱意の賜であろう。顧わくば、この選手の中より毎年、全日本選手権に出場できる本県代表選手の出現を期待したい。

◆上位四名の内わけは、教員二人、大学生一人、接骨師一人であった。昨年の国体選手成年の部は、教員三人、大学生一人、柔専学生一人であった。ともに県警の選手がいないのが寂しい。数年前までは、本県国体選手の大半は県警選手でしめられ、残りは接骨師であった。教員や学生の付け入るすきはなかったのである。

◆立場は完全に逆転した。県警チームの奮起を大いに期待したい。県選手権でも教員や大学生、高校生が大活躍した。その陰で、選手づくりに情熱をもやす若い監督達の努力も見逃せない。上武大の中島氏、群大の小川コーチ、前商の松本氏、育英の新井氏、北毛の地で孤軍奮斗している利根商の佐藤氏らの手腕は高く評価される◆さて、教員や教員志望の学生の進出がめざましいと言うことは、当面の目標である、あかぎ国体は勿論のことであるが、国体以後に大きな希望がもてる。彼らが選手生活を終えたのち、教師として選手づくりに、その情熱を注ぐことであろう。指導者として競い合う彼らの手腕にも、大いに期待したい。（錯雷）

柔連碓氷・安中支部

支部長	田中政一	理事長	荻原行雄
副支部長	後閑周之介	副理事長	荒川一雄
副支部長	大井宏		

東北柔専に辛勝

対東北柔専親善試合

五十六年の最後の試合、対東北柔専親善試合は、十二月六日、県武道館で行われた。

一昨年は8対6で辛勝、昨年は力の差が大きく18対2と大差となったが、今年は力が伯仲し、9対7で辛勝した。

東北柔専
竹谷　斉　引分　茂木克之
高崎康二　引分　吉原秀忠
㈢作道一成　返し技　佐藤達也
中沢信成　大外刈　○熊井宏之
中野真次　引分　井野正彦
川村順子　体落し　㈢山口敦司
福田　充　内股　○岸部俊一
成田浩介　引分　森　英也
原田　満　引分　柳下卓哉
○石橋　徹　背負投　長横正宏
荒井一男　引分　原田英昭
○田村久伸　武背負投　福田昌広
谷川　弘　引分　大澤昌之

あかぎ国体も、いよいよ来年に迫り身の引締る思いがいたします。今年は、その前段リハーサル大会として第13回全国中学校柔道大会が8月22日・23日に、又リハーサル大会に準じて第7回関東中学校柔道大会がその直前の8月11日・12日に、それぞれ渋川市の国体予定会場で開催されます。

この二つの大会は、ご承知のように学校教育内活動の一環として行われるため、中体連基準によってあかぎ国体の実行委員会とは別に、この大会のための実行委員会が組織されます。この2月には実施計画及び予算を決めるための総会を開き、具体的な準備作業が開始されることになっています。

会場については、すでに昭和55年10月に完成し、庭園・プロムナード・植栽・駐車場及び会場周辺道路も56年末にはほぼ出来上がりました。開口会長が称賛してくださっているように、国体会場としては他に例のないすばらしい環境であります。

榛名山のふところに抱かれ、北に白根及び谷川連峰を、東に日光連山、晴れた日には筑波山を、又南には会場地の足もとから関東平野が広がっています。さらに、当国体のテーマにも掲げられた雄大な赤城山を目前にし、日本一長い裾野は、この会場周辺から眺めるのが最も美しいとさえ言われています。

私どもにとって全国から参加者を迎えるのに、これほど自慢できるものはないと思っています。あとは市民総参加によって国体を盛上げ、渋川での大会が参加者の皆さんにとって忘れられない思い出となるように願っています。

又、競技の運営については柔連の皆さんの範疇となりますが、これを円滑に処理していくのは開催市の責任であります。柔連の皆さんと緊密な連けいをはかり、いろいろと御意見を伺いながら遺漏のないように努めていきたいと考えています。

過日、開口会長と渋川市長との会談でも明らかにされたように、市長はあかぎ国体の成功に向けて全力投球することを約束しました。

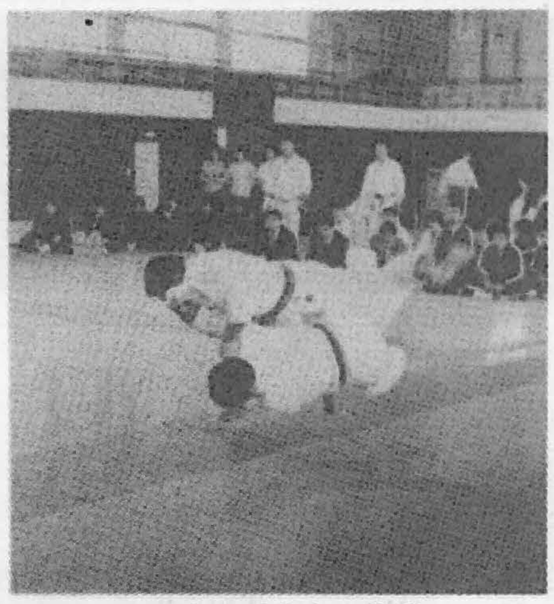
あかぎ国体
渋川市国体室長　町田修平

あかぎ国体の成功は、選手等参加者に喜んでいただける方策や、渋川市をよく知っていただくための市民運動等の盛上げなどについても事務局へ直接、市長から指示されています。

私どもは、開口会長の気概を初め柔連の皆さんの折に触れての御指導を絶えず心して事務作業を進めていきたいと考えます。

現在、リハーサル大会を含めて、大会の実施計画の素案を作成中ですが今後とも逐一御相談をしたいと思います。何かと不行届きのことがあろうかと思いますが、柔連の皆さんとは一心同体であり、遠慮なく何でも申し付けてくださるようこの紙面を借りてお願いする次第であります。

柔連の益々の御発展とあかぎ国体の成功を祈念しまして、事務局からの国体だよりといたします。



対東北柔専との熱戦

講道館柔道試合審判規定・少年規定

昭和57年1月制定

少年（中学生・小学生）の柔道試合は、当分の間「講道館柔道試合審判規定」のうち、次の条項を加え、あるいは置き換えたものによって行うものとする。

一、加えるもの

第三十条（禁止事項）に、禁止事項として次の号を加える。（付反則の判定基準）

(1)　立ち勝負のとき

ア、相手の後（裏）襟、背部または帯を握ること……「指導」但し、

(ア)技を施すため、瞬間的（一―二秒程度）に握るのは認められる。

(イ)背部または帯を握ることについては、相手の腋下から手を入れて瞬間的に握るのはよいが、肩越しまたは腕越しに握った場合は瞬間的であっても反則とする。

イ、両膝を城初から同時について背負投げを施すこと……「注意」以上

ウ、いきなり相手の脚（足）

・無理な巻込み技

・相手の首を抱えて施す大外刈、払い腰、など

(4)固技などで頸の関節および脊椎に故障を及ぼすような動作をすること……「指導」以上

二、置き換えるもの

(1)第二十六条（抑え込み及び解けたの宣告）

主審は「抑え込み」が完全にその体勢に入ったと認めたとき「抑え込み」と宣告する。「抑え込み」と宣告された後で技をはずしたときは「解けた」と宣告する。とあるを、主審は「抑え込み」が完全にその体勢に入ったと認めたとき「抑え込み」と宣告する。ただし、第三号「(3)絞め技と関節技では、技の効果が十分現われたとき」とあるを、(注)の方法を採り入れ(3)絞め技と関節技ではその効果があると認めたとき、審判員は見込によって「一本」の判定を下す。

(2)第三十五条（一本の判定）第三、反則の適用を特に厳正にする事項

(1)故意に相手と取り組まず、勝負を決しようとしないこと。（第三十三条　禁止事項(11)）

(2)立ち勝負のとき見苦しい姿勢をとること。（第三十三条　禁止事項(12)）

(3)立ったままで、試合者が互いの手の指を組み合わす姿勢を続けること。（第三十三条　禁止事項(7)）

(4)服装を乱すこと及び審判員の許可を得ないで勝手に帯等を締め直すこと。（第三十三条　禁止事項(8)）

(5)試合中に無意味な発声や相手の人格を無視するような言動をすること。（第三十三条　禁止事項(27)）

（光山武嘉記）

少年試合規定を追加

57年1月講道館試合審判規定

前商 全国高校選手権へ

関東高校新人

第四回関東高校柔道新人大会兼全国高校柔道選手権関東地区大会は、二月十一日、東京講道館で開催された。

本県からは、前商、育英・高崎利根商の四校が出場、前商はベスト8に入り四年連続全国大会への出場権を得た。

◇試合結果（上段が勝ち）

▽一回戦

東海相模　五人残　高崎高校
前橋商業　四人残　東海甲府
足立高校　一人残　利根商業
国学栃木　一人残　前橋育英

▽二回戦

前橋商業　二人残　黒磯高校
▽準々決勝
世田谷高　二人残　前橋商業
前橋商業は三月二十一日日本武道館で行われる全国大会へ出場する。

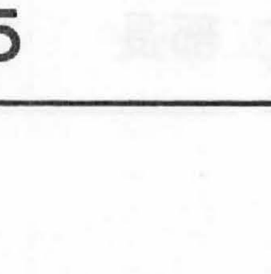
監督訪問

渋川中学校・桜井守先生

出身地＝安中市磯部
生年月日＝S33・10・4　22才
出身校＝富岡高等学校・群馬大学教育学部。
職業＝教員・渋川中学校勤務
サイズ＝身長170・体重93・胸囲106・足26・5
柔道歴＝(参段)　S54・県段別
弐段の初優勝　S54・東京近県段別弐段の部第三位　S55・県段別参段の部優勝　S55・東京近県段別参段の部第三位　S54・全国々立大学柔道優勝大会準優勝　S55全国々立大学柔道優勝大会優勝（群馬大初優勝）
家族構成＝両親・弟
得意技＝体落し・大外刈
趣　味＝音楽・レコード鑑賞
好きな言葉＝「努力」
目標＝目標とはいえないが、今は精一杯頑張りたいと思ってます。
恩師＝(高校)今井孝造先生（大学）大林宥範先生、小川正行先生
親友とライバル＝西沢誠・村上晴久両君
柔道との出合＝テレビ番組「柔道一代・姿三四郎・柔道一直線」で興味をもち、安中二中に入学後柔道部へ入部した。
理想とする女性のタイプ＝明るくてやさしい人。
来年度の全国中学生大会の抱負＝あかぎ国体のリハーサル大会なので県代表チームは、活躍してほしい。同大会は、渋川市で開催されるので渋川中学としては、出場を目指し、のこる期間頑張って行きたいと思います。
県柔連に対する希望＝中学生を中心とした強化練習や講習会を数多く開催してほしい。

中国遠征で大活躍

高橋英雄（法大）



全日本学生選抜中国遠征に選ばれた法政大学四年高橋英雄（78kg以下・利根商卒）は、佐伯弘治団長以下十七名一行と十一月十九日から十二月二日までの間、中国各地をまわり、試合及び合同練習等を行った。

試合は北京で、中国ナショナルチームと三試合、南京連合軍との試合、又模範試合等を行ったが、高橋の試合成績は四勝一分と大活躍であった。

小畑（86kg以上）準優勝

関東甲信越大会

第三十回関東甲信越体育大会柔道の部は八月一・二日水戸商高体育館において開催された。

団体戦は予選リーグで埼玉大・筑波大に破れ予選落ちをしたが、個人戦86kg以上級で小畑（教育四年）が準優勝をした。

◇試合結果

【団体戦】

▽予選リーグBブロック

群馬大学　0―⑤　筑波大学
〃　3―④　埼玉大学
〃　⑥―1　横市大学
〃　④―1　信州大学
〃　④―1　新潟大学

【個人戦】

65kg以下　新井賢市（二回）
71kg以下　富沢　厚（〃）
78kg以下　島田浩伸（〃）
86kg以下　熊井宏之（三回）
86kg以上　小畑弥富（準優勝）

群大初戦を飾れず

11・8全日本学生柔道優勝大会

◇試合成績

▽二回戦

群馬大　1―――⑤　法政大

共立織物株式会社
ネクタイ・カバン地・婦人服地・その他
社長　小池久雄　　専務　高草木保
桐生市相生町2-398　電話 0277 (53) 3115

前商が育英を破り優勝

県高校新人

昭和五十六年度県高等学校柔道新人大会は、十一月十五日、県武道館で開催された。

◇試合結果

▽二回戦

桐南Ⓐ―③榛名
樹徳④―Ⓐ渋工
万場Ⓐ―⑤農二
中央Ⓐ―③長野原
蚕系Ⓐ―②新島

▽三回戦ー

前商⑤―Ⓐ榛名
吉井Ⓐ―③大泉
高商③―Ⓐ中条
桐工Ⓐ―③伊工
西邑楽Ⓐ―⑤樹徳
高北Ⓐ―⑤館林
勢農⑤―Ⓐ太工
農二Ⓐ―②高崎

（内容）

利商⑤―Ⓐ長野原
富岡Ⓐ―③利農
前東②―Ⓐ

（代表戦）

伊商Ⓐ―③佐波農
渋西Ⓐ―④高工

前商チーム

前橋⑤―Ⓐ藤工
（不戦勝）
渋川④―Ⓐ藤岡
新島Ⓐ―⑤育英

▽三回戦

前商⑤―Ⓐ大泉
高商④―Ⓐ伊工
樹徳③―Ⓐ館林
勢多農Ⓐ―⑤高崎
利商⑤―Ⓐ利農
前橋東②―Ⓐ佐波農

（内容）

高工Ⓐ―②前橋

（代表）

渋川Ⓐ―⑤育英

▽準々決勝

前商⑤―Ⓐ高商
樹徳Ⓐ―②高崎

（内容）

利商④―Ⓐ前東
前橋Ⓐ―⑤育英

▽準決勝

前商④―Ⓐ高崎
育英③―Ⓐ利商

▽決勝

前商②―Ⓐ育英

○吉原秀忠　小外刈　緒方
○新井隆義　上四方　石川
森田　注意　㊀佐藤達也
吉田　引分　八木原
大津　引分　磯田

私と柔道

六段　小川越久

私が柔道を始めたのは、旧制沼中一年生の時です。私は早く入学した関係で身体も小さく、一緒に通学する先輩から「お前は年も身体も小さく、80人も部員のいる柔道部ではとても選手にはなれない。野球部ならば部員も少なく選手になれるから…」といわれたので、腕曲りの私は、あえて柔道部に入りました。

当時の先生は沼中ＯＢの藤本先生で、四年生には村沢肇さんが居り、特に可愛がってもらいました。又明治大学の主将をされていた橋本仁市先生（後の佐賀柔連故杉町仁市九段）が一年余り指導に来ておられ激しい稽古をして下さいました。五年間の部活動は、苦しい中にも楽しい思まれたものでした。

昭和八年沼中を卒業、師範への進学をすすめた両親の願いに逆って、会社就職を希望したのですが、不況時代で思わしい勤め口もなく過ごしていた処へ、沼小から「柔道教師が転出したので…」と口がかかり、柔道が出来るという事にひかれ教員となり、七年程を過ごしました。その間沼小が郡大会、県大会に尋常科、高等科同時優勝、薄根小では柔道部を作り、郡大会で優勝する等、恵まれたなつかしい思い出となっております。

沼田の運送店が日通に統合した時、沼中時代の柔道部後援会長だった金井支店長が「お前が柔道をやったように、熱心に仕事をするならば」との条件で沼田日通へ入社。一年余りで応召、三重県海軍航空隊に配属になりました。ここでも柔道が幸いし、航空隊の大会で優勝したため、一等兵でありながら異例の扱いを受け、予科練習生の柔道指導に明け暮れ、一切の戦闘配置につきませんでした。

復員後柔道が出来るようになるや、同志を糾合、利根沼田支部の前身を作り、藤本先生の帰還を待ちました。藤本先生も戻り、やがて須田さんが支部長になり、利根沼田支部も年毎に充実、三十年には武徳殿が、五十年には沼小記念体育館が同志の協力で出来ました。

四十八年にはややもすれば柔道から遠ざかり勝ち、忘れ勝ちの人達の足止めも兼ね、現役を引いた四段以上の者で、柔道同友会を作り、支部を側面から応援することが、私に果せられた使命と考えております。

柔道をはじめて五十有余年を振り返って見る時、私の人生の節々に柔道がその道を拓いてくれた事は枚挙にいとまありません。

その中でも県柔連会長関口恒五郎氏や現月夜野町長の西山保之助氏（四段）には特にお世話になりました。そして私が日通を退職し現会社を設立した時、須田・石沢斎藤氏の前正副支部長の物心両面に亘る、親身も及ばぬ協力を得たこと等、私の人生において何時も柔道を通じての絆が、難問を解決してくれました。

現在六十才を半ば越えた私は、柔道の道に入った事を心から喜び感謝しております。

そして今後、その感謝をこめて柔道への献身を忘れないようにと心に誓い、五八国体に向って、群馬柔道の大飛躍を祈念しつつ、駄文の筆を措かせて戴きます。

大正五年生　旧姓真下
フタバ繊産（株）代表、利根沼田支部相談役、利根沼田柔道同友会副会長。　昭和33年　六段

沼田中代表戦で尾島中をくだす

県中学校新人

第八回県中学校新人柔道大会兼昭和五十七年度関東中学校大会第一次予選は、十月二十五日（日）県武道館において開催された。

大会は、地区予選を通過した四十八校の代表によって、予選リーグから熱戦が展開された。

決勝戦は、沼田中対尾島中との対戦となり、試合は一対一の同点で代表戦となる。

沼田中代表の笠間は尾島中川島を合せ技で極め優勝した。

来年度渋川市で開催される全国中学生大会の活躍を本大会の上位校に期待したい。

尚同大会で優秀選手五人。敢闘賞校十二校が表彰された。

◇試合結果

〔決勝トーナメント〕

▽一回戦

子持中学　④―1　万場中学
東中学　0―④　下仁田東
館林一中　③―1　笠懸中学
昭和南中　0―④　沼田中学
尾島中学　④―1　赤堀中学
嬬恋西中　1―②　前橋四中

優勝した沼田中

渋川中学　③―1　榛東中学
邑楽中学　2―③　新治中学

▽準々決勝

子持中学　③―0　下仁田東
館林一中　0―⑤　沼田中学
尾島中学　③―1　前橋四中
渋川中学　②―1　新治中学

▽準決勝

子持中学　2―②　沼田中学

（内容）

尾島中学　③―1　渋川中学

▽決勝戦

沼田中学　①―1　尾島中学

（代表戦）

（先）谷田　製茂○生方
次武田　引分　笠間
中川島　○内股　小室
副古石　引分　竹渕
大松島　引分　青木

（代表戦）

川島○合技笠間

▽優秀選手（五人）

埴田直勝（子持中）青木明夫（沼田中）松島孝行（尾島中）斎藤泰光（前四中）須田好和（渋川中）

▽敢闘賞校（十二校）

万場中、東中（勢多）下仁田中館林一中、笠懸中、昭和南中、赤堀中、嬬恋西中、前橋四中、榛東中、邑楽中、新治中

前商、一人残して育英に勝つ

関東高校新人県予選

新井、中島を抑え優勝を決る

第四回関東高等学校新人柔道大会県予選は十一月二十二日、県武道館で開催された。

36校が出場し、勝ち抜き試合で期を競ったが、決勝戦は圧倒的な強さで勝ち進んだ前商と育英との対決となった。

吉田対富沢は、引分け、吉原対八木原は、吉原小外刈で技有りを取って試合を優勢に進め時間、つづく磯田と対戦、これを引分け、前商一歩リードする。

大津対佐藤戦は互に技の効果なく引分け、森田対育英大将中島戦となる。

中島は森田の開始早々に掛けた大内刈をみごとに返し、両校大将同志の戦いとなる。

勢い込む前商新井は中島を圧倒、一分十秒縦四方固めで破り、前商が一人残しで優勝した。

尚関東大会へは、決勝へ進出した二校と三位入賞の高崎、利商の上位四校が出場する。

◇試合結果（上段が勝ち）

▽三回戦

前商　四人残し　樹徳
渋川　一人残し　農大二
渋工　五人残し　高北
高崎　二人残し　前工
利商　四人残し　伊商
中之条　二人残し　榛名
前橋　代表戦　中央
育英　五人残し　桐南

▽準々決勝

前商　五人残し　渋川
高崎　三人残し　渋工
利商　四人残し　中之条
育英　五人残し　前橋

▽準決勝

前商　四人残し　高崎
育英　三人残し　利商

▽決勝

前商　一人残し　育英
吉田　引分　富沢

○吉原秀忠　小外刈　八木原
。　引分　磯田
大津　引分　佐藤達也
森田　大内返　○中島
○新井隆義　縦四方　。

館林市体育館柿落し

館林市柔道大会は九月十三日、新設された運動公園内市総合体育館柔道場のこけらおとしとして開催された。

◇試合成績

〔個人戦〕

▽小学校低学年　①川島洋志
②早川教吉　③島羽正人・武田里恵

▽小学校高学年　①富田隆史
②浦野里美　③斎藤康雄・秋元浩一

▽中学校男子　①飯島基有　②茂木昭人　③鶴貝勇・中島直樹

▽中学・高校女子　①飯田直弓
②斎藤洋子

〔団体戦〕

一位　多々良中学校A
二位　市立第三中学校
三位　多々良中学校B

（中里伍一記）

月夜野町体育館落成

利根郡月夜野町、町民待望の社会体育館落成記念行事は、十月十八日バレーボール並びに柔道・剣道の試合等が行われた。

柔道では本県出身の椛沢博之五段（東京警視庁）が地元高校生を相手に七人掛を行い、つづいて（取）小林充五段、（受）平場始三段による投げの形が披露された。

最後に利根沼田中学生・高校生一般の十五組による紅白試合が行われ同体育館の落成を祝った。

石井接骨院
大藤忠昭
大藤久枝
勢多郡富士見村小沢320-1
電話　0272(88)5032

田中接骨院
田中励吉
勢多郡富士見村原之郷1063
電話　0272(88)2510

前橋市民スポーツ祭
柔道大会
昭和五十六年十一月十一日市民体育館

◇試合成績
【幼年の部】
▽低学年（小学一・二年生）
①斎藤直樹（山王小）②赤沢良太（桂萱小）③吉良武矢（朝倉小）
▽中学年（小学三・四年生）
①田島淑充（附小）②中村栄二（広瀬小）③高山裕志（城東）
▽高学年（小学五・六年生）
①大関稔（山王小）②奈良昇志（細井小）③富沢秀之（若宮小）

【小学の部】
▽中学一年 ①宇野誠（木瀬中）②船津睦（桂萱中）③金山明永（二中）
▽中学二年 ①斎藤泰光（四中）②井上和已（木瀬中）③成清洋二（附中）
▽中学三年 ①大関健一（七中）②佐藤純司（五中）③西沢富一（七中）

【高校の部】
▽一年 ①石崎雅英（前商）②湯浅豊雄（前工）③石田達彦（前商）
▽二年 ①桑田敏一（育英）②堀川学（前高）③高野忠通（前工）
▽三年 ①茂木克之（育英）②石関和泰（前南）③高橋康弘（前商）

【一般の部】
▽無段者 ①吉田隆（田島）②神山賢志（同）③指野昇（古平）
▽初段 ①船津孝正（育英）②小菅雅行（前東）③笠原伸之（田島）
▽二段 ①熊井宏之（群大）②石井英昭（群大）③島山典秀（田島）
▽三段 ①小畑弥富（群大）②山崎政男（田島）③藤川進（富沢）

【高段者の部】
▽四段
茂木義幸　引分　田中豊吉
安喰完二　引分　三浦昭男
竹原敏郎　引分　伊丹弘明
○真下順次 ― 三橋好
狩野桂次郎 ― ○川端義隆
▽五段
○岩木昭太郎 ― 高木照雄
小林充　引分　池田進
松本邦夫　引分　新井信雄
岡知己　引分　栗原洗
藤井恒雄　引分　北沢広司
○中沢龍吉 ― 古名一雄
▽六段
柳谷勝之　引分　石倉貞幸
井出昌明　引分　柁沢光雄
宮沢勉　引分　田島敏隆
三橋佐吉　引分　小畑兼五郎
▽七段
丹羽文雄　引分　高山明

【四地区対抗リーグ成績】
一位 二中地区
二位 四中地区
三位 一中地区

（小林充記）

佐波伊勢崎地区学校大会

第十九回佐波伊勢崎地区学校柔道大会は十一月二十三日、伊勢崎市民体育館へ二二〇人の選手が参加し開催された。

◇試合成績
【小学校】
▽一年 ①関口明広（境町柔教）②須田剛（伊柔教）
▽二年 ①吉川秀樹（柏栄館）②設楽彰一（境町柔教）③山口柱（石川道場）・石原数正（柏栄館）
▽三年 ①根林秀充（石川道場）②関口信一（境町柔教）③中村雅和（境町柔教）・井上雄大（柏栄館）
▽四年 ①田代仁志（境町柔教）②市川一夫（石川道場）③久保田明浩（境町柔教）・田部井護（境町柔教）
▽五年中量級 ①木村和豊（柏栄館）②加賀美元伸（石川道場）③山沢哲夫（境町柔教）・常見州勇（境町柔教）
▽同年重量級 ①青野雅史（石川道場）②川端宮治（境町柔教）③阿久沢健司（境町柔教）・長谷川正樹（境町柔教）
▽六年 ①田代武久（境町柔教）②小林正人（柏栄館）③内田裕之（境町柔教）・小林章宏（境町柔教）

【中学校】
▽一年 ①橋本淳樹（境南中）②片岡英治（石川道場）③荻野雅之（伊二中）・宮下典久（桜井道場）
▽二年 ①半久保重智（伊二中）②武藤登（伊二中）③池田大（伊二中）・田島満（境南中）

【高等学校】
▽一年 ①今井敏之（伊工）②高橋栄一（伊商）③山田秋彦（石川道場）・斎藤重一（伊工）
▽二年 ①五十嵐邦幸（佐波農）②内田功（伊工）③成川和行（伊商）・山名一弘（佐波農）

（記）

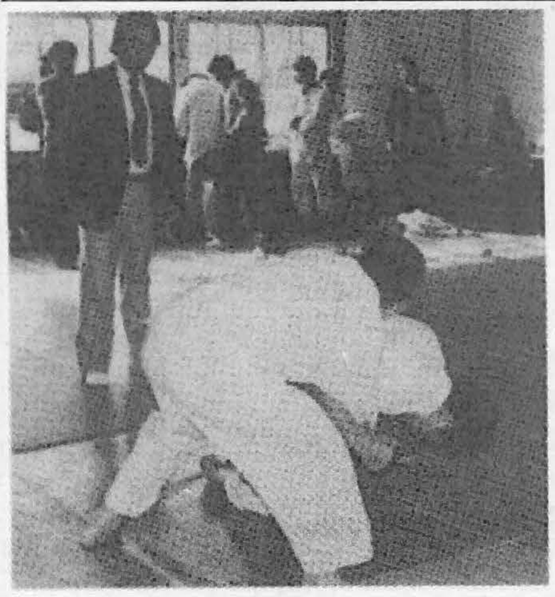
スポーツ少年団
館林

館林市スポーツ少年団近接交流柔道大会は、十二月十三日、館林市総合体育館で開催された。

◇試合成績
【個人戦】
▽小学校一・二年の部 ①吉本正幸（邑楽）②武田理恵（長良）③石原弘之（邑楽）・大輪昌芳（同）
▽小学校三・四年の部 ①川島洋志（邑楽）②早川教吉（同）③島羽正人（長良）・浦野早織（邑楽）
▽小学校五・六年の部 ①富田隆史（邑楽）②山内昇（同）③秋元浩一（同）・石原篤（長良）

【団体戦】
▽小学校の部
一位 邑楽町スポーツ少年団
二位 長良Aスポーツ少年団
三位 古河市スポーツ少年団
▽中学校の部
一位 長良Aスポーツ少年団
二位 長良Bスポーツ少年団
三位 邑楽町スポーツ少年団

（中里伍一記）



館林柔道大会

館林柔道大会

館林市柔道大会は一月二十四日館林邑楽武道館において開催された。

小中学生の個人トーナメント戦には80人の選手が出場熱戦が展開され、又裏沢利男四段の五人掛も行われた。

◇試合成績
【小学校】
▽一・二年 ①福田操（邑楽）②吉本正幸（同）③川村友也（館林）・早川公紀（同）
▽三・四年 ①川島洋志（邑楽）②木村和弘（館林）③矢口朋治（板倉）・八山勝（邑楽）
▽五・六年 ①富田隆史（邑楽）②山内昇（同）③秋元浩一（同）・鎗田康弘（三中）

【五人掛】
奥沢利男○ 大内刈 小島 卓
〃 ○ 小外掛 野中厚志
〃 体 落 飯塚由紀夫
〃 ○ 合せ技 小貫裕康
〃 一本背 館野直樹

（中里伍一記）

利根・沼田中学新人大会

第七回利根沼田中学校新人柔道大会は十月十一日沼小記念体育館で行われ、市の部では沼田中学、郡の部では新治中学がそれぞれ優勝した。

試合結果
【市の部・リーグ戦】
①沼田中学（四勝）②利南中学（三勝一敗）③薄根中学（二勝二敗）

【郡の部】
▽リーグ
①水上中学（三勝）②月夜野第一中学（二勝一敗）③利根東中学（一勝三敗）④川場中学（四敗）
▽Bリーグ
①昭和南中学（二勝）②昭和東中学（一勝一敗）③根利中学（三敗）
▽決勝リーグ
①新治中学（二勝）②昭和南中学（一勝一敗）③水上中学（二敗）

（新井隆記）

利根・沼田部会対抗

第三十回利根沼田支部主催部会対抗は十月十八日沼小記念体育館で開催された。

◇試合結果
▽予選リーグA
①沼田A（三勝）②池田（二勝一敗）③昭和C（一勝二敗）④沼田B（三敗）
▽予選リーグB
①昭和A（二勝）②水上（一勝一敗）③沼田C（一敗）
▽予選リーグC
①新治（三勝）②昭和B（一勝一敗）③沼田D（一敗）
▽決勝トーナメント一回戦
沼田A ― 新治
昭和A ― 池田
▽決勝
新治 ― 池田
▽試合成績
一位 新治
二位 池田
三位 沼田A・昭和A

（新井隆記）

吾妻郡民大会

第二十回吾妻郡民体育祭柔道競技は、十月四日長野原町武道館で開催された。

試合には七チームが参加、リーグ戦が行われ中之条チームが優勝を飾った。

◇試合成績
一位 中之条 五勝一分
二位 高山 五勝一敗
三位 吾妻 四勝二敗
四位 嬬恋 三勝一分二敗
五位 長野原 二勝四敗
六位 東 一勝五敗
七位 草津 六敗

（永林敏明記）

利根・沼田新人中学

第十四回利根沼田中学校新人重量別柔道大会は十二月六日、沼小記念体育館で開催された。

◇試合結果
▽予選リーグA
①昭南A ②新治B ③月一A ④水上B
▽予選リーグB
①子持B ②昭南B ③東
▽予選リーグC
①子持A ②沼田 ③水上A
▽予選リーグD
①新治A ②月一B ③西
▽決勝トーナメント一回戦
昭南A ⑩ ― △ 子持A
子持B △ ― ⑩ 新治A
▽決勝
新治A ㉓ ― △ 昭南A

（代表戦）

◇試合成績
①新治A ②昭南A ③子持A
子持B

（新井隆記）

沼田市民大会

沼田市民体育大会柔道競技は、九月六日沼小記念体育館で行われた。

◇試合結果
▽予選リーグA
①東部（三勝）②利南（一勝一分一敗）③池田（二分一敗）④川田（一分二敗）
▽予選リーグB
①薄根（二勝）②西部（一分一敗）③中部（一分一敗）
▽決勝トーナメント一回戦
薄根 ㉚ ― △ 利南
西部 △ ― △ 東部
▽三位決定戦
西部 ㉕ ― △ 利南
▽決勝戦
東部 ㊵ ― △ 薄根

（新井隆記）

利根郡民大会

利根郡民体育大会柔道競技は、十月十日片品中学校体育館で行われた。

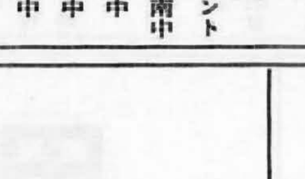
◇試合結果
▽予選リーグA
①新治（二勝）②月夜野（一勝一敗）③片品（二敗）
▽予選リーグB
①昭和（三勝）②水上（二勝一敗）③川場（一分二敗）④利根（一分二敗）
▽決勝トーナメント一回戦
水上町 ㉗ ― △ 新治村
月夜野 △ ― ㊾ 昭和村
▽三位決定戦
新治村 ㉟ ― △ 月夜野
▽決勝戦
水上町 ㉕ ― △ 昭和村
◇試合成績
一位 水上町
二位 昭和村
三位 新治村

（新井隆記）

沼田青少年大会

第二十三回利根沼田青少年柔剣道大会は、十一月二十三日、沼小記念体育館で開催された。

◇試合成績
▽中学生団体予選リーグA
①新治 ②昭和東 ③川場
▽同B
①沼田 ②月夜野一 ③池田
▽同C
①昭和南 ②利南 ③薄根
▽中学生団体決勝トーナメント



▽高校の部個人戦成績
一位 佐藤美洋（利西）
二位 桑原辰治（同）
三位 坂内正義（同）・森村健治（同）

編集後記

桜の花が咲きはじめ、草木が芽吹き、大地は活気に満ちる。

この力強さを58国体選手強化にみた。

（江原隆起記）

刀匠
田口行慶
桐生市本町3丁目302
中屋熊五郎商店
TEL 0277-47-1000

野口接骨院
桐生駅前
電話 0277 (22) 0743

ぐんま柔道

発行所　群馬県柔道連盟
発行人　関口　恒五郎
編集室
高崎市飯塚町1040
桜井　弘
電　話　0273—61—2502

嘉納師範遺訓

柔道は心身の力を最も有効に使用する道であるその修業は攻撃防御の練習に由って身体精神を鍛錬修養し斯道の神髄を体得する事であるそうして是に由って已を完成し世を補益するが柔道修行の究竟の目的である。

新井隆義（前商）が関東を制す

団体は育英高が三位入賞

関東高校柔道大会

第30回関東高校柔道大会は、六月十二・十三日、山梨県体育館で開催された。

初日は、開会式終了後ただちに個人戦が行われ、予選リーグを勝ち抜いた新井隆義（前商）は、決勝トーナメント一回戦で強敵篠沢（東海大相模）を延長戦終了間際、大内刈でポイントをあげ押しきる。

準決勝戦は、巨漢田岡（土浦日大）を相手に延長戦へもつれ込む、中盤新井の左体落しで田岡に両腕をつかせ試合を進めたが、後半動きのにぶった田岡が「指導」を受け、新井は決勝戦進出を決めた。

本県選手としては初の決勝進出である。

決勝戦は栃木県代表の新里（作新学院）との対戦となったが新里は準決勝で傷が悪化し決勝戦を棄権し、新井の優勝が決った。

本県初の関東制覇である。

尚18回大会から設けられた個人戦入賞者には、平井敦（前商）（第19回三位）高橋敬二（高商）（第20回三位）福島美子代（育英）（第26回三位）がいる。

二日目の団体戦では決勝トーナメントに育英・前商が残り、育英が第三位に入賞した。

尚過去の入賞は、富岡（第3回三位）前商（第10・18回準優勝）農大二（第22回三位）である。

◇試合結果

（個人戦）

▽予選リーグ（三人リーグ）

Aブロック

吉田一夫（前商）一勝一敗

Dブロック

吉原秀忠（前商）二敗

日プロック

新井隆義（前商）二勝

▽決勝トーナメント一回戦

新井隆義○優　差　篠沢一夫（前商）（延長）（東海相模）

▽準決勝

新井隆義○優　差　村岡裕治（延長）（土浦日大）

▽決勝

新井隆義○不戦勝　新里治久（作新）

◇試合成績　①新井隆義（前商）②新里治久（作新）③村岡裕治（土浦日大）・麻生房義（本庄工）

（団体戦）

▽予選リーグ（三校リーグ）

第二ブロック

前橋育英高校　一勝・引分

第六ブロック

高崎高校　一勝一敗

第八ブロック

渋川高校　一勝一敗

第九ブロック

前橋商業高校　二勝

第十三ブロック

利根商業高校　一勝一敗

第十五ブロック

樹徳高校　二敗

▽決勝トーナメント一回戦

育英①——△東海浦安

（内容）

前商△——①水城（茨）

（代表）

▽準々決勝

育英①——△国士館（東）

▽準決勝

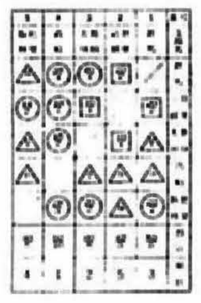
育英△——③土浦日大

◇試合成績　③前橋育英高校

二・三位の決定戦は、一対0で前橋支部の勝。

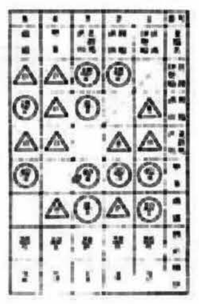
▽B組

▽C組



◇試合結果

▽A組



◇試合成績

総合優勝　高崎支部

〃二位　北群馬・渋川支部

〃三位　多野・藤岡支部

▽全勝者　牧島秀夫（山田支部）

久保彰洋（多野藤岡支部）根岸宏（新田太田支部）

高崎支部 三度目の総合優勝

関口杯支部対抗

第16回関口杯支部対抗柔道大会では、四月十一日県武道館で開催された。

県内十五支部から各支部七人、計百五人が参加し、三組に分かれてリーグ戦が行われた。

A組は二連覇を狙う前橋と昨年の雪辱を取り返す北群馬・渋川、若手を起用した佐波伊勢崎・利根沼田各支部の激戦となり、その中で全勝した北群馬・渋川支部が五年ぶり四回目の優勝を手中にした。

B組は新田・太田支部をおさえた高崎支部が、全勝で92点をあげ三年ぶり四回目の優勝。

C組は多野藤岡支部が安定した試合をし、十年ぶり、三回目の優勝をした。

高崎で92得点をあげたB組の高崎支部が三回目の総合優勝を飾った。

◇試合結果

▽A組

○高崎守人　不戦　浅見（太田）

○大沢（県警）上四　渡辺（上武）

○吉田一夫　内股　秋山（富岡）

○金丸（上武）返し　大川勝利

○小林（渋川）内股　原沢（沼田）

○飯笹（上武）〃　藤井（上武）

○石川雅明　不戦　小栗（県警）

○藤塚博幸　内股　須藤（前橋）

○伊丹（前橋）合技　新井（渋川）

▽三回戦

○青山光一　上四方　諸田幸二

○小畑弥富　僅差　森　英也

○大沢哲夫　〃　須藤　隆

○荒木泰三　袖釣　吉原秀忠

○島居吉二　背負　植草一男

○堀江英也　十字固　須永拓治

○竹原敏郎　背負　萩原正明

○沖田興一　背負返　佐藤達也

○新井隆義　僅差　金子　功

○寺町良次　〃　柳下卓哉

○熊井宏之　〃　秋元利也

○高松守人　僅差　原田英昭

○吉田一夫　大内刈　大沢盛夫

○小林　茂　内股　金丸政明

○飯笹明宏　二大外　石川雅明

○金子　功　不戦　佐藤（富岡）

○新井（前商）体落　茂木克行

○柳下（土武）僅差　桑原（県警）

○寺町（前高教）巴投　生津義雄

○秋元（土武）合技　西川（富岡）

○熊井宏之　僅差　今井（前橋）

○原田英昭　〃　大沢（県）

◇試合成績

一位　青山光一（前工教員）

二位　飯笹明宏（上武大学）

三位　高松守人（渋川関口病院）

〃　堀江英也（池田中教員）

◇試合成績

総合優勝　藤塚博幸○僅　差　伊丹宏明

▽四回戦

○青山光一　組固め　小畑弥富

○荒木泰三　体　落　大沢哲夫

○堀沢英也　内　股　島居吉二

○沖田興一　僅　差　竹原敏郎

○寺町良次　〃　新井隆義

○高松守人　内　股　熊井宏之

○小林　茂　〃　吉田一夫

○飯笹明宏　巴　投　藤塚博幸

▽準々決勝

○青山光一　内　股　荒木泰三

○堀江英也　僅　差　沖田興一

○高松守人　〃　寺町良次

○飯笹明宏　〃　小林　茂

▽準決勝

○青山光一　大外刈　堀江英也

○飯笹明宏　僅　差　高松守人

▽決勝

○青山光一　体落し　飯笹明宏

◇試合成績

一位　青山光一（前工教員）

二位　飯笹明宏（上武大学）

三位　高松守人（渋川関口病院）

〃　堀江英也（池田中教員）

県一に青山光一四段

群馬県柔道選手権大会

準決勝　青山　大外刈で一本勝

「柔道県一」を決める昭和五十七年群馬県柔道選手権大会は、三月七日県武道館で、史上最高の八十三人の選手が出場し開催された。

本大会初出場で初優勝を狙う青山光一四段（前工教員）は、決勝までの五試合を全て一本勝、技の切れも鋭く、58回大会の切り札である実力を見せ優勝した。

同大会は、全日本選手権関東地区予選も兼ねており、三位までの青山、飯笹明宏（上武大）堀江英也（沼田）高松守人（渋川）の四選手の出場が決った。

◇試合結果

▽二回戦

○青山（前工）内股　堀口　直

○諸田（県警）背負　加藤孝生

○森（前商）小外　福田（上武）

○小畑（群大）僅差　島飼英雄

○須藤（県警）僅差　和田（上武）

○大沢（明）〃　長瀬高志

○吉原秀忠　〃　山崎（前橋）

○荒木（渋川）背負　黒沢（県警）

○島居（渋工教）大内　松浦（〃）

くろおび

今年の県内高校、大学柔道部の主な卒業生たちの行くえを調べた。優秀な若者が県内外に集立って行った。県内就職組では、東京に洋に毎年、着実に就職している。会社側に理解者のいるのが有難い◆とくに越塚輝雄氏（ソーラー技術部係長）の尽力によるところが大きい。氏もまた、高校で活躍し、県内就職組のひとりであった。桐生工高時代、新井礼次郎氏（現県強化部長）の一番弟子として、県高校選手権二位の実績がある◆東京三洋入社後、上司の理解を得て、自から柔道部を創部し、監督兼選手として県内外の実業団大会で活躍している。また県柔連強化部員としても、恩師新井氏を助けている◆さて、大学進学組の代表に池田進氏（池田空調専務）を挙げねばなるまい。氏は前商二年で国体選手、二年で全国高校重量級五位となる。岡野、関根の中大黄金時代に、中大法学部に進み、レギュラーとして活躍◆卒業後、家業に専念するかたわら、県強化部員として、全国にいる友人を通じて、各県選手の情報を収集し、部長を補佐している◆越塚、池田両氏の共通点は物に動じない豪快な気っぷだ。選手達にとっても頼りがいのある先輩だ。共に36才。熟年の指導力に期待がかかる◆さて卒業生諸君!!本県関口会長の「柔道で先輩から受けた恩は、柔道界の為に返して欲しい」の言葉を実践している、先輩ふたりを紹介して、卒業生に贈るはなむけとする（錯雷）

松島整形外科医院

院長　松島健治

伊勢崎市今泉町2丁目329　電話 0270－25－0991

全国高校柔道大会
個人戦出場者決まる
5・30県武道館

◇試合結果
（軽重量級）（79人出場）
▽準々決勝
有間庄一　○十字園　上原浩一（前商）
狩野剛史　○背　負　戸丸（育英）
野上　育　○僅　差　石崎雅英（利商）
七五三木聡○僅　差　小畑順一（渋川）
▽準決勝
有間庄一　㊀優　勢　狩野剛史（育英）
七五三木聡㊁　〃　野上　育（利商）
▽決勝
有間庄一　優　勢　七五三木聡
◇試合成績　①有間庄一（前商）②七五三木聡（渋川）③狩野剛史（育英）・野上育（利商）

（中量級）（85人出場）
▽準々決勝
佐藤達也　○送足払　田中　晶（育英）
狩野浩一　○内　股　徳田隆幸（前商）
井野口吉正○僅　差　小林　希（前商）
緒方直樹　○僅　差　原沢　弘（育英）
▽準決勝
佐藤達也　○上四固　狩野浩一
井野口吉正㊁優　勢　緒方直樹
▽決勝
佐藤達也　○内　股　井野口吉正
◇試合成績　①佐藤達也（育英）②井野口吉正（前商）③狩野浩一（前商）・緒方直樹（育英）

（本県代表・有間・佐藤・土肥・新井）

（軽重量級）（72人出場）
▽準々決勝
吉原秀忠　○内　股　佐藤美洋（前商）
林　義彦　○大外刈　谷中俊浩（農二）
富沢　豊　○横四固　阿部光浩（利商）
上肥悦男　○体　落　佐藤隆彦（高工）
▽準決勝
吉原秀忠　○体　落　林　義彦
土肥悦男　○横四固　富沢　豊
▽決勝
土肥悦男　○僅　差　吉原秀忠
◇試合成績　①土肥悦男（樹徳）②吉原秀忠（前商）③林義彦（前商）・富沢豊（育英）

（重量級）（46人出場）
▽準々決勝
新井隆義　○体　落　磯田利雄（育英）
田上一也　○払　腰　渡辺達也（前橋）
吉田一夫　○不戦勝　宮本泰明（高崎）
石川雅明　○僅　差　須藤真矢（利商）
▽準決勝
新井隆義　○合せ板　田上一也
吉田一夫　○僅　差　石川雅明
▽決勝
新井隆義　○十字固　吉田一夫
◇試合成績　①新井隆義（前橋）②吉田一夫（前橋）③田上一也（育英）・石川雅明（同）

尚各級優勝者は八月二日から鹿児島県で行われる全国大会へ本県代表として出場する。

初代会長に関口隆氏
関口孝五郎先生頌徳碑
関口林五郎先生胸像保存会

関口孝五郎先生頌徳碑、関口林五郎先生胸像、保存会発起人会が昭和五十七年三月十六日、前橋市ぐんせつ会館で午後七時三十分から開催された。

百人を過す出席者の中から、群馬県接骨師会、永井芳雄名誉会長が議長に選任された。議事は、発起人会準備委員会を代表して、群馬県接骨師会　細野嘉晴会長が、この発起人会を開催するまでの経過報告から入り、議長が経過報告の補足説明の後、保存会初代会長は、前橋市関口病院　関口隆院長に決定した。各役員も円満な決定を見て円滑な進行に終始した。

出席者は、前橋関口道場門人会、関口病院関係者、接骨師会有志の各位が大方を占めたが、関口父子の遺徳を偲び、保存会の会員は今後、体育関係者を初め、広く一般に広がり増加するものと思われる。

東京近県柔道大会
吉原（前商）が初段の部で優勝

昭和五十七年度、東京近県柔道大会は三月十四日、東京・講道館において開催された。

◇試合成績
▽小学校五年の部（20人出場）
青野雅史　準優勝
▽小学校六年の部（21人出場）
檜物谷　武　三回戦
戸丸章夫（利商二）荻原克己（育英二）
60kg級
吉田宏（利商二）小畑順一（育英二）館野博光（前南一）
71kg級
井野口吉正（前商二）　原沢弘（利商二）　狩野浩一（前商一）
86kg級
吉原秀忠（前商二）　阿部光浩（利商二）富沢弘樹（育英二）
佐藤正規（渋川二）
無差別級
石川雅明（育英二）　田上一也（育英二）　吉田一夫（前商二）

▽中学一年生の部（21人出場）
小暮大輔　二回戦
▽中学二年生の部（17人出場）
狩野　学　三回戦
▽初段の部（21人出場）
吉原秀忠　優　勝
▽弐段の部（19人出場）
秋元利也　準優勝
▽参段の部（19人出場）
高松守人　第三位
▽四段の部（20人出場）
寺町良次　二回戦
▽五段の部（16人出場）
佐藤　隆　一回戦
（桃沢光雄記）

群馬第二位
22回三笠艦記念大会

第二十二回三笠艦記念関東各県対抗柔道選手権大会は五月二十三日、横須賀学院体育館で行われた。

◇試合結果
▽予選リーグ
群　馬　⑩——△栃　木
〃　⑳——△山　梨
〃　㉙——△横須賀
▽決勝トーナメント準決勝
群　馬　⑩——△千　葉
▽決勝
群　馬　△——⑩神奈川（代表戦）
富沢　豊　引　分　栗原倫太
秋元利也○——奈良有裕
高松守人　引　分　堀本正寛
沖田興一　——○荻原光生
根岸　宏　引　分　戸田　聡（代表戦）
根岸　宏　僅　差　○荻原光生（桃沢光雄記）

全国高段者大会
本県から19人が出場
4・28講道館

◇試合成績（上段が本県出場者）
▽五段の部
佐藤　隆　優勢㊁横川（神奈川）
碓氷良一　引分　藤間（埼玉）
鎌塚正良　合技○鈴木（東京）
毛呂大和　払腰○遠藤（〃）
堀込征吾　内股○万代（〃）
牛込祥浩　引分　岩見（〃）
北沢広司○崩上　森下（米国）
▽六段の部
岩本昭太郎㊁優勢　関（長野）
桃沢光雄　優勢○川上（埼玉）
柴崎洋行　引分　鈴木（〃）
佐藤勇夫　〃　三浦（東京）
田島敏隆　〃　大山（栃木）
福田耕平　崩袈○荻野（埼玉）
北爪隆雄　注意㊁平川（東京）
▽七段の部
鈴木元一　引分　金谷（東京）
関口孝義○乗懸　丸山（兵庫）
光山武嘉　引分　高林（富山）
松島一郎　釣足　重田（東京）
丹羽文雄　引分　亀甲（石川）
（光山武嘉記）

監督訪問
前橋商業高校
松本邦夫先生

出身地＝群馬県前橋市
生年月日＝S24・5・18生
家族構成＝妻・一男一女
家族の協力度＝理解して応援してくれている。
柔道歴＝（五段）S48・49年度国体教員の部関東大会出場
指導歴＝関東高校柔道大会S49～57年連続十一回出場、S57年同大会個人優勝、関東選手権大会第一回（S54年）～第四回（S57年）
連続四回出場、第一回大会三位、全国高校柔道大会S49年～52年連続四回出場（通算五回出場）S50年同大会個人五位入賞、団体決勝トーナメント出場一回、個人決勝トーナメント出場三人、全国選手権大会第一回（S54年）～第四回（S57年）連続四回出場。県大会、新人戦7年連続八回優勝、県高校総体七回優勝二位二回、県高校選手権大会団体五回優勝二位五回。
最終出身校＝日本体育大学
趣味＝囲碁
好きな言葉＝初心忘るべからず
恩師＝矢崎雅太郎、菊地定則、新井檀次郎、清水正一
親友とライバル＝新井信雄
58国体へむけての抱負＝国体をめざし全力で望みたい。

井上英明（東海大）
3位
世界ジュニヤ代表予選会

第三回世界ジュニア柔道選手権大会日本代表選考会は、二月二十日、講道館で開催された。

本県出身の井上英明（藤高→東海大学）は、東京代表として65kg以下に出場し、第三位に入賞した。

◇試合結果
（65kg以下）
▽一回戦
井上英明○僅差　松田（栃徳）
▽準々決勝
井上英明○僅差　畑田（天理高）
▽準決勝
井上英明　注意○宮崎（筑波大）
◇試合成績
井上英明（東海大）第三位。

工作・鍛圧・産業・精密機械
株式会社 山崎機械店
〒370 高崎市飯塚町1809番地
TEL (0273)(22)2701(代)
代表取締役 山崎公一
専務取締役 山崎敏夫
取締役営業部長 梅津　稔
技術部長（柔道部顧門） 山崎定吉
課長（柔道部長） 佐々木幸雄
課長代理（柔道部監督） 竹内一浩
代理店
●小松製作所（プレス・ベンダー・シャー）
●津上　●遠州製作
●三菱電機（ワイヤカット・放電加工機）
●大隈豊和
●トルンプ社（レーザープレス）
●アガトン社 その他輸入機械

全国教員・全国中学校大会に想う

関口恒五郎

団体の柔道、教員の部は昭和三十四年から五十二年まで続いたが、独立した教員の全国大会を開きたいという気運は早くから柔道界にみなぎっており普及研究委員会もその実現に努力した。

日本の柔道の普及、発展には学校柔道を振興させることが必須条件である。そのためには教員の資質の向上を図らねばならない。大学に武道学科が新設され、有為な人材が陸続と養成されている。さらに全国大会を開くことにより、いっそう士気を鼓舞するだろう。

第一回大会は五十一年度末に各県から三名が出場し、指導講習会を兼ねて行われた。講習会の参加者が審判員や係員を担当すると言う様に内輪の運営であったが、やがて本格的な大会への出発点となったことは意義深い。選手が三人制では一人確実なポイントゲッターがいるとほぼ勝てるので府県の本当の実力はわからない。参加者は多い方がよい。二回目からは年齢制を取り入れ、三回目からは五人制にした。監督は教員という職業から選手が兼任したが、これも専任をつけた方がより大会の主旨に添うという理由で五十五年から枠がふえた。

全国中学校柔道大会は今年で十三回目になる。中学生の心身や技術の発達状況、学校、生徒の経済的負担等も考慮して教育外活動として発足した。主管は全柔連であった。あこがれの講道館で全国大会をするということが中学生の柔道熱に拍車をかけた。人材発掘の一助にもなった。この中で早くも熊本の藤園中学が三連覇し、山下選手は来学の大器をうかがわせた。

大会の中味は年を追って充実し、トップレベルの数校はそのまま、高校の大会でも通用するほどである。いわく熊本の九州学園、富山の小杉、東京の弦巻、福岡の洞北等々。

技術が進歩するにつれて試合規定も変ってきた。絞め技が加わり組み手の持ち方にも制限が加えられた。中学生でも上位者には絞め技は危険でなく、組み方を正せば崩しの正しい柔道が普及する。

一昨年からは中学校の教育内活動となり全国中体連が主管するまでに発展した。個人戦開催の動きもそろそろ出てきた。今年はこの大会がわが群馬県において、明年の「あかぎ国体」のリハーサルとして開催される。

以上の両大会とも模索の時期を経て今や日本柔道界の二大イベントとして定着している。教員柔道、教員大会が隆盛になればその影響は図り知れない。その行き着く先に全国中学校大会があり、高校大会があり、全日本選手権がある。

当今の柔道は剛道になってきたとの誇りを免れない。教員大会からその弊をなくし、中学大会、高校大会へと敷衍していきたいものである。

（講道館評議員・全柔連普及研究委員長・群馬県柔連会長）

（雑誌「柔道」六月号より転載）

育英!!逆転優勝

2年ぶり3回目の出場

インターハイ県予選会

第32回群馬県高等学校柔道選手権大会兼第31回全国高等学校柔道大会県予選会は、六月二十日県武道館で開催された。

決勝戦は、準決勝を五対〇で勝ち抜いた前商と、代表戦の接戦で勝ち進んだ育英との対戦となった。

先鋒戦は引分、次鋒戦育英は、関東大会団体三位入賞の中心となった佐藤、試合開始後の組み際、見事な内股で一体勝ちし、リードする。中堅戦は、これお追う関東の堰、新井（前商）は石川（育英）を攻めるが中盤にもった有効技で時間切れ。副将戦は巨漢同志、一分後吉田（前商）は、相手のさがり際を大外刈でとらえ一本勝、前商大きな一点である。

大将戦は、一点を追う八木原（育英）が積極的に攻める。一分後大津（前商）は八木原の内股を返し「技有」を取り試合を有利にする。しかし中盤過ぎ八木原は内股で相手を崩し、そのまま崩横四方でガッチリかため、育英の大逆転となった。

育英は二年ぶり三回目の優勝と全国大会への出場権を獲得した。

優勝の育英高校

◇試合結果

▽二回戦

前東	不戦勝	新島	
館林	④―Ⓐ	桐商	
沼田	⑤―Ⓐ	桐生	
佐波農	③―Ⓐ	長野原	
中之条	③―Ⓐ	前工	
中央	④―Ⓐ	桐工	
渋川	⑤―Ⓐ	大田工	
高商	⑤―Ⓐ	甘農	
桐南	④―Ⓐ	勢農	
農大二	⑤―Ⓐ	高崎北	

▽二回戦

前商	④―Ⓐ	前東
館林	③―Ⓐ	渋西
太田	②―Ⓐ	大泉
沼田	③―Ⓐ	前南
高工	②―Ⓐ	佐波農

（内容）

藤岡	④―Ⓐ	西邑楽
高崎	③―Ⓐ	中之条
利商	⑤―Ⓐ	中央
吉井	⑤―Ⓐ	富岡
伊工	③―Ⓐ	利農
渋川	④―Ⓐ	伊商
高商	⑤―Ⓐ	藤工

（代表戦）

強化費を大幅アップ

五十七年度 定例総会

県柔連定例総会は四月四日（日）午後三時より、前橋、ぐんせつ会館において開かれた。

席上、あかぎ国体選手強化にむけて、強化費の大幅アップを決めた。さらに、今年八月、渋川市において、国体リハーサルとして開催される、全国中学校柔道大会に協力要請があった。

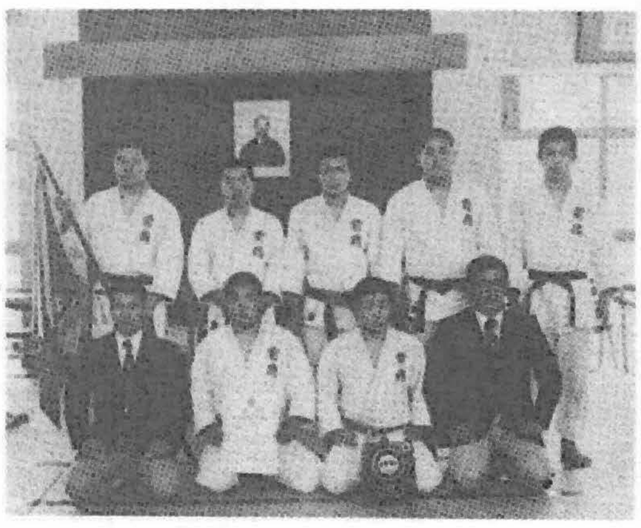
続いて、永年、本県柔道界にあって、多大の功績のあった、大林宥範七段（群大教授）、中島淳吉七段（県柔連庶務部長）北爪隆雄六段（県柔連庶務部長）北爪隆雄六段（接骨師）に会長より感謝状ならびに記念品が贈られた。

表彰を受ける三氏

北爪氏　中島氏　大林氏　関口会長

前商四年連続十三回目

個人新井隆義（前商）が制す



前商チーム

第十七回県高校総体柔道競技は五月十五・十六日の両日、県立武道館において開催された。

初日の個人戦では、新井（前商）が実力通り優勝、二、三位に二年生で58国体強化選予の吉原（前商）吉田（同）が入り、関東大会への出場を決めた。

二日目の団体戦は、前商対育英の決勝戦となる。一対一で向えた大将戦で前商吉原は、育英石川の左大外刈をはずし、右体落しで有効を取り攻める石川を下し、前商は四年連続十三回目の優勝を飾った。

尚前商、育英、利商、高崎、渋川、桐徳の六校が関東大会への出場権を獲得した。

◇個人戦（一四六人出場）

▽予戦トーナメントA組　①吉原秀忠（前商）②田上一也（育英）③松沢一也（中央）・田部井哲男（桐徳）

▽同B組　①新井隆義（前商）②土肥悦男（桐徳）③飯塚由紀夫（板倉）・広瀬勝（高商）

▽同C組　①吉田一夫（前商）②金井裕昭（渋川）③富沢豊（育英）・永井学（渋西）

▽一位リーグ

新井隆義	○僅差	吉原秀忠
吉原秀忠	○払腰	吉田一夫
新井隆義	○上四方	吉田一夫

▽二位リーグ

土肥悦男	○大外刈	田上一也
田上一也	○横四方	金井裕昭
土肥悦男	○払巻込	金井裕昭

▽三位決定戦

吉田一夫㊁優勢　土肥悦夫

▽試合成績

一位　新井隆義（前商）
二位　吉原秀忠（前商）
三位　吉田一夫（前商）

◇団体戦（47校出場）

▽三回戦

前商	⑤―Ⓐ	中央
前橋	③―Ⓐ	前工
桐生	③―Ⓐ	佐波農
高崎	③―Ⓐ	樹徳
利商	④―Ⓐ	藤岡
沼田	④―Ⓐ	甘農
館林	③―Ⓐ	農二
育英	⑤―Ⓐ	富岡

▽準々決勝

前商	⑤―Ⓐ	前橋
高崎	④―Ⓐ	桐生
利商	④―Ⓐ	沼田
育英	⑤―Ⓐ	館林

▽準決勝

前商	②―Ⓐ	育英
狩野浩一	引分	楠徳重
瀬下豊人	大外刈	○佐藤達也
井野口吉正	引分	緒方直樹

（内容）

▽決勝

前商	②―Ⓐ	育英
狩野浩一	引分	楠徳重
瀬下豊人	大外刈	○佐藤達也
井野口吉正	引分	緒方直樹

（代表戦）

体総校高

▽三回戦

前商	④―Ⓐ	館林
沼田	⑤―Ⓐ	太田
藤岡	③―Ⓐ	高工
高崎	④―Ⓐ	樹徳
利商	⑤―Ⓐ	吉井
渋川	⑤―Ⓐ	伊工
高商	②―Ⓐ	富岡
育英	⑤―Ⓐ	渋工

▽準々決勝

前商	④―Ⓐ	沼田
藤岡	③―Ⓐ	高崎
利商	④―Ⓐ	渋川
育英	⑤―Ⓐ	高商

▽準決勝

前商	⑤―Ⓐ	藤岡
育英	①―Ⓐ	利商

（代表戦）

▽決勝

育英	②―Ⓐ	前商

（内容）

富沢豊	引分	吉原秀忠
佐藤達也○	内股	森田喜美雄
石川雅明	体落㊁	新井隆義
磯田利雅	大外刈○	吉田一夫
八木原真一	○前横	大津正幸

◇試合成績

一位　前橋育英高校
二位　前橋商業高校
三位　利根商業高校
三位　藤岡高校

育英高校は、八月二日～四日鹿児島県出水市で行われる全国大会に本県代表として出場する。

沼田中優勝

沼田 子持 渋川

中学校春季大会

関東大会へ

沼田中学校

第六回群馬県中学校春季柔道大会兼第七回関東中学校柔道大会県予選会は、六月十三日県武道館で開催された。

試合は予選リーグ後、決勝トーナメントが行われ、勝ち残った沼田、昭南、子持、渋川の四校で決勝リーグが行われた。

決勝リーグは、沼田中学校が三戦全勝で優勝した。

◇試合結果

▽決勝トーナメント一回戦

沼田	⑤―Ⓐ	高崎四
榛東	④―Ⓐ	勢多東
尾島	④―Ⓐ	下仁田東
昭和南	⑤―Ⓐ	中央
子持	④―Ⓐ	前橋四
伊勢崎二	④―Ⓐ	碓氷西
渋川	④―Ⓐ	藤岡東
新治	⑤―Ⓐ	桐生北

▽同二回戦

沼田	③―Ⓐ	榛東
昭和南	①―Ⓐ	尾島
子持	④―Ⓐ	伊勢崎二
渋川	②―Ⓐ	新治

◇決勝リーグ

㊁新井隆義	優勢	磯田利雅
㊁吉原秀忠	優勢	石川雅明

▽敗者復活一回戦

渋川	⑤―Ⓐ	前橋
藤岡	⑤―Ⓐ	桐生
樹徳	②―Ⓐ	沼田

（内容）

中央	①―Ⓐ	館林

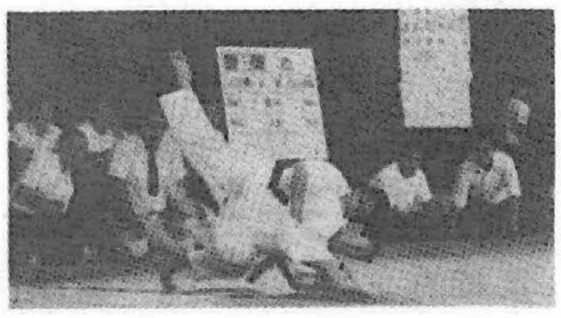
（内容）

▽同二回戦

渋川	③―Ⓐ	藤岡
樹徳	④―Ⓐ	中央

▽試合成績

一位	前橋商業高校
二位	前橋育英高校
三位	高崎高校
〃	利根商業高校
五位	渋川高校
	樹徳高校



熱戦の春季大会

訂正

㈠35号一ページ（県民大会）の「市の部前橋」を「市の部渋川」に

㈡同号三ページ（県中学校新人戦）一の決勝戦、沼田中学対尾島中学のメンバー表（氏名のみ）適に記載されました。

お詫びして訂正いたします。

おくやみ

県柔連理事長　山岸宗一氏

昭和五十七年六月二十四日逝去（67歳）

大正三年八月十四日生

日体大卒、国府小学校、大間々農学校教諭歴任、

丸正（株）山岸木材店社長

審判規定取扱い統一条項の一部改正

指導部長　石倉貞幸

平成五年一月一日付で「柔道試合審判規定取扱い統一条項の一部改正」があり、そのことについて審判員に質問した。

◆第四条（試合）関係

A選手――「抑え込み」と宣告された場合、同試合者の身体の一部でも、場内外区画線に垂直線を立てた場内側の空間にある間は、場内に触れていると同等とみなすと取扱われて「抑え込み」は続行したが、このとき抑えられている選手が、下から「絞め」「関節」技で攻めた場合、技は有効技として認められるのですか。

○「抑え込み」が続行中は、下の人は、いつでも固め技の「絞め」「関節」技で、一本の判定基準に該当する技を施した場合は、「一本」となり、下の人（抑えられている人）も勝つことができます。

A選手――「抑え込み」をしたまま「絞め技」「関節技」を施したときは、どうなりますか。

○「抑え込み」が続行中に施した技は、有効技と認め「一本」に相当する効果が現れれば「一本」と判定されます。

しかし、「抑え込み」の形から離れて「絞め技」「関節技」を施したときは、主審はその時間「待て」と宣告しなくてもその技は無効となり「抑え込み」の時間は、抑え込みの形から離れた時まで伸びます。この場合「抑え込み」と宣告があったときは、その結果がつくまで、試合時間が延長される場合においても以上のことは同様に取扱います。時計係の任務は、主審の宣告した時間だけではなく両試合者の動きを見て計時しなければなりません。重要な任務です。

A選手――「抑え込み」が宣告されたとき、抑えられている選手が、「抑え込み」を逃れるため場外へ逃げた場合はどうなりますか。

○通常の場合、故意に場外に出たときは、第二十三条（十三）により「警告」に該当する反則となりますが、この場合、例外として反則になりません。

A選手――会場が狭く、場外を十分にとることができなかったため、試合者の一方の身体が場内に触れているのにもかかわらず、自由の動作が制限等により、困害されている場合は、どうなるのですか。

○正規の試合場の広さを取るのが原則ですが、この場合には、自由な動作が阻害されたその瞬間、「待て」と宣告して「抑え込み」を打ち切ります。

以前の規定では、「そのまま」と宣告して中に引き入れましたがそうゆうことはしません。しかし二つ以上の試合場があり、場外を共有するときは、間隔が空きますので事前に、打合せをする必要があります。

◆第三十条（待て関係）

A選手――寝技で双方が足搦みの様な形になり、試合に変化がない場合は、どうなりますか。

○寝技において、攻防の変化のないときは、原則として、三十秒以上をもって、「待て」と宣告し立たせます。

A選手――寝技のとき、試合者の一方が他方に、背後から横みつかれ、立ち姿勢に移ったときや、試合者の一方が、立ち姿勢を取りあるいは、寝技から立ち姿勢に移り、後に背をつけて脚を立ち姿勢の試合者の身体に、巻きつけている相手を、我から引き上げたときは「待て」と宣告して、すぐ試合を一時止めさせることになっていましたが、少し変ったらしいですね。

○これは、みせかけの立ち姿勢によって、寝技から逃げるのを防ごうという意味で改正されました。

例へば、四つ伏いになっているとき、横絞め（通り横絞め）で攻められた人が、脚を立て、立ったと手を広げて、審判にアピールすることがありますが、このような場合に、逃げる人の身体が安定せず、すぐ立つことができず倒されそうな場合は、試合を継続させるということです。

一般的には、背中に馬乗りの様な形になったときとか、外には、下の人が、上の人を、逆三角で攻めるときなどが考えられます。

これは、技を逃れようとする人の姿勢の安定度により判定されることになるでしょう。寝技の攻める機会を多くしたいということです。

◆第三十四条（反則の判定規準と処置）関係

A選手――主審は、選手の反則を自由に、宣告して良いのですか。

○審判員の合議により宣告することを、原則としています。

大会の性格により、「注意」以上を副審と合議して、取扱うことができます。この場合「指導」等の反則の宣告がありますが、これはどんな反則なのですか。

○現行の審判規定の反則判定基準は、指導以上となっておりますので、試合の判定には関係ありませんが、しかし審判の資料となることがあります。

この教育的指導は、積極的戦意に欠け、攻撃しないことのみにあてはまれます。この教育的指導を受けても、なお積極的戦意に欠ける場合には、「指導」となります。その他の禁止事項については、「教育的指導」は、行われずそれぞれの反則判定基準により処置されます。

A選手――「教育的指導」というのがありますが、これはどんな反則なのですか。

○反則を宣告するときは、簡明にその反則理由を告げることに統一されました。

A選手――主審は、選手の反則の宣告に対して、異見があるときは、特に速やかに、主審に動作による表示、あるいは申し出ることを要します。反則の処置については、ごく短い時間に適正に判定する必要がありますので、ごく軽微な犯し方については、主審と、副審との間に、ゼスチャー等ときには、「指導」となります。

ア　自己の責任による負傷、イ　いずれの責任とも認められない負傷の手当、ウ　包帯の巻き直し、エ　帯の締め直し、等である。合計五分になりますと失格になります。この失格の場合は、（注三）の本人の負傷により外種判定「勝ち」「負け」（棄権を含む）を受けた者には、原則としてその後の一連の試合に出場することが出来ない。は適用されず、負傷の責任によって生じた棄権ではないので、その後の一連の試合に、出場することができます。

A選手――主審は、このとき時計係にどのような介助をするのですか。

○この計時は、「主審の介助による」となっており、主審は当分の間「経時間」と宣告し、「待て」の動作を時計係に示す。終るときは「時間」と宣告して、片手を肩の高さに挙げて左右に数回振り、計時終了を示します。

一されました。

A選手――同試合者が「反則負け」になった場合は、トーナメント等の場合、次の試合に出場できるのですか。

○同試合者がいずれも「警告」を受けているとき、両者が同時に「注意」以上の反則の宣告を受けた場合、また両者とも「注意」を受けているとき、両者同時に「警告」を受けた場合、双方とも反則負けになります。但し例外的に取り扱う必要がある場合は、第四十三条により審判員会員の合議によります。

◆第四十二条（負傷等）「負傷の場合」関係

A選手――負傷して棄権となった選手の相手は、次の試合に出場できますか。

○同者いずれの責任とも認めがたい場合の負傷の相手は、その後の一連の試合に出場できます。

A選手――（注四）の場合に、試合者が自己の都合のために棄した時間は最大限合計五分までとなっておりますが、自己の都合にはどのようなものがありますか。

○負傷の場合における自己の都合とは、

昭和57年度行事予定表

月	日	曜	研	県内行事	時間	会場
4	4	日		全国少年柔道大会予選	9.00	田島道場
	4	日		県連本部総会	15.00	群馬会館
	11	日	○	関口杯支部対抗	10.00	県武道館
	25	日	○	審判講習会	9.00	〃
5	2	日		高校学年別個人選手権	9.00	県武道館
	15	土		高校総体柔関東予選	9.00	〃
	16	日		〃 〃	9.00	
	30	日		全国高校総体県予選（個人）	9.00	県武道館
6	6	日	○	講習、一般合同大会	9.00	県武道館
	13	日		中学校選抜柔関東大会予選	9.00	〃
	20	日	○	高校選手権柔全国高校予選（団体）	9.00	〃
	27	日		全国教員大会予選	10.00	〃
	27	日		本部審査会（一般3.4段）（女子審査会）	10.00	〃
7	3	土	○	全国中学校大会役員係員研修会	14.00	渋川市総合公園体育館
	4	日		全国定通制高校予選	9.00	県武道館
	4	日		女子柔道講習会	13.00	〃
	11	日		国体第一次予選	10.00	〃
	18	日	○	国体第二次予選	10.00	〃
	18	日		壮年柔道大会	14.00	〃
	25	日		紅白試合	10.00	〃
	30	金	○	中学校総体	12.00	〃
	31	土	○	〃	9.00	〃
8	10	火		スポーツ少年団大会	10.00	〃
	11	水	○	関東中学校大会	15.00	渋川市総合公園体育館
	12	木	○	〃 〃	9.00	体育館
	22	日	○	全国中学校大会	9.00	〃
	23	月	○	〃	9.00	〃
	29	日		本部審査会（一般3.4段）（女子審査会）	10.00	県武道館
	29	日		高段者大会	14.00	〃
9	12	日		道場連合会大会	9.00	県武道館
	12	日		青年祭大会	9.30	前橋市体育館
	19	月		関東青学校大会	9.00	県武道館
	19	日		定時制高校大会	9.00	前橋工
	19	日		少年団体候補選手入神戦	1.00	〃
	26	月		紙上審査会、高段者審査会	14.00	県武道館
	29	水		警察柔道大会	9.00	〃
10	3	日		実業団大会	13.00	県武道館
	16	土		護国神社大会	13.00	高崎市体育館
	17	日		小学生総体	9.00	県武道
	31	日		県民大会	11.00	〃
11	7	日		中学校新人大会	9.00	県武道館
	13	土		中学校強化合宿	9.00	〃
	14	日		〃 〃	9.00	〃
	21	日		高校新人大会	9.00	〃
	28	日		関東高校新人大会予選	9.00	〃
12	5	日		東北柔専対抗	13.00	県武道館
	19	日		本部審査会（一般3.4段）（女子審査会）	10.00	〃
1	30	月	○	段別選手権大会	10.00	県武道館
2	6	日		新年会、昇段祝賀会	一	未定
	20	日	○	県道予権大会	10.00	県武道館
	27	日		本部審査会（一般3.4段）（女子審査会）	10.00	〃

（注）1，○印は団体各係員の研修日

月	日	曜	県外行事	会場
4	23	金	全日本学生柔道体重別選手権関東予選	浦和市
	28	水	全国高段者大会	川口市
	29	祭	全日本柔道選手権大会	日本武道館
5	3	祭	全国少年柔道優勝大会	未定
	23	日	三笠記念関東七県対抗	横須賀市
6	5	土	全国学生柔道体重別選手権大会	日本武道館
	6	日	〃	〃
	12	土	〃	〃
	13	日	関東高校大会	山梨県
	25	金	〃	〃
			全国警察柔道選手権大会（個人）	日本武道館
7	11	日	全国国立大学柔道優勝大会	未定
8	1	日	全日本学生柔道優勝大会関東予選	浦和市
	1～4	日～水	高校総体	熊谷市県立体育館
	2～4	月～木	関東甲信越大学大会	鹿児島県
	4～6	水～金	全国定通制大会	鴨池市民体育館
	16	一	全国教員大会	長野県
	21	土	関東女子選手権兼全日本女子関東予選	長野市
	29	日		
9	4～5	土～日	全日本学生柔道優勝大会	名古屋市総合体育館
	9	木	関東警察大会（団体）	武道館
	12	日	全日本女子柔道選手権	大和市
	12	日	全日本学生選手権関東予選	神奈川県
	19	日	関東高段者大会	
10	4	月	国民体育大会	島根県
	5	火	〃	〃
	6	水	〃	〃
	13	水	6段審議会	静岡県
	24	日	全日本新人体重別選手権関東予選	千葉県
11	6	土	全日本学生柔道選手権大会	大阪市
	7	日	全日本学生柔道東西対抗	〃
	9	火	全国警察大会	日本武道館
	11～14	木～日	嘉納杯国際柔道大会	〃
	21	日	6段形審査	埼玉県
	28	日	全日本新人体重別選手権大会	秩父山峡
	下旬	一	北関東五大学柔道大会	高崎市
58／1	5～6	木～木	日本、国際学生大会	日本武道館
	19	水	7．8段審議会	秩父市
	30	日	6段昇段祝賀会	秩父口
2	11	祭	関東高校新人戦	未定
	13	日	7．8段形審査	神奈川県
3	19	土	関東連合会総会	茨城県
	20	日	関東選手権兼全日本予選	〃
	21	祭	全国高校選手権	日本武道館
			東京近県柔道大会	未定

桜井接骨院
順道館 桜井道場
〒370 群馬県高崎市飯塚町1040
電話(0273)61－2502・61－8933(館長自宅)
館長 桜井四五郎　師範 桜井弘
柔道整復師 清水一彦　柔道整復師 萩原正明
桜井接骨並榎分院
高崎市上並榎町726・電話(0273)22－6658

牛込接骨院
高崎市田町4－130　電話23-0463
観音塚 牛込接骨院
高崎市上佐野町観音塚733-2　電話 25-5941

飯笹は県警へ　森は順天大へ
異色は田村・群大医へ
今年の卒業生の行くえ

今年の県内大学、高校の主な卒業生の行くえは次の通りである。県選手権第二位、団体選手の飯笹（上武大）は県警に決った。県高校一位の森（前商）は順天堂大学体育学部に進学した。四年後が楽しみな選手である。今からラブコールが上っている。異色は高崎の田村である、群大医学部に現役合格を決めた。富高黄金時代を築いた、田村三兄弟の長兄浩氏の長男である。井野正彦（前高―群大医）の例もある。群大での活躍が期待される。

飯笹明宏（上武）群馬県警察
若井勝則（前商）自営
小室　亨（前商）利根沼田消防
永井俊行（育英）東海大武道
岸部俊一（育英）国士舘大体育
加藤考生（上武）東北柔専
北原陽之助（群大）群大病院内科
高木　茂（群大）明和中学教諭
森　英也（前商）順天大体育

県学年別個人選手権
三年の部・新井隆義（前商）が勝つ

昭和五十七年度群馬県高等学校学年別個人柔道選手権大会は、五月二日県武道館において開催された。

◇試合結果

【三年生の部】（67人出場）

▽決勝
新井隆義○僅差　佐藤達也（前商）　（育英）

◇試合成績　①新井隆義（前商）　②佐藤達也（育英）　③須藤真矢（利商）・七肥悦男（樹徳）

【二年生の部】

▽55kg級（19人出場）

▽決勝
戸丸幸夫○背負投　熊田地塩（利商）

▽試合成績　①戸丸幸夫（利商）　②熊田地塩（渋西）　③坂田博仁（蚕糸）・矢野免（長野原）

▽60kg級（20人出場）

▽決勝
小畑順一○縦四方　吉田宏（育英）　（利商）

▽試合成績　①小畑順一（育英）　②吉田宏（利商）　③後藤明良（高商）・飯島圭二（利商）

▽71kg（41人出場）

▽決勝
井野口吉正○僅差　須藤栄二（前商）　（利商）

▽試合成績　①井野口吉正（前商）　②須藤栄二（利商）　③板橋真也（樹徳）・原沢弘（利商）

▽86kg級（34人出場）

▽決勝
吉原秀忠○上四方　阿部光治（前商）　（利商）

▽試合成績　①吉原秀忠（前商）　②阿部光治（利商）　③富沢弘樹（育英）・佐藤正規（渋川）

▽無差別級（19人出場）

▽決勝
石川雅明○僅差　田上一也（育英）　（育英）

▽試合成績　①石川雅明（育英）　②田上一也（育英）　③星野隆（前商）・吉田克（農二）

【一年生の部】

▽55kg級（19人出場）

▽決勝
荻原克己○優勢　高山義光（育英）　（利商）

▽試合成績　①荻原克己（育英）　②高山義光（利商）　③石井秀一（利商）・岡田暢英（新島）

▽60kg級（22人出場）

▽決勝
飯野圭一○僅差　青木清（高崎）　（渋工）

▽試合成績　①飯野圭一（高崎）　②青木清（渋工）　③館野博光（前南）・斎藤竜（沼田）

▽71kg級（34人出場）

▽決勝
狩野浩一○内股　川瀬秀明（前商）　（藤岡）

▽試合成績　①狩野浩一（前商）　②川瀬秀明（藤岡）　③諸田洋一（利商）・富沢昌幸（育英）

▽86kg級（21人出場）

▽決勝
八田敏彦○裏投　新井義道（沼田）　（前工）

▽試合成績　①八田敏彦（沼田）　②新井義道（前工）　③金子忍（藤岡）・佐藤信治（前商）

▽無差別級（18人出場）

▽決勝
福島信雄○上四方　品川公博（育英）　（農二）

▽試合成績　①福島信雄（育英）　②品川公博（農二）　③中田勝利（前商）・佐俣信行（育英）

茂木克之（育英）東北柔専
立見秀文（育英）東北柔専
篠原和弘（高崎）明治大商学
田村卓彦（高崎）群馬大医学
吉田昌司（高崎）東北大工学
角田佳之（沼田）日本柔専
兵藤武志（沼田）玉川大
小倉　忠（樹徳）山田製作所
高村嘉一（樹徳）相葉接骨院
新井美智男（利商）関東調理学校
角田利二（利商）東急フーズ
神保健夫（利商）利根沼田消防
唐沢徳治（利商）自営
渡辺　崇（利商）国土計画
野尻　猛（前工）東京三洋
八木信行（高商）東京三洋

第二回全国少年柔道県予選会
桜井道場一年連続県代表に

第二回全国少年柔道大会県予選会は、四月四日田島道場において開催された。

連続出場を狙う桜井道場は、準決勝を三対一で木暮道場を下し、決勝では石井道場を三対〇で破り二年連続出場を手中にした。

◇試合結果

▽一回戦

木暮道場②――△田島道場（太田）
石井道場③――△須藤道場（前橋）
石井道場④――△石川道場（樺名）
石川道場②――△弘道館道場（高崎）
（玉村）　（代表戦）　（渋川）

▽準決勝

桜井道場③――△木暮道場（高崎）
石井道場④――△石川道場

▽決勝

桜井道場③――△石井道場
原　健寿㊁・有効　川原裕道
戸塚信幸　引分　広神浩治
門倉真人　〃　松本光弘
高橋龍太○袈裟固　早野修二
高木啓光○技有　大沢隆志

◇試合成績
①桜井道場　②石井道場
③木暮道場・石川道場

私と柔道
二段　金井健治郎

「あい奴は強えぞ!!柔道の先生んちの子だからな!!」、皆も思い自分も強いつもりになっていた。父親が自宅の裏に道場（順道館と言って大正六年頃より昭和七・八年頃まで行っていた）を持ち若い人達が稽古に来ていたので、門前の小僧習わぬ経を読むとでも言うのか、喧嘩相手の首に腕を廻し大外刈らしき真似で相手を転がした。腕白小僧の時から色々の職業の若い人達や制服のお巡りさんが稽古に来ていたので、子供心にも他の子供に対して多少とも優越感をもっていた。まして当時の悪童達にとって最も恐い存在のお巡りさんが稽古に来るのだから猫更である。今の子供達と違って熱通いも無し、学校から開放されると袍を放り出し近所の畑か河原を跳ね廻り悪戯をして歩くのが仕事である。雨でも降れば早速道場に集合して、己が柔道の先生になり切って教える。だが自分より体の大きな奴にかかると先生の方が逆に投げ飛ばされ、そんなのずるいぞ!!と言ってもっぱら自分より小さな子をつかまえて転がす、一とき乱取に飽きると今度は棚から稽古衣を引張り出して帯を巻いて梁に掛けぶらんこ遊びだ。それにも飽きて次の悪戯に走る。夕方電灯のともる頃手足を泥んこにして家に帰ると父親にひどく叱られ今度したらお巡りさんに頼んで半屋に入れてもらうぞ!!と言われ泣きべそをかき〳〵散かした道場を皆が稽古に来ない内にかたづけたものである。

私と柔道の出合はこんな腕白小僧のときからである。

父は私に柔道をやれと一言もいわなかった。小学校四年生になると野球に無中になり、当時の小学生の全国大会まで行ったが第一回戦で名古屋第一小学校に負けた。でも中学（旧制）に入学するとなんとなく柔道部に入り田中良三先生の薫陶を受け一年生から五年卒業まで柔道部に籍を置いて自分なりに一生懸命稽古を付けて戴いた。

その五年間に六十余才になった今日でも昨日の様な鮮明さで脳裏にある事柄が一つ二つある。

ある時、前橋の武徳殿に昇中稽古に高崎から自転車で通った時のことである。稽古衣を黒帯で縛り自転車のハンドルに掛けて帰る姿が先生の目に止ったのであろう、翌日早速学校の道場に呼ばれ散々油を絞られた。先生は例の如く、納々と言われる処は、柔道を志ざす者が有段者に成った位で汗臭い稽古衣と黒帯をこれ見よがしに自転車の前に下げて歩くとは何事だ、有段者になれば成る程「柔道を識っているぞ!!」という態度はしないものだ、それが昨日や今日黒帯を締めた位で昨日の恰好は何だ。お前より強い有段者は日本中何万人も居るのだ。チンドン屋でもあるまいし自分の腕前を人前にさらして歩ける程強いのなら稽古を付けてみるから立ちなさい!!。

足腰を立てる間も無い程締められ投げられ、そのあげくこの黒帯は練道館に返して来い。世間には白い帯を締めていてもお前よりもっと強い人が一杯いるのだ、うぬぼれるな!!。私が柔道を教えているのは喧嘩の手やうぬぼれ人間を造るつもりで教えているのではない。

この様な主旨の事をぽつり〳〵と言う度に道場の畳の上に放り出されたり締められたりされた。

生意気な中学生であった。

又ある日、稽古中に鎖骨を折った事があった。先生は応急処置をして「家に帰ってお父さんに手当をしてもらいなさい」と早く帰してくれた。私は痛いのを我慢して学生服の片袖だけを通し、骨折側は肩に掛け腕を釣って家まで歩いて帰った処が今度は父親が理由も聞かずにビンタの一発が飛んで来た。随分ひどい親だと思い「むっとした。すると父は「その恰好は何んだ、まるでやくざかごろつき学生だ、学生は学生らしくしろ!!まして柔道を習っている者が生命に別状ない骨の一本や二本折ったからといって服も満足に着られないとは何時でも已より強い即ち立派な人達に取り巻かれているということを瞬時も忘れてはならないものだ。それと同時に人は何時如何なる境遇にあっても心から「らしく」生きねばならない、即ち無理をしてはいかんと言う思いが餘を重ねると共に強くなってきた。

これも短い期間ではあったが柔道修業中の諸先生諸先輩の心からの指導が受けられたからだと事ある度に思い出し感謝して居ります。

旧制高崎中学校卒業、中島飛行機㈱東京工場に就職、昭和十二年決戦では石井道場を三対〇で破り兵役にて北支満州の各地勤務より兵役にて北支満州の各地勤務水戸にて終戦、豊和製紙㈱設立と建設に従事、同五十三年退社、現在高崎にて駐車場貸事務所貸ホール自営。

昭和56年57年 3月2月 よりの支部別昇段者数

段位 / 支部	初段	弐段	参段	四段	五段	計
前橋	174	25	4	3	3	209
高崎	55	13	9	4	1	82
新田・太田	34	2	5	0	0	41
佐波・伊勢崎	54	16	5	5	0	80
邑楽・館林	7	4	1	3	0	15
桐生	8	1	1	0	0	10
多野・藤岡	20	12	2	3	0	37
利根・沼田	54	22	5	2	0	83
甘楽・富岡	10	5	0	0	0	15
北群馬・渋川	39	11	2	7	3	62
勢多	22	10	1	5	1	39
吾妻	43	15	6	1	1	66
碓氷・安中	20	7	2	0	1	30
群馬	28	6	2	1	1	38
山田	1	3	2	0	0	6
計	569 (496)	152 (89)	47 (39)	34 (24)	11 (15)	813 (663)

群馬県柔道連盟（括弧内は前年の数）

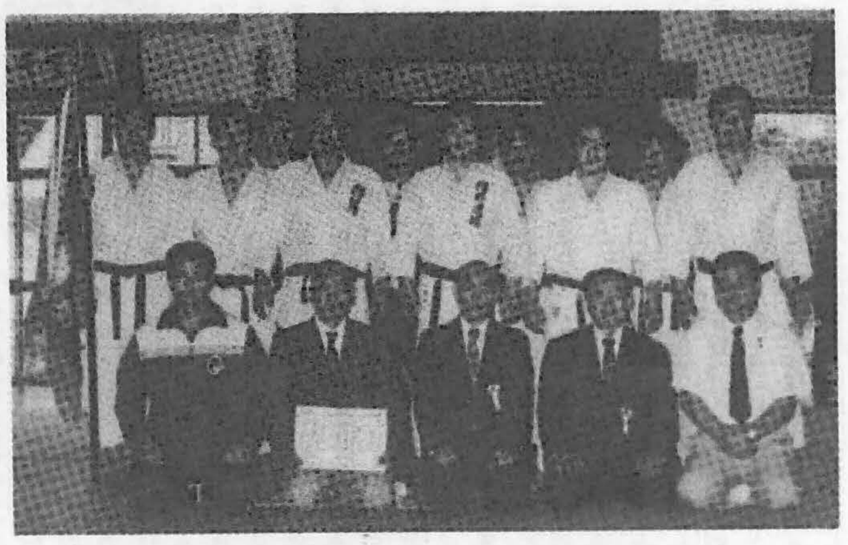
焼肉・ほるもん
中央食堂
中之条町バイパス通り
電話 027975-2011

ほねつぎ林 接骨院
院長 林 二郎
中之条町大字西中之条719
電話 027975-2598

高崎が16年ぶりの優勝

民警大会　6月6日　2部は富岡

全勝賞は萩原(高崎)菊地(大泉)



喜びの高崎チーム

◇試合成績
▽一部
一位高崎　二位前橋東
三位渋川
▽二部
一位富岡　二位大泉　三位桐生
▽全勝者
萩原正明(高崎)菊地修一(大泉)
深沢昭一高崎警察署長談
「十六年ぶり二度目の優勝は嬉しい限りだ、チームワークの勝利だと思う。私としても、監督、選手全員を表彰して、ねぎらう心算です。」

第4回 群馬郡少年柔道大会

5・5 箕郷町武道館

◇試合成績
【団体】①石井道場A②雄塚道場③石井道場B・須藤道場
【個人・小学生】
▽一年　①清水昇(石井)②内海友紀(雄塚)
▽二年軽量級　①山田孝之(雄塚)②清水実(石井)③平野亜紀代(雄塚)登坂敏之(石井)
▽同中量級　①石井幹起(堤ヶ岡)②清水仁(石井)③坂本太郎(堤ヶ岡)石井久雄(石井)
▽同重量級　①茂田貴寛(堤ヶ岡)②恵村安弘(堤ヶ岡)③小枝剛(雄塚)浦沢幹典(堤ヶ岡)
▽三年軽量級　①石井葉子(石井)②生方智広(箕郷)③清水俊夫(石井)小林忍(雄塚)
▽同中量級　①小牧英光(須藤)②生方勝己(堤ヶ岡)③南雲寿仁(堤ヶ岡)多田健一(同)
▽同重量級　①清水信治(石井)②清水健二(雄塚)③福田昭二(堤ヶ岡)水井裕吾(箕郷)
▽四年軽量級　①幕巻幹彦(雄塚)②植杉健司(雄塚)③戸塚行義(雄塚)清水真(石井)
▽同中量級　①渡辺潤(石井)②小池英幸(石井)③柴山正史(石井)大沢佳典(同)
▽同重量級　①川原裕道(石井)②平田浩之(堤ヶ岡)③多胡光三(石井)飯島信芳(堤ヶ岡)
▽五年軽量級　①北原潤(雄塚)②山口和代(雄塚)③本間美由紀(堤ヶ岡)岸宏樹(同)
▽同中量級　①五十嵐雅彦(雄塚)②清水実(石井)③柳沢健一(雄塚)
▽同重量級　①広神浩治(石井)②松本光弘(石井)③清水和樹(石井)岡田孝彦(雄塚)
▽六年軽量級　①小牧誠一(堤ヶ岡)②木暮友伸(雄塚)③森田文彦(雄塚)吉田光寛(堤ヶ岡)
▽同中量級　①早野修二(石井)②福田一彦(堤ヶ岡)③飯塚一彦(堤ヶ岡)小野里剛(同)
▽同重量級　①大沢隆志(石井)②小池順次(石井)③塚越正秀(石井)千保木均(雄塚)
▽一般軽量級　①茂田貴寛(堤ヶ岡)②恵村安弘(堤ヶ岡)③小枝剛(雄塚)浦沢幹典(堤ヶ岡)
▽同中量級　①石井幹起(堤ヶ岡)②清水仁(石井)③坂本太郎(堤ヶ岡)石井久雄(石井)
▽同重量級　①清水健二(雄塚)②松本光弘(石井)③清水和樹(石井)岡田孝彦(雄塚)
▽中量級　①柳沢篤史(佐藤)②内海友紀(雄塚)
【小学一年】▽軽量級　①清水昇(石井)②内海友紀(雄塚)
【小学二年】▽軽量級　①小牧誠一(堤ヶ岡)②木暮友伸(雄塚)③森田文彦(雄塚)吉田光寛(堤ヶ岡)
▽中量級　①早野修二(石井)②福田一彦(堤ヶ岡)③飯塚一彦(堤ヶ岡)小野里剛(同)
▽重量級　①大沢隆志(石井)②小池順次(石井)③塚越正秀(石井)千保木均(雄塚)
【小学三年】▽軽量級　①清水昇(石井)②内海友紀(雄塚)
▽中量級　①柳沢篤史(佐藤)②内海友紀(雄塚)
【小学四年】▽軽量級　①幕巻幹彦(雄塚)②植杉健司(雄塚)③戸塚行義(雄塚)清水真(石井)
▽中量級　①渡辺潤(石井)②小池英幸(石井)③柴山正史(石井)大沢佳典(同)
▽重量級　①川原裕道(石井)②平田浩之(堤ヶ岡)③多胡光三(石井)飯島信芳(堤ヶ岡)
【小学五年】▽軽量級　①村山和亮(桜井)②清水利也(桜井)③市場公博(川田)斎藤賢(中之条)
▽中量級　①加藤雄二(中之条)②小林考博(長野原)③中里勝(湯浅)小林雅博(長野原)
▽重量級　①北原潤(雄塚)②山口和代(雄塚)③本間美由紀(堤ヶ岡)岸宏樹(同)
【小学六年】▽軽量級　①中井和也(桜井)②外谷和俊(雄東)③石原浩人(桜井)織茂康雄(石井)
▽中量級　①佐藤浩一(下仁田)②清水克彦(桜井)③木暮幸(雄塚)岩城和宏(堤ヶ岡)
▽重量級　①松物谷武(石井)②清水延浩(桜井)③宮寺雄郎(湯浅)植原秀信(須藤)
【中学一年】▽軽量級　①原昭次(川田)②井上利昌(桜井)③黒沢一彦(下仁田)吉田晃基(同)
▽中量級　①木暮広起(下仁田)②山口健二(長野原)③山口透(長野原)新井進(雄塚)
▽重量級　①松沢英行(須藤)②高木考彰(桜井)③原雄一(桜井)小幕大輔(高崎)
【中学二年】▽軽量級　①細谷睦(石井)②横山浩一(高崎)③篇浩一(桜井)市場芳浩(川田)
▽中量級　①牛込章寿(桜井)②東崎和也(下仁田)③竹本哲也(桜井)吉沢則貴(下仁田)
▽重量級　①高橋義則(雄塚)②柄沢邦剛(石井)③野口敏彦(長野原)佐藤普澄(下仁田)
【中学三年】▽軽量級　①岡田暢英(高崎)②田貝信昌(高崎)③江積栄一(桜井)高橋秀昭(高崎)
▽重量級　①佐藤信治(桜井)②中田勝利(桜井)③成沢剛(桜井)山岸久(雄塚)
◇女子の部
【小学二年】①石井葉子(石井)②都丸純(川田)③石井智子(石井)清水敏江(堤ヶ岡)
【小学三年】①丸岡さやか(須藤)②武井佳絵(高崎)③本間佳子(桜井)吉沢則貴(下仁田)
【小学四年】①山口和代(雄塚)②柄沢邦子(雄塚)入沢健一(雄東)
▽超重量級　①清水信治(石井)②井口力也(桜井)③福島昭二(堤ヶ岡)佐藤幸二(高崎)
【小学三年】▽軽量級　①藤巻幹彦(雄塚)②清水尚之(桜井)③工藤健(下仁田)
▽軽中量級　①植杉健司(雄塚)②西沢修一(桜井)③戸塚行義(雄塚)阿久沢弘道(佐藤)
▽中量級　①渡辺潤(石井)②曽根将樹(桜井)③清水真(石井)小池英幸(同)
▽軽重量級　①広瀬昌隆(佐藤)②平井克明③三木考之(石井)酒井裕次(桜井)
▽重量級　①斎藤浩一郎(中之条)②加藤健二(中之条)③青木正人(須藤)中村正史(長野原)
▽超重量級　①原健寿(桜井)②卓秀人(桜井)③佐植貴之(雄東)川原裕道(石井)
【小学四年】▽軽量級　①植口悟(堤ヶ岡)②飯塚邦彦(堤ヶ岡)③大沢和彦(石井)植村考幸(堤ヶ岡)
▽中量級　①横山貴志(高崎)②大河原崇敬(高崎)③深津進次(川田)林崇志(下仁田)
【小学五年】▽軽量級　①大谷秀樹(高崎)②藤田真一郎(桜井)③大河原康弘(高崎)長谷川亮(佐藤)
▽軽中量級　①戸塚信幸(桜井)②清水和樹(石井)③今井智則(下仁田)
▽中量級　①真下勇(石井)②柿塚越大司(湯浅)
▽超重量級　①広神浩治(石井)②松本光弘(石井)③佐藤信之(高崎)市川智央(下仁田)
【小学六年】▽軽量級　①村田和亮(桜井)②清水利也(桜井)③市場公博(川田)斎藤賢(中之条)
▽軽中量級　①加藤雄二(中之条)②小林考博(長野原)③中里勝(湯浅)小林雅博(長野原)
▽中量級　①木暮守宏(下仁田)②東崎哲也(下仁田)③桜井敏(雄塚)入沢健一(雄東)
▽超重量級　①木暮守宏(下仁田)②柄沢邦剛(石井)③野口敏彦(長野原)佐藤普澄(下仁田)
【中学三年】▽軽量級　①岡田暢英(高崎)②田貝信昌(高崎)③江積栄一(桜井)高橋秀昭(高崎)
▽重量級　①佐藤信治(桜井)②中田勝利(桜井)③成沢剛(桜井)山岸久(雄塚)
◇女子の部
【小学二年】①石井葉子(石井)②都丸純(川田)③石井智子(石井)清水敏江(堤ヶ岡)
【小学三年】①丸岡さやか(須藤)②武井佳絵(高崎)③本間佳子(桜井)吉沢則貴(下仁田)
▽重量級　①斎藤浩一郎(中之条)②加藤健二(中之条)③青木正人(須藤)中村正史(長野原)
▽超重量級　①原健寿(桜井)②卓秀人(桜井)③佐植貴之(雄東)川原裕道(石井)
【小学四年】▽軽量級　①植口悟(堤ヶ岡)②飯塚邦彦(堤ヶ岡)③大沢和彦(石井)植村考幸(堤ヶ岡)
▽中量級　①横山貴志(高崎)②大河原崇敬(高崎)③深津進次(川田)林崇志(下仁田)
【小学五年】▽軽量級　①大谷秀樹(高崎)②藤田真一郎(桜井)③大河原康弘(高崎)長谷川亮(佐藤)
▽軽中量級　①戸塚信幸(桜井)②清水和樹(石井)③今井智則(下仁田)
▽中量級　①真下勇(石井)②柿塚越大司(湯浅)
▽超重量級　①広神浩治(石井)②松本光弘(石井)③佐藤信之(高崎)市川智央(下仁田)
【小学六年】▽軽量級　①村山和亮(桜井)②清水利也(桜井)③市場公博(川田)斎藤賢(中之条)
▽軽中量級　①加藤雄二(中之条)②小林考博(長野原)③中里勝(湯浅)小林雅博(長野原)
▽中量級　①木暮守宏(下仁田)②東崎哲也(下仁田)③桜井敏(雄塚)入沢健一(雄東)
▽超重量級　①木暮守宏(下仁田)②柄沢邦剛(石井)③野口敏彦(長野原)佐藤普澄(下仁田)
【中学三年】▽軽量級　①岡田暢英(高崎)②田貝信昌(高崎)③江積栄一(桜井)高橋秀昭(高崎)
▽中量級　①成沢昭浩(桜井)②小林茂夫(長野原)③小林豊(川田)雄塚正志(雄塚)
▽軽重量級　①武井正晴(桜井)②中島修(堤ヶ岡)③都丸忠博(川田)千野純(下仁田)
▽重量級　①松物谷武(石井)②清水延浩(桜井)③宮寺雄郎(湯浅)植原秀信(須藤)
【中学一年】▽軽量級　①原昭次(川田)②井上利昌(桜井)③黒沢一彦(下仁田)吉田晃基(同)
▽中量級　①木暮広起(下仁田)②山口健二(長野原)③山口透(長野原)新井進(雄塚)
▽重量級　①松沢英行(須藤)②高木考彰(桜井)③原雄一(桜井)小幕大輔(高崎)
【中学二年】▽軽量級　①細谷睦(石井)②横山浩一(高崎)③篇浩一(桜井)市場芳浩(川田)
▽中量級　①牛込章寿(桜井)②東崎和也(下仁田)③竹本哲也(桜井)吉沢則貴(下仁田)
▽重量級　①高橋義則(雄塚)②柄沢邦剛(石井)③野口敏彦(長野原)佐藤普澄(下仁田)
【中学三年】▽軽量級　①岡田暢英(高崎)②田貝信昌(高崎)③江積栄一(桜井)高橋秀昭(高崎)
▽重量級　①佐藤信治(桜井)②中田勝利(桜井)③成沢剛(桜井)山岸久(雄塚)
◇女子の部
【小学二年】①石井葉子(石井)②都丸純(川田)③石井智子(石井)清水敏江(堤ヶ岡)
【小学三年】①丸岡さやか(須藤)②武井佳絵(高崎)③本間佳子(桜井)吉沢則貴(下仁田)
▽重量級　①斎藤浩一郎(中之条)②加藤健二(中之条)③青木正人(須藤)中村正史(長野原)
▽超重量級　①原健寿(桜井)②卓秀人(桜井)③佐植貴之(雄東)川原裕道(石井)
【小学四年】▽軽量級　①植口悟(堤ヶ岡)②飯塚邦彦(堤ヶ岡)③大沢和彦(石井)植村考幸(堤ヶ岡)
▽中量級　①横山貴志(高崎)②大河原崇敬(高崎)③深津進次(川田)林崇志(下仁田)
【小学五年】▽軽量級　①大谷秀樹(高崎)②藤田真一郎(桜井)③大河原康弘(高崎)長谷川亮(佐藤)
▽軽中量級　①戸塚信幸(桜井)②清水和樹(石井)③今井智則(下仁田)
▽中量級　①真下勇(石井)②柿塚越大司(湯浅)
▽超重量級　①広神浩治(石井)②松本光弘(石井)③佐藤信之(高崎)市川智央(下仁田)
【小学六年】▽軽量級　①村山和亮(桜井)②清水利也(桜井)③市場公博(川田)斎藤賢(中之条)
▽軽中量級　①加藤雄二(中之条)②小林考博(長野原)③中里勝(湯浅)小林雅博(長野原)
▽中量級　①木暮守宏(下仁田)②東崎哲也(下仁田)③桜井敏(雄塚)入沢健一(雄東)
▽超重量級　①木暮守宏(下仁田)②柄沢邦剛(石井)③野口敏彦(長野原)佐藤普澄(下仁田)
【中学三年】▽軽量級　①岡田暢英(高崎)②田貝信昌(高崎)③江積栄一(桜井)高橋秀昭(高崎)
▽中量級　①成沢昭浩(桜井)②小林茂夫(長野原)③小林豊(川田)雄塚正志(雄塚)
▽軽重量級　①武井正晴(桜井)②中島修(堤ヶ岡)③都丸忠博(川田)千野純(下仁田)
▽重量級　①松物谷武(石井)②清水延浩(桜井)③宮寺雄郎(湯浅)植原秀信(須藤)
【中学一年】▽軽量級　①原昭次(川田)②井上利昌(桜井)③黒沢一彦(下仁田)吉田晃基(同)
▽中量級　①木暮広起(下仁田)②山口健二(長野原)③山口透(長野原)新井進(雄塚)
▽重量級　①松沢英行(須藤)②高木考彰(桜井)③原雄一(桜井)小幕大輔(高崎)
【中学二年】▽軽量級　①細谷睦(石井)②横山浩一(高崎)③篇浩一(桜井)市場芳浩(川田)
▽中量級　①牛込章寿(桜井)②東崎和也(下仁田)③竹本哲也(桜井)吉沢則貴(下仁田)
▽重量級　①高橋義則(雄塚

ぐんま柔道

発行所　群馬県柔道連盟
発行人　関口　恒五郎
編集室
高崎市飯塚町1040
桜井　弘
電　話　0273－61－2502

嘉納師範遺訓

柔道は心身の力を最も有効に使用する道であるその修業は攻撃防御の練習に由って身体精神を鍛錬修養し所道の神髄を体得する事であるそうして是に由って已を完成し世を補益するが柔道修行の究意の目的である。

総合で六位入賞

―島根国体―

少年一回戦

群馬△―②山　形
野上　育　合出せ技　須貝○
小畑順一　引分け　佐藤
㊀佐藤達也　内股　石山
吉原秀忠　〃　須田○
新井隆義　引分け　佐藤

成年一回戦

群馬①―△鹿児島
寺町良次　背負投げ　吉原㊀
島居吉二　引分け　坂口
高松守人　〃　九尾
○青山光一　合わせ技　坂口
大沢　均　引分け　永里

成年二回戦

群馬②―△岐　阜
寺町良次　引分け　森
島居吉二　大内返し　梶田㊀
㊀高松守人　背負投げ　杉山
○青山光一　内股　堀
大沢　均　引分け　大西

成年三回戦

群馬②―△滋　賀
○寺町良次　横四方固め　森
○島居吉二　大外刈り　足達
高松守人　引分け　平瀬
青山光一　大外刈り　伊藤㊀
大沢　均　引分け　城戸

成年四回戦

群馬△―④島　根
寺町良次　引分け　中嶋
島居吉二　大外返し　下田㊀
高松守人　釣込み腰　森脇㊀
青山光一　小内刈り　山藤㊀
大沢　均　背負投げ　花本㊀

ホームタウンデシジョンに泣く

少年先鋒の野上は完全にあがっていた。引き手を取らず、相手の引き手も切れない。背負いで技あり。引き手を持たずにかけた内股を返されて技あり。小畑は寝技に誘い縦四方に押えたがすぐ返される。寝技を好むが非力で抑えきれない。佐藤は断然優勢ながら一本取りきれず。吉原は組んですぐ内股で投げられる。得意の粘り腰を発揮する暇がない。新井は攻めてくる相手には強いが守られて引分け。誰もが考えていなかった初戦敗退でショックは大きかった。練習試合でないからもう一回がきかない。このくやしさを来年につなごう。

成年一回戦では寺町が負けた。前日になっても体重が落ちず、当日やっと計量をパスしたが翌日の計量のために食べることができず動きに精彩がなかった。先鋒、次鋒を一勝一分けでくると試合が楽だが一敗でくると後がきつい。幸い副将、大将が負傷で交替選手であったため辛勝した。二回戦は鳥居の大内が返され苦戦した。三回戦は昨年ベスト4進出をかけて戦った滋賀。先鋒、次鋒が昨年と入れ替ったため楽勝。青山は滋賀の至宝伊藤と再度対戦、よく戦ったが残り7秒に時計をのぞいたすきに大外で投げられた。

準々決勝は今年もまた開催県と対戦。島根は先鋒、次鋒が強い。地元の声援に応えて調子に乗っている。島居は果敢に攻めながら引分けをねらい、相手の技を封じたがたった一回の虚をつかれた。高松は釣込み腰に一転したが四連いになった。両副審が「有効」のゼスチュアーをして負けにされた。青山は相手の引分け作戦に積極的に攻めて「指導」をとる。そのあと同じ状態が続くが審判はいっこうに「注意」を取らない。逆に相手の苦しまぎれの小内に尻をついて「有効」を取られる。地元でなければ当然青山が「注意」で勝った試合。点差は四対〇と大きかったが中味は二対一の試合と見た。

地元は強い。今年もまた勝ち運に乗った。少年もあの力でベスト8進出は立派。成年は先鋒、次鋒が全柔連のB級の強化選手以上の力があった。とるべきところでしっかり得点した。決勝までの6試合を6勝6引分けと無失点の試合をしたのが準優勝への勝因である。これで開催県が宮崎、栃木、滋賀島根と四年連続して成年の部で準優勝している。群馬もなんとかしてこの前例に倣いたい。

今回成年の部のベスト8進出だけで幸運にも総合6位に入賞し、待望の天皇杯得点をあげた。群馬県の天皇杯4位に少し貢献できた。しかし、「たなぼた」のようでおもはゆい。心からは喜べない心境である。

県柔道強化部長
成年の部監督　新井雄次郎記

（全国教員出場選手団）

おらが先生頑張った

全国教員大会で準優勝

第七回全国教員柔道大会は、八月二十一日長野県飯田市武道館において、43チームが出場し、開催された。

準決勝で熊本県を二対〇で破った本県チームは、初の決勝戦進出を決め、茨城県に一対一の内容差で破れはしたが、準優勝を手中にした。

▽試合結果

▽一回戦
群馬②―0京都

▽二回戦
群馬③―2長野

▽準々決勝
群馬②―1愛知

▽準決勝
群馬②―0熊本

▽決勝
群馬1―①茨城

（内容）
㈱青山光一　引分　土子友由
㈱竹原敏郎○優勢黒川喜久雄
㈱永林敏明　引分　真下晩
㈱根岸宏　引分　藤田上
㈱鳥居吉二　一本背○中村均

▽試合結果　①茨城県　②群馬県　③熊本県・栃木県

故山岸理事長を偲んで

県柔道行事部長
宮沢勤

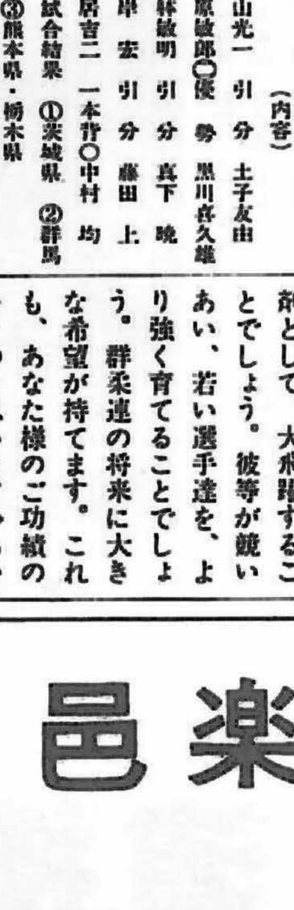
私が山岸先生と始めて出会ったのはたしか昭和二十七年富沢道場で柔道をはじめた頃であったと思う。第一印象は声が大きくて早口のため何を喋っているのか全々判らず返答に困ってしまったこと、身長があり、肩巾が広く、手の指が非常に太かったことです。当時は子供さん達が大学、高校と在学中だったので道場にもあまり顔を出すことはなかったようです。

その後、前橋支部長に就任し、支部を発展させるべく八年間、四期に渡たり、柔道人口の拡充、実力の養成、支部運営のあの実力の充実に八面六臂の活躍をなさり、今日の支部発展の基礎の一石になられたと思います。

又支部長としての山岸先生の中から色々と勉強させられるところがに一つ一つの問題に時間をかけて考え、人々に相談して結論を出してゆく慎重さも兼ねそなえているのも意外でした。

日体大でのこと、国府小教員になるきっかけ、大間々農林教員の日日、前中の教員に転任し、校長と折り合わず一日にして前中を退職し、教員生活に終止符をうったいきさつ等々……夜の更けるのも忘れ話されていたことがついきのうのように思われ、まだ戸を開けて「おい、富沢いるか」という声がするような気がします。

山岸先生のみたまの安かれと、お祈り申し上げます。



（故理事長）

故山岸宗一氏の遺族より百万円の寄贈

このほど、故山岸理事長の遺族を代表して、長男、丈夫氏（前橋市南町一丁目）が、県柔道連盟に百万円を寄贈されました。本連盟では、関口恒五郎会長を中心として、故人の名が、永遠に遺るよう有効につかうべく考慮しております。

くろおび

拝啓　故山岸宗一理事長様。あかぎ国体をひかえてさぞ心残りであったと思います。あなた様が気にかけておられた関東、全国中学校大会も荒井国義委員長のもと百数十名の役員が、過日厚生年金会館に集いました。その席上、関口会長が「私に協力をして、国体を成功させてほしい」と頭を下げました。参加者全員が協力を惜しまないことを誓い合いました◆理事長の後任には、あなた様が育てた中島淳吉氏が理事長代行として頑張っております。ご安心下さい◆さて、群馬柔道界の次代を担う中学、高校柔道界は若い指導者がいっぱいおります。今回全国のトップクラスを迎えた中学校大会を、刺激剤として、大飛躍することでしょう。彼等が競いあい、若い選手達を、より強く育てることでしょう。群柔連の将来に大きな希望が持てます。これも、あなた様のご功績のひとつと思います◆あかぎ国体まで、あと十一ヵ月と迫りました。私達会員にたるみが見えましたら、どうぞ、泉下より、あの懐かしい独特の声でご叱咤いただきたく思います◆あかぎ国体の成功を先に逝去されました故湯浅斉夫氏（当時、県柔連審議部副部長）と共に見守って下さい。敬具

合掌（錯雷）

邑楽・館林支部

支部長	原	口	市	理事長	横山恵一
副支部長	中	里	伍一	指導部長	館野政道
〃	浜		道久		

第13回全国中学校柔道大会

第十三回全国中学校柔道大会は八月二十三日（月）渋川市・渋川総合運動公園で「あかぎ国体」のリハーサルとして係・役員が本大会の任務に合せた中で挙行された。

本県代表の沼田中・子持中は団体予選リーグを勝ち抜き、決勝トーナメント戦へ進出した。子持中は、一回戦で荒井中（兵庫）に破れたが、沼田中は、一回戦大正西中（大阪）を破り二回戦へ進んだが、花畑中（福岡）に三対一で破れ、ベスト8となる。

なお、団体予選終了後、主催者では引続き三日間にわたり講習会を行ない、二十四日は個人戦（71kg以下級と71kg超級）が開催された。

本県からは71kg以下級に出場した星野悟（渋川北中）と71kg超級の狩野学（倉賀野中）がそれぞれ第五位に入賞し、技能優秀賞者に選ばれた。

個人戦終了後講習会は、佐藤宣践七段（全柔連強化委員）の「世界柔道の動向」について講話があった後、山下泰裕五段（東海大大学院）柏崎克彦五段（東海大教）森脇保彦五段（国士舘大教）野瀬清喜五段（埼玉大教）等による投げ技の指導が行われ、最終日は固め技の指導があって全日程を終了した。

〔団体戦〕

◇予戦リーグ
▽1組（勝者　九州学院）
九州学院（熊本）二勝
市川中（山梨）一勝一敗
来武中（山口）二敗
▽2組（勝者　茂庭中）
茂庭中（福島）二勝
高岡中（高知）一勝一敗
清水中（福井）二敗
▽3組（勝者　子持中）
宮崎中　③——1　甲子中
（宮崎）　（岩手）
子持中　②——2　宮崎中
（群馬）　（内容）
子持中　③——1　甲子中
▽4組（勝者　荒井中）
荒井中（兵庫）二勝
浜田一中（島根）一引分一敗
八幡中（愛知）一引分一敗
▽5組（勝者　嘉手納中）
嘉手納中（沖縄）二勝
屋代中（長野）一勝一敗
星子山（滋賀）二敗
▽6組（勝者　川口西中）
川口西中（埼玉）二勝
板柳中（青森）一勝一敗
七尾中（広島）二敗
▽7組（勝者　内灘中）
内灘中（石川）二勝
大原中（千葉）一勝一敗
伊予三島西中（愛媛）二敗
▽8組（勝者　国東中）
国東中（大分）二勝
三滝中（三重）一勝一敗
山辺中（山形）二敗
▽9組（勝者　国分寺中）
国分寺中（栃木）二勝
醍醐中（京都）一勝一引分
大川中（香川）二敗
▽10組（勝者　花畑中）
花畑中（福岡）二勝
石越中（宮城）一勝一敗
来広中（静岡）二敗
▽11組（勝者　沼田中）
沼田中　②——1　白根第一
（群馬）　（新潟）
沼田中　②——1　共栄中
（北海道）
共栄中　③——1　白根第一
▽12組（勝者　大正西中）
大正西中（大阪）二勝
高隈中（鹿児島）一引分一敗
倉敷西中（岡山）一引分一敗
▽13組（勝者　三和中）
三和中（茨城）二勝
神浦中（長崎）一勝一敗
阿波中（徳島）二敗
▽14組（勝者　津沢中）
津沢中（富山）二勝
明津中（和歌山）一勝一敗
大津中（神奈川）二敗
▽15組（勝者　正強中）
正強中（奈良）二勝
昭栄中（佐賀）一勝一敗
湯口中（鳥取）二敗
▽16組（勝者　弦巻中）
弦巻中（東京）二勝
本荘南中（秋田）一勝一敗
岐南中（岐阜）二敗
◇決勝トーナメント
▽1回戦
九州学院④——0　茂庭
（熊本）　（福島）
荒井中　④——0　子持中
（兵庫）　（群馬）
吉政和彦○小外刈　大野隆之
坂本創平　引分　小渕保夫
松本和也○大外刈　堀田直勝
坂田　博○背負投　森田正勝
中谷　弘○合せ技　狩野祐一
川口西中　②——0　嘉手納中
（埼玉）　（沖縄）
国東中　③——0　内灘中
（大分）　（石川）
花畑中　④——0　国分寺中
（福岡）　（栃木）
沼田中　②——1　大正西中
（群馬）　（大阪）
小室　篤　引分　坂東健一
笠間好雄○裏投国　瀬中直幸
青木則夫　背負投○堀本浩一郎
生方哉浩○横四方　利岡裕介
竹渕伸二　引分　長谷川武
津沢中　①——1　三和中
（富山）　（内容）　（茨城）
弦巻中　④——0　正強中
（東京）　（奈良）
▽二回戦
荒井中　②——1　九州学院
弦巻中　③——1　津沢中
川口西中　①——0　国東中
花畑中　③——1　沼田中
山田剛大　大内刈○小室　篤
浜田浩二○合せ技　笠間好雄
勝前普行○痛　勝　生方則夫
長田　猛　引分　生方治哉
鎌苅忠茂○体落し　竹渕伸二
▽準決勝
荒井中　①——1　川口西中
（代表戦）
弦巻中　③——0　花畑中
▽決勝
荒井中　①——1　弦巻中
（代表戦）
吉政和彦　引分　飛松和雄
坂本創平　引分　久保山輝実
松本和也　合せ技○古賀稔彦
坂田　博　引分　富地秀之
中谷　弘○払い腰　矢ヶ部光昭
〈代表戦〉
中谷　弘○内股　古賀稔彦
◇試合成績
一位　荒井中学校（兵庫）
二位　弦巻中学校（東京）
三位　川口西中学校（埼玉）
〃　花畑中学校（福岡）

〔個人戦〕

◇71kg以下級（78人出場）
▽一回戦
星野　悟○背負投　伊藤（秋田）
（渋北中）
▽二回戦
飯島基有　背負投○赤木
（多々良中）　（鹿児島）
星野　悟○大外刈　斎藤（岡山）
▽三回戦
星野　悟○大内刈　山崎（奈良）
▽四回戦
星野　悟○合せ技　富沢（石川）
▽準々決勝
星野　悟　内　股○金田（静岡）
（星野悟はベスト8）
◇71kg超級（72人出場）
▽一回戦
斎藤泰光○内　股　浜田
（前橋四中）　（北海道）
▽二回戦
狩野　学○僅　差　高橋（宮城）
（倉賀野中）
斎藤泰光　払い腰○西川（兵庫）
▽三回戦
狩野　学○僅　差　品川（秋田）
▽四回戦
狩野　学○僅　差　玉輪
（神奈川）
▽準々決勝
狩野　学　大内刈○中谷（兵庫）
（狩野学はベスト8）

星野・寺口（小杉中）を右背負投で技有り

なお、星野悟（渋北中）と狩野学（倉賀野中）は、技能優秀者（20人）に選ばれ表彰された。

あかぎ国体 (8)

国体対策委員長　荒井国義

今回、国体対策委員長の後任として私が就任いたしました。

群柔連の諸先生方および地元渋川市の絶大なる協力をいただき、半世紀に一度という「あかぎ国体」をのりきらなければ、と考えております。

国体も間近に迫り、八月にはリハーサル大会（全中大会）が行われましたが、役員諸君の努力に依り成功裡に終了、初期の目的を達成出来ました事に、心から感謝を申し上げます。

十月には島根国体が開催され、本県からは選手団は勿論、多数の役員関係者が視察され、各係毎の運営面について研修されてこられました。これはやがてきたるべき「あかぎ国体」には大きく役だつ事だと思って居ります。

これから国体開催まで約一カ年というわずかな期間になりました。この間役員諸君の研修は勿論選手の強化、投の形、古式の形、少年の形、柔道舞踊等の研鑽を重ね万全を期して行かなければなりません。また補助役員の教育も非常に大切な事と思いますので、時期をみて講習会を行いたいと思います。

競技役員については、柔道連盟で行う諸大会に可能の限り役員のはりつけを行い、主任副主任を中心に研鑽を重ねていただきたいと思います。

国体準備も段々忙しくなりますので早急に事務局編成をお願いし国体準備に万全を期さなければなりません。私にとりましても柔道生活四十八年間、この内に今度の国体にめぐりあった事は柔道人として二度とない名誉の事と喜んで居る次第です。

柔連会長のもと一糸みだれぬ競技運営を行ない、なにがなんでも今回の国体を大成功裡に終了出来ますよう、役員諸君の御協力と御指導を切にお願いする次第です。

お菓子と喫茶とお食事の店
株式会社 荒木屋
代表取締役社長　須田信夫
群馬県沼田市８４０
本　　店　TEL (4)４５４５
東原売店　TEL (2)４６６５
レストラン　TEL (3)５８２７

井浦接骨院
院長　井浦康彦
群馬県利根郡月夜野町後閑１７５
TEL 027862−2501

全員が優秀十六選手賞
全国高校大会
個人戦

第31回全国高等学校柔道大会は八月二日から四日まで、鹿児島県出水市体育館において開催され、本県からは、団体戦に育英高校、個人戦には重量級の新井隆義（前商）等四人が出場した。

初日団体戦に出場した育英高校は予選リーグで二敗し、敗退するが、大会二日目から行われた各級個人戦においては、四階級に出場した四人全員が決勝トーナメントへ出場し、四選手とも全国優秀賞（全国16位）を受賞、71kg以下に出場した佐藤達也（育英）は堂々第五位に入賞した。

◇試合成績

〔団体戦〕

▽予戦リーグ

育英高校　0――③東海大五高（群馬）

（福岡）

育英高校　0――③天理高校（奈良）

▽試合結果　①正理高校②大宮工高校③東海大相模高校③此花学院高校

〔個人戦60kg以下〕

▽予選リーグ

有間庄一　㊀優　勢　百瀬久幸（前商）

有間庄一〇大外刈　佐藤昇

有間庄一　引分　久保井新

▽決勝トーナメント一回戦

有間庄一　優　勢㊀野口仁士

〔個人戦71kg以下〕

▽予選リーグ

佐藤達也〇内　股　多田康一（育英）

佐藤達也〇横四方　桐林俊和

▽決勝トーナメント一回戦

佐藤達也〇合せ技　竹谷正哉

▽準々決勝

佐藤達也　内　股〇白石昇

〔個人戦86kg以下〕

▽予選リーグ

土肥悦男　背負投〇何井一輝（樹徳）

土肥悦男〇裏投げ　須田勝也

土肥悦男〇裏投げ　軒野豊

▽決勝トーナメント一回戦

土肥悦男　払い巻〇上原隆司

〔個人戦86kg以上〕

▽予選リーグ

新井隆義〇体落し　上原広行（前商）

新井隆義〇体落し　二宮裕之

▽決勝トーナメント一回戦

新井隆義　優　勢㊀田中利明（新井信雄記）

沼田中が準優勝
◀関東中学校大会▶

第七回関東中学校柔道大会は八月十二日、渋川市・渋川総合公園体育館で開催された。

団体出場校24チームは8ブロックで予選リーグが行われ、本県沼田中学校をはじめ東京代表の弦巻中学校ら8チームが決勝トーナメント戦へ進出した。

準決勝第一試合は、大津中対沼田中で行われ三対一で沼田中が、第二試合は、弦巻中が川口西中を三対一で破り共に決勝戦に進出した。決勝戦は弦巻中が三点を先取し、副将、主将戦で追いこむ沼田中をおしきり、三度目の優勝を手中にした。

個人戦では、軽量級の部で須田好和（渋川中）が三位に入賞した。

なお、本県の主な戦績は、第三回大会団体戦で昭和南中が第二位同大会個人戦軽量級において、石関選手が優勝している。

〔団体戦〕

◇予選リーグ

▽1組（勝者　三和中）

三和中（茨城）二勝

日浜中（千葉）一勝一敗

常盤中（東京）二敗

▽2組（勝者　沼田中）

沼田中（群馬）二勝

鶴田中（神奈川）一勝一敗

富士見西中（埼玉）二敗

▽3組（勝者　境第一中）

境第一中（茨城）一勝一敗

子持中（群馬）一勝一敗

市川中（山梨）一勝一敗

▽4組（勝者　大津中）

大津中（神奈川）二勝

光陽中（埼玉）一引分一敗

石橋中（栃木）一引分一敗

▽5組（勝者　川口西中）

川口西中（埼玉）二勝

小泽中（千葉）一勝一敗

明大中野（東京）二敗

▽6組（勝者　国分寺中）

国分寺中（栃木）二勝

渋川中（群馬）一勝一敗

甲府南中（山梨）二敗

▽7組（勝者　大原中）

大原中（千葉）二勝

石下中（茨城）一勝一敗

甲府南西中（山梨）二敗

▽8組（勝者　弦巻中）

弦巻中（東京）二勝

市貝中（栃木）一勝一敗

浦島丘中（神奈川）二敗

◇決勝トーナメント

▽一回戦

沼田中　④――1　三和中

大津中　②――2　境第一中

（内容）

川口西中③――1　国分寺中

弦巻中　④――0　大原中

▽準決勝

沼田中　③――1　大津中

弦巻中　③――1　川口西中

▽決勝

沼田中　0――③　弦巻中

小室　篤　背負　○古賀稔彦

笠間好雄　払腰　○宮地秀之

青木則夫　裏投　○矢ケ部光昭

水野竹長決勝で惜敗
―全日本女子関東予選―

昭和五十七年度第五回関東女子柔道選手権大会・全日本女子関東地区予選会は、八月二十一日川口市体育武道センターで開催された。

本県からは五人が出場、水野修子（56kg）長竹秀子（61kg）が決勝戦へ進出した。

◇試合成績

〔52kg級〕

▽1回戦

猪瀬明美　遠慮絞〇八木橋千恵（佐藤）

▽準決勝

桜井文子㊀優　勢　吉田雅子

水野修子㈠巴　投　長谷川双葉（田島）

▽決勝

桜井文子　優　勢㊀稲垣ひとみ

水野修子〇袈裟固　遠藤恵子

▽決勝

水野修子　横四方〇稲垣ひとみ

〔61kg級〕

▽一回戦

長竹秀子〇内股透　小名木まゆみ（朝持）

▽準決勝

長竹秀子〇袈裟固

▽決勝

小室　篤　背負　○古賀稔彦

笠間好雄　払腰　○宮地秀之

青木則夫　裏投　○矢ケ部光昭

橋本（境南中）が八人抜き
紅白試合

昭和五十七年度紅白試合は七月二十五日、県武道館において開催された。

県下各地より二百一人の選手が参加し、一級の部から四段の部の紅白にわかれ、各部とも熱のこもった試合が展開された。

成績抜群者であった一級の部出場の安斉郁宏（安中二中）等三人が即日昇段（初段）となった。

◇試合成績

▽一級の部（勝点二点以上）

田島章光（前二中・七点）安斉郁宏（安中二中・七点）橋本淳樹（境南中・九点）下田清彦（倉中・二点）城田雅之（高々・二点）

▽初段の部（勝点三点以上）

狩野学（倉中・三点）小林希（五点）田村宗二（中之条・四点）

割田靖（同・四点）田中晶（前商四点）狩野浩一（前商・三点）鏡真和（育英・三点）広瀬勝（高商三点）小畑順一（育英・三点）橋徳重（育英・三点）有間庄一（前商・三点）富沢弘樹（育英・四点）須藤真矢（利商・四点）

▽弐段の部（勝点三点以上）

緒方直樹（育英・四点）熊井宏之（群大・三点）

▽参段・四段の部では勝点三点以上の該当者なし。

◇成績抜群者

（一級の部）

安斉郁宏（安中二中）

七勝（内一本勝五）一分

橋本淳樹（境南中）

八勝（全部一本勝）一敗

大久保　徹（前橋二中）

七勝（内一本勝六）一分

桜井道場が準優勝
全日本少年柔道練成大会

昭和五十七年度全日本少年柔道練成大会は八月一日、日本武道館において開催された。

試合は、五ブロックにわかれ、予選リーグが行われた。本県からは九チームが参加し、第四ブロックに出場した桜井道場（高崎）は決勝戦へ進出、準優勝に輝いた。

◇試合成績

〔第一ブロック〕

▽予選リーグ

富沢道場（前橋）　一勝二敗

新田町柔道スポーツ少年団（新田）一勝二敗

〔第二ブロック〕

▽予選リーグ

石井道場（榛名）　一勝二敗

〔第三ブロック〕

▽予選リーグ

田島道場（前橋）　三勝

▽決勝トーナメント一回戦

田島道場　①――1　市島道場（代表）（東京）

▽準々決勝

田島道場　0――⑤　松島道場（長野）

〔第四ブロック〕

▽予選リーグ

高崎市柔道教室（高崎）二勝一敗

鎌塚道場（榛名）　二勝一敗

桜井道場（高崎）　三勝

▽決勝トーナメント準々決勝

桜井道場　④――0　仲よし柔道（岩手）

▽準決勝

桜井道場　①――0　ペンゼン道場（東京）

▽決勝

桜井道場　0――①　練成熱分団（青森）

文京盲学校が優勝
関東盲学校大会

第15回関東地区盲学校柔道大会は九月十九日（日）、県武道館において開催された。

選手は、普通科および専攻科程に学ぶ生徒で、有段者もおり、活気にあふれた試合、応援が行われた。

「球技や、走るスポーツよりも柔道は相手と組んでいるため安心して出来、身体を鍛えるのには一番良いスポーツだ」と群馬盲学校前任の高野佐太郎（現国体事務局）先生の指導を同校監督松本幸久先生は話してくれ、現在もひきついで指導にあたっている。

◇試合成績

〔団体戦〕

一位　文京盲学校

二位　群馬盲学校

三位　平塚盲学校

〔個人戦〕

▽軽量級（8人出場）

一位　指籐幸治　（平塚）

二位　豊福　慎　（文京）

三位　塩田好浩　（群馬）

▽中量級　（11人出場）

一位　黒沢　明　（群馬）

二位　柄沢勝夫　（群馬）

三位　田村正美　（文京）

▽重量級（3人出場）

一位　谷口　勝（文京）

二位　縫田浩司（文京）

三位　佐藤良幸（平塚）

生方浩哉　引分　飛松和雄

竹渕伸二　引分　久保山輝実

◇試合成績

一位　弦巻中学校（東京）

二位　沼田中学校（群馬）

三位　大津中学校（神奈川）

〃　川口西中学校（埼玉）

〔個人戦〕

◇軽量級（24人出場）

塩田直勝（子持中）三回戦

諸田政彦（沼田中）一回戦

須田好和（渋川中）第三位

◇重量級

狩野祐一（子持中）一回戦

外所明彦（渋川中）一回戦

笠間好雄（沼田中）二回戦

戦評

戦前の予想通り、東京代表の弦巻中の圧勝に終った。見事に完成された、体力と技力で個人、団体ともに制した。高校生の大会でも通用するほどの実力であった。しかし、中学時代にあれほど完成させていいものだろうか。負け惜しみを言わせてもらえば、本県勢の未完成の魅力を買いたい。高校、大学での成長を期待する。本県勢にあっては、沼田中の第二位が光る。清水端監督のご苦労の程が察せられます。また、子持中、渋川中の善戦も惜しまれる。両チームとも、あとひとつに泣いた。子持中の寝技のうまさが光ったが、対大型選手に、もうひと工夫はしい。個人的には弦巻中の全選手が群を抜いていた。ほかでは、渋川中の須田好和君の活躍がすばらしかった。背負投と寝技のうまさに感心させられた。高校での成長が楽しみだ。続いて、塩田直勝（子持中）的場勉（千葉・小湊中）山口鉄也　浅野繁（千葉・大原中）浅倉明弘　小貫幸夫、金子明生（埼玉・川口西中）等の将来性に期待がもてる。

（錯雷）

井浦接骨院
院長　井浦宣彦
群馬県利根郡新治村布施1577
TEL　02786-4-0649

荒物・紙・石鹸・家庭用品・雑貨・畳材料
総合卸問屋
㈱マルキホームズ
代表取締役　石澤頼之助
沼田市上原町1697
TEL(0278)3－0110㈹・3－2982

利根が盤石の十七回目の優勝

県民大会郡の部は前橋市の部

第20回県民体育大会柔道競技は十月三十一日（日）県武道館において開催された。

市の部では、四年連続して前橋渋川の決勝戦となり、前橋は一対一の内容差で渋川を破り四年ぶりに返り咲いた。郡の部では利根が準決勝で二対〇で群馬を破り、決勝では北群馬を三対二で破り、17回目の優勝を手中にした。

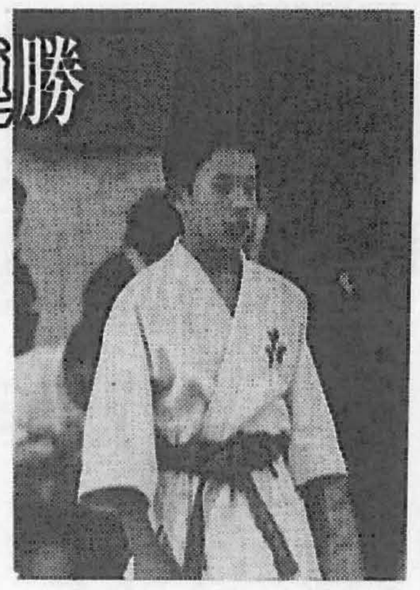
◆試合結果

【郡の部】

▽二回戦
利根③——1吾妻
群馬②——1多野
新田②——1碓氷
北群馬④——0佐波
▽二回戦
利根③——1甘楽
群馬②——2新田
（内容）
邑楽③——2新田
北群馬③——2勢多
▽準決勝
利根②——0群馬
北群馬③——2邑楽
▽決勝
利根③——2北群馬
頃藤真矢　○払腰　狩野輝彦
小林　内股○森田喜美雄
綿貫弘樹　合技○大沢智夫
堤　利夫　○襲技　佐復裕幸
原沢研祐　○合技　狩野康夫

【市の部】

▽一回戦
太田③——1安中
前橋①——1沼田
（代表戦）
桐生①——1館林
（代表戦）
▽二回戦
渋川③——0太田


高橋龍太君

高橋龍太（桜井）が4連勝

県小学生総体

第6回群馬県小学生総体柔道競技は十月十七日（日）県武道館において開催された。開会式に於いて、第5回大会までに四連勝した檜物谷武君（石井道場）が関口会長より特別表彰された。なお、今大会において、高橋龍太君（桜井道場）が四連勝を決め、上毛新聞社よりメタルが贈られた。

◇試合成績

【男子】

▽三年軽量級　①服部明（桐持）②桜井太郎（桜井）③生方貴法（川田）・岡本守弘（伊勢崎）
▽同中量級　①星野光伸（境柔教）②小堀俊光（桐生）③小牧英光（須藤）・佐藤義則（佐藤）
▽同軽重量級　①清水信治（石井）②吉良武夫（三浦）③福田操（邑楽）・新井日出夫（桜井）
▽同重量級　①近野好秋（桐持）②加藤弘道（桐生）③斎藤直樹（田島）・平井一禎（三浦）
▽四年軽量級　①曽根将樹（桜井）②大谷浩敬（毛呂）③松平徹士（新町）・藤巻幹彦（鏑塚）
▽同中量級　①内田靖孝（長良）②斎藤孝幸（修道館）③根林秀充（石川）・山内浩（邑楽）
▽同軽重量級　①永野雄一（毛呂）②深須晃弘（新田）③川原裕道（石井）・井上裕光（尾島）
▽同重量級　①須田啓司（弘道館）②岸秀人（桜井）③早川教吉（邑楽）・佐藤淳（木暮）
▽五年軽量級　①鶴見純也（毛呂）②横山貴志（高崎）③奥原安久（弘道館）・田部井遵（境）
▽同中量級　①堀越大司（渕浅）②柳沢健一（鏑塚）③大谷秀樹（高崎柔教）・小此木芳浩（毛呂）
▽同軽重量級　①戸塚信幸（桜井）②五十嵐雅彦（鏑塚）③門倉真人（桜井）・堀込恭才（関）
▽同重量級　①木暮順之（修道館）②広神浩治（石井）③仁木知則（須藤）・大谷政行（尾島）
▽六年軽量級　①秋元浩一（邑楽）②瀬端木信道（修道館）③山田裕司（板倉）・栗原博正（毛呂）
▽同中量級　①高橋龍太（桜井）②村田和亮（桜井）③大井紀明（長良）・常見州勇（境）
▽同軽重量級　①狩野敦（高崎柔教）②柳山明（新町）③白井哲也（弘道館）・渡辺浩光（修道館）
▽同重量級　①青野雅史（石川）②大沢隆志（石井）③高木啓光（原市）・家合義一（桐生）

【女子】

▽三年　①出沢知美（田島）②石井葉子（石井）③山口桂（石川）石井智子（石井）
▽四年　①本多晃子（田島）②関口陽子（高崎柔教）③羽鳥久美子（毛呂）・笠原直美（高崎柔教）
▽五年　①柳井真奈美（佐藤）②田島教江（田島）③山口和代（鏑塚）・茂原和子（高崎柔教）
▽六年　①原信子（桜井）②武井聡美（高崎柔教）③吉川英子（邑楽）・長谷川朋江（邑楽）

優勝した前橋市（上）　利根郡（下）

一、二部（団体）とも東京三洋が優勝

——県実業団大会——

第八回県実業団柔道大会は十月三日（日）、県武道館において開催された。

試合は、県内所在事業所単位で編成した九チームが参加し、団体戦および個人戦が行われ、団体戦では一・二部とも東京三洋が優勝した。

◇試合成績

【個人戦】

▽有段者25才未満
①大川勝利（東京三洋）②小沼学（高崎ハム）③野尻猛（東京三洋）・小室亨（利根沼田消防署）
▽同25才以上30才未満
①高橋敬二（細谷工業）②入沢祥二（細谷工業）
▽30才以上40才未満
①浜道久（東京三洋）②越塚輝雄（東京三洋）③宗岡和男（東京電力）
▽同40才以上
①安沢武久（利根沼田消防署）
▽無段者
①広瀬正行（森産業）②清水豊（森産業）③飯塚政幸（日鉄カーテンオール）
【団体戦】
▽一部
一位　東京三洋
二位　富沢整形外科
三位　東京電力
▽二部予戦リーグ戦Aブロック
①東京三洋（二勝）②利根沼田消防署（一勝一敗）③高崎ハム（二敗）
▽同予選リーグ戦Bブロック
①牛込接骨院（二勝）②日鉄カーテンオール（一勝一敗）③細谷工業（二敗）
▽同決勝トーナメント戦準決勝
東京三洋　③——0　日鉄カーテンオール
牛込接骨　②——1　利根沼田消防署
▽同決勝
東京三洋　②——1牛込接骨院

東京三洋1部

農一高が制す

県護国神社奉賛大会

護国神社奉賛柔道大会は十月十六日（土）高崎市武道館において開催された。

試合結果は次のとうり。

【個人戦】

▽中学一年生の部　①清水延浩（四中）②宮寺雄一郎（佐野中）③山田雅章（合賀野中）・鎌塚正志（七中）
▽中学二年生の部　①小暮大輔（片岡中）②小野関純也（七中）東徹也・茂木満幸
▽有段者の部　①富田良夫（高経大）②佐藤佳夫（農大二）③佐藤隆彦（高工）・清水尚（農大二）
【団体戦】・リーグ戦
一位　農大二高校
二位　藤岡高校
三位　高崎経済大学
▽参段の部・Aブロック　①手島英樹（新田・太田）②坂本幸男（佐波・伊勢崎）③梅沢要一（新田・太田）
▽同Bブロック　①石坂和輝（利根・沼田）②松島茂（新田・太田）②井上智夫（同）
▽四段の部　①江原教男（群馬）①沢口輝夫（新田・太田）③関師康之（同）④綱持和彦（同）

県スポーツ少年団大会

高崎西部A・桐生柔道が優勝
久呂保、毛呂道場

第18回県スポーツ少年団柔道大会は八月十日（火）、総合開会式後県武道館において開催された。

この大会は、県下のスポーツ少年団員を一同に集め、技術の向上と、競技の歓びを体験させ、団員相互の親睦を図り、スポーツ少年団の普及、振興に寄与することに目的をもち、県下各地から五十チームが参加し行われた。

◇試合結果

（小学生の部Aブロック）
▽一回戦
高崎西部A⑤——0大間々
石原道場④——1長野原
下仁田④——0箕郷町
毛呂道場①——1渋北柔道
▽二回戦
高崎西部④——0北柔愛
石原柔道③——0新田町
下仁田②——1堤ケ岡
毛呂柔道②——0邑楽町
▽準決勝
高崎西部A②——1石原柔道
毛呂柔道③——2下仁田
▽決勝
高崎西部A③——1毛呂柔道
（同Bブロック）
▽一回戦
桐生柔道　不戦勝　大胡柔道
川田柔道　⑤——0万場町
境町柔道　④——1宮城小
▽二回戦
桐生柔道　④——1中之条
新里柔道　③——2高崎西部B
川田柔道　不戦勝　確東
境町柔道　②——1長良柔道
▽準決勝
桐生柔道　不戦勝　大胡柔道
川田柔道　⑤——0万場町
境町柔道　④——1宮城小
▽二回戦
桐生柔道　④——1中之条
新里柔道　③——2高崎西部B
川田柔道　不戦勝　確東
境町柔道　②——1長良柔道
▽準決勝
桐生柔道　⑤——0新里柔道
境町柔道　⑤——0川田柔道
▽決勝
桐生柔道　④——1境町柔道
（中学生の部Aブロック）
▽一回戦
久呂保　不戦勝　大胡柔道
松井田　④——0池田柔道
大間々　③——2新田柔道
高崎西部A⑤——0万場町
箕郷柔道　⑤——0高崎西C
下仁田　不戦勝　桐生柔道
▽二回戦
久呂保　④——0邑楽町
松井田　②——0大間々
高崎西部A④——1箕郷町
下仁田　②——0長野原
▽準決勝
久呂木　⑤——0松井田
下仁田　③——0高崎西A
▽決勝
久呂保　③——1下仁田
（同Bブロック）
▽一回戦
水上町　③——0高山柔道
伊勢崎　⑤——0新里
吉岡柔道　④——1川田柔道
渋北地区　⑤——0長野原東
毛呂柔道　不戦勝　石原柔道
▽二回戦
伊勢崎　⑤——0吉岡柔道
渋北地区　④——0高崎西B
毛呂柔道　②——0長良柔道
▽準決勝
伊勢崎　③——2伊勢崎
毛呂柔道　④——1渋北地区
▽決勝
桐生柔道　④——1境町柔道
（中学生の部Aブロック）
▽一回戦
久呂保　不戦勝　大胡柔道
松井田　④——0池田柔道
大間々　③——2新田柔道
高崎西部A⑤——0万場町
箕郷柔道　⑤——0高崎西C
下仁田　不戦勝　桐生柔道
▽二回戦
久呂保　④——0邑楽町
松井田　②——0大間々
高崎西部A④——1箕郷町
下仁田　②——0長野原
▽準決勝
久呂木　⑤——0松井田
下仁田　③——0高崎西A
▽決勝
久呂保　③——1下仁田
（同Bブロック）
▽一回戦
水上町　③——0高山柔道
伊勢崎　⑤——0新里
吉岡柔道　④——1川田柔道
渋北地区　⑤——0長野原東
毛呂柔道　不戦勝　石原柔道
▽二回戦
伊勢崎　⑤——0吉岡柔道
渋北地区　④——0高崎西B
毛呂柔道　②——0長良柔道
▽準決勝
伊勢崎　③——2伊勢崎
毛呂柔道　④——1渋北地区
▽決勝
桐生柔道　④——1境町柔道
（中学生の部Aブロック）
▽一回戦
久呂保　不戦勝　大胡柔道
松井田　④——0池田柔道
大間々　③——2新田柔道
高崎西部A⑤——0万場町
箕郷柔道　⑤——0高崎西C
下仁田　不戦勝　桐生柔道
▽二回戦
久呂保　④——0邑楽町
松井田　②——0大間々
高崎西部A④——1箕郷町
下仁田　②——0長野原
▽準決勝
久呂木　⑤——0松井田
下仁田　③——0高崎西A
▽決勝
久呂保　③——1下仁田
（同Bブロック）
▽一回戦
水上町　③——0高山柔道
伊勢崎　⑤——0新里
吉岡柔道　④——1川田柔道
渋北地区　⑤——0長野原東
毛呂柔道　不戦勝　石原柔道
▽二回戦
伊勢崎　⑤——0吉岡柔道
渋北地区　④——0高崎西B
毛呂柔道　②——0長良柔道
▽準決勝
伊勢崎　③——2伊勢崎
毛呂柔道　④——1渋北地区
▽決勝
桐生柔道　④——1境町柔道

壮年柔道大会

昭和五十七年度壮年柔道大会は七月十八日、県立武道館で開催され、試合結果は次のとうりです。

◇試合成績

▽初段の部　①青木伸一（群馬支部）②福田誠（同）③小牧辻野友久（群馬）④川浦美好（同）
▽弐段の部　①尾林順（新田・太田）②長谷川憲治（利根・沼田）③大滝勝（邑楽・館林）④久保田勉（佐波・伊勢崎）⑤（片岡中）②小野関純也（七中）東徹也・茂木満幸
▽参段の部　①原雄一（塚沢中）・飯野和仁（七中）
▽中学三年生の部　①原泰光（塚沢中）②黒沢正典（佐野中）③山室忠昭（佐野中）・外処太（塚沢中）
▽無段者の部　①松岡伸一（高経大）②堀口治久（高工）③

小林茂(弘道館)が優勝

県道場大会参段の部

第29回群馬県柔道場連合会柔道大会は九月十二日（日）、県武道館において開催された。

県下各地より19道場が参加、小学校男女学年別等、19部門46種目に分かれ競技が行われた。

各種目入賞者は次の通りです。

（小学生）

◇一年の部

▽軽量級　①高橋俊将（佐藤）②佐藤毅然（桜井）③松本賢司（石井）・江原豊晴（佐藤）

▽中量級　①柳沢篤史（佐藤）②城田伊織（佐藤）③佐藤宏和（湯浅）・関藤信幸（修道館）

▽軽重量級　①大江健二郎（佐藤）②本多伸光（田島）③中山隆（桜井）・山口俊輔（石川）

▽重量級　①小林篤史（古平）②久保隆（古平）③木暮雅人（木暮）・木島貴倫（桜井）

◇二年の部

▽軽量級　①服部健（剣持）②三木良治（石井）③郁九充俊（松村）・木島貴志（石原）

▽中量級　①神保幸（剣持）②新井昭和（桜井）③木島三博（桜井）・川和彦（神宮）

▽軽重量級　①剣持伸彦（剣持）②登坂敏行（石井）③石井久雄（石井）・連水直樹（須藤）

▽重量級　①赤沢良太（田島）②樋口敏（桜井）③戸塚宣昭（湯浅）・川上良一（石井）

▽軽重量級　①戸塚信幸（桜井）②塚越大司（湯浅）③五十嵐雅彦（湯浅）・市川一夫（石川）

▽重量級　①木暮順之（修道館）②広神浩治（石井）③松本光弘（石井）・清水和樹（同）

◇六年の部

▽軽量級　①高橋龍太（桜井）②桜沢邦彦（富沢）③瀬端木信道（修道館）・小川寛（木暮）

▽中量級　①西沢康明（桜井）②桑子精一（修道館）③大木武（桜井）・小牧成一（須藤）

▽軽重量級　①早野修二（石井）②田内茂（修道館）③星野敦哉（柴崎）・松枝義（田島）

▽重量級　①大沢隆志（石井）②高木啓光（桜井）③川端真治（石川）・木暮守宏（桜井）

（中学生）

◇一年の部

▽軽量級　①田島章充（田島）②成沢昭浩（桜井）③田島淳二（田島）・佐藤晃一（桜井）

▽中量級　①鎌塚正志（湯浅）②星野伸夫（関）③平野徹也（湯浅）

▽軽重量級　①田代武久（石川）②北田昌洋（柴崎）③吉田孝（田島）・柴崎真（剣持）

▽重量級　①檜物谷武（石井）②宮寺雄一郎（湯浅）③植原秀信（須藤）・奈良昇志（田島）

◇二年の部

▽軽量級　①田辺宏（関）②小川寿司（剣持）③野田鯖延（桜井）・大木茂行（桜井）

▽中量級　①大久保徹（田島）②清水信晴（田島）③斎藤則之（田島）・船津睦（同）

▽軽重量級　①橋本淳樹（石川）②沢口雅彦（剣持）③片岡茂治（石川）・鬼形利明（神宮）

▽重量級　①松沢英行（須藤）②小幕大輔（湯浅）③飯野和仁（湯浅）・小野関純也（須藤）

◇三年の部

▽軽量級　①小山義弘（神宮）②塚浩一（桜井）③須永嘉明（田島）

▽中量級　①竹本哲也（桜井）②田島隆行（田島）③有坂等（神宮）・田胡文夫（佐藤）

▽軽重量級　①星野悟（関）②外処太（佐藤）③中村尊志（三浦）・倉沢貴志（佐藤）

▽重量級　①斎藤泰光（田島）②原泰之（佐藤）③小野塚利幸（関）

◇初段の部

①星野隆（関）②富沢豊（田島）③千吉良勝美（田島）・福島信雄（石川）

◇二段の部

①吉原秀忠（桜井）②石川雅明（石川）③渡辺良行（桜井）・雨谷紀雄（弘道館）

◇三段の部

①小林茂（弘道館）②高松守人（弘道館）③清水一彦（桜井）・中村成一（同）

（女子小学生）

◇一年の部

①内海有紀（湯浅）②田島真紀子（田島）

◇二年の部

①中島綾子（湯浅）②平野亜紀代（湯浅）③佐藤美保（佐藤）

◇三年の部

①出沢和美（田島）②山口桂（石川）③佐藤みどり（木暮）・石井葉子（石井）

◇四年の部

①木多晩子（田島）②高木久仁子（木暮）③九岡さやか（須藤）・小竹実千代（湯浅）

◇五年の部

①山口和代（湯浅）②柳井真奈美（佐藤）③田島教子（田島）・茂原和子（湯浅）

◇六年の部

①原佳子（桜井）②石川佳子（石川）③竹内里佳（田島）

（女子一般）

①水野修子（田島）②長竹秀子（剣持）③塙瀬明美（佐藤）

子持中が優勝

—全国中学校県予選—

第17回県中学校総合体育大会、第32回柔道大会兼第13回全国中学校柔道大会県予選会は七月三十・三十一日の両日、県武道館において開催された。

初日は個人戦（体重別）が行われ大野隆之（軽量級・子持中）飯島恭有（中量級・多々良中）狩野学（重量級・倉賀野中）毛呂和美（女子オープン・尾島中）がそれぞれ優勝。二日目に団体戦が行われた。

試合は予選リーグ、決勝トーナメント、上位四校によるリーグ戦が行われ、子持中が三戦全勝し優勝した。

（個人戦）

◇軽量級（42人出場）

▽準決勝

須田好和㊀小外刈　細谷　睦（榛名）

（渋川）

大野隆之○縦四方　石岩里己（子持）

（邑楽）

▽決勝

大野隆之○縦四方　須田好和

◇中量級（42人出場）

▽準決勝

星野　悟○合せ技　入沢憲二（渋北）

（子持）

飯島恭有○裏投四　細矢　昇（多々良）

（薄根）

▽決勝

飯島恭有㊀内　股　星野　悟

◇重量級

▽準決勝

◇予選リーグ

▽Aブロック（勝者　渋川中）

①渋川中　二勝　②前橋四中　一勝一敗　③勢多東中　二敗

▽Bブロック（勝者　新治中）

①新治中　二勝　②赤堀中　一勝一敗　③渋北中　二敗

▽Cブロック（勝者太田北中）

①太田北中　二勝　②高崎四中　一勝一敗　③大間々中　二敗

▽Dブロック（勝者　子持中）

①子持中　二勝　②伊勢崎二中　一勝一敗　③藤岡東中　二敗

▽Eブロック（勝者　邑楽中）

①邑楽中　二勝　②万場中　一勝一敗　③安中一中　二敗

▽Fブロック（勝者　利南中）

①利南中　二勝　②下仁田東中　一勝一敗　③榛名中　二敗

▽Gブロック（勝者　尾島中）

①尾島中　二勝　②榛東中　一勝一敗　③高岡市　二敗

▽Hブロック（勝者　沼田中）

①沼田中　二勝　②嬬恋西中　一勝一敗　③多々良中　二敗

◇決勝トーナメント一回戦

渋川中　⑤——0　高崎四中

新治中　③——0　榛東中

下仁田東①——1　太田北中

（代表戦）

子持中　④——0　万場中

伊勢崎二⑤——0　邑楽中

嬬恋西中②——1　利南中

尾島中　④——0　前橋四中

沼田中　④——0　赤堀中

▽同二回戦

新治中　②——2　渋川中

（内　容）

子持中　④——0　下仁田東

伊勢崎二②——2　嬬恋西中

（代表戦）

沼田中　②——1　尾島中

◇上位四校リーグ

一位　子持中　三勝

二位　沼田中　二勝一敗

三位　新治中　一勝二敗

四位　伊勢崎二中　三敗

なお、団体戦は上位二校、個人戦は重量級、中量級の上位2名が全国大会への出場権を手中にした。

渋川高(定)が優勝

県高校定通制柔道大会

第27回県高校定通制柔道大会は九月十九日、前工柔道場にて行われた。

団体二チーム、個人戦出場者8人と、定通部の柔道人口が減少しているかに思われる。

職業を持ち、勉学に励む生徒の奮起を期待したい。

◇試合結果

埴田(渋川定)が優勝

全国高校定通制県予選

◇試合成績

一位　埴田英樹（渋川高校）

二位　久保田宙（沼田高校）

三位　藤村隆則（渋川高校）

四位　前田芳明（中之条高校）

五位　新井光一（高崎工業高校）

六位　清水博美（渋市工業高校）

七位　渡辺文雄（前橋工業高校）

（団体戦）

一位　渋川高校

二位　高崎工業高校

（個人戦）

一位　藤村隆則（渋高）

二位　埴田英樹（渋高）

三位　久保田宙（沼高）

〃　清水博美（渋工）

全国青年大会県予選

沼田市が代表に

第27回群馬県青年祭体育の部兼第30回全国青年大会県予選会は九月十二日、前橋市民体育館で開催された。試合は、四チームのリーグ戦で行われ、市の部では沼田中学校、昨年に続き二連勝を飾った。

◇試合成績

一位　沼田市　三勝

二位　利根郡　一勝一引分一負

三位　吾妻郡　一勝二負

四位　勢多郡　一引分二負

沼田中が優勝

新治中　利根・沼田中学新人

昭和五十七年度、利根沼田中学校新人柔道大会は十月二十四日、沼田小講堂記念体育館において行われ、市の部では沼田中学校、郡の部では水上中学校が優勝した。

◇試合結果

（市の部）

▽団体リーグ戦（5チーム）

一位　沼田中学校　四勝

二位　利南中学校　三勝一敗

三位　薄根中学校　二勝二敗

四位　沼田西中学校　一勝三敗

五位　池田中学校　四敗

（郡の部）

▽予選リーグA

①新治中（三勝）②月一中（二勝一敗）③昭和東中（一勝二敗）④利根東中（三敗）

▽予選リーグB

①水上中（二勝）②昭和南中（一勝一敗）③川場中（二敗）

▽決勝トーナメント一回戦

新治中　③——1　昭和南中

水上中　④——1　月一中

▽三位決定戦

昭和南中③——月一中

▽決勝

水上中　②——2　新治中

（内容）

（新井隆記）

工作・鍛圧・産業・精密機械

株式会社 山崎機械店

〒370 高崎市飯塚町1809番地
TEL (0273)(22)2701(代)

代表取締役　山崎公一
専務取締役　山崎敏夫
取締役営業部長　梅津　稔
技術部長（柔道部顧門）　山崎定吉

課長（柔道部長）　佐々木幸雄
課長代理（柔道部監督）　竹内　一浩
課長代理（柔道部コーチ）　吉田　順一

“システムエンジニアリング社員募集中”

代理店
●小松製作所（プレス・ベンダー・シャー）
●三菱電機（ワイヤカット・放電加工機）
●トルンプ社（レーザープレス）
●津上　●遠州製作（NC工作機）
●大隈鉄工所（NC工作機）
●アガトン社　その他輸入機械

吉原秀忠が恩返し
高崎市民柔道大会
有段者の部で優勝

昭和五十七年度、高崎市民体育大会柔道競技は十一月三日、高崎市武道館で開催された。一般有段者の部で、決勝に進んだ吉原秀忠（前商・桜井道場）は今年、絶好調の萩原正明四段（城西大・東北柔専出）に一本勝し、優勝した。桜井道場において胸を借りて育った吉原としては、見事な恩返しをはたした。

◇試合成績

▽幼稚園の部　①佐藤正信（佐藤）②沢木輝信（佐藤）③石井猛志（佐藤）・笠原聡（同）

▽幼・一年女子の部　①内海友紀（鏃塚）②佐藤聖子（佐藤）③田村明美（高崎柔教）・本川滋子（同）

（小学生の部）

▽一年重量級　①柳沢篤史（佐藤）②城田伊織（佐藤）③塚越雅行（佐藤）・中山隆（桜井）

▽同軽量級　①高橋俊幸（佐藤）②大石洋明（桜井）③尾崎将道（桜井）・江原豊晴（佐藤）

▽二年重量級　①樋口毅（桜井）②笠原武彦（高崎柔教）③原口敦禄（鏃塚）・長谷川友彦（同）

▽同軽量級　①山田孝之（桜井）②門倉貴浩（桜井）③武藤禎康（桜井）・木島三博（同）

▽三年重量級　①井口力也（桜井）②佐藤義則（佐藤）③清家剛（桜井）・新井日出夫（同）

▽同軽量級　①磯部光利（桜井）②桜井太郎（桜井）③宮田直広（高崎柔教）・小林真澄（同）

▽四年重量級　①原健寿（桜井）②横本孝一（桜井）③酒井裕次（桜井）・高橋幹夫（高崎柔教）

▽同軽量級　①広兼昌隆（佐藤）②千野剛（桜井）③伊藤雄吾（桜井）・曽根将樹（同）

▽五年重量級　①戸塚信幸（桜井）②大谷秀樹（高崎柔教）③門倉真人（桜井）・堀越大司（湯浅）

▽軽量級　①藤田真一郎（桜井）②長谷川亮（佐藤）③桜井和弘（桜井）・横山貴志（高崎柔教）

▽六年重量級　①狩野敦（高崎柔教）②西沢康明（桜井）③小林中（七中）・南雄豊（桜井）

▽同軽量級　①高橋龍太（桜井）②大木武（桜井）③清水利也（桜井）・清水純一（鏃塚）

▽二年女子　①中島綾子（高崎柔教）②佐藤美保（佐藤）③平野亜紀代（鏃塚）・小林れい子（高崎柔教）

▽三年女子　①樋口深雪（高崎柔教）②吉沢久美子（高崎柔教）③田村ひとみ（高崎柔教）

▽四年女子　①笠原直美（高崎柔教）②武井佳松（高崎柔教）③本川滋子（高崎柔教）・武田広美（鏃塚）

▽五年女子　①柳井真奈美（佐藤）②山口和代（鏃塚）③茂原和子（高崎柔教）

▽六年女子　①原佳子（桜井）②武井聡美（高崎柔教）③小松崎政子（佐藤）

▽一般女子　①原ふみ子（桜井）

（中学生の部）

▽一年重量級　①富寺雄一郎（倉中）②横原秀信（六中）③秋山稔（倉中）・矢島満（同）

▽同中量級　①清水延浩（四中）②山田雅章（倉中）③平富司喜（八中）・堀江秀治（倉中）

▽同軽量級　①鏃塚正志（七中）②成沢昭浩（一中）③平野徹（七中）・光山豊（同）

▽二年重量級　①小暮太輔（片中）②小野関純也（七中）③島屋強（七中）・飯野和仁（同）

▽同中量級　①五十嵐義尚（四中）②内田智之（倉中）③安倍一利（佐中）・東隆盛（同）

▽同軽量級　①坂本茂（塚中）②保坂剛志（倉中）③井上利昌（一中）・高橋真（四中）

▽三年無差別　①原泰光（塚中）②竹本哲也（四中）③桜井英樹（四中）・倉沢貴志（塚中）

（一般の部）

▽無段者　①ジム・ヒル（桜井）②八木晋行（高商）③松岡伸一（高経大）・ティム・バンドクリスト（農大二高）

▽有段者　①吉原秀忠（桜井）②萩原正明（桜井）③富田良夫（高経大）・萩原賢一（桜井）

吉原秀忠君は、優勝の感想は、という質問に、「まだ勝ったのだという実感がありません。でも大学も出場する大会で優勝出来たので大変うれしい気がします。萩原正明先生との決勝戦は、同じ桜井道場の同門で、先輩というよりは先生にあたる人なので、負けて当り前だという気持で力いっぱいやりました。萩原先生は、県下でも有数の強い選手で、自分としては苦手な寝技を重点的に教えてもらいましたが、その寝技で勝てたので本当にうれしいです。自分が今日勝てたのは、萩原先生や道場の桜井先生、前商の監督や先輩の方々のお蔭だと思います。これからも頑張ります。」と語った。

吉原秀忠君

東部が勝つ
沼田市民大会

昭和五十七年度、沼田市民体育大会柔道競技は九月五日、沼田小講堂記念体育館において開催された。

試合結果は次のとうり。

▽予選リーグA

①東部（三勝）②薄根（一勝一引分一敗）③北部（一勝一引分一敗）④川田（三敗）

▽予選リーグB

①西部（三勝）②中部（一勝一引分一敗）③利南（一勝二敗）④池田（一引分二敗）

▽決勝トーナメント一回戦

薄根②——2西部（代表戦）

東部④——0中部

▽三位決定戦

西部②——2中部（代表戦）

▽決勝

東部③——0薄根

◇試合成績

①東部　②薄根　③西部

桐生近接柔道大会
低学年団体は毛呂柔道場
高学年団体は桐生スポ少

第3回桐生近接少年柔道大会は七月四日、桐生市立青年の家武道場において開催された。

◇試合成績

（低学年の部）

▽予選リーグ

・Aブロック　①足利遣士館道場　②尾島町柔道部　③新里村柔道教室　④境町柔道教室B

・Bブロック　①毛呂柔道場　②修道館木暮道場　③邑楽町柔道スポーツ少年団　④桐生スポーツ少年団C

・Cブロック　①桐生スポーツ少年団A　②木暮柔道館　③板倉町柔道教室

・Dブロック　①剣持柔道館　②桐生スポーツ少年団B　③境町柔道教室A　④長良柔道スポーツ少年団D

・Eブロック　①尾島町柔道部　②桐生スポーツ少年団C　③剣持柔道館

・Fブロック　①桐生スポーツ少年団A　②長良柔道スポーツ少年団　③新里村柔道教室B

▽二次予選リーグ

・ABCブロックの勝者　①足利遣士館　②毛呂柔道場　③木暮柔道館

・DEFブロックの勝者　①桐生スポーツ少年団A　②境町柔道教室A　③尾島町柔道部

▽決勝戦

桐生スポーツ③——10足利少年団　遣士館

▽最優秀選手　小林正明（毛呂）

敢闘賞　近野好秋（剣持）　（野口雄望記）

（高学年の部）

▽一次予選リーグ

・Aブロック　①木暮柔道館　②邑楽町柔道スポーツ少年団　③大間々

・Bブロック　①足利遣士館　②桐生スポーツ少年団B　③境町

新治部会に栄冠
利根・沼田部会対抗

第31回、利根沼田支部、部会対抗柔道大会は十月十七日、沼田小講堂記念体育館において七チームが参加して行われた。

試合は予選リーグ戦後、決勝トーナメント戦が行われ、新治部会が優勝した。

◇試合結果

▽予選リーグA

①沼田A（三勝）②沼田C（二勝一敗）③池田（一勝二敗）④昭和（三敗）

▽予選リーグB

①沼田B（一勝一分）②新治（一勝一敗）③水上（一引分一敗）

▽決勝トーナメント一回戦

新治②——2沼田A（代表戦）

沼田B③——2沼田C

▽決勝

新治②——1沼田B

◇試合成績

①新治部会　②沼田部会B　③沼田部会A・同C　（新井隆記）

優勝　多々良中学
館林市柔道大会

館林市柔道大会は九月十二日、館林市城沼総合体育館において開催された。

◇試合成績

（個人戦）

▽小学一・二年生の部

①川村友也　②矢口綾子　③中島忠行・島羽匠

▽小学三・四年生の部

①内田靖孝　②島羽正人　③沖山浩之・小野田富康

▽小学五・六年生の部

①大井紀明　②石原篤　③武田美雪・小林好明

▽中学一・二年生の部

①吉田雅行　②増島千春　③川村一幸・外九久男

▽中学二・三年生の部

①飯島基明　②鶴見勇　③堀口友之・吉川幸次

（団体戦）・リーグ戦

一位　多々良中学校A

二位　館林第一中学校

三位　邑楽中学校

四位　多々良中学校B　（中里伍一記）

十九回目独同時交流を終えて

館林高校三年　野口直樹

僕は、この第9回目独同時交流で初めて、民泊、外人との試合を経験しました。

民泊は、やはり最初のうちは、不安でした。言葉や、食事などで苦労しましたがそのうち慣れてきて、言葉の面では、ただ単語を並べるだけだが、なんとか通じる様になったし、食事の面でも、苦手だった肉も食べられる様になった。

僕が行った町は、マインツ・ケルンを中心に、ゾーリンゲンやホイゼンシュタム、などですが、打ち溶けて話してみるとみんな良い人達ばかりで、西ドイツに行く事に対しての不安は、だいたい消えていました。

僕は、柔道グループとしてこの同時交流に参加したので、練習、試合は、もちろんありました。でも、試合をする度に、練習をする度に、友人が一人、二人とできて行き、帰るころには、たくさんの友人ができていました。チームの成績は三敗一引分けで一度も勝てませんでしたが、僕の個人成績はさい二勝一敗一引分けと、自分では満足しています。それに一番最後の試合はドイツのナショナルチームでした。そこでナショナルチャンピオンに勝てたというのは、最高の思い出になりました。

僕個人で一番印象に残っている町は、マインツです。マインツは最初の民泊先でしたが、期間が長かったせいもあるのでしょうが、一番多くの友人ができ、仲良くなれたところです。また、一番印象に残った所は、ケルンの大聖堂です。あの大きさ、彫刻の素晴らしさ言葉では、とても言い表わせない程でした。

とにかく、西ドイツに行く事ができて、本当に良かった。西ドイツの人達は、とても暖かかった。「おまえは、私の息子で、私はおまえの親だ。」と言われ、とてもうれしかった。僕が財布をさわっているのを見つけると、「金の事なんか心配するな。」と怒ったり、一緒にプロレスをして遊んだり、今でもその楽しかった毎日が頭の中にあります。

僕達の通訳をしてくれた人が、「2年後ぐらいに日本に行きます。」と言っていました。そして、僕達に飛行機代だけなんとかお金をためて、また西ドイツに来なさい。それでドイツに居たいだけ居なさいと言ってくれたのはうれしかった。僕はその言葉に甘えて、また西ドイツに行って、ドイツの友人達に会って来たいと思う。

編集後記

秋も深まりいよいよ冬将軍到来も真近である。そして島根国体も終り、あかぎ国体は秒読みの段階へと入る。

汗と光る目が夜の武道館に熱気を放っていた。強化選手の健闘を祈る。（江原隆起）

強化委員も強化選手も一丸となって活動する姿は、正に男の雄姿で美しい。真のあるものの金てに美しさが伴うという。真の美しさを求めて見事に開花させたいものだ。（牛込祥浩）

貴方の愛車の相談役に

モービル石油株式会社代理店
株式会社日本ダンロップ代理店
大成火災海上保険株式会社代理店

株式会社 正田卯平商店

館林市本町3－1－7
TEL 0276(74)1600(代)

ぐんま柔道

発行所　群馬県柔道連盟
発行人　関口　恒五郎
編集室
高崎市飯塚町1040
桜井　弘
電　話　0273－61－2502

嘉納師範遺訓

柔道は心身の力を最も有効に使用する道であるその修業は攻撃防御の練習に由って身体精神を鍛練修業し斯道の神髄を体得する事であるそうして是に由って己を完成し世を補益するが柔道修行の究意の目的である。

県警柔道教師に桄沢五段

明るくなった国体86kg級

桄沢博之五段

群馬県警は、十二月一日「術科指導体制に関する要綱」を制定、柔剣道の指導に師範制度を新設したのに伴い、十二月二十五日付で県警柔道教師として本県出身の桄沢博之巡査部長（二九）＝五段＝を採用した。

桄沢五段は、中央大学卒業後、警視庁機動隊に勤務。これまでハンガリー、フランス、キューバで開かれた国際大会で優勝、五十一年から全国警察柔道大会五連勝など数々の入賞歴を持つ。

桄沢選手獲得で、本県柔道のプランク部分だった中量級が埋まることになり、あかぎ国体上位入賞の可能性も一層強まってきた。

ここで桄沢五段を紹介し、あかぎ国体での活躍を期待したい。

出身地＝前橋市勝沢町出身
生年月日＝昭和28年10月24日生
家族構成＝父由秋・母恒子との三人家族
最終出身校＝中央大学法学部
職　業＝警察官（本部教養課）
柔道歴（五段）＝S45全国高校選手権70kg級5位、S49全日本学生選手権71kg級3位、S52全日本体重別選手権78kg級3位、S53ハンガリー国際柔道大会78kg級優勝、S53全日本体重別選手権大会78kg2位、S54フランス国際柔道大会78kg級優勝、同年全日本体重別柔道大会78kg級2位、同年全日本選手権大会出場、同年キューバ国際柔道大会78kg級優勝、S55年ソ連国際柔道大会78kg級3位、同年全日本体重別選手権大会78kg級2位、同年全日本選手権大会出場、同年カナダ国際柔道大会78kg級3位、S56日本国際柔道大会78kg級3位、S51～56全日本警察柔道大会（団体戦）優勝、S51・52・55全日本団体選抜柔道優勝大会優勝。
趣味＝読書・ドライブ
恩師＝高山明先生、新井礒次郎先生、山辺正路先生。
58国体へむけての抱負＝現在自分の持っている力をあかぎ国体に向けて全部出しつくして行きたい。
（一部上毛新聞より転載）

青山（前工教）が連勝

――目立った高校生の活躍――

県柔道選手権

青山が二連覇で柔道県一位に。

五十八年の県柔道選手権大会は三月二十日、前橋市民体育館で高校生十二人を含む四十八選手が参加して盛大に行われた。

あかぎ国体強化選手がすべて顔をそろえ、例年になくハイレベルの大会となったが、実力No.1で昨年のチャンピオン・青山光一四段（前工教）が三試合に一本勝ちして、圧倒的強さを発揮。破竹の二連勝を飾った。二位には、初出場の桄沢博之五段（県警）。三位は二年連続で高松守人三段（関口病院）根岸宏五段（常盤高教）が食い込んだ。上位四選手は、全日本柔道選手権関東地区予選の本県代表選手として選ばれた。

高校生では、新井隆義二段（前商）がベスト8に進出して大健闘。強化選手が現役警察官と九試合戦ってうち六試合で勝利を収めるなど、強化計画が着実に進んでいることを裏付けた。

◎試合結果（上段が勝者）

▽一回戦
須永（三洋）合せ技 木暮（県警）
星野（前商）内　股 山崎（田島）
須藤（県警）不戦勝 小林（万場）
東条（関口）大内刈 野尻（三洋）
田上（育英）支釣込 松浦（県警）
藤塚（県警）払い腰 新井（渋川）
小渕（三洋）払い腰 林（前商）
吉田（前商）大外刈 藤塚 博幸
大沢（県警）払い腰 小渕 伸治
島居（渋工）内　股 長谷川正博
桄沢（県警）大内刈 金子 和明
小林（関口）僅　差 富沢 弘樹
新井（前商）体落し 田中 武徳
寺町（前橋）体落し 井野 正彦
沖田（関口）大外刈 井野口吉正
飯笹（県警）大内刈 菊地 修一
雨谷（関口）体落し 小柴 伸一
根岸（常盤）横四方 荒木 泰三

▽三回戦
青山 光一 内　股 須田 和之
東条 清志 僅　差 吉原 秀忠
高松 守人 僅　差 吉田 一夫
島居 吉二 巴投げ 大沢 盛夫
桄沢 博之 大内刈 小林 茂
新井 隆義 肩　車 寺町 良次
飯笹 明宏 優　勢 沖田 興一
根岸 宏 僅　差 雨谷 紀雄

▽準々決勝
青山 光一 小外刈 東条 清志
高松 守人 僅　差 島居 吉二
桄沢 博之 僅　差 新井 隆義
根岸 宏 横四方 飯笹 明宏

▽準決勝
青山 光一 払い腰 高松 守人
（四段）　（三段）
桄沢 博之 背負い 根岸 宏
（五段）　（五段）

▽決勝
青山 光一 内　股 桄沢 博之
（上毛新聞より転載）

▶左から青山、桄沢、根岸、高松

昭和58年度行事予定表（案）

群馬県柔道連盟

月	日	曜	県内行事	時間	会場
4	3	日	全国少年柔道大会県予選	9:00	県武道館
	3	日	柔道本部総会	15:00	群馬会館
	10	日	関口杯支部対抗柔道大会㊗	10:00	県武道館
	24	日	審判講習会	9:00	〃
5	14	土	高校総体兼関東予選（個人）	9:00	県武道館
	15	日	〃　〃　（団体）	〃	〃
	22	日	高校学生別個人選手権	〃	〃
	29	日	県民体育大会　㊗	11:00	〃
6	5	日	全国高校総体県予選（個人）	9:00	県武道館
	12	日	中学校春季大会	〃	〃
	19	日	高校選手権兼全国高校総体県予選（団体）	〃	〃
	26	日	全国教員大会県予選	10:00	〃
	26	日	本部審査会（一般3.4段.女子）	〃	〃
7	3	日	全国定通制高校大会県予選	9:00	県武道館
	3	日	女子柔道講習会	13:00	〃
	10	日	中学校選抜強化（関東大会予選）	9:00	〃
	17	日	紅白試合	10:00	〃
	23	土	団体選手選考会（成年）	13:00	〃
	24	日	警察・一般合同柔道大会	9:00	〃
	30	土	中学校総体　（個人）	12:00	〃
	31	日	〃　兼全国大会予選（団体）	9:00	〃
8	10	水	スポーツ少年団大会	10:00	県武道館
	21	日	小学生総体	9:00	〃
	28	日	本部審査会（一般3.4段.女子）	10:00	〃
	28	日	団体選手選考会（少年）	13:00	〃
	28	日	県高段者大会	14:00	〃
9	4	日	青年祭柔道競技	9:30	前橋市民体育館
	11	日	道場連合会大会	9:00	県武道館
	18	日	定時高校大会	13:00	〃
	18	日	国体選手選考会（少年）	14:00	〃
	25	日	紙上審査会（高段者審査会）		（未定）
10	15	土	（あかぎ国体～開会式）		
	16	日	柔道競技		渋川市総合公園体育館
	17	月	〃		〃
	18	火	〃		〃
11	6	日	中学校新人大会	9:00	県武道館
	13	日	高校新人大会	〃	〃
	20	日	関東高校新人大会県予選	〃	〃
	25	金	警察大会	〃	〃
	27	日	実業団大会	13:00	〃
12	4	日	対東北柔導試合	13:00	県武道館
	18	日	本部審査会（一般3.4段.女子）	10:00	〃
休	29	日	段別選手権大会	10:00	県武道館
2	5	日	新年会、昇段祝賀会	10:00	未定
	19	日	県選手権大会	〃	県武道館
	26	日	本部審査会（一般3.4段.女子）	〃	〃

月	日	曜	県外行事	会場
4	24	日	全日本学生柔道体重別選手権関東予選	浦和市
	28	木	全国高段者大会	川口市
	29	祭	全日本柔道選手権大会	日本武道館
5	8	祭	全国少年柔道大会	東京都
	22	日	7.8段関東昇段祝賀会	〃
	24	火	全国警察柔道選手権大会（個人）	日本武道館
	29	日	三笠記念関東七県対抗	熊谷市
6	4・5	土・日	全国学生柔道体重別選手権大会	日本武道館
	11・12	土・日	関東高校柔道大会	茨城県
7	10	日	全国国立大学優勝大会	浦和市
8	7・9	日・火	全国高校総体	名古屋市
	10	水	全日本学生柔道優勝大会	浦和市
			関東予選	
	上旬		関東甲信越大学大会	桐木市
	13	土	全国定通制高校大会	日本武道館
	13・14	土・日	関東中学校大会	浦和市市
	20・21	土・日	全国中学校大会	浦福岡市市
	21	日	関東女子選手権兼全日本女子関東予選	川口市
	23	火	全国教員大会	天理市
9	3・4	土・日	全日本学生柔道優勝大会	日本武道館
	11	日	全日本女子選手権大会	早大
	15	祭	全日本学生選手権関東予選	浦和市市
	18	日	関東高段者大会	浦川口市
	20	火	関東警察柔道大会	日本武道館
10	25	火	関柔連6段審議会	山梨県
11	5・6	土・日	全日本青年柔道大会	川口市市
	5	土	全日本学生選手権大会	大阪〃
	6	日	全日本学生東西対抗試合	〃
	6	日	関柔連6段形審査会	神奈川県
	8	火	全国警察柔道大会	神日本武道館
	13	日	全日本新人体重別選手権関東予選	神奈川県
	27 下旬	日	全日本新人体重別選手権大会 北関東五大学柔道大会	国士館大市 前橋
休	7・8	土・日	日本国際柔道大会	日本武道館
	29	日	関柔連6段昇段祝賀会	川口市
2	11	祭	関東高校新人大会	千葉県
3	17	土	関東柔道連合会総会	栃木県
	18	日	関東柔道選手権兼全日本選手権関東予選	〃
	20	祭	全国高校選手権大会	日本武道館
	20	祭	東京近県柔道大会	警視庁武道館

県強化練習会	毎週月・木曜日午後5:00から	県武道館
高体連強化練習会	毎週水曜日午後2:00～5:00	県武道館

名称	〒番号	所在地	電話
柔道連盟	371	前橋市岩神町1-4-6	0272－33－7516
県武道館	371	同　上	0272－32－2642

あかぎ国体 審判員・係員研修の実施　　別途通知

（注）1.㊗は、国体各係員の研修日
2.予定表に変更を生じたときは、別途通知

くろおび

あかぎ国体の選手強化は寸暇を見つけて強化スケジュールが続く。あと一歩の努力を期待したい。選手強化と並行して競技役員の研修も、きめ細かく行われている。また、本大会での古式の形投の形の演技者達の努力も、日夜つづいている◆関口孝義七段（64才）接骨師。愛知、富山国体に出場。特に富山国体では、39才で本県チームの大将として活躍。現在県柔連副会長。十数年前より愛妻と共に、毎朝、ジョギングで身体を鍛えている◆柳谷勝之六段（46才）接骨師。神奈川、秋田、山口国体出場。豪快な跳腰の持ち主。現在副理事長。十年前より早朝五時に、愛犬とジョギングで鍛えている◆大藤忠昭五段（35才）接骨師。鹿児島、茨城国体に出場。現在強化部員として、国体強化選手に胸を貸している◆塚田純也六段（30才）藤岡高教員。岩手、宮崎国体に出場。現在、国体成年の部強化コーチ◆過日の関口杯で、見事な仕上りぶりを見せてくれた四人の先生方の息ひとつ乱れない立派な演技ぶりは、それぞれ、日頃の鍛練の賜であろう◆自からの国体出場経験と、日頃のご精進の成果を披露する日も近い。（錯雷）

修道館石井道場

館　長　石井　国雄7段
師　範　石井　清一6段
師範代　萩原　　達5段
師範代　石井　　洋5段
師範代　市川　平治5段

榛名町下室田278

石井接骨院

院長　石井　洋

TEL02737(4)0586

前商の快進撃つづく

湯布院大会で優勝
育英は四位

昭和57年度全国高等学校柔道湯布院練成大会は十二月二十五日～二十八日までの四日間、大分県湯布院青少年スポーツセンターで53校が参加し開催された。

同大会の参加校は、関西以西が多く、本県からは、前商・育英の二校が参加し、Aパートで試合を行った。この大会の特徴は、対戦校との話し合いで自由に出場選手数が調整出来る。団体戦で点取法、参加校をAパートに全国級、とBパートに分け参加校が20試合をする等である。

Aパートに出場した前商は、十八勝一敗一引分で優勝。育英も同パートで十六勝二敗二引分けで四位に入賞した。

◇試合成績

優勝　前橋商業　18勝1敗1分
二位　和歌山北商
三位　東海大第一高
四位　育英高校　16勝2敗1分

◇団体戦個人成績

▽前橋商業高校

吉田一夫　17勝0敗4引分
吉原秀忠　12勝2敗8引分
狩野浩一　11勝4敗7引分
星野　隆　10勝2敗8引分
井野口吉正　9勝1敗12引分
林　義彦　9勝4敗9引分
石崎　英　4勝2敗4引分
千吉原勝美　2勝1敗5引分
田中　晶　0勝2敗14引分

▽前橋育英高校

田上一也　14勝0敗6引分
富沢弘樹　8勝1敗11引分
石川雅明　8勝2敗10引分
小畑順一　7勝1敗6引分
鏡　真和　7勝4敗7引分
佐俣信行　7勝4敗3引分
福島信雄　6勝4敗9引分
荻原克己　1勝1敗1引分

（松本・新井記）

東北柔専に勝つ！
昭和57年12月5日　―県武道館―

前半の6人までで4対0とリードされた時点では前途多難な試合展開が予想されたが、竹内から、吉原、渡辺、新井が健闘して同点とし中盤戦では着々と勝点をあげ後半の追いあげを辛うじてかわし昨年に続き今年も勝った。大将戦、

柔専、五月女対群馬、鳥居の一戦は圧巻だった。試合半ば、場内外判定に苦しむ場所で鳥居の大内刈が技有となり、そのままおしきるかと思われたが、試合終了時間3秒前、五月女の気力溢れる大外刈が同じ場内外真際のところで見事にきまって逆転された。好漢鳥居にとって惜しい一戦であったが、勝負を最後まで捨てない集中心という事で五月女に称賛の言葉を贈りたい。

柔専　△―⑩　群馬柔連

竹谷㊂大内吉田
小川㊂払い腰石川
高橋星野
川村○逆関節桜井
木○十字関須藤
茂田長橋
角辺小外刈○竹内
渡沢けさ固㊂吉原
竹内股○渡辺
小林体落し○新井
吉田(岡)佐藤
柳沢須田
川村小外刈○狩野
橋口植草
加藤島田
作道背負投㊂井野
木下金子
川又金子(岡)
金子巴投げ㊂寺町
成田○崩上固諸藤
武藤○大外刈小柴
木下上四方○大沢
橋本小畑
五月女○大外刈鳥居

○スフィンクス
竹内―㊂ピーター
吉田山内
新井㊂宮腰
熊井多田
今成高野
長橋曽我
荒木岸部

対国士館練習試合
2月25日　県武道館

全群馬△―⑥国士館大

伊丹㊂―喜多
藤塚㊂―保科
大湊飛崎
吉原○―富西
位寄―○近浦

佐藤―㊂本多
雨谷和田
印南池沢
金子湯浅
高松鏡
小林小畑
原田堀
八木下小上

飯笹㊂―米女
寺町佐伯
大沢追
植草―○福島
根岸―○斉藤
島居―西田
東条森脇

全国高校柔道大会は三回戦へ進出

第五回全国高等学校柔道選手権大会は三月二十一日、日本武道館へ52チームが参加し開催された。

前橋商業○二人残　新座北高校
▽二回戦
育英高校　三人残○足立高校
前橋商業○四人残　水城高校
▽三回戦
前橋商業○一人残　東海大浦安
▽準決勝
前橋商業○一人残　国士館高校
▽決勝
前橋商業　一人残○世田谷高校

狩野浩一　内股○広川
井野口吉正　引分　広川
星野　隆　引分　横田
吉田一夫　引分　飛松
吉原秀忠　引分　持田

古賀

育英は一回戦東海大二高を一人残しで破り二回戦で鳴門商業に二人残しで破れたが、前商は、一回戦砺波工を二人残し、二回戦龍澤高を二人残しで下し三回戦へ進出し、天理高と対戦したが、二人残しで破れベスト16に入った。

◇試合結果

▽一回戦
育英　○二人残し　東海大二
前商　○二人残し　砺波工業
▽二回戦
育英　二人残し○鳴門商業
狩野輝彦　僅差㊂岡田
田上一也○支釣込　〃
〃　払い腰　○東京

富沢弘樹　引分　〃
石川雅明　引分　中沢
福島信雄　払い腰　森井
尾崎
前商　○二人残し　龍澤高校
▽三回戦
前商　三人残し○天理高校
狩野浩一　引分　菊地

吉原秀忠㊂僅差兼松
〃　払い腰　○武藤
井野口吉正　払腰　○〃
吉田一夫　大外返　○〃
林　義彦　払い腰　○〃
藤原
白石

（松本・新井記）

雨谷(関口病院)二段の部を制す
関東近県柔道大会

東京近県柔道大会は三月二十一日、警視庁武道館・東京において開催された。

試合は、段別（初段～五段）の個人トーナメント戦で行われ、二段の部に出場した雨谷紀雄（関口病院）が優勝した。

◇試合結果

（初段の部）

▽一回戦
雨谷紀雄㊂背負　佐藤（東京）
（関口病院）
▽二回戦
雨谷紀雄○体落　長島（警視庁）
▽三回戦
雨谷紀雄㊂有効　森（順天大）

品川公博　横四○本郷（東京）
（農大二）

（二段の部）

▽準決勝
雨谷紀雄○体落　茂山（東京）
▽決勝
雨谷紀雄○横四　岩本（千葉）
（三段の部）
▽一回戦
飯笹明宏　有効㊂松実（日体大）
（県警）
（四の部）
▽一回戦
鳥居吉二　一背㊂伊藤（埼玉警）
（渋工教）
（五段の部）
大沢盛夫（県警）　欠場

フィンランド選手による強化講習会

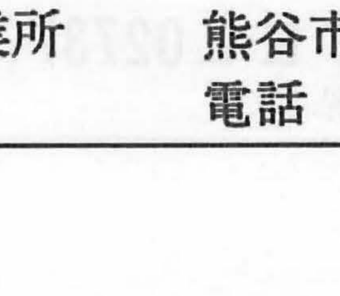
ソ連流関節技を学べ―。県柔道連盟では、進境著しいフィンランド選手を招いて、強化講習会を十一月二十～二十二日の三日間、県武道館において開催した。

講師は、日本武道館で行われた高納治五郎杯国際柔道大会で活躍したミュリラ（78kg級・同大会で五位）ヒュベリーネン（71kg級）らフィンランドの強豪四人である。

講習会へは国体強化選手二十五人をはじめ、一般柔道家、高校生等で、毎日一〇〇人を越す受講者。国体本番を間近に控えて「欧州勢の技を修得しよう」と参加者は、真剣なまなざしで聞き入っていた。

三日間行われた講習会は、主に寝技に重点が行われ、その中でも合理的な関節技への攻撃方法は、まさにソ連流関節技であり、学ばなければならないものと印象づけられた。

この講習会に参加し体得した技術を群馬柔道発展に生かしてほしい。



▽二回戦
青山光一　逆十字○中村（茨城）
根岸　宏　技有　㊁荻原（神奈川）
▽敗者復活・一回戦
青山光一㊁僅差　鈴木（神奈川）
▽同二回戦　▽同二回戦
青山光一○内股　細登（神奈川）
▽同三回戦
青山光一　脇固　○荻原（神奈川）
▽5・6位決定戦
青山光一　棄権　○渡辺（栃木）

県勢、善戦及ばず
全日本柔道関東地区予選

第三十二回全日本柔道選手権大会関東地区予選会は三月二十日、水戸県営武道館で行われ、本県からは青山（前工教）をはじめ四選手が出場したが、敗退、本大会出場はならなかった。

◇試合結果

▽一回戦
高松守人　僅差㊁鈴木（神奈川）
椎沢博之　有効　㊂渡辺（栃木）
青山光一○横四　中間（山梨）
根岸　宏㊁僅差　佐藤（栃木）

あかぎ国体(9)
渋川市国体室長　町田修平

あかぎ国体の開催準備の概要について

あかぎ国体の秋季大会も目前にせまり、実行委員会の事務局では柔道連盟をはじめ、関係者との協議を重ねながら開催のための準備に大わらわでありますが、今回は開催準備の概要についてお知らせし、みなさんのご協力をお願いしたいと思います。

総務関係

(1)選手監督へは渋川市から記念品を贈る予定です。そのほか婦人会や小中学生による手づくり記念品も予定しています。

(2)会場での売店は、関係団体へ委託して設置します。

(3)補助員は、市内の高校から動員をお願いする予定です。

(4)協力員は、婦人会、交通指導員、消防団、軽スポーツ団体、青年会議所等にお願いする予定です。

接待案内関係

(1)皇族のご来場が予定されていますが、皇族席については仮設で準備します。

(2)湯茶等の接待には、市の名産である「焼きまんじゅう」「りんご」「おでん」等の無料サービスを行います。

(3)駅前には、受付のほか接待所も設置します。

輸送宿泊関係

(1)選手監督等の輸送は、計画輸送を予定しています。

(2)弁当は、市内の国体弁当協力会によります。

(3)宿泊は、伊香保町となります。

競技式典関係

(1)式典音楽隊は、市内の中学校を予定しています。

(2)式典前アトラクションは、小中学生による乱取等と婦人会員によるオリジナル舞踊（渋川おどり）を予定しています。

その他

(1)会場へは、コンパニオン五人を配置し、選手等へのサービスを図る予定です。

(2)プログラムの広告は、実行委員会としては募集しません。

(3)競技日程内におけるアトラクションは、渋川女子高校生による柔道舞踊を予定しています。

(4)会場及び道路等へ飾花をします。

(5)仮設便所を設置します。

有限会社　高崎保安機材
代表取締役　早川　弘
本　社　高崎市剣崎町中沖１１３番地
電話（0273）４４－１８１１番(代)
熊谷営業所　熊谷市大字下奈良字葉草南１８２８
電話（0485）２４－０８８１番

五段は桃沢が制す

県段別選手権大会

県柔道段別選手権大会は、一月三十日、県武道館において開催された。

初段の部では、田上一也(育英)が全試合を一本勝ち、二段の部でも、雨谷紀雄(関口)が四試合中三試合を一本勝ちし、それぞれ優勝した。三段の部では、試合功者高松守人が優勝、激戦が予想された四段の部では、鳥居宣二(渋工教)が決勝戦寺町良次(前高教)を優差で破り優勝する。五段の部は、警視庁勤務時代全日本選手権(二回、各種国際大会出場の経験をもつ桃沢博之(県警)と同僚の大沢盛夫と行われたが、桃沢が郷第一戦を優勝で飾った。

◇試合結果

(初段の部)　(29人出場)

▽準決勝
品川(農二)○内股　林(前商)
田上(育英)○小外　黒岩(中之条)

▽決勝
田上一也　○上四　品川公博

(二段の部)　(23人出場)

準決勝
雨谷(関口)●僅差　藤塚(県警)
諸田(県警)●僅差　佐藤(育英)

▽決勝
雨谷紀雄　○上四　諸田泰徳

(三段の部)　(21人出場)

▽準決勝
高松(関口)●僅差　飯笹(県警)
小林(関口)○縦四　須田(県警)

▽決勝
高松守人　●僅差　小林　茂

(四段の部)　(16人出場)

▽準決勝
鳥居(渋工)●僅差　大沢(田島)
寺町(前商)●僅差　沖田(関口)

▽決勝
鳥居宣二　●僅差　寺町良次

(五段の部)

▽決勝
桃沢博之　○大内　大沢盛夫
(県警)　(県警)

田上・雨谷・高松・鳥居・桃沢

昇段のよろこび

六段　斎藤　鬼四郎

今回先輩諸先生のご指導とお骨折りにより昇段させていただきありがとうございました。

今思い起してみますと、少年時代柔道を愛好し多少の経験はあったが、就職のため上京、大東亜戦争・敗戦とめまぐるしい世代を過した折、一着の古いなつかしい柔道衣、それが私の柔道生活の再スタートでした。

幸い、職場内で立派な諸先輩に接し、指導よろしく育てられた結果、今日の私が在ることを、六段の段位と共に感謝いたしております。

去る二月六日の祝賀会の折、関口先生が昇段者一同にこれからの希望をのべられましたが、今回の昇段を機会にますます修行し、段位に恥じない人格と技量を身につけるよう努力すべく、決意を新にした次第です。

斎藤六段

特に本年は、群馬国体の重要なとき、代表選手および役員の皆さん本当にご苦労さんです。

私も次の世代の良き後継者を育成すべく、柔道少年の指導にとり組み、底辺の拡大に尚一層頑張ります。

最後に、昇段の喜びと共に微力ではありますが今後も県柔道界の一員として、斯道発展に努力することを誓い、お礼のことばといたします。

鏡開式昇段者
58・1・9

(六段)福島昭吉(桐生)南雲音作(北・渋)木附芳郎(多・藤)斎藤大井宏・新井次男(碓・安)斎藤鬼四郎(群馬)松沢勉雄(利・沼)大前寛・牛込祥浩(高崎)田中武(佐伊)池田進(前橋)

(五段)袋仁美(前橋)氏家正夫・堀越清(多・藤)中島国雄(桐生)大谷孝太郎・関口欽五郎(北渋)岩瀬宏春(新・太)鹿沼幸吉(山田)

(四段)荒木八郎(北・渋)小林靖明(碓・安)石原三郎(桐生)田中純一・富沢憲民・青木順一(前橋)

(三段)黒沢宏(桐生)永島周一・内山正晴(邑・館)野村博之・桑木裕(北・渋)

(二段)斎藤俊男(北・渋)笠原伸之(前橋)中山晃雄(高崎)館野政国(邑・館)

(初段)南雲和七郎(勢多)綿貫裕康(高崎)竹内忠三・小林実大崎代家・水出照雄(北・渋)

前商が優勝

県高校新人大会

第30回県高校新人柔道大会は十一月二十一日(日)県立武道館において開催された。

試合は、三十三校が出場、団体トーナメント戦が行われ、シード校四校が順当勝ち。決勝戦は前商対育英で行われた。

前商先鋒狩野、次鋒吉原は、試合時間終了間際に「有効」を取り二対○とリード。中堅育英の富沢も終了間際に「有効」を取り差一点となったが、副・大将が引分け、二対一で前商が県高校一位に輝いた。

◇試合結果

▽一回戦
吉井③——△渋西

▽二回戦
育英⑤——△前橋
佐農③——△長野原
中之条⑤——△富岡
館林③——△万場
桐南⑤——△桐工
新島②——△前南
樹徳④——△伊工
藤岡②——△西邑楽
利商⑤——△勢農
高商④——△高北
渋工④——△大泉
高崎　不戦　安中
利農④——△前工
沼田②——△農二

(代表)
渋川②——△高工

(代表)
前商⑤——△吉井

▽三回戦
育英⑤——△佐農
館林③——△中之条
桐南③——△新島
藤岡④——△樹徳
利商⑤——△高商
高崎③——△渋工
沼田④——△利農
前商⑤——△渋川

▽単々決勝
育英⑤——△館林
藤岡③——△桐南
利商④——△高崎
前商④——△沼田

▽単決勝
育英④——△藤岡
前商②——△利商

▽決勝
前商②——△育英

狩野浩一(二)双手刈　狩野輝彦
吉原秀忠(一)背負投　田上一也
井野口吉正　背負(一)置沢弘樹
吉田一夫　引分　石川雅明
林義彦　引分　福島信雄

優勝した前橋商業

尾島中が初優勝

県中学校新人大会

第9回群馬県中学校新人柔道大会は十一月七日(日)、県武道館において開催された。

試合は、各郡市の予選を勝ち抜いた48チームが参加し、16ブロックにわかれ、各ブロック三校による予選リーグから開始された。

決勝戦は、準決勝戦で三対一で高崎七中を破った尾島中と四対一で新治中を破った渋川中との対戦となったが、尾島中は、前三人で勝負を決め、三対一で渋川中を破り初優勝を手中にした。

尚敢斗賞が高山中等12チームに贈られた。

◇決勝トーナメント

▽一回戦
館林三　②——△高山

(内容)
新治③——△伊勢崎一
沼田④——△富岡
渋川②——△前橋二
渋川北⑤——△藤岡東
尾島④——△前橋一
昭和南②——△利南
高崎七③——△子持

▽単々決勝
新治②——△館林三

(内容)
渋川②——△沼田
尾島②——△渋川北
高崎七③——△昭和南

▽単決勝
渋川④——△新沼

▽決勝
尾島③——△高崎七

尾島中　③——△渋川中
高山忠重○合せ技　野村英樹
橋本浩一(二)内股　笹沢典行
羽鳥隆(二)体落　下田憲治
上野信幸羽交絞○　伊藤正則
松島通憲　引分　杉本昌弘

◇敢斗賞(12チーム)
高山中学・館林第三中学・伊勢崎第一中学・富岡中学・沼田中学・前橋第二中学・藤岡東中学・渋川北中学・利南中学・前橋第一中学・昭和南中学・子持中学

尾島中チーム

前商他三校が代表に

5人抜きは
飯島(万場)ほか5人

関東高校新人柔道予選

第五回関東高校新人柔道大会県予選会は、十一月二十八日県武道館において開催された。

試合は、団体勝ち抜き戦で行われ、前商、育英が順当勝ちし、決勝戦は、両校とも国体強化選手を布してのメンバーで接戦が予想されたが、前商のポイントゲッター吉田が二点を取り、二人残しで優勝した。

四校は、関東大会への出場権を得た。

◇試合結果

▽単々決勝
育英○四人残し　農二
沼田○二人残し　館林
利商○四人残し　高工
前商○五人残し　前橋

▽単決勝
育英○三人残し　沼田
前商○三人残し　利商

▽決勝
前商○二人残し　育英
井野口吉正　引分　狩野輝彦
星野隆　引分　石川雅明
独野浩一　引分　田上一也
吉田一夫(二)注意　富沢弘樹
〃　○払い腰　福島信雄

吉原秀忠

◇五人抜者　飯島実(万場)佐藤隆彦(高工)小川忠隆(西邑楽)林義彦(前商)2、星野隆(前商)福島信雄(育英)

吉田(前商)71kg超級を制す
松前杯

第8回松前杯柔道大会は三月二十二日東海大学で開催された。

同大会に招待された前商二年の吉田・吉原の両選手は71kg超級に出場し、吉田が優勝、吉原が三位に入賞した。

◇試合結果(個人戦71kg超級)

▽三回戦
吉田一夫(二)小内　若山(東海四高)
吉原秀忠(一)僅差　熊谷(東海四高)

▽単々決勝
吉田一夫(一)僅差　岡田(日大二)
吉原秀忠(一)僅差　田中(東海浦安)

▽単決勝
吉田一夫(一)僅差　浜田(東海四高)
吉原秀忠　僅差(一)佐藤(東海高)

▽決勝
吉田一夫(一)僅差　佐藤(東海高)

富岡みやげ　鏑の里
松屋本店
富岡上町通り　02746－2－4181

おいしいパンの店
ゴーマン・タムラ
富岡銀座通り　02746－2－4182

伊藤接骨院
伊藤悦任
富岡市一ノ宮1507
02746(3)2354

沼田中学校が制す

高校個人は阿部(利商)が勝つ

第24回利根沼田青少年柔道大会は十一月二十三日、沼田市民体育館で開催された。

中学校の部は、一チーム七人による団体戦で予選リーグ戦後、決勝トーナメント戦が行われ、沼田中が新治中を破って優勝した。

高校の部は、個人戦が行われ、阿部光浩(利商)が優勝した。

◇試合結果

〔中学生の部予選リーグ〕

▽A組 ①昭和南中②月夜野一中③薄根中

▽B組 ①沼田中②池田中③川場中

▽C組 ①新治中②沼田西中③昭和東中

▽D組 ①水上中②利根中

〔同決勝トーナメント〕

▽準決勝

沼田中 ㊵―△昭和南中

新治中 ㉕―△水上中

▽三位決定勝

水上中 ○―△昭和南中

▽決勝

沼田中 ㉕―△新治中

(高校生の部個人戦)

阿部
- 須藤真夫(利商)
- 吉田宏(〃)
- 原沢引(〃)
- 阿部光浩(〃)
- (新井隆記)

館林市が三位に

近県柔道大会

昭和57年度第15回近県柔道大会は十一月七日、古河市立体育館において開催された。

この大会は、茨城、埼玉、栃木群馬の四県が覇を競い、過去館林チームは二回、板倉チームが一回優勝している。今回は、一般の部で館林市が第三位に入賞した。

◇試合結果

〔中学生の部〕(18チーム)

▽二回戦

多々良中 ・―○●下館中

〔一般の部〕(9チーム)

▽一回戦

板倉町 ④―1 八千代町

▽二回戦

館林市 ④―1 下館市B

板倉町 ①―0 古河市

▽準決勝

館林市 2―③ 大洗町

板倉町 1―④ 下館市A

▽三位決定戦

館林市 ③―0 板倉町

(中里伍一記)

館林近県大会

館林市柔道大会

団体戦は境町が制覇

第二回館林市スポーツ少年団交流柔道大会は十二月十九日、城沼総合体育館において開催され、小中学生一七六人が参加し、熱戦が展開された。

◇試合成績

〔団体戦〕

▽小学生の部 ①境町②長良A ③長良B・古河市

▽中学生の部 ①境町②館林一中A③多々良中・館林一中B

〔個人戦〕

▽小学生一・二年の部 ①川村友也②狩野剛史③関口明宏・中村英司

▽小学生三・四年生の部 ①斎藤瑞枝(上毛新聞より転載)

六百四十人が熱戦

星野さんの模範演技も

熱戦が展開された〝こんにゃく大会〟

順道館桜井道場(桜井四五郎館長・高崎市飯塚町)の創設三十周年を記念した第八回少年柔道親善大会(通称こんにゃく大会)が三月二十七日、高崎市武道館で開かれた。

五十一年に高崎市と下仁田町、様名町の三道場の対抗戦で始まった同大会も、年々参加者を増やし、今回は県内十五チームのほか、富山、東京などから六チームが加わり、小・中学生、一般女子選手ら総勢六百四十三人が参加、熱気にむせかえる会場で覇を競った。

この日は試合に先立ち、前年度世界女子柔道選手権無差別級準優勝の堅石洋美さんと全日本選手権三連勝の星野佐代子さん(利根村出身)らが迫力ある模範演技を披露、子供たちも息をのんで見入っていた。

少年柔道親善大会

◇試合成績(各級優勝者のみ)

〔幼稚園の部〕

▽軽量級 石井猛志(佐藤)▽中量級 沢木輝和(同)▽重量級 佐藤正信(同)

〔小学校一年〕

▽軽量級 江原豊晴(佐藤)▽中量級 柳沢篤史(同)▽軽重量級 岡本憲昌(須賀)▽重量級 大江健二郎(佐藤)▽超重量級 笠原智幸(山中)

〔小学校二年〕

▽軽量級 漆畑健(須賀)▽中量級 森田強士(岡ノ谷)▽中量級 関根強次(山中)▽軽重量級 真下勇(石井)▽重量級 太田貴志(川田)▽超重量級 柿沢友成(確東)

〔軽量級 竹沢亨(山中)

▽軽量級 竹沢亨(山中)▽軽中量級 藤巻幹彦(鎌塚)▽中量級 漆畑剛司(須賀)▽軽重量級 白井英雄(川田)▽中量級 富沢充芳(石井)▽軽重量級 新井日出男(桜井)▽重量級 清水信治(石井)▽超重量級 遠藤大輔(須賀)

〔小学校四年〕

▽軽量級 飯田達也(須賀)▽軽中量級 藤巻幹彦(鎌塚)▽中量級 小野栄志(山中)▽重量級 川原裕道(石井)▽超重量級 山中晶史(山中)

〔小学校五年〕

▽軽量級 大沢和彦(石井)▽軽中量級 清水幸雄(同)▽中量級 山田康統(山中)▽軽重量級 戸塚信幸(桜井)▽重量級 清水和樹(石井)▽超重量級 広田尚也(須賀)

〔小学校六年〕

▽軽量級 今泉浩志(岡ノ谷)▽軽中量級 高橋龍太(桜井)▽中量級 高橋太郎(須賀)▽軽重量級 岸秀和(松山)▽重量級 東崎哲也(下仁田)▽超重量級 大沢隆史(石井)

〔中学一年〕

▽軽量級 生方修(川田)▽中量級 成沢昭浩(桜井)▽重量級 鎌塚正志(鎌塚)▽超重量級 松谷武(石井)

〔中学二年〕

▽軽量級 坂本茂(桜井)▽中量級 原昭次(川田)▽軽重量級 木暮広起(下仁田)▽重量級 鈴木徹(石井)▽超重量級 松沢英行(須藤)

〔中学三年〕

▽軽量級 細谷睦(石井)▽中量級 牛込章寿(桜井)▽重量級 佐藤晋澄(下仁田)

〔女子幼稚園の部〕 佐藤聖子(佐藤)〔同小学校一年〕 田中小百合(堤ケ岡)〔同小学校二年〕須永由貴子(岡ノ谷)〔同小学校三年〕 都丸純(川田)〔同小学校四年〕 須賀乙恵(須賀)〔同小学校五年〕宮森佐織(福光)〔同小学校六年〕 原佳子(桜井)

〔中学一・二年〕 確氷さゆり(川田)〔高校・一般〕 斎藤瑞枝(斎藤)

(上毛新聞より転載)

高林俊一(幼稚園の部)が優勝

確氷・安中柔道大会

昭和57年度確氷安中柔道大会は十一月十四日、一四八人が参加して熱戦が展開された。

◇試合成績

▽幼稚園の部 ①高林俊一②藤巻尚一③松本智征・矢野高志

▽小学生一年の部 ①久保始②金子亮司③上原剛・戸田亘

▽同二年の部 ①柿沢友成②高林和博③飯野浩・小俣哲家

▽同三年の部 ①矢野俊介②吉賀秀樹③金井剛・萩原誠

▽同四年の部 ①小林潤二②吉沢豊③神村憲男・栢植貴之

▽同五年の部 ①柳沢健一②吉賀直樹③高木敏行・吉沢勝俊

▽同六年の部 ①高木啓光②佐藤雅志③斎藤義和・北原正幸

▽中学一年の部 ①伊勢崎悟②笠原紀之③松本直志・新井学

▽同二年の部 ①三浦孝行②茂浦学③伊丹義治・坂本利男

▽同三年の部 ①関隆三②笠原俊也③小関智也・中村勉

▽一般無段の部 ①三浦孝行②境谷淳一③高橋英典・多胡利己

▽同有段者の部 ①楠徳重②山崎悟③青木博・渡辺勝志

(田中政一記)

館林柔道大会

昭南中が優勝

利根・沼田

中学新人(重量別)大会

第15回中学校新人(体重別)柔道大会は十二月五日、沼田小記念体育館で十一チームが参加し開催された。

試合は、四ブロックに分かれて予選リーグが行われ、各ブロックの一位チームが決勝トーナメント戦に出場し、昭南中が水上中を下し優勝した。

◇試合の結果

〔予選リーグ〕

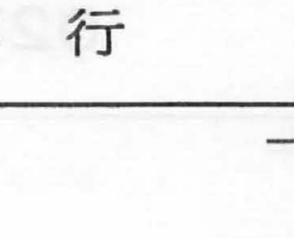
▽Aブロック ①昭南中②新治中A③昭東中

▽Bブロック ①利南中②川場中③新治中B

▽Cブロック ①水上中②月夜野一中B③利根東中

▽Dブロック ①月夜野中一中②西中 A

〔決勝トーナメント〕



(新井隆記)

編集後記

渋川市の国体室の中で、競技運営委員として仕事をはじめた。山積された仕事を忠実に消化して行きたい。(江原隆起)

花は散ったが、新らしい芽が吹出している。言葉を語らない樹々達にも生命の体大さを感じる。目前に迫った「あかぎ国体」に総力をあげている柔連の息には、蒸気機関車のような熱さを感じてきた。燃えつづけ黒帯の火よ、明日の灯りをみるまでは。(牛込祥浩)

群馬県柔道連盟　北群馬・渋川支部

支部長	小	竹	恒夫
副支部長	島	田	教雄
〃	横	内	正晴
〃	神	宮	七郎
〃	星	野	勲
〃	柴	崎	洋行

事務局

庶務部長	星	野	澄夫
行事部長	山	田	吉次
指導部長	佐	藤	勇夫
会計部長	伊	藤	孝平

ぐんま柔道

発行所　群馬県柔道連盟
発行人　関口　恒五郎
編集室
高崎市飯塚町1040
桜井　弘
電　話　0273－61－2502

嘉納師範遺訓

柔道は心身の力を最も有効に使用する道であるその修業は攻撃防御の練習に由って身体精神を鍛練修養し斯道の神髄を体得する事であるそうして是に由って己を完成し世を補益するが柔道修行の究意の目的である。

昭和58年度

定例総会

会長に関口恒五郎氏（再）

昭和58年4月3日、午後3時より「ぐんせつ会館」で群馬県柔道連盟定例総会が開催された。会は総会次第に従い円滑に進行し、任期満了に伴う役員改選も、前年度に対比なく決定した。午後5時、血と汗の結晶が実る活動を誓いあって散会となった。新役員は左の通り。

会　長　関口恒五郎（再）
副会長　大林　宥範（再）
　　山口　智（再）
　　関口　孝義（再）

理事長　中島　淳吉（新）
副理事長　柳谷　勝之（再）
委員会
　高段者推薦委員長
　　関口恒五郎（再）
　審判選考委員長
　　今井　孝造（再）
　国体対策委員長
　　荒井　国義（新）
事務局
　庶務部長
　　高山　明（新）
　会計部長
　　荒井　国義（再）
　審議部長
　　森　英樹（再）
　指導部長
　　石倉　貞幸（再）
　普及部長
　　北爪　隆雄（再）
　強化部長
　　新井禮次郎（再）
　広報部長
　　桜井　弘（再）
　行事部長
　　宮沢　勧（再）
指名理事　須田　信夫（再）
　　小野　貞義（再）
　　鈴木　元一（再）
　　山本　崇夫（再）
団体代表
　警察　桃沢　光雄（再）
　接骨　細野　嘉晴（再）
　道場　関　久一（新）
　実業団　越塚　輝雄（新）
　大学　大林　宥範（再）
　高体連　新井禮次郎（再）
　中体連　新後閑雅太郎（再）
支部長
　　前橋　高山　明（再）
　　佐波・伊勢崎　光山　武嘉（新）
　　群馬　上野　泰司（新）
　　勢多　北爪　隆雄（再）
　　北群馬・渋川　小竹　恒夫（再）
　　高崎　松本大五郎（再）
　　桐生　腰塚　治男（再）
　　山田　長谷　金八（再）
　　新田・太田　尾林　信夫（再）
　　碓永・安中　田中　政一（再）
　　多野・藤岡　恵後原和一郎（再）
　　甘楽・富岡　今井　孝造（再）
　　邑楽・館林　原口　市（再）
　　監事　小野里光明（再）
　　羽鳥治良松（再）
　　宮川喜一郎（再）

ジュニア選考会

決勝7分。優勢勝ちの判定基準は規定第36条第4号とし、必ず優劣をつける＝国際柔連審判規定）。以下県内選手の戦績。

◇78キロ以下級　（9名出場）

▽一回戦
1高波晋行　僅差　2佐藤達也（小杉高2年）（国士舘大一年）

◇86キロ以下級　（10名出場）

▽二回戦
2吉原秀忠　僅差　1戸沢　実（前橋高3年）

▽準決勝
2長谷川敦小内刈効果3村田正夫
2吉原秀忠大外刈技有2新藤久司

▽決勝
長谷川敦　効　果　2吉原秀忠（大外落）

◇95キロ以下級　（8名出場）

▽一回戦
2新井隆義　効　果　2武藤祐次（日体大1年）（天理高3年）

▽準決勝
2木村竜浩　僅差　2新井隆義

選手権大会（六月十一日～十三日、於・プエルトリコ）日本代表選手選考会は四月九日（土）午後三時から東京・世田谷の国士舘大学武道館において開催された。参加したのは60キロ以下級～95キロ級まで七階級六十四選手。（試合時間各5分、決勝7分。優勢勝ちの判定基準は規定第36条第4号とし、必ず優劣をつける＝国際柔連審判規定）。以下県内選手の戦績。

◇60キロ以下級　（10名出場）

▽一回戦
2吉原秀忠　僅差　1戸沢　実（前橋高3年）

▽準決勝
2長谷川敦小内刈効果3村田正夫
2吉原秀忠大外刈技有2新藤久司

▽決勝
長谷川敦　効　果　2吉原秀忠（大外落）

◇66キロ以下級　（8名出場）

▽一回戦
2新井隆義　効　果　2武藤祐次（日体大1年）（天理高3年）

▽準決勝
2木村竜浩　僅差　2新井隆義

あかぎ国体 (10)

強化部長　新後閑雅太郎　礼次郎

主たる対戦相手は近大福山（広島）、此花学院（大阪）、小杉（富山）、作新（栃木）、世田谷（東京）、東海大相模（神奈川）、習志野（千葉）、浴南（京都）、津幡（石川）等である。皆全国の一流校である。公式戦では昨年暮れに湯布院錬成大会（大分県）で四国、九州、沖縄の強豪50校が参加した中で前商が優勝、育英が4位に入賞した。今年の2月の関東新人戦で前商が2位、3月の松前杯大会では吉田が優勝、吉原が3位に入賞した。4月に行われた世界ジュニア選手権の国内予選86kg級で吉原が準優勝し、高校生でただ一人、86kg級のジュニア強化選手に選ばれている。国体ではさらに5kg減量するのでその成否がカギ。木暮を含む重量級5選手は県内では練習相手に恵まれず、毎週末県外遠征をしているがまだまだ練習不足。肥満は解消されない。天理大、東海大と遠征をし、少しずつ調子をとりもどしている。7月と8月の練習の質と量が問題。これさえ解決できれば入賞することは可能である。

少年強化指定選手
55kg級　戸丸章夫（利根商3）
　荻原克巳（育英2）
　須田好和（前商1）
60kg級　小畑順一（育英3）
　吉田　宏（利根商3）
71kg級　坂内正義（利根商3）
　狩野浩一（前商3）
86kg級　吉原秀忠（〃）
　林　義彦（〃）
無差別級吉田一夫（〃）
　石川雅明（育英3）
成年強化指定選手
60kg級　寺町良次（前橋高）
　諸田幸二（県警）
71kg級　鳥居吉二（渋川工高）
　雨谷紀雄（関口病院）
86kg級　桃沢博之（県警）
　木暮　修（太田南中）
86kg超級・無差別級
　青山光一（前橋工高）
　根岸　宏（常盤高）
　今川直明（中之条高）
　福島美千行（県スポーツセンター）

少年

6月5日に全国高校総体個人戦4階級の予選と55kg級の試合を合わせて行った。結果は別掲のとおりでほぼ強化選手が上位を占めた。今年の2月の関東新人戦で前商が2位、3月の松前杯大会では吉田が優勝、吉原が3位に入賞した。4月に行われた世界ジュニア選手権の国内予選86kg級で吉原が準優勝し、高校生でただ一人、86kg級のジュニア強化選手に選ばれている。国体ではさらに5kg減量するのでその成否がカギ。木暮を含む重量級5選手は県内では練習相手に恵まれず、毎週末県外遠征をしているがまだまだ練習不足。肥満は解消されない。天理大、東海大と遠征をし、少しずつ調子をとりもどしている。7月と8月の練習の質と量が問題。これさえ解決できれば入賞することは可能である。

成年

今年度大学の新卒が3人入りいっそう強力な陣容になった。

今川は一昨年は学生の95kg超級優勝、選手権は斎藤仁について2位、昨年は選手権で正木についで2位に入賞している。高校時代も53年に大相撲の服部（52年のチャピオン）、斎藤に勝って優勝している。福島は育英高出身、昨年学生大会の95kg級で3位に入賞した。共に国士舘大卒。木暮は渋川高出身。日体大の選手として活躍した。寺町は今年で3年め。全業連の65kgのB級強化選手に選ばれて気をよくしている。国体ではさらに5kg減量するのでその成否がカギ。木暮を含む重量級5選手は県内では練習相手に恵まれず、毎週末県外遠征をしているがまだまだ練習不足。肥満は解消されない。天理大、東海大と遠征をし、少しずつ調子をとりもどしている。7月と8月の練習の質と量が問題。これさえ解決できれば入賞することは可能である。

風に向ってもう一歩!!

くろおび

あかぎ国体の選手選考会が近づいた。正選手に選ばれる選手の陰に一諸に強化練習に励んできた仲間のいることを忘れてはならない◆明大野球部の島岡吉郎監督は「補員や日陰の男が立派な時にチームは優勝する」と語っている。さらに「補員でベンチに四年間もいた男の方が実社会では立派に通用している」とも語っている◆園遊会といえば、われらが大ちゃんこと山下泰裕五段（全日本七連覇）の骨折り談議は有名な話だが、今年の春の園遊会に高校野球界の指導者として初めて招かれた、徳島・池田高の蔦文也監督は、天皇陛下の「強いチームを作られましたね」のお言葉に「光栄です。控えの子供たちが一生懸命やってくれたお陰です」とお答えしたという。つづいて記者団に「優勝出来たのは監督の力じゃない。正選手も控えも区別なくやってくれたからだ。私はそんな子供たちの代表で来たのです」と話したという◆巨人軍の王助監督が現役時代に、控えの選手やバッティング投手らを物心両面で可愛がった話は有名である◆大相撲の高砂親方（元横綱朝潮）の長男・米川一成さん（柔道参段）は今春、日大を卒業した。高校時代より柔道部に籍を置いたが、補欠で過すことが多かったそうである。教職につく予定であったが、恩師松下三郎教授の勧めもあり「補欠の心の痛みが分かってやれる指導者になりたい」と日大の先輩の米塚義定六段をたよって米国に武者修業に出かけた◆あかぎ国体の本県代表に選ばれる選手にも、一諸に汗して来た仲間がいるはずだ。その仲間たちの分まで頑張って欲しい。（錯雷）

群馬県柔道連盟高崎支部

支部長	松本大五郎	理事長	茂原　勤	会計部長	小暮　茂
副支部長	桜井　弘	副理事長	新後閑雅太郎	副会計部長	中島順三
〃	井野　豊	〃	横谷利夫	審議部長	市川正人
〃	大前　寛	〃	桜井豊茂	副審議部長	長谷川実良
〃	牛込祥浩	庶務部長	佐藤伯幸	行事部長	鎌塚正和
監事	牛込弘明	副庶務部長	須藤　忍	副行事部長	反町久稔
〃	井上公明			〃	梅津　稔

第18回 高校総体

第18回群馬県高等学校総合体育大会（柔道）は、第31回関東高等学校柔道大会県予選会を兼て、昭和58年5月14日・15日、県武道館で開催され結果個人・団体共次の通りとなった。

（個人）▽Aブロック決勝

田　上　払い腰　佐　藤（前商3――1育　英）
（育英）　　（渋川）

▽Bブロック決勝

石　川　大外刈り　黒　岩（中之条）
（育英）

▽Cブロック決勝

吉　田　小外刈り　富　沢（前商）
（育英）

▽一―二位決定リーグ

石　川　注意　田　上
吉　田　内股　石　川
吉　田　優勢勝ち　田　上

▽五―六位決定リーグ

佐　藤　優勢勝ち　黒　岩
富　沢　背負い投　黒　岩
富　沢　優勢勝ち　佐　藤

▽三―四位決定戦

田　上　小外刈り　富　沢

①吉田一夫（前商）②石川雅明（育英）③田上一也（同）④富沢弘樹（二）⑤佐藤正規（渋川）⑥黒岩邦夫（中之条）

▽三位まで関東大会へ

（団体）▽一回線

前橋3―0渋西　常磐5―0太田
農二5―0大泉　新島3―2板倉
中央3―2太工　中条4―0前南
渋川2―2高商（渋川・内容勝）
吉井4―0伊商　榛名3―1大間々
新田2―2万場（新田の内容勝）
勢農3―0桐生　武尊3―1藤工
西邑5―0桐生　高工4―1富岡
樹徳2―1渋川　前東不戦勝安中
伊工3―2前工

▽二回戦

前商5―0前橋　農二4―1新島
佐農2―2常磐（佐農代表戦勝）
沼田5―0中央　渋川5―0桐南
中条4―0高北　利農5―0吉井
利商5―0榛名　藤岡5―0新田
勢農5―0桐丘　長野3―0武尊
高崎2―1西邑　館林3―1高工
樹徳3―1富岡　甘農4―1前東
育英5―0伊工

▽三回戦

前商4―0佐農　渋川1―0中条
沼田1―1農二（沼田代表戦勝）
利商3―0利農　藤岡4―0勢農
高崎3―0長野　樹徳3―2館林
育英5―0甘農

▽準々決勝

前商4―1沼田　利商4―0渋川
藤岡3―1高崎　育英4―0樹徳

▽準決勝

前商4―0利商　育英2―1藤岡

▽敗者復活一回戦

沼田不戦勝甘農　渋川不戦勝勢農
利農3―2高崎　樹徳3―1佐農

▽五位決定戦

沼田3―1渋川
利農2―2樹徳（利農の内容勝）

▽決勝

前商3――1育　英
（前商）

学年別選手権

昭和58年5月22日、県武道館で高校学年別選手権が行われた。一年の部では、生方浩哉（沼田）が、宮崎純一（利商）を袈裟固めで一本勝。二年の部では狩野浩一（前商）が福島信雄（育英）を小内刈で有効勝。三年の部では石川雅明（育英）が吉田一夫に大内刈り技有で勝ち、それぞれ優勝した。

結果は左の通り

▽一年の部

四回戦

宮崎・高久㊀大内刈　原　泰之
（中之条）　（育　英）
生方　浩哉○内　股　笠間　好雄
（沼　田）　（前　商）
斉藤　泰光㊁横四方　狩野　祐一
（育　英）　（常　磐）
宮崎　純一㊁払　腰　星野　隆
（利　商）　（前　商）

準決勝

宮崎　高久　小外刈㊁生方　浩哉
斉藤　泰光　内　股㊁宮崎　純一

決　勝

生方　浩哉○袈裟固　宮崎　純一

▽二年の部

四回戦

福島　信雄㊁谷落し　小林　孝
（育　英）　（沼　田）
佐藤　信治㊁払　腰　品川　公博
（前　商）　（農二）
鏡　真和　○横四方　毛呂　達也
（育　英）
平山　章　逆十字○狩野　浩一
（富　岡）　（前　商）

準決勝

福島　信雄㊁払　腰　佐藤　信治
鏡　真和　小内刈㊁狩野　浩一

決　勝

狩野　浩一㊁小内刈　福島　信雄

▽三年の部

四回戦

吉田　一夫㊁小外刈　富沢　弘樹
（前　商）　（育　英）
須藤　栄二　小外刈㊁田上　一也
（利　商）　（育　英）
石川　雅明㊁大内刈
（育　英）

今年の卒業生の動向

佐藤　達也（育英）　現役　国士館大学体育学部
磯田　利雄（育英）　現役　東洋大学経営学部
緒方　直樹（育英）　現役　関東学院大学経済学部
粂田　敏一（育英）　現役　関東学院大学工学部
岩田　千春（育英）　現役　高崎ハムK・K
八木原真一（育英）　現役　斉藤建設
金子　利弘（育英）　現役　サンヨー食品
井野　哲博（育英）　現役　海上自衛隊
狩野　剛史（育英）　現役　高崎調理師学校
楠　徳重（育英）　現役　前橋理容学校

監督訪問

前橋育英高校　新井信雄五段

昭49～昭58年連続10回出場。昭和55・56年優秀校賞。昭57年団体第3位入賞。昭53年個人戦第3位入賞。
関東選手権大会
昭54年第1回～昭58年第5回大会まで連続5回出場。
全国高校柔道大会
昭53年、昭55年、昭57年、国体通算3回出場。昭50年、昭51年、昭53年、昭55年、昭56年、昭57年個人戦出場
昭57年個人戦5位入賞
全国高校選手権
昭58年出場
県大会
県新人大会2位7回。県新人大会3位3回。
県総体
優勝2回。2位3回。3位2回。
全国大会県予選会
優勝3回。2位4回。3位2回。
○趣味
一六八cm、七二kg
スキー
○愚師
田島行一、小山泰文、上野孫吉
○ライバル
松本邦夫
○座右の銘
負けてたまるか
○小・中・高校生へひとこと
基本を忠実に稽古
○58国体へむけての抱負
選手・監督・コーチ、一丸となり、上位入賞を目指し、頑張ります。
○身長・体重
一六八cm、七二kg

寺町は国際準強化選手！

このほど全柔連国際試合強化委員会（醍醐敏郎委員長）では、58年度前期国際試合強化選手を指名した。その中に、本県より65kg級準強化選手に寺町良次（前橋高校）と86kg級ジュニア強化選手に吉原秀忠（前商3年）が指名された。特に吉原秀忠選手は高校生としては本県初の国際強化選手である。86kg級の指定選手は強化・準強化・ジュニアで15人であるが、その中で高校生は吉原選手ただ一人である。いかに全柔連で吉原選手を高く評価しているかがうかがえる。先に行われた世界ジュニア選手権大会日本代表選手選考会で、全国の精鋭を破り、決勝で長谷川敦（天理高―明大）に判定で惜敗したが、将来が楽しみである。あかぎ国体での活躍が期待される。

吉原秀忠選手のプロフィール

○身長・体重・胸囲
一七六・五。八六。一〇五
○生年月日
昭和四十年十月三十日生
○家族構成
祖父・喜一（会社々長）父哲像（会社役員）兄・成哲（医師）祖母・ルイ　母・秀子　姉・祥子（会社員）
○主な柔道歴
二段　小学校二年より入門現在に至る。東京近県段別大会初段の部優勝　島根国体出場　世界ジュニア選手権日本代表予選第二位
○趣味
スキー・音楽鑑賞
○出身中学
高崎市立第四中学校
○出身道場
順道館桜井道場
○好きな言葉
平和
○愚師
桜井弘先生・松本邦夫先生
新井淳司先生
○親友
吉田一夫
○好きな食物
くだもの
○きらいな食べ物
特になし
○血液型
A型
○好きなタレント
渡　哲也
○好きな歌
ブランディーグラス

富崎　豊（育英）　現役　群馬英数学館
富沢　悦男（樹徳）　現役　陸上自衛隊
小川　和之（樹徳）　現役　ニュー松の井ホテル水上
猪瀬　弘康（樹徳）　現役　航空自衛隊（熊谷）
守屋　治（樹徳）　現役　陸上自衛隊
田部井哲夫（樹徳）　現役　陸上自衛隊
新井　聡明（渋川）　現役　群馬大学教育学部
金井　裕昭（渋川）　現役　子持村役場
岸　文雄（渋川）　現役　東北大学農学部
久保田貢（渋川）　一浪　七五三木聡（渋川）　現役　群馬大学教育学部
宮本　泰明（高崎）　現役　東京理科大学
石原　義尚（高崎）　現役　東北大学工学部
片桐　康典（高崎）　現役　同志社大学法学部
宮沢　克巳（高崎）　現役　群馬大学教育学部
志田　登（高崎）　浪人　高橋　秀和（高崎）　浪人
平野　孝和（高崎）　浪人　竹本　章（高崎）　浪人
広田　勉（利商）　現役　富士銀行（足利）
真下　和好（利商）　現役　三沢屋証券（東京）
高橋　進（利商）　現役　東京急行電鉄（東京）
山岸　広樹（利商）　現役　利根郡信用金庫（新治）
森村　健治（利商）　現役　沼田会計事務所（沼田）
石坂　克巳（群大）　現役　群大医学部大学院
青柳　秀忠（群大医）　現役　群大病院第二外科
高橋　修（群大医）　現役　群大病院泌尿器科
細貝　浩章（群大医）　現役　群大医学部専攻生（公衆衛生）
鷲田　昌信（群大医）　現役　京大病院外科
渡辺　巌（群大医）　現役　群大病院麻酔科
岸　重徳（群大工）　現役　日立建機
小林　俊光（群大工）　現役　東洋エンジニアリング
富岡　誠一（高崎）　一浪　早大教育学部
四方田　勉（高崎）　一浪　立教大学経済学部
新井　隆義（前商）　現役　日本体育大学
有間　庄一（前商）　現役　前橋市消防署
大津　正幸（前商）　現役　（株）九二前橋支店
石田　陽司（前商）　現役　日本弁管工業（株）
森田喜美雄（前商）　現役　竹内工業
瀬下　聖人（前商）　現役　高山短大自動車工業学科
久間　昭仁（上武）　三和電気技術協力（株）
植草　一男（上武）　千葉消防局（千葉）
立川　一弘（甘農）　現役　東京三洋（大泉）
森田　考明（前工）　一浪　山崎機械店（高崎）
佐藤　美洋（利商）　現役　（株）小川設備（沼田）
須藤　真矢（利商）　現役　東北柔専
桑原　辰治（利商）　現役　月夜野病院（月夜野）
上原　信一（利商）　現役　群馬酒販（沼田）
野上　育（利商）　現役　吾妻広域消防

今年の卒業生の動向

佐藤　正規㊁払　腰　寺沢　保夫
（渋　川）　（高　崎）

準決勝

吉田一夫　㊁大外刈　田上　一也
石川　雅明○内　股　佐藤　正規

決　勝

石川　雅明㊁大内刈　吉田　一夫

群馬県接骨師会　太田地区支部

支部長　関口　清

栗原まゆみ　松島　明　正木　留男　正田　正己　正田　利男　佐藤　誠　木暮　史人　木暮　尚正　栗原　良雄　栗原　賢治　村山　佳孝　間庭　重雄　松島　七生　戸坂　正雄　小林　富男　木暮　昌利　剣持　和彦　河田　覚　金沢　八郎　荻野　武夫　大沢　威彦　石原　健次

●●●●●第17回●●●●●●

関口杯支部対抗柔道大会
富岡が総合優勝

第17回関口杯支部対抗柔道大会は、昭和58年4月10日、県武道館で開催された。A組の優勝は、82点の得点をあげながら3勝1敗に甘んじた佐波・伊勢崎を、66点の得点ながら4戦全勝した北群馬・渋川が飾った。B組は164点の得点で4戦全勝の新田・太田が優勝。

C組は172点の高得点で4戦全勝した甘楽・富岡が優勝、総合優勝をも飾った。結果は次の通り——

A組第二試合場（リーグ表）

番号	支部名	1	2	3	4	5
1	前橋		○ 8-1	△ 1-2	△ 0-0	△ 0-0
2	北群馬渋川	△ 0-0		△ 0-0	△ 0-0	△ 1-0
3	佐波伊勢崎	○ 4-0	△ 0-0		△ 0-0	△ 0-0
4	利根沼田	○ 4-3	○ 3-2	△ 0-0		△ 1-2
5	高崎	△ 0-0	○ 5-3	○ 4-1	△ 0-0	
	得点	48	38	40	24	5
	順位	3	2	1	4	5

B組第一試合場

番号	支部名	1	2	3	4	5
1	邑楽館林		△ 0-0	○ 3-2	△ 0-0	○ 3-2
2	勢多	△ 0-0		○ 3-2	△ 1-0	○ 3-1
3	多野藤岡	○ 3-2	○ 2-1		△ 1-0	○ 4-5
4	群馬	○ 4-2	△ 0-0	△ 0-0		○ 4-5
5	新田太田	△ 1-0	△ 0-0	△ 0-0	△ 0-0	
	得点	112	50	82	20	164
	順位	2	4	3	5	1

C組第三試合場

番号	支部名	1	2	3	4	5
1	桐生		△ 1-0	△ 0-0	△ 0-0	○ 3-2
2	吾妻	△ 1-0		△ 0-0	△ 0-0	○ 3-2
3	碓氷安中	○ 3-2	○ 2-1		△ 0-0	△ 0-0
4	甘楽富岡	△ 0-0	△ 0-0	△ 0-0		○ 4-3
5	山田	○ 3-2	△ 2-5	△ 1-0	○ 4-3	
	得点	84	56	38	172	66
	順位	2	5	4	1	3

吉田（前商）が準優勝
——関東高校大会——

第31回関東高等学校柔道大会は、参加校48校を数え昭和58年6月11・12日、茨城県水戸市武道館で開催された。本県からは、前橋商高、前橋育英高、藤岡高、利根商高、利根農林高、沼田高の6校が出場したが、前橋商高以外は全て予選リーグで敗退した。

前橋商高は、予選リーグで峡南高（山梨）、児玉高（埼玉）を撃破し決勝トーナメントに進出したが、2回戦、土浦日大（茨城）に2対2の内容で惜敗した。トーナメント決勝では、国士館（東京）と土浦日大の対戦となったが、相方に勝ち点があげられず代表戦の末、国士館が4回目の優勝を飾った。

なお前橋商高の決勝トーナメント戦績は次の通り。

前商 ④—△ 安房（千葉） ④
狩野○袈裟固 田村
井野口○巴投 的場
田中 引き分 森田
吉田㊁体落し 石井
吉原○合せ技 平野

土浦（茨城） ②—△ 前商 ④
狩野㊁小内刈 松並
井野口㊁小内刈 飯塚
田中 引き分 大木
吉田 合せ技○谷津
吉原 大外刈㊁岡田

第32回 全国高校大会予選
——国体選考会——

第三十二回全国高校柔道大会個人戦県予選兼国体選考会が五日、前橋・県武道館で行われ、県内各校から四百人余りが出場、五階級ごとにトーナメントで優勝を争った。なお、成績は次の通り。

（軽量級）▽準々決勝
小畑 僅差 飯島（育英）
青木 僅差 深野（利根商）
▽準決勝
小畑 僅差 吉田（渋工）
入沢 僅差 川瀬（藤岡）
吉田大外刈り渋沢（樹徳）
（利根商）（樹徳）
▽決勝
小畑 僅差 吉田（利根商）

（中量級）▽準々決勝
狩野小内刈り丹羽（前商）（藤岡）
須藤 僅差 狩野（利根商）（育英）
井野口 小内刈り小渕（前商）（前南）
坂内 内股 石崎（利根商）（前商）
▽準決勝
狩野 僅差 井野口
井野口 僅差 坂内
▽決勝
狩野 僅差 井野口

前商同志で先輩、後輩の戦い、両者戦いにくそうだが井野口背負、狩野背負、小内刈でせめあう。残り七秒、狩野の小内刈がかかり井野口たおれる。時間切れ。

（軽重量級）▽準々決勝
吉原 払腰 佐藤（前商）（藤岡）
阿部 十字固高橋（利根商）（樹徳）
▽決勝
吉原 一本背負阿部（藤岡）（樹徳）

両者強化選手、吉原の大内、内股、大外刈の攻めに対し、阿部受けにまわりながらも内股で反げき吉原グラつく。終盤吉原の左一本背負が技有りとなり、その後寝技に移ったが時間切れ。

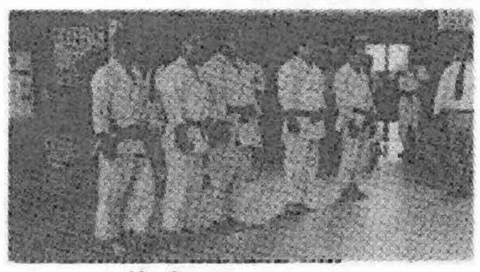
（重量級）▽準々決勝
石川 内股 神保（藤岡）（樹徳）
千吉原 僅差 福島（育英）（育英）
田上大内返し笠間（前商）（前商）
▽準決勝
吉田 内股 金田（前商）（藤岡）
吉田 僅差 田上（利根商）（樹徳）
▽決勝
吉田 僅差 石川

両者左組み、吉田左足をとばし、石川をゆさぶるが石川も支え釣込み足で反げきする。中盤石川の支え釣込足を吉田は手ですくった。両者指導を受けそのまま時間切れ。

（55キロ級）▽準々決勝
荻原 僅差 森下（前商）（育英）
大関背負投げ渋谷（伊工）（農大二）
須田一本背負千明（利根商）（前商）
戸丸谷落とし茂木（樹徳）（利根商）
▽準決勝
萩原 僅差 大関
須田 僅差 戸丸
▽決勝
須田小内刈り荻原

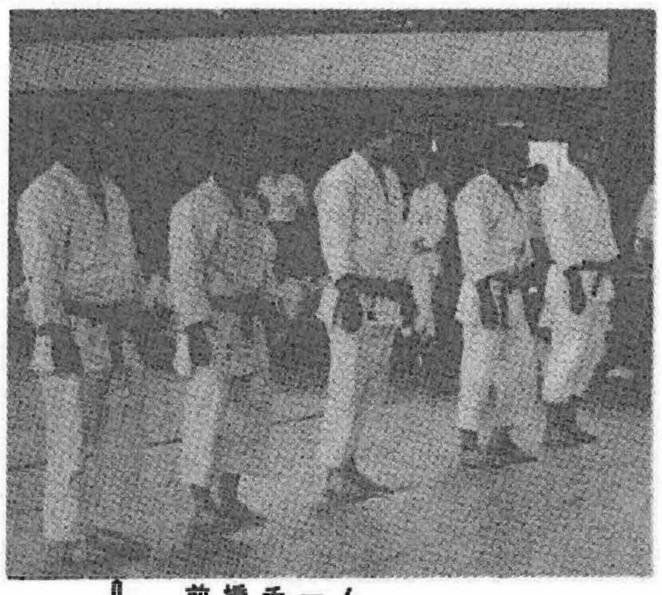
須田は開始早々の組みぎわ、右小内刈で有効を取り、荻原はそのまま寝技にもち込みたて四方で抑えたが（11秒）須田は荻原の寝技をにげきり、一年生ながら55kg級を制した。

郡の部は勢多・市の部は前橋
第21回県民大会


勢多チーム

第21回群馬県民体育大会は、昭和58年5月29日、県武道館で開催され、郡の部では決勝戦、勢多が利根を3対2の1点差で破って優勝。市の部では、決勝戦、前橋が伊勢崎を4対1に下して優勝した。

▽郡の部
準決勝
吾妻△ ②勢多
高橋 幸夫㊁注意△大沢
唐沢 昭利△不戦勝○小沼 学
野上 創造 引き分 千明 正樹
相馬 利幸○不戦勝△狩野 哲一
沢田 芳信○横四方△坂田 啓
準決勝
利根 ③ △北群馬
阿部 光浩○大外落△狩野
生津 義雄△ ㊁田子 義信
原沢 研祐 引き分 大沢 哲夫
勢多 ③ △利根
上田 智 引き分 伊藤 利市
島田富士男△送り足○大藤 忠昭
決勝
勢多③ △利根
大沢 △袈裟固○阿部 光浩
小沼 学 ㊁後袈裟△生津 義雄
千明 正樹○合せ技△原沢 研祐
大藤 忠昭○支釣足△相馬 利幸
伊藤 利市△合せ技○沢田 芳信
▽市の部
準決勝
伊勢崎 ⑧ △藤岡
印南 恵造○崩上四△新井 安雄
大湊 昌之○崩上四△久保 彰洋
金子 功 ○袈裟固△中里 栗原 秀行△不戦勝○塚田 純也
倉林 武久○横四方△堀越 国光
準決勝
前橋 ③ △高崎
吉田 一夫○横四方△佐藤 信治
飯笹 明宏㊁ △熊井 宏之
大沢 均 引き分 萩原 正明
関藤 正夫○内 股△市川 正人
前橋 ④ △伊勢崎
吉田 一夫○体落し△南 恵造
飯笹 明宏○払巻込△大湊 昌之
大沢 均 △小外刈○金子 功
関藤 正夫○不戦勝△栗原 秀行
池田 進 ○内 股△倉林 武久
決勝
池田 進 引き分 篠田 強一


前橋チーム

登録名菓 風の音・寒桜
甘味淡白 風味絶佳 三和屋
藤岡市中央通り5丁目 ☎(22)0003番

渋川市民スポーツ祭

第7回春季柔道大会、兼第13回渋川市民スポーツ祭柔道大会は、昭和58年5月8日、渋川工業高校柔道場で行われた。各学年で熱戦が展開され結果は左の通りとなった。

第7回春季柔道大会

〔小学2年〕
①藤野　拓　②大島加津夫　③金原勇樹

〔小学3年〕
①吉田俊一　②五十嵐芳夫　③細川浩一　③千明政幸

〔小学4年〕
①高橋　徹　②篠田　秀　③石北　武　③須田賢一郎

〔小学5年〕
①須田崇司　②福島和幸　③石井健治　③嘉山昌之

〔小学6年〕
①米山正宗　②堀米泰才　③堀江明典　③大谷貴光

〔中学1年〕
①白井哲也　②関口尚樹　③大野正史　③福島正幸

〔中2軽量級〕
①高木伸之　②柴崎正則　③入内島克明　③金井智彦

〔中2重量級〕
①星野伸夫　②狩野秀夫　③近藤浩好　③北田昌洋

〔中3軽量級〕
①浅見　武　②大谷哲保　③津島利昭　③狩野正茂

〔中3重量級〕
①笹沢典行　②染谷貴裕　③下田憲治　③野村英樹

〔高校1年〕
①石田哲保　②小野塚利幸　③佐々木康　③清水　守

〔高校2年〕
①青木　清　②富沢光彦　③中沢一明　③小菅照男

〔高校3年〕
①川野秀明　②佐藤正規　③萩原敬吾　③狩野秀一

第13回渋川市民スポーツ祭柔道大会

〔小学2年〕
①藤野　拓　②嘉山勝久　③金原勇樹

〔小学3年〕
①吉田俊一　②五十嵐芳夫　②細川浩一　③千明政幸

〔小学4年〕
①高橋　徹　②篠田　秀　③石北　武　③須田　誠

〔小学5年〕
①福島和幸　②嘉山昌之　③石井健治　③小林　学

〔小学6年〕
①米山正宗　②堀江明典　③大谷貴光　③奥泉安久

〔中学1年〕
①福島正幸　②村山康夫　③大槻　充　③島田杜一郎

〔中2軽量級〕
①高木伸之　②柴崎正則　③入内島克明　③金井賢彦

〔中2重量級〕
①星野伸夫　②狩野秀夫　③都丸正基　③北田昌洋

〔中3軽量級〕
①大谷哲保　②富沢哲也　③伊藤智幸

〔中3重量級〕
①笹沢典行　②下田憲治　③野村英樹　③伊藤正則

〔高校1年〕
①石田哲保　②小野塚利幸　③佐々木康　③清水　守

〔高校3年〕
①青木　清　②富沢光彦　③中沢一明　③小菅照男

〔高校3年〕
①川野秀明　②佐藤正規　③萩原敬吾　③狩野秀一

この人に聞く

「クリーン柔道」を提唱

普及部長　北爪隆雄七段

あかぎ国体の選手強化と大会準備の続く中で、併行して県内の恒例の行事を一手に引き受けているのが普及部である。今回は北爪隆雄部長に、インタビューを試みた。

問　普及部の年間スケジュールとその苦労話をお聞かせ下さい。

答　「普及部で扱う大会は関口杯支部対抗、紅白試合、スポーツ少年団大会、小学生総体。関連するものは女子講習、関東女子選手権、実業団大会、県民大会等である。紅白試合や小学生総体は参加者が多いので組合せに際しては種々な配慮を必要とする為此の作業は深夜までかかることが有ります。幸いに優秀な部員や篤志家の協力が有りますので現在迄大過無く運営されて来ました。『普及』とは（あまねくおよぼす）と言う事でありますので、部員始め多数の関係者の意見を尋ねて如何に運営すべきかを検討しなければなりませんので責任は重かつ大であると存じます。種々面倒な作業が有っても一つ一つの大会が終了すると、良くやれたなあ……と楽しさに変わって来るのだから此れも「道楽」の一つかと、部員一同で張り切って居ります」。

問　ご趣味は。

答　「読書と山林の散策で時には琵琶の鑑賞もし甘さが有るのでは……と協力度は。

答　「母方の叔父高井潤一郎（明治十七年生）は勢多郡で最初の有段者で故嘉納治五郎師範や故関口孝五郎先生と親交が有った。（最終段位三段）父健次（七段）は元勢多支部長、父の姉の孫が桂澤博之五段（県警）同じく兄の孫に品川公博初段（農二）等血縁に柔道関係者が多い為か今のところ柔道について私が家を出るのは『没我子』と言う格好です」。

問　柔道歴は。

答　「昭和十六年旧制桐中入学以来ぼつぼつとやっています」。

問　ご趣味は。

答　「読書と山林の散策で時には琵琶の鑑賞もし甘さが有るのでは……と全体を展望すると研修に事が有ってもご一報下さい。

問　恩師は。

答　「安岡正篤先生と故関口林五郎先生です」。

答　ライバルは。

答　「おりません」。

問　座右の銘をお聞かせ下さい。

答　「現在探究中というところです」。

問　群柔連への要望等がありましたらお聞かせ下さい。

答　「生来鈍な為『アイディア』に乏しいので関係者の『アドバイス』を期待して居ります。予算措置がむづかしいので此の辺の手直しも頂ければ……」。

問　58国体へ向けての抱負は。

答　「抱負と言うよりも、国体に関連する持場を二、三与えられて居りますのでこれがうまく行けばと言うことで頭が一杯です。未だに全体を展望すると研修に事が有ってもご一報下さい。

問　普及部より会員への要望。

答　「何れの大会に於いても武道館内外が空缶や紙屑の散乱で甚しい。特に関口杯。スポ少。小学生総体がその最たるものであることは非常に淋しい限りである。柔道の技術と併行してモラルの向上を心掛けなければならないと存じます。国体を成功させるのには『クリーン柔道』の体現するか否かにかゝって居ると言っても過言では有りません」。

北爪隆雄氏メモ
昭和四年一月二十二日生
勢多郡大胡町河原浜
県柔連普及部長
講道館七段

普及の輪広がる

講師は
岩木昭太郎6段
周東正夫5段
昭和58年度審判講習会

審判講習会開く

58年度　審判講習会は4月24日、県武道館で開かれた。岩木昭太郎六段・周東正夫五段の両氏が講師として熱心に講義した。（受講者50人）

柔道審判員の心がけ

1、規定の研究を怠らない
大会要綱や申し合せ事項も。
2、服装は、できるかぎり正装とする。
3、試合場での礼法は正しく。
4、常に良い場所を選んで位置する。
5、正しい姿勢と無駄のない動き。
6、動作は、規定にしたがって明確に。
7、不要の用語、動作を使わない。
8、反則は厳格にとる。
9、主審の判定は、迅速的に。
10、主審は、良い試合ができるような試合進行を。

寺崎　孝　③小野田英樹
中学生の部

板倉町柔道大会

第11回板倉町柔道大会は、菜種梅雨そぼ降る3月21日板倉町武道館に於いて、小学（3部）、中学、高校及び一般の部に区分しておのおのの熱戦が展開された。第3位までの入賞者は次の通り。

小学生の部
▽低学年　①矢口綾子　②
▽中学年　①小野田富康
②塩田晃央　③根岸茂義
▽高学年　①高際正幸　②

石井道場、全国大会で活躍

第三回全国少年柔道大会は5月8日（日）東京深川体育館において全国から参加した48チームにより熱戦が展開されました。群馬代表として出場した石井道場は一回戦二回戦と勝ち進みベスト16へ。三回戦は鹿児島県チームと対戦し惜しくも敗退しベスト8の夢は破れました。

試合結果・団体戦

石井道場
一回戦④——⚠
島　根
（大田柔道スポーツ少年団）
二回戦①——⚠
代表戦
北海道
（滑水町スポーツ少年団）
三回戦⚠——③
鹿児島
（田崎柔道スポーツ少年団

編集後記

いよいよ目前に迫ってきた「あかぎ国体」。県としては五十年に一度の大事業として役員、係員、補助員が一致団結、各競技リハーサル大会も経て本大会を待つばかりとなった。競技は勝たなくてはならないが、他県からの選手、役員各位には、何か一つお土産を持ち帰ってもらいたいものだ。それが「群馬で競技出来てよかったな」そんな心のお土産はどうだろう。（牛込祥）

ほねつぎ
金子接骨院
院長　金子英三
整復師　金子育夫
整復師　金子敏洋
本院　山田郡大間々町4丁目1,369　TEL72－2437
分院　桐生市広沢町2丁目3,124　TEL54－0244

ぐんま柔道

発行所　群馬県柔道連盟
発行人　関口　恒五郎
編集室
高崎市飯塚町1040
桜井　弘
電話　0273－61－2502

嘉納師範遺訓

柔道は心身の力を最も有効に使用する道であるその修業は攻撃防御の練習に由って身体精神を錬練修養し所道の神髄を体得する事であるそうして是に由って己を完成し世を補益するが柔道修行の究竟の目的である。

さあ〝あかぎ国体〟だ
史上最強でVめざす

池田監督

寺町　鳥居　椛沢　青山　今川

松本監督　須田

小畑　狩野　吉原　吉田

成年男子

▽監督　池田　進37　池田空調工業
▽先鋒（60㌔以下）＝寺町　良次26　前橋高教員　53・54年全日本体重別1位
▽次鋒（71㌔以下）＝鳥居　吉二28　渋川工教員　55年県選手権1位
▽中堅（86㌔以下）＝椛沢　博之29　県警本部　53年ハンガリー国際大会1位　54年フランス　同　1位　54・55年全日本選手権出場
▽副将（86㌔超）＝青山　光一24　前橋工教員　57・58年県選手権1位
▽大将（無差別）＝今川　直明23　中之条高教員　クウェート国際（無差別）優勝

少年男子

▽監督　松本　邦夫34　前橋商教諭
▽先鋒（55㌔以下）＝須田　好和16　前橋商1年　57年関東中学軽量級3位
▽次鋒（60㌔以下）＝小畑　順一18　前橋育英3年　58年全国高校軽量級5位
▽中堅（71㌔以下）＝狩野　浩一16　前橋商2年　58年全国高校中量級5位
▽副将（86㌔以下）＝吉原　秀忠17　前橋商3年　58年世界ジュニア予選2位　58年全国高校軽重量級1位
▽大将（無差別）＝吉田　一夫18　前橋商3年　58年全国高校重量級5位

大会運営も万全

柔道競技会場となる渋川市総合公園体育館

国体柔道競技日程
（渋川市総合公園体育館）

◆第1日（16日）◆
8:35～8:45　少年柔道乱取
8:45～8:55　婦人会舞踊
9:00～　開始式
9:30～　投の形（取・大幕　忠昭　受・塚田　純也）
9:40～18:22　試合（少年男子）
◆第2日（17日）◆
9:00～　試合（少年男子）
10:20～　柔道舞踊（渋川女子高校生徒）
10:31～　試合（少年男子決勝・三位決定）
11:02～　種別表彰式
11:10～16:35　試合（成年男子）
◆第3日（18日）◆
9:00～　試合（成年男子）
14:01～　古式の形（取・関口　孝義　受・柳谷　勝之）
14:11～　柔道舞踊（渋川女子高校生徒）
14:21～　試合（成年男子決勝・三位決定）
14:53　種別表彰式
15:08～15:23　表彰式・閉会

あかぎ国体に寄せて

関口恒五郎

「山には、きびしさをもって我々に対するものと、暖かく我々を包容してくれるものと二種類ある。赤城山はその後者のよい代表である。」――今は亡き山岳家・深田久弥さんの代表作〈日本の百名山〉に収められている赤城山は、こんな書き出しで始まります。

その赤城山にテーマを求め、静なる「心」と動なる「技」を結んで競う〝あかぎ国体〟の秋季大会（十月十五日～二十日）が迫ってきました。そして、私たち群馬県柔道連盟が主管する柔道競技は、赤城山と対する榛名山の山ふところに抱かれた渋川総合公園の一角に建つ市民体育館に、皆さまをお迎えして開催されます。

標高七百㍍の柔道会場から目を転じますと、すぐ下の裾野に点在する陸上競技場をはじめ各種競技場、自由の広場、成人の森、その先には赤城の名山をはさんで、左に上州武尊（はたか）日光白根、谷川連峰、右に県都前橋、高崎の市街地から連なる関東平野が白く光る利根川の流れに沿って開けるー―。

関口会長

一方、会場のすぐ上には、日本の名湯・伊香保温泉が…。そんな好環境にある〝あかぎ国体〟柔道会場を、ご想像いただけますでしょうか。そこに全国から一千人にのぼる役員・選手団と、大勢の柔道ファンを迎えて開く柔道競技が、国体史上の語り草になるような感動のある大会にと、私たちは選手強化、審判員の特訓、大会運営など最後の仕上げに、県柔連あげて取り組んでいます。

私たちのそんな努力を、裏側からガッチリ支えて下さるうれしい話もたくさんあります。まず、表玄関の国鉄渋川駅ー競技会場ー宿舎の伊香保温泉ー練習会場をバスでピストン輸送、柔道関係の宿を一手に引き受けてくれる、伊香保の旅館・ホテルは一万一千人の収容を誇ります。柔道ファンの皆さま、どうぞこぞってお出かけ下さい。

渋川市連合婦人会では、大会の成功と歓迎の心を託して、色紙と和紙による〝市の花〟アジサイをお持ち帰りいただこうと、お母さんたちが手づくり作業を急いでおります。そうした柔道会場を開む住民の皆さんがかなでる〝歓迎のハーモニー〟に新たな力を得て、諸準備にもいっそう加速度のつく私たちです。

「上野から高崎までの車窓で、一番私たちを楽しませてくれるのは赤城山である。ゆったりと優美な線で伸びているさまは、胸がすくようである」――深田さんの赤城山には、こんな描写もあります。

では皆さま、秀峰赤城を正面に望む〝あかぎ国体〟柔道会場で、十月にお会いしましょう。

（群馬県柔道連盟会長）

【注】この原稿は講道館発行の「柔道」八月号から転載させていただきました。

くろおび

「龍に乗る人かつぐ人、そのまたワラジを作る人」ということわざがある。〝あかぎ国体〟での人たちの役割は、ワラジを作りそのうえに龍もかつぐー。古い話になる▼昭和三十二年、群馬大学柔道部に小柄ながら筋骨隆々とした新人が入ってきた。前橋高出身で、大学の柔道部では彼の二年先輩に当たるA氏が孤軍奮闘していた。新人は先輩とのコンビで、群大の第一期黄金時代を築いていく▼卒業して高校教師になってからは、相撲で国体に出場し、サンボの選手となってモスクワの国際大会に飛ぶ。そして三十九年の東京オリンピックで見せた〝ハンガリーの英雄〟レスリングのコズマとの感動の出会いは、今なおスポーツ史上の語り草になっている▼先輩も負けていない。山口国体ではレスのヘビー級で三位になり、本県が初めて全国高校スポーツの舞台となった「44総体」では、前橋柔道チームの監督として堂々三位に入賞。その豊かな指導力が評価されて〝あかぎ国体〟の県強化部長に抜てきされた▼もう名前を明かすまでもあるまい。先輩は新井礼次郎、後輩は山本崇夫のお人。ともに群馬柔道界を背負う頭脳だ。二人の指導ぶりでいつも思うことは、柔道を通して常に人間教育をしている、ということである▼山本は国体では新井先輩をカバーする強化部副部長に就いた。初めは審判員に内定したが「おれには総務の仕事が性に合っているから」と自ら裏方に回った。新井さんからこの正月いただいた年賀状には、こんな言葉が書かれていた。「いっぺんに二つ龍をとってもいいから、早く年明けにしたい」▼新井・山本コンビでかつぐ龍に乗った選手が、全国の強豪と戦う日が目の前に迫った。二人によって、柔道技術のうえに人間性もたき込まれたわが群馬代表選手だ。絶対に負けるはずはない。いや、勝負を超えた〝感動の大会〟にしてくれることを信じてやまない▼「私たちの人生は、私たちがついやした努力だけの価値がある」（モーリアック＝フランスの作家）

（編集）

祝〝あかぎ国体〟柔道競技

信頼の郁マーク　柔道用マット“かすみ”
体育館での練習に朗報

柔道マット“かすみ”の特色　清潔（ごみが出ない、くさらない）　安全（クッション性が高く、衝撃を吸収）　耐久性に富む（ワラ畳の2.5倍）　耐水性（ワラ畳の5倍）　取扱簡単（中学生でも高々）

●取扱商品
柔道畳、畳下敷マット、すべり止め、投込マット

製造・発売元・講道館指定工場
株式会社 郁栄商会
東京都墨田区東駒形1－4－10
TEL03－622－2836

吉原(前商)が高校チャンピオン

全国高校選手権

全国制覇は本県初

小畑(青英)狩野、吉田(前商)も5位

軽重量級の前橋商・吉原秀忠が〝高校柔道日本一〟のタイトルを握った。今年度の全国高校総体柔道大会は、八月七日から三日間、名古屋市露橋スポーツセンターで開かれた。本県からは前橋商が団体戦に、個人戦には狩野浩一（中量級）吉原秀忠（軽重量級）吉田一夫（重量級）の〝前商トリオ〟と青英の小畑順一（軽量級）の四選手が出場して大いに健闘した。この結果、吉原が今大会、必ずしも好調とはいえなかったが、一戦一戦をねばり勝ちしながら進撃し、ついに本県の個人選手としては初めて〝日本のタイトル〟を獲得する金字塔をうちたてた。

しかし、団体戦に出場した前商は、痛い内容負けがあって予選リーグを突破できなかった。

【団体戦】＝予選リーグ
沖縄尚学2―2前橋商（沖縄）
（尚学の内容勝ち）
前橋商 3―0 志度商（香川）

【個人戦】◇予選
▽一回戦
○小畑 順一 上四方（青英）田近 正男（富山）
㊀狩野 浩一 小内刈（前商）土屋 武（長野）
㊁吉原 秀忠 内股（前商）椿本 勝也（大阪）
㊁吉田 一夫 内股（前商）井上 仁（島根）
▽二回戦
○小畑 順一 横四方 本 敏己（兵庫）
○狩野 浩一 不戦勝
○吉原 秀忠 不戦勝
○吉田 一夫 体落し 鈴木 和幸（静岡）
吉原 秀忠 引分 遠藤 嘉寛（三重）
吉田 一夫 引分 岡野 誠（和歌山）
▽三回戦
狩野 浩一 引分 宮本 隆弘（神奈川）
㊀吉原 秀忠 内股 志牟田崇夫（佐賀）
吉田 一夫 体落し 石黒 栄二（宮城）
◇決勝トーナメント
▽一回戦
○小畑 順一 送襟絞 山田 剛（福岡）
▽二回戦
○狩野 浩一 不戦勝
○吉原 秀忠 不戦勝
○吉田 一夫 体落し 鈴木 和幸（神奈川）
㊁板床 龍哉 優勢（熊本）小畑 順一
○飛松 秀樹 横四方（東京）狩野 浩一
㊀吉原 秀忠 優勢
▽準決勝
㊀吉原 秀忠 優勢 松岡 栄治（東海）
▽決勝
㊀吉原 秀忠 優勢 竹下 伸一（都城商）
○谷津 佳勝 大外刈（土浦日大）吉田 一夫
▽準決勝
㊀吉原 秀忠 優勢 梅村 英人（香川）

全国を制した吉原秀忠選手

観戦記

得点なら全国2位

吉原、3回戦からエンジン

新井 礼次郎

今回は本県勢にとって、つきまくった大会だった。個人戦は全員が〝ベスト8〟（5位）入りした。府県別に点数計算すれば、奈良についで2位に入る。

小畑は好んで寝技に出るが、極めが甘く抑えこんでも逃げられるケースが多い。しかし今回は違った。トーナメント2回戦でジュニア世界選手権3位の板床を寝技で攻めまくった。一本背負いに肩をついて僅差負けした。

狩野もうまくなった。攻め技の冴えがいま一つ足りず一本勝ちはなかったが、大内と小内で前後に攻めて得点チャンスが多かった。同2回戦でジュニア強化選手の飛松と当たった。飛松はこの階級では別格の巧者。結局は寝技で敗れたが、立ち技では相当戦える自信がついた。

それに引きかえ吉田、吉原の試合ははがゆかった。両者とも同じ形で予選の3回戦を切り抜けた。3回戦でやっとエンジンがかかった感じで、動きにスピードがなく、相手のペースで動く。直線的な動きで膝が固い。それでも吉田は内股を体落しに切りかえす器用な部分もあり〝ベスト8〟入りは順当なところ。

結果はこの日、一番冴えない吉原が優勝した。「勝ちたい、勝ちたいと思って試合をしろ」と言いきかせた。3回戦でやっとその気になった。ここで引き分ければ予選落ち。世界ジュニア予戦2位もフロック勝ちと言われる。もともとしていたが、最後にかけた内股が「有効」になる。つきが吉原側にあった。あの内股が「有効」にならなくても文句は言えなかった。

決勝トーナメント1回戦が不戦勝となり体力の消耗を防げた。金鷲旗大会のヒーロー問可（近大福山高）スーパースター武藤（天理高）を竹下が降した。準々決勝からの3試合は全て僅差勝ち。背中をつかんで引きつけ、送り足でゆるがしたり、内股で浮かしたりの僅差勝ちだった。いわば吉原のスタミナ勝ち。県外遠征でたて続けに10試合もやらされての馬力だった。

全国一はすばらしい。意欲だけでできるものではない。しかし優勝までの7回戦（不戦勝1回）のうち、「技有り」勝ちが一つもないのが不満であり、今後の不安でもある。

国体は「有効」以上である。高校チュンピオンが「有効ルール」では勝てず、引き分けでは泣ける。好漢さらに一考を要するところである。

前哨戦は勝てた。さあ本番、がんばろう。

（県高体連委員長）

この快挙を天皇杯に

県柔連・関口恒五郎会長の話「吉原君の優勝をはじめとして、出場選手全員が好成績をおさめ、うれしい限りだ。〝あかぎ国体〟に向かって県柔連の全会員が努力してきた成果である。この快挙が天皇杯獲得に結びつくよう、さらに精進して欲しい。」

強運を生かす努力を

強化部・井出昌明副部長の話「全国高校総体で〝あかぎ国体〟の出場選手の四人が上位入賞という快挙はまことにうれしい。しかし、今回の好成績も紙一重の幸運。この運を逃すことのないよう、我々強化部員は一丸となって残された日々の努力を、と決意を新たにしている。」

チームの和で勝利を

強化部・山本崇夫副部長の話「国体選手は各階級で個人として選ばれたわけだが、国体は団体戦なので、チームの和が大切である。選手にはチームの一員としての試合を要望したい。大会運営についても、全選手の〝思い出深いあかぎ国体〟にすべく、ぬかりない準備をしよう。」

持ち味を出し切ろう

前橋商・松本邦夫監督の話「全国高校総体で優勝した吉原秀忠、五位入賞を果たした吉田一夫、狩野浩一、小畑順一の選手全員に共通していえることは、日ごろの練習の成果を出しきったという事だ。この経験を生かし、国体ではチームワークを重んじ、各自の持ち味を出しきって、優勝を。」

この勢いで国体優勝を

前橋育英高・新井信雄監督の話「愛知での全国高校柔道大会に出場した本県選手は四人全員が上位入賞し、県柔道界に大きな一ページを残した。〝あかぎ国体〟の強化策が実を結んだ結果だ。この勢いで完全優勝を目標に監督選手が一丸となり、一人一人が自覚を持って最後の邁進を。」

大タイトルは忘れよ

桜井道場・桜井弘師範の話「私どもの道場が今年で創立三十周年を迎えた。吉原君は三十年にひとりの逸材だ。性格の素直さで伸びてきた。しかし、お祝いは国体終了後。国体ではこのタイトルは忘れることだ。各県選手に胸を借りるつもりで、積極的に技をかけよう。」

得意技で頑張れ

中学時代の恩師・高山明氏の話「小畑君おめでとう。君の快挙は君自身の汗の積み重ねによるとはもちろんだが、熱心に指導された新井信雄先生や強化部の先生方に、心から感謝したい。さあ、半世紀に一度の国体開催。地元の期待を担って出場できることに誇りをもち、最高のコンディションで活躍してほしい。執拗にスピーディーに、得意技に徹底せよ。」

県高校柔道選手権

青英、前商に惜敗

第33回県高校柔道選手権大会・全国高校柔道大会県予選（6月5日、19日・県武道館）

【団体戦】▽一回戦
高崎北 3―1 中央中之条
5―0 大間々
高崎商 5―0 伊工
勢多農 3―2 館林
渋川 5―0 伊商
渋川工 3―2 桐生南
高崎 3―0 中之条
渋川西 5―0 太田工
太田 3―2 桐丘
佐波農 4―1 桐生工
利根農 4―0 武尊
常磐 3―2 桐生
▽二回戦
前橋商 5―0 高崎北
桜名 4―1 新田
藤岡工 3―2 太田
高崎商 4―0 前橋南
利根商 5―0 勢多農
農二 4―1 高崎工
渋川 4―1 富岡
常磐 3―2 西邑楽
▽四回戦
前橋商 5―0 中之条
利根商 4―0 農二
沼田 5―0 大泉
藤岡 4―0 佐波農
樹徳 2―1 万場
利根農 5―0 前橋
長野原 4―1 前工
育英 5―0 渋川工
▽三回戦
前橋商 5―0 高崎
沼田 5―0 藤岡工
利根商 3―0 樹徳
渋川 4―0 前橋工
中之条 5―0 桜名
藤岡 4―0 高崎商
農二 2―1 利根農
渋川 5―0 常磐
▽決勝
前橋商 2―2 育英
㊀野口 吉正 背負投
狩野 輝彦
林 義正 袈裟固
○田上 一也 引分
狩野 浩一 富沢 弘樹
○吉田 一夫 大外刈
石川 雅明 注意
㊀福島 信雄
（前橋商の内容勝ち）
沼田 2―0 藤岡
育英 4―0 渋川
▽準決勝
前橋商 4―0 沼田
育英 2―0 利根商
▽決勝
前橋商 2―2 育英
㊀野口 吉正 背負投
狩野 輝彦
林 義正 袈裟固
○田上 一也 引分
富沢 弘樹
○吉田 一夫 大外刈
石川 雅明 注意
㊀福島 信雄
（前橋商の内容勝ち）

祝〝あかぎ国体〟柔道競技

群馬県柔道連盟北群馬渋川支部

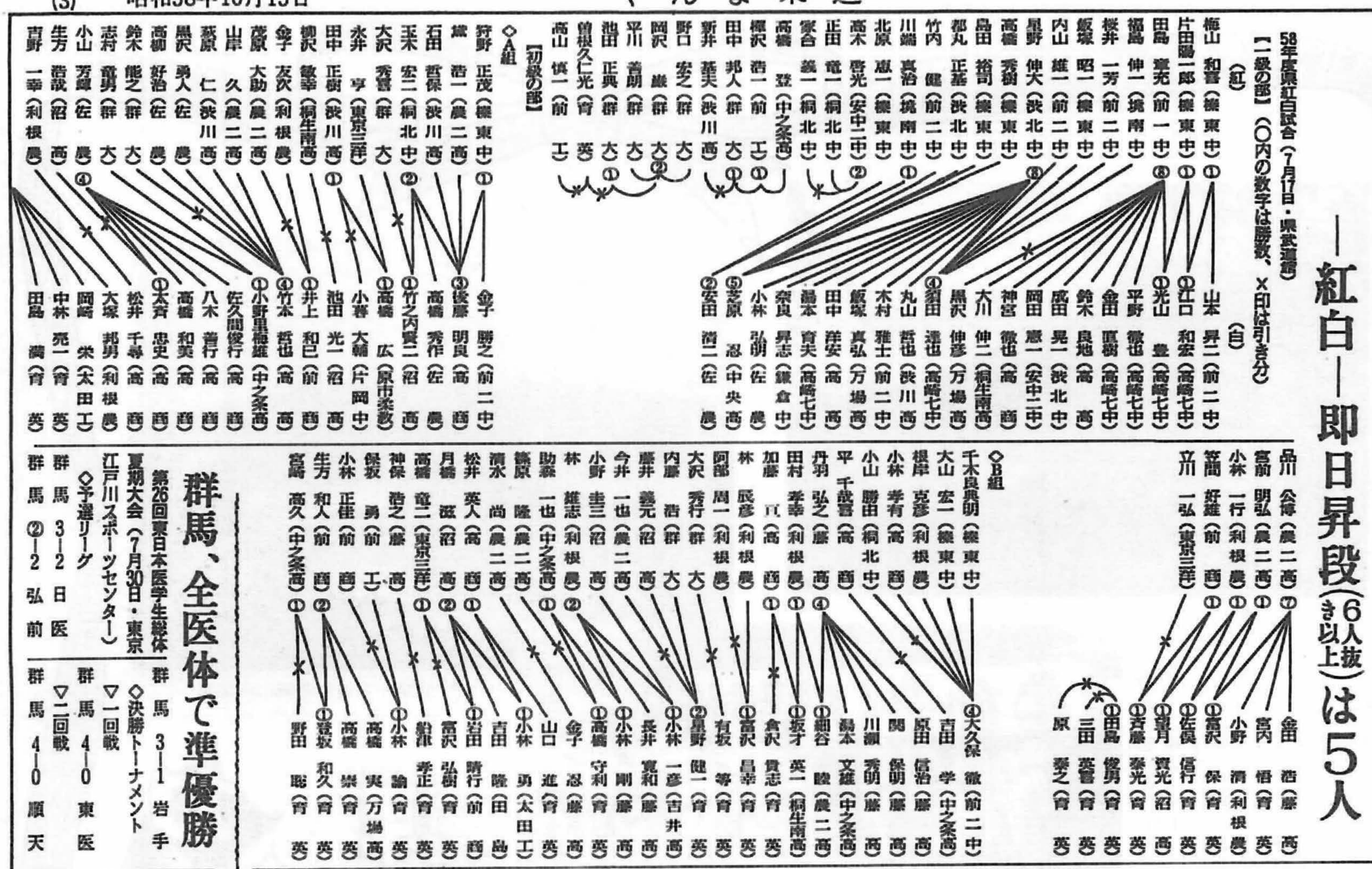
支部長 小竹恒夫
副支部長 萩原藤太郎
〃 横内正晴
〃 島田教雄
〃 柴崎洋行
〃 星野勲
庶務部長 星野澄夫
副庶務部長 真下英男
行事部長 山田吉次
副行事部長 高橋功
指導部長 佐藤勇夫
副指導部長 上原信一
〃 石橋格
会計部長 伊藤孝平

田島(前二中)星野(渋北中)が8人抜き

―紅白―即日昇段(6人抜き以上)は5人

58年度県紅白試合（7月17日・県武道館）

【一級の部】（○内の数字は勝数、×印は引き分）



群馬、全医体で準優勝

第26回東日本医学生総体
夏期大会（7月30日・東京江戸川スポーツセンター）

◇予選リーグ

群 馬 3―2 日 医
群 馬 ②―2 弘 前
群 馬 3―1 岩 手
◇決勝トーナメント
▽一回戦
群 馬 4―0 東 医
▽二回戦
群 馬 4―0 順 天
▽準決勝
群 馬 3―1 聖 マ
▽決勝
慈 恵 3―1 群 馬
【順位】①慈恵②群馬③聖マリアンナ、山形
全医体（8月2日・千葉県武道館）

◇予選リーグ
慈 恵 ②―2 群 馬
群 馬 3―1 山 口
◇決勝トーナメント

前商、育英が健闘

「金鷲旗」高校柔道

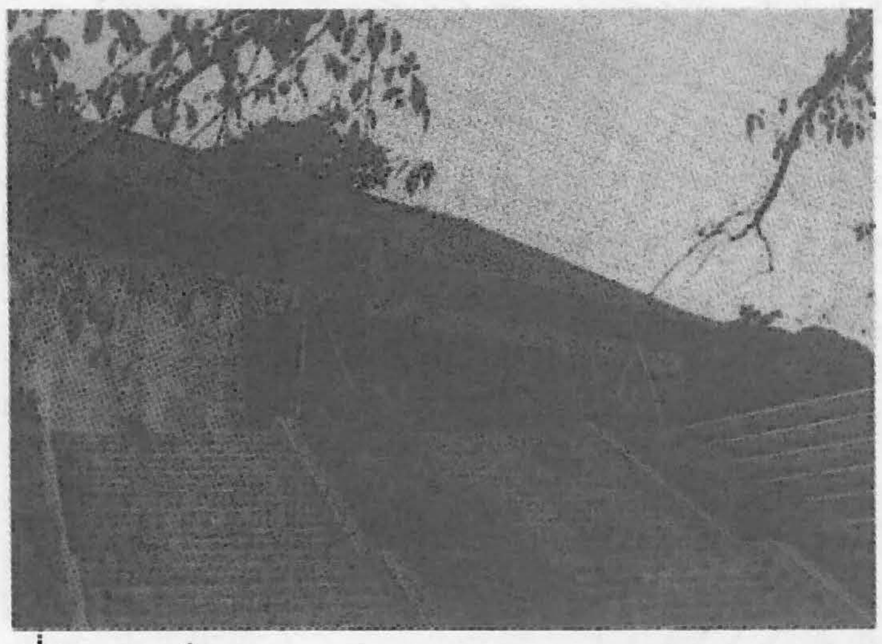
58年度「金鷲旗」高校柔道大会（7月24、25日・福岡国際センター）

▽四回戦
前橋商　大東文化大一（東京）
先狩 野 引き分 高 崎
次 林 大外刈㊁会 田
中井野口 ㊁小内
㊁背負
引き分 安 彦
副吉 原㊁大外刈 大 谷
㊁内 股 本 郷
（2人を残す）
育 英 小 倉

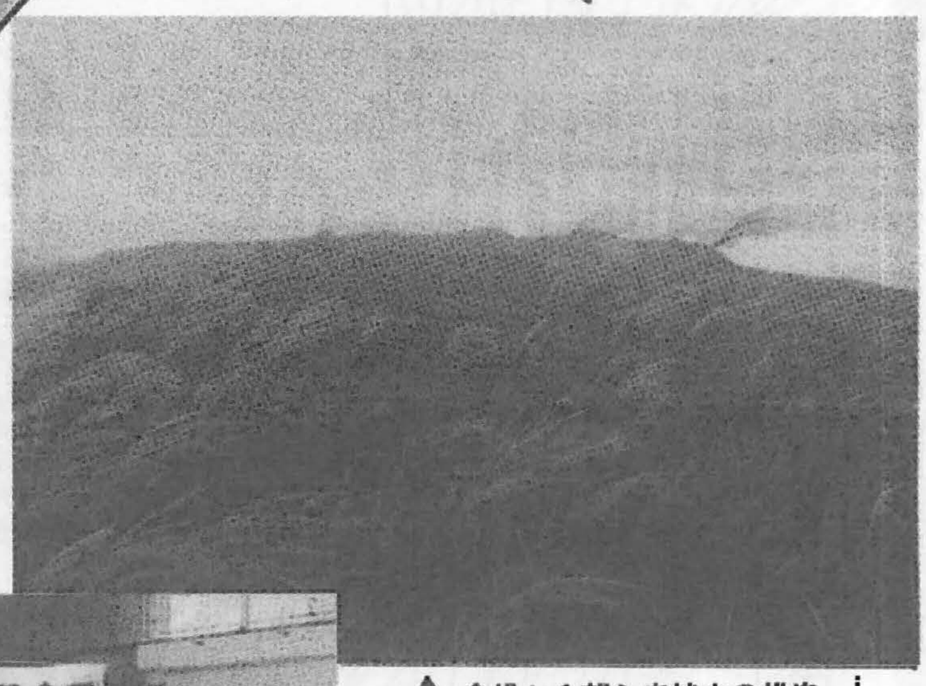
（福岡）
先富 沢㊁小内刈 菅 原
引き分 野 中
福 島○小外刈 大 塩
大外刈㊁北 島
鏡 引き分
田 上○袈裟固 廣 津
（1人を残す）
▽五回戦
石川県工 前橋商
先渡 辺 引き分 狩 野
次太 田 引き分 林

中荒 井 引き分 井野口
副丸 田 引き分 吉 原
大城 宝○内 股 吉 田
（1人を残す）
此 花 育 英
（大阪）
先永 山 引き分 富 沢
行 徳 引き分 福 島
大 野 引き分 鏡
石 田○払い腰 田 上
引き分 石 川
（1人残す）

◇C組
浅見 武（榛東中）
小林 伸幸（榛東中）
岡田 暢英（新島高）
大川原義則（中之条高）
七五三木好晴（沼 高）
橋本 浮樹（境南中）
清水 秀明（前 工）
田中 雄二（中之条高）
田中 和道（沼 高）②
浅見 繁男（藤 高）
掛井 均（中之条高）
笠原 陽一（沼 高）
高田 利明（育 英）①
安藤 裕之（育 英）①
星野 悟（前 商）②
杉木 延雄（沼 高）①
鎌原 充（中之条高）
斉藤 直市（沼 高）
田中 豊（農二高）
小室 篤（前 商）
石川 茂樹（前 商）
鈴木 一也（群 大）
牛込 章寿（農二高）①
駒林 昭男（農二高）①
西沢 正嘉（高 高）
東 徹也（藤 高）
佐藤 佳文（農二高）①
黒岩 邦夫（中之条高）①
吉田 克（農二高）①
高橋 義典（農二高）①
【二段の部】
清水 徹夫（境野楽教）
毛呂 達也（前 高）
佐藤 信治（前 高）①
前原 健司（東京三洋）
山根 章宏（桐北中）
①塚越 秀男（群 大）
①桑谷 貴裕（榛東中）
松原 太宏（沼 高）
本多 大志（利根農）
高草木 博（桐北中）
島本 秀雄（中之条高）
貝瀬 雅人（利根農）
田村 重幸（前 工）
②田貝 信昌（高崎柔教）
田島 隆行（育 英）
川浦 一弘（高 高）
③山口真好巳（藤 高）
吉井 守（高 高）
①渡辺 勝志（育 英）
佐藤 善澄（高 高）
黒沢 正典（育 英）
堀口 宗彦（高 高）
本間 清（中之条高）
長井 寛和（藤 高）
①小林 剛（藤 高）
①高橋 守利（育 英）
金子 忍（藤 高）
山口 進（育 英）
①小林 勇（太田工）
吉田 隆（田 島）
①岩田 晴行（前 高）
①富沢 弘樹（育 英）
船津 孝正（育 英）
①小林 論（育 英）
高橋 実（万場高）
高橋 崇（育 英）
①萱坂 和久（育 英）
野田 聡（育 英）
②桜井 薫（富 沢）
木暮 才治（勢 多）
松本 昌弘（群 大）
①大久保 徹（前二中）
吉田 学（中之条高）
原田 信治（藤 高）
関 保明（藤 高）
川瀬 秀明（藤 高）
鳥本 文雄（中之条高）
①細谷 睦（農二高）
坂才 英一（桐生南高）
倉沢 貫志（育 英）
①富沢 昌幸（育 英）
有坂 等（育 英）
②星野 健一（育 英）
①小林 剛（藤 高）
長井 寛和（藤 高）
①小林 守利（育 英）
金子 忍（藤 高）
山口 進（育 英）
①小林 勇（太田工）
吉田 隆（田 島）
①井上 和巳（前 高）
①竹本 哲也（高 高）
①小野里梅雄（中之条高）
佐久間俊行（高 高）
八木 普行（高 高）
高橋 和美（高 高）
①太齊 忠史（高 高）
松井 千尋（高 高）
大塚 邦男（利根農）
岡崎 栄（太田工）
中林 亮一（育 英）
田島 満（育 英）
①小山 芳輝（佐 農）
①岡崎 栄（太田工）
①大塚 邦男（利根農）
①松井 千尋（高 高）
①八木 普行（高 高）
①高橋 和美（高 高）
①太齊 忠史（高 高）
①高柳 好治（佐 農）
①鈴木 能之（群 大）
①高野 勇男（群 大）
①小山 芳輝（佐 農）
①佐久間俊行（高 高）
①山岸 久（農二高）
①蔡原 仁（渋川高）
①黒沢 勇人（佐 農）
①青野 一幸（利根農）
①生方 浩哉（沼 高）
①中林 亮一（育 英）
①田島 満（育 英）
①高萩 高久（中之条高）
①野田 聡（育 英）
①萱坂 和久



準備は万全、大会を待つばかりの渋川市体育館



会場から望む赤城山の雄姿

優勝をめざして強化練習に励む県選手団

体育館内の柔道場

柔道舞踊を演じる渋川女子高生

演奏を担当する渋川市北中生徒

各県選手の先頭に立つ渋川女子高生

カナラで発見

国体・柔道競技組み合わせ

少年の部（10月16、17日）

成年の部（10月17、18日）

国体選手はこんな人

■□成年の部□■

寺町　良次（前高教員）
◇身　長　167㌢
◇体　重　60㌔
◇胸　囲　95㌢
◇生年月日S32・4・16
①新田高、筑波大
②弘道館（関口病院）
③読書・旅行
④「精力善用」「自他共栄」
⑤O型
⑥特になし
⑦渋川市半田1922の1

鳥居　吉二（渋工教員）
◇身　長　172㌢
◇体　重　73㌔
◇胸　囲　98㌢
◇生年月日S30・6・1
①高崎高、筑波大
②なし
③軽登山、スキー
④「百折不倒」
⑤A型
⑥森昌子、宮崎美子
⑦高崎市旭町128

桃沢　博之（県警本部）
◇身　長　175㌢
◇体　重　82㌔
◇胸　囲　104㌢
◇生年月日S28・10・24
①前橋商、中央大
②なし
③読書
④「努力」
⑤O型
⑥特になし
⑦前橋市勝沢町530

青山　光一（前工教員）
◇身　長　200㌢
◇体　重　115㌔
◇胸　囲　115㌢
◇生年月日S33・12・5
①桐蔭学園高、筑波大
②なし
③音楽鑑賞
④「不動知」
⑤A型
⑥大原麗子
⑦渋川市半田1922の1

今川　直明（中之条高教員）
◇身　長　170㌢
◇体　重　120㌔
◇胸　囲　128㌢
◇生年月日S35・8・23
①県立大宮工、国士舘大
②なし
③レコード鑑賞
④「忍耐」
⑤AB型
⑥特になし
⑦渋川市半田1922の1

須田　好和（前橋商）
■□少年の部□■
◇身　長　160㌢
◇体　重　54㌔
◇胸　囲　90㌢
◇生年月日S42・10・28
①渋川中
②弘道館関口道場
③レコード鑑賞
④特になし
⑤A型
⑥世良公則
⑦渋川市半田973の4

小畑　順一（育英）
◇身　長　169㌢
◇体　重　63㌔
◇胸　囲　90㌢
◇生年月日S40・7・25
①前橋三中
②なし
③読書
④「努力」
⑤B型
⑥北島三郎
⑦前橋市平和町1の7

狩野　浩一（前橋商）
◇身　長　174㌢
◇体　重　71㌔
◇胸　囲　95㌢
◇生年月日S41・10・21
①渋川中
②弘道館関口道場
③音楽鑑賞
④「忍耐」
⑤A型
⑥武田鉄矢、斉藤慶子
⑦渋川市石原611

吉原　秀忠（前橋商）
◇身　長　177㌢
◇体　重　86㌔
◇胸　囲　105㌢
◇生年月日S40・10・30
①高崎四中
②桜井道場
③スキー、音楽鑑賞
④「克己」
⑤A型
⑥菅原文太
⑦高崎市飯塚町210

吉田　一夫（前橋商）
◇身　長　176㌢
◇体　重　113㌔
◇胸　囲　121㌢
◇生年月日S40・9・21
①前橋桂萱中
②富沢道場
③音楽鑑賞
④「根性」
⑤A型
⑥柏原芳恵
⑦前橋市西片貝町4の3

質問事項
①出身校
②所属道場
③趣味
④好きな言葉
⑤血液型
⑥好きなタレント
⑦出身地

佐藤道場 10階級で優勝

県柔道場連合会大会 3段は桜井が独占

県柔道場連合会（関久一会長）の第三十回柔道大会は、二十道場の選手が参加してこのほど、県武道館で開かれ、小学生、中学生、一般の各男女別、学年別、段別などに分かれて個人戦を戦った。

この結果、優勝が最も多かったのは佐藤道場（高崎）の十階級。田島道場（前橋）八、石川道場（玉村）七、桜井道場（高崎）六の順だった。また桜井道場は一般男子三段の部で上位を独占した。

入賞者は次の通り。

【小学生・男子】◇一年　▽軽量級　①沢木輝和（佐藤）②清水崇（石井）③竹本裕亮（桜井）石井堅志（佐藤）
▽中量級　①今井裕弥（石井）②五十嵐学（北沢）③吉田努（松村）奥野博一（北沢）
▽軽重量級　①佐藤正信（佐藤）②戸塚章二（柴崎）③小林薫（関）黒崎哲史（鶴巣）
▽重量級　①大塚学（田島）②山本学（同）③阿久沢貴人（関）田端洋一（佐藤）
◇二年　▽軽量級　①高橋博将（佐藤）②茂木亮二（石川）③木村昌一（佐藤）茂木一成（同）
▽中量級　①柳沢篤史（佐藤）②城田伊織（同）③神切克行（同）藤野拓（関口）
▽軽重量級　①山口俊輔（石川）②友岡勝浩（木暮）③神部一弘（関口）塚越雅幸（佐藤）
▽重量級　①矢野譲二（剣持）②小林篤史（古平）③木暮雅人（木暮）小川健（剣持）
◇三年　▽軽量級　①山田孝之（桜井）②服部健（剣持）③館野太郎（富沢）門倉貴浩（桜井）
▽中量級　①神保幸宏（剣持）②松平英司（石川）③川和彦（神宮）大林保（同）
▽軽重量級　①剣持伸彦（剣持）②石井久雄（石井）③清水仁（同）新井昭和（桜井）
▽重量級　①赤沢良太（田島）②樋口毅（桜井）③川上貴一（石原）笹沢正臣（古平）
◇四年　▽軽量級　①恩田貴（佐藤）②柳克司（修道館）③前田二郎（古平）柴崎覚（北沢）
▽中量級　①佐藤義則（佐藤）②富沢充芳（石井）③磯部光利（桜井）星野光伸（石川）
▽軽重量級　①清水信治（石井）②仁平豊浩（木暮）③茂木節生（修道館）清水一彦（剣持）
▽重量級　①近藤好秋（剣持）②斎藤直樹（田島）③金井章人（同）吉良武夫（三補）
◇五年　▽軽量級　①小松崎哲史（佐藤）②清水厚徳（石井）③金井憲久（石原）阿久沢弘道（佐藤）
▽中量級　①松平徹士（石川）②広兼昌隆（佐藤）③斎藤孝幸（修道館）須田始（弘道館）
▽軽重量級　①田島敏充（田島）②田中康寧（修道館）③根村秀充（石川）植木孝一（桜井）
▽重量級　①須田崇司（弘道館）②原健寿（桜井）③岸秀人（同）川原裕道（石井）
◇六年　▽軽量級　①堀口潤一（佐藤）②須田繁全（弘道館）③川島友仁（桜井）大沢和彦（石井）
▽中量級　①横山貴志（鶴巣）②清水実（石井）③田部井護（石川）渡辺晃充（富沢）
▽軽重量級　①戸塚信幸（桜井）②長谷川亮（佐藤）③大谷智康（石川）堀越大司（鶴巣）
▽重量級　①清水和樹（石井）②松本光弘（同）③木暮順之（修道館）堀込泰才（関）
【小学生・女子】◇一年　①佐藤智子（佐藤）②本多鳴子（田島）③今井麻美（北沢）浅野智美（同）
◇二年　①小林あけみ（須藤）②田島真紀子（田島）③佐藤幸子（佐藤）福山弥生（田島）
◇三年　①中島綾子（鶴巣）②佐藤美保（佐藤）③斎藤美保（北沢）田端紀子（須藤）
◇四年　①山口桂（石川）②出沢和美（田島）③石井智子（石井）
◇五年　①木多暁子（田島）②常見州男（石川）③桃沢邦彦（富沢）桑子純一（修道館）
▽軽重量級　①渡辺浩充（修道館）②福島正幸（関）③萩原洋（田島）野田昌安（神宮）
▽重量級　①大沢隆志（石井）②吉野雅史（石川）③川端真治（同）高木啓光（桜井）
◇二年　▽軽量級　①田島章充（田島）②山本昇二（同）③佐藤晃一（桜井）小淵琢也（田島）
▽中量級　①田代武久（石川）②星野伸夫（関）③高木康益（関）福島伸一（石川）
▽軽重量級　①北田昌洋（柴崎）②吉田孝（田島）③都丸正基（関）竹内健（田島）
▽重量級　①松物谷武（石井）②宮寺雄一郎（鶴巣）③登丸佳司（田島）川島千春（同）
◇三年　▽軽量級　①大屋聡（田島）②清水信晴（同）③井上利昌（桜井）斎藤則之（田島）
▽中量級　①大久保徹（田島）②船津峰（同）③平井順一（古平）剣持和樹（同）
▽軽重量級　①橋本浮樹（石川）②樋口義幸（石井）③嘉雄二（桜井）鈴木徹（石井）
◇四年　▽軽量級　①高木久仁子（修道館）③武田広美（須藤）小竹実千代（関）
◇六年　①柳井真奈美（佐藤）②茂原和子（鶴巣）③中野友加（石川）剣持和枝（剣持）
【中学生・男子】◇一年　▽軽量級　①高橋龍太（桜井）②瀬木信道（修道館）③中里勝（鶴巣）千吉良順（富沢）
▽中量級　①村田和亮（桜井）高木久仁子（修道館）③武田広美（須藤）小竹実千代（関）
◇六年　①柳井真奈美（佐藤）②茂原和子（鶴巣）③中野友加（石川）剣持和枝（剣持）
【中学生・男子】◇一年　▽軽量級　①高橋龍太（桜井）②瀬木信道（修道館）③中里勝（鶴巣）千吉良順（富沢）
▽中量級　①村田和亮（桜井）小淵琢也（田島）
▽軽重量級　①田代武久（石川）②星野伸夫（関）③高木康益（関）福島伸一（石川）
▽重量級　①北田昌洋（柴崎）②吉田孝（田島）③都丸正基（関）竹内健（田島）
▽軽重量級　①松物谷武（石井）②宮寺雄一郎（鶴巣）③登丸佳司（田島）川島千春（同）
◇三年　▽軽量級　①大屋聡（田島）②清水信晴（同）③井上利昌（桜井）斎藤則之（田島）
▽中量級　①大久保徹（田島）②船津峰（同）③平井順一（古平）剣持和樹（同）
▽軽重量級　①橋本浮樹（石川）②樋口義幸（石井）③嘉雄二（桜井）鈴木徹（石井）
◇四年　▽軽量級　①

尾島中県3冠王に

秋・春・夏を制覇

第三十三回県中学柔道大会は、第十四回全国大会県予選を兼ねて七月三十日（個人戦）と三十一日（団体戦）県武道館で行われ、尾島中が団体で県3冠に輝いた。

この大会では軽、中量級の二階級を制した子持中と重量級を制した尾島中。さらに重量級で優勝した高山（尾島中）同級三位の桧物谷（緑名中）の二年生の活躍が目立った。

◇個人戦◇

【軽量級】決勝戦は子持中同志の対戦に。お互いに手のうちを知っているので、よくせめ合うが技がきまらなかったが、狩野が僅差で八高を破り優勝した。

▽準々決勝
㊀砂川　背負投　鈴木（水上）（群馬南）
○狩野　横四方　大屋（子持）（前橋二）
▽準決勝
○埴田　送襟絞　木村（子持）（渋川北）
㊁尾崎　僅差　木暮（緑名中）（高崎七）
▽決勝
○埴田　③　横四方　尾崎（子持）（尾島）

【注】個人戦は重量級（78・1㌔以上）中量級（60・1―78・0㌔）軽量級（60・0㌔以下）のそれぞれ二人が、八月二十一日に福岡で行われた全国大会に出場した。

【重量級】決勝戦は尾島中同志に。二年生の高山が、三年生の松島かと興味をもたれたが、高山の積極的な攻めが僅差で先鋒の松島を抑えて優勝した。

▽準々決勝
○桧物谷　内股　吉田（緑名）（館林三）
㊁松島　僅差　金山（尾島）（前橋二）
○高山　横四方　飯野（尾島）（高崎七）
▽準決勝
○酒井田　払腰　井上（沼田）（伊勢崎二）
㊁松島　僅差　桧物谷（尾島）（緑名）
○高山　袈裟固　酒井田（尾島）（沼田）
▽決勝
高山　僅差　松島

【女子】三十一人が出場。二十試合中、十五試合が固め技で決まった。決勝戦は柳沢（群馬南中）と毛呂（尾島中）で争ったが、決勝までの四試合を固め技で一本勝ちした柳沢が、僅差で毛呂を破り優勝した。

▽準決勝
○柳沢　袈裟固　多田（群馬南）（倉淵）
○木村　送襟絞　橋本（昭和南）（境）
○木暮　体落　中尾（下仁田東）（藤岡東）
○尾崎　内股　大久保（新治）（前橋二）
▽準々決勝
○埴田　横四方　鈴木（子持）（倉淵）
○木村　送襟絞　橋本（昭和南）（境）
○木暮　体落　中尾（下仁田東）（藤岡東）
○尾崎　内股　大久保（新治）（前橋二）
▽決勝
○柳沢　僅差　毛呂（群馬南）（尾島）

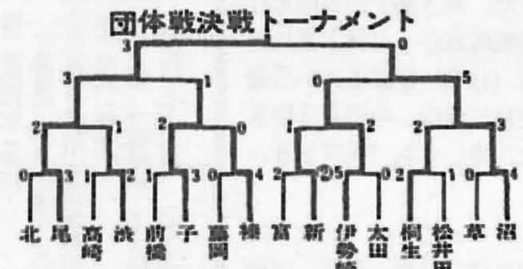
◇団体戦◇

団体戦はシード校が強味を発揮して予選リーグを通過したが、決勝トーナメント一回戦で高崎七中が渋川中に、二回戦で新治中が伊勢崎一中に敗れる波乱があった。

決勝戦は秋季大会、春季大会を制した尾島中とこの大会3Vの伝統校、沼田中という興味深い顔合わせになったが、地力にまさる尾島が三対〇で沼田を破り、総体初優勝。秋季、春季、夏季大会と今年度の大会をすべて制覇した。

また三位には、伊勢崎一と前日の個人戦で三階級を制した子持がくいこんだ。

▽準決勝
沼　田5―0伊勢崎一
㊁生　方　出足払　川島
㊀井　上　払腰　村上
○小　沢　内股　横堀
○清　水　袈裟固　井上
▽決勝
㊀柳　沢　僅差　毛呂



○酒井田　横四方　茂木（沼田）（伊勢崎二）
㊁松　島　僅差　桧物谷（尾島）（緑名）
○高　山　袈裟固　酒井田（尾島）（沼田）
▽準々決勝
○酒井田　払腰　井上（沼田）（伊勢崎二）
㊁松　島　僅差　桧物谷（尾島）（緑名）
○高　山　袈裟固　酒井田（尾島）（沼田）
▽準決勝
○高　山　横四方　茂木（尾島）（伊勢崎二）
㊁松　島　僅差　桧物谷（尾島）（緑名）
▽決勝
○高　山　③　松　島（尾島）

【順位】①尾島中②渋川中③沼田中、高崎七中

▽敢闘賞　利南中、新治中、前橋一中、緑名中

埴田（子持中）全国強化選手に

78㌔以下で堂々〝ベスト4〟

全中大会　尾島が大活躍

埴田選手

全日本柔道連盟初の試みである国際試合中学強化選手選考会は、八月二十日の全国中学校柔道大会に引き続き、二十一日福岡市民体育館で開催された。（全柔連国際試合強化選手のA・B・C・Dランクの次に中学生のEランクが設けられた）

本県からは子持中三年の埴田直勝選手が出場、ベスト4に残り78㌔以下級選手六人の一人にランクされた。

◇78㌔以下級＝出場80人

▽準々決勝
埴田　直勝　合せ技　上村　俊司（神奈川・新田）

▽準決勝
石田　輝也　袖　釣（東京・弦　埴田　直勝巻）

全中大会では尾島中が決勝トーナメント一回戦で、兵庫の荒井中を3対1で破る金星をあげ、準々決勝で大津中（神奈川）に2対1で惜敗した。

荒井中は昨年、渋川市で開かれた第13回全中大会の優勝チームだった。

700人超える盛況

6年重量級は広神（石井）勝つ

としたが、それでも七百人を越える盛況で、各部門とも好試合が続出した。

【男子】◇四年▽軽量級①佐藤義則（佐藤）②岡本守弘（伊勢崎）③茂木民二（川田）、奥昌伸（新田町）

▽中量級　①小林正明（毛呂）②高田晃（毛呂）③八木唯裕（藤岡）、矢野俊介（松井田）

▽軽重量級　①清水信治（石井）②吉良武夫（三浦）③須田賢一郎（弘道館）、金井剛（松井田）

▽重量級　①斎藤直樹（田島）②加藤弘道（桐生）③近野好秋（剣持）、平井一禎（三浦）

◇五年▽軽量級　①松平徹士（新町）②金井匡勝（新田町）③大谷浩敬（毛呂）、木暮和昭（篠塚）

▽中量級　①深須晃弘（新田町）②田島淑充（田島）③山内浩二（邑楽）、根林秀充（石川）

▽軽重量級　①川原裕道（石井）②井上裕光（尾島）③小林油二（原市）渡辺貴志（新里）

▽重量級　①須田崇司（弘道館）②伊藤卓（誠道館）②正田誠（桐生）、川島祥志（邑楽）

◇六年▽軽量級　①鶴見純也（毛呂）②藤田真一郎（桜井）③松井寿至（桐生）、仲田昌広（新田町）

▽中量級　①大谷秀樹（高崎柔）②丸橋信行（高崎柔）、大谷政行（尾島）

【女子】◇四年　①山口桂（石川）②出澤知美（田島）③都丸純（川田）、山田喜久枝（修道館）

◇五年　①本多暁子（田島）②武井佳絵（高崎柔）③武田広美（須藤）、高木久仁子（修道館）

◇六年　①柳井真奈美（佐藤）②田島敦江（田島）③堀越裕子（美久里）、茂原和子（高崎柔）

▽軽量級　①清水和樹（石井）②戸塚信幸（桜井）③門倉真人（桜井）、松本光弘（石井）

▽重量級　①広神浩治（石井）②池田剛（桐生）③萩原伸一（高崎柔）、大谷政行（尾島）

【女子】◇四年　①山口桂（石川）②出澤知美（田島）③都丸純（川田）、山田喜久枝（修道館）

◇五年　①本多暁子（田島）②武井佳絵（高崎柔）③武田広美（須藤）、高木久仁子（修道館）

◇六年　①柳井真奈美（佐藤）②田島敦江（田島）③堀越裕子（美久里）、茂原和子（高崎柔）

表彰された高橋君

県小学総体柔道

第七回県小学生総体柔道競技は八月二十一日、県武道館で行われた。試合に先だって、第三回大会から四連勝の高橋龍太君（桜井道場）に大会会長より記念トロフィーが贈られた。＝写真

毎年ふえつづける参加者のため、今大会は三年生の部をカットして四年生以上になり、体力と気力に勝る尾島が秋季の雪辱に燃える渋川を四対〇で下し、春季大会も制覇した。

▽決　勝
尾　島4―0渋　川
○高山内股野村
㊁橋本払腰笹沢
㊀羽鳥小内刈下田
㊁田中返し技伊藤
松島引分狩野

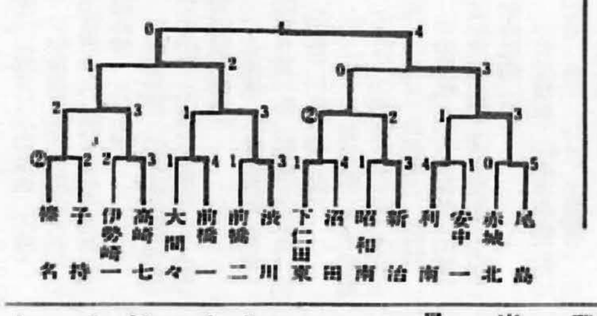
【順位】①尾島中②渋川中③沼田中、高崎七中

▽敢闘賞　利南中、新治中、前橋一中、緑名中

県中学春季柔道

第七回県中学校春季柔道大会は、六月十二日県武道館で行われた。昨年の秋季大会三位の新治中が沼田中に二対二の内容差で敗れる波乱はあったが、ベスト4に予想どおり渋川中、高崎七中、沼田中、尾島中があがってきた。

決勝戦は沼田中を三対〇で下した尾島中と、高崎七中を二対一で破った渋川中が秋季大会に続いての対決



館林市秋季柔道

館林市の秋季柔道大会は、お隣の栃木県から岩舟町柔道会の精鋭を迎えて、八月二十八日、城沼総合体育館で開かれた。小・中学生二百九十九人が参加、個人戦と団体戦を競った結果、団体戦は小学校は岩舟A、中学校は地元の館林一中Aが優勝した。

【個人戦】◇小学生
▽一・二年　①氷島孝行（岩舟）②川鍋隆治（同）③海老沼勝章（同）江田友和（同）
▽三・四年　①野口修（岩舟）②氷島浩行（同）③川村友也（館林）新井靖（岩舟）
▽五・六年　①小関博一（岩舟）②木村和弘（館林）③内田靖孝（館林）堤竹正浩（岩舟）
◇中学生▽一年　①秋元浩一（邑楽）②新井尚賢（同）③山野誠（館林三）小林昭博（千代田）
▽二・三年　①長倉良治（多々良）②新井操（岩舟）③増島千春（館林一）吉田雅行（同）

【団体戦】◇小学生　①岩舟A②館林A③岩舟B
◇中学生　①館林一A②邑楽③多々良B、館林三B

編集後記

広報部は好漢江原隆起氏を国体室（渋川）に送り込んで、編集作業が不安になった。しかしその分は全員が完全燃焼して出来上がったのが、この記念号。

さて、次号の国体結果やいかに…。

（U）

祝〝あかぎ国体〟柔道競技

社団法人群馬県接骨師会
名誉会長　永井　寿雄
会　長　細野　嘉晴

副会長　森　英樹　田中　健重
専務理事　関口　孝義
常任理事　井浦　康彦　中村　重昭　柳谷　勝之
牛込　弘明　村井田　守
会計理事　井浦　康彦　鈴木　行正
理　事　大島　由安　田代　淳一　金井　角次
内山孝三郎　金子　英三　奥沢　二郎
関口　清　代田　忠篤　牛込　祥浩
桜井　弘　栗原伝一郎　鈴木　行正
監　事　関　久一　田部井治男
支部長　福島　晴親（前橋地区）　田部井治男（伊勢崎地区）
石原　仁（桐生地区）　関口　清（太田地区）
細谷　長流（館林地区）　桜井　弘（高崎地区）
樺沢　洋一（富岡・安中地区）　栗原伝一郎（藤岡地区）
林　二郎（渋川・中之条地区）　内田　耕平（沼田地区）
ほか会員一同

ぐんま柔道

発行所　群馬県柔道連盟
発行人　関口　恒五郎
編集室
高崎市飯塚町１０４０
桜井　弘
電　話　0273－61－2502

嘉納師範遺訓

柔道は心身の力を最も有効に使用する道であるその修業は攻撃防御の練習に由って身体精神を鍛練修業し斯道の神髄を体得する事であるそうして是に由って已を完成し世を補益するが柔道修行の究竟の目的である。

やりました国体総合Ｖ

少年優勝・成年準優勝

ついにやった！念願の国体総合Ｖ―第38回国体（あかぎ国体）柔道競技大会は、十月十六日から三日間、都道府県の代表を渋川市総合公園体育館に迎えて開かれた。試合は少年の部と成年の部に分かれてトーナメントで行われたが、本県勢は少年が決勝で強敵の神奈川を一対０で破って優勝。勢いを得た成年も好調に勝ち進んで決勝戦に進出。決勝では東京に一対０で惜敗して〝アベック優勝〟こそ逃したが、輝く総合優勝のタイトルを獲得して有終の美を飾った。〝全員がもてる力を出し切った。百五十点でも二百点でもあげたい〟と、長く苦しい選手強化の道のりを耐えてくれた〝三四郎〟たちを監督、コーチ、県柔連の面々が賞えれば、その歓喜のうすの中で、観客席からの拍手がいつまでもなりやまなかった。

初の国体総合優勝を果たした群馬チーム

【少年の部】

▽二回戦
京都 3―0 岡山
長野 1―1 愛媛（代表戦）
北海道 1―1 奈良（代表戦）
石川 2―1 茨城
宮崎 4―0 大阪
岐阜 2―1 埼玉
富山 1―0 宮城
滋賀 3―1 山梨
島根 2―1 三重
福島 2―1 長崎
鳥取 2―1 新潟
鹿児島 2―1 山口
栃木 1―0 福井
千葉 3―0 香川
兵庫 2―0 愛知

▽二回戦
福岡 2―1 静岡
神奈川 1―1 京都（内容勝ち）
熊本 1―0 長野
北海道 2―1 東京
広島 2―1 石川
宮崎 2―1 秋田
岐阜 1―0 徳島
富山 1―0 沖縄
滋賀 3―1 岩手
佐賀 3―0 島根
福島 3―1 高知
群馬 4―1 鳥取

▽三回戦
東京 2―1 京都
秋田 2―1 広島
茨城 1―1 愛媛（内容勝ち）
栃木 1―1 富山（代表戦）
福島 2―2 岡山（代表戦）
和歌山 2―1 沖縄
埼玉 2―1 鳥取
神奈川 4―0 徳島
兵庫 3―0 佐賀

▽準々決勝
兵庫 1―0 埼玉
群馬 3―0 石川
寺町 良次 引き分 山田 克行（内容勝ち）
鳥居 吉二〇上四方 宗像 伝豊
桜沢 博之㊀小 内 下山田恵一
青山 光二〇払 腰 薗田 英樹
今川 直明 引き分 五十嵐康和
山梨 1―1 宮城（代表戦）
石川 2―1 山梨
東京 1―0 熊本
茨城 3―0 秋田
大阪 3―0 栃木
奈良 1―0 千葉
千葉 2―0 大分

▽準々決勝
神奈川 2―1 熊本
宮崎 1―0 富山
群馬 3―0 滋賀
貂田 好和〇小内刈 北野 元靖
小畑 順一〇腕挫十 内田 強
狩野 浩一 引き分 尾田 守
吉原 秀忠〇払巻込 上田 健二
吉田 一夫 引き分 今藤 晋一
和歌山 1―0 千葉

▽準決勝
神奈川 2―0 宮崎
群馬 3―0 和歌山
貂田 好和㊁注 意 尾崎伺時夢
小畑 順一〇崩縦四 林 真生
狩野 浩一㊁小 内 津田 剛
吉原 秀忠 引き分 加納 論
吉田 一夫 引き分 岡野 誠

▽三位決定戦
宮崎 3―0 和歌山

▽決勝
群馬 1―0 神奈川

【成年の部】

▽一回戦
鳥取 2―2 岐阜（内容勝ち）
神奈川 3―0 岩手
兵庫 4―0 新潟
滋賀 1―1 大分（代表戦）
福島 2―2 岡山（代表戦）
宮城 3―0 三重
石川 3―1 高知
島根 3―0 青森
東京 2―0 静岡

▽二回戦
秋田 4―0 長野
茨城 4―1 長崎
栃木 3―0 山口
北海道 2―1 宮崎
千葉 2―0 愛知
奈良 2―0 山形
和歌山 2―1 沖縄
埼玉 2―1 鳥取
神奈川 4―0 徳島
兵庫 3―0 佐賀

▽三回戦
東京 1―1 京都（代表戦）
秋田 2―1 広島
茨城 1―1 愛媛（内容勝ち）
栃木 1―1 富山（代表戦）
大阪 2―1 北海道
千葉 2―0 香川
奈良 3―0 福岡

▽準々決勝
兵庫 1―0 埼玉
群馬 3―0 石川
寺町 良次 引き分 永広 久嗣
鳥居 吉二〇内股返 妻太 志
桜沢 博之㊁小 内 相原 雄治
青山 光一 引き分 富田 康之
今川 直明〇巴投小 内 栗原三千男
東京 0―0 奈良（代表戦）

▽準決勝
群馬 2―0 兵庫

▽三位決定戦
兵庫 2―1 奈良

▽決勝
東京 1―0 群馬

県体協会長に関口県柔連会長

十二月一日に開かれた県体育協会の評議員会で、わが県柔連の関口恒五郎会長が第五代県体協会長に選出された。羽鳥治良松副会長（県柔道連盟監事）も再任され、関口新体制を支えることになった。

関口体協会長は就任の記者会見で「スポーツ群馬の伝統と和を大切にしながら運営したい。来年の奈良国体は五位には入賞できるよう選手強化につとめたい」と抱負を語った。

関口会長の実兄・林五郎氏（故人）も第三代に選ばれており、これで〝兄弟会長〟という貴重な記録をつくったことになる。

決勝で東京に惜敗

くろおび

ポスト〝あかぎ国体〟は奈良の「わかくさ国体」、さらに鳥取の「わかとり国体」と続く。

あかぎ国体の各競技会場では、選手の激突をよそに関係県の〝視察合戦〟もなかなかのものだった。その一人に山田禎彦さんがいた▼わかとり国体柔道競技実行委員会事務局長の肩書をもつ山田さんは、国体審判員として四年前から勉強を続けているという。その山田さん、実は〝あかぎ国体〟のリハーサル大会として昨年、渋川市で開かれた、全国中学校柔道大会にも参加。その折に渋川駅前で、親切なタクシー運転手（群北）のSさんに出会った話を聞かせてくれた▼そして本番の〝あかぎ国体〟では、山田さんは十人ほどの鳥取視察団員と渋川を訪れることになり、地元の国体事務局に宿舎の斡旋を依頼した。ところが、申し込みが遅かったために宿を確保できなかった。そこで思い出したのが、あのやさしかったSさんの顔だった▼鳥取からのSOSに、Sさんは仕事の合い間に心あたりを奔走。ついに伊香保温泉のキャンセルのあった宿をみつけ、山田さんとの約束を果たしてくれた。さらにSさんには後日談がある。国体柔道競技が無事に終わった十月十八日、Sさんは公休をとって遠来の山田さんらを、錦秋の老神と水上温泉に案内した。一行の感激ぶりをここで改めて書くのは、ヤボというものだろう▼帰郷後、山田さんらは二年後の「わかとり国体」にSさんを鳥取に招く計画も進めていると聞いた。選手も立派なら、それを大きく支えてくれた応援団も立派だったーもう一つの〝あかぎ国体〟の話を紹介して、総合優勝の選手団へのお祝いとする。（鐘雷）

有限会社　高崎保安機材

代表取締役　早川　弘

本　社　高崎市剣崎町中沖１１３番地
電話（0273）４４－１８１１番㈹

熊谷営業所　熊谷市大字下奈良字葉草南1828
電話（0485）２４－０８８１番

あかぎ国体 スーパーダイジェスト

大会会場になった渋川総合公園体育館

国体を終えて

少年優勝、成年は準優勝 —そして他県を大きくリードして念願の総合優勝を果たすことが出来た。

少年の上位入賞はことしのインタハイを終えた時点で、ある程度予測は出来た。しかし、いざ試合に望んだら、みんな怖い存在だった。

成年には少年の優勝がよい刺激になり〝アベック優勝〟の期待もかかった…。みんなよくやってくれた。その上に、地元の人々の声援。まさに天の声、地の利、人の和の総合力がもたらした勝利だった。

少年の部

国体の〝勝ちパターン〟は、軽量陣が得点し、重量陣が引き分ける形だが、本県勢はどこからでも得点できる強味があった。

須田は一年生で53㌔の小兵。そのうえ大会直前に膝を負傷、不安を残したが、私たちは彼の勝負度胸に堵(か)けた。見事に当たった。どこまで伸びるか、楽しみな逸材である。

小畑は徹底して寝技で攻め、自分より強い相手には立ち技でつけ込ませなかった。

狩野は減量苦と闘いながら3点を挙げた。二重の勝利である。

吉原はやはり群馬の至宝。勝ち味は遅いが重厚。緊所、緊所を確実に押さえた。

吉田は120㌔の巨漢に成長。器用さも増した。そのうまさを大会の随所でみせてくれた。

少年の全試合を通じて、本県が最多得点、最少失点を記録したことも特記しておきたい。

成年の部

こちらも、どこからでも得点できた。

寺町は7㌔の減量に成功し、余裕をもって試合ができた。だれと当たっても負ける気がしなかった。

続く鳥居、椛沢も好調に勝ち進んだ。青山、今川の二枚看板も他県勢にとっては脅威だったようで、わが牙城は石川、兵庫をもってしても崩せなかった。

成年も本県が最多得点を挙げた。

総合力がVもたらす

選手に向かい「言うことなし」

新井礼次郎

この夏のインタハイで、吉原を決勝戦に送り出したときは緊張で足がふるえたが、今回は平静でいられた。対戦チーム以外の全員がこちらに味方をしてくれたからである。いい「時」に、いい「所」を与えてもらえた私は、幸せものである。

私も大会期間中、多くの人々の激励を受けた。「胃が痛くなる思いでしょう」と言ってくれた方もあったが、今までの試合に比べると、不思議に楽だった。

「大江戸にひとり さびしき勝ち力士」

○…長い長い戦いの末の〝美酒〟はうまかった。でも、なぜかさびしさが残る…。

インタハイも、国体も、毎年ある。世界の山下のように常に勝てれば、万人がチャンピオンと認める。しかし一回や二回の勝者では、やはり次が心配だ。この次の大会でブザマな姿をさらせば「あの国体優勝はやっぱりフロック」と貶められるだろう。だが、その心配があればこそ、競技者は強くなるのかもしれない。

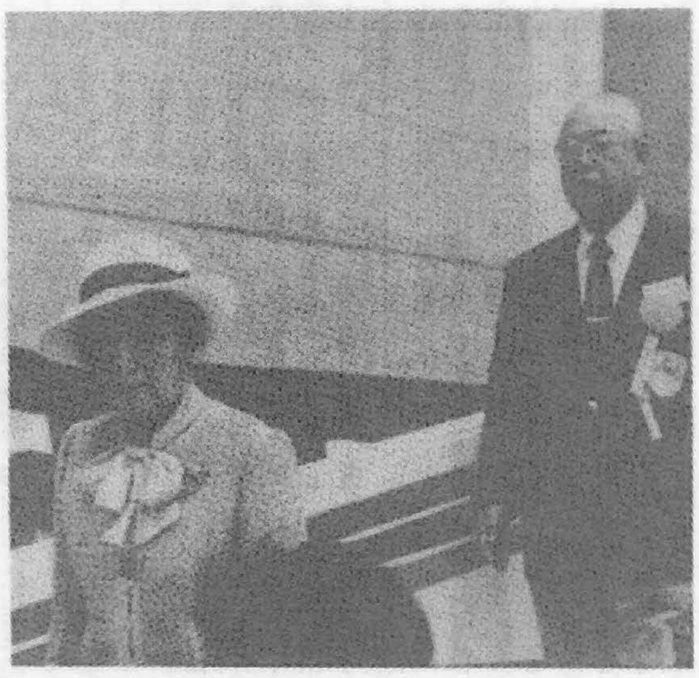
○…こんなエピソードがある。その昔、常勝横綱・双葉山に会った吉川英治が、色紙にこうしたためて渡した。

「大江戸にひとり
さびしき勝ち力士」

その言葉に、双葉山がポロリと涙を落とした。わかるなあ。

（群柔連強化部長）

大会の成功を演出した役員席


柔道競技をご覧になった秩父宮妃殿下

（後は関口県柔道連盟会長）

群馬チームの大活躍にわく観客席

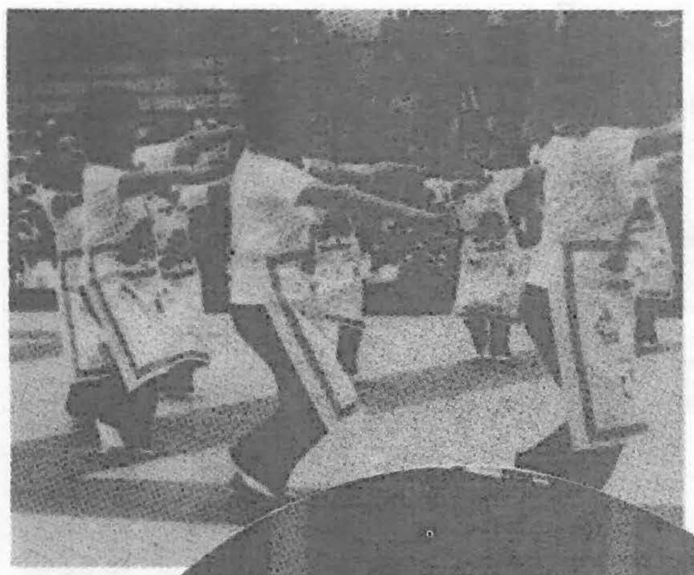
断じて行えば、鬼神もこれを避く

と言う教えがありますが、一つの大仕事を無事にやり遂げることが出来た今、この言葉をしみじみとかみしめている私です。合わせて〝あかぎ国体〟まれたことも、大会成功の一因として忘れることは出来ません。

そうした幸運に包まれた今大会で、我が群馬は初の総合優勝（少年優勝、成年二位）と言う望外の成果となって地元の期待にこたえられました。また県都前橋の敷島の森で行われた国体の閉会式では、私が総合優勝の賞状を受け、群馬少年で、ある県の先鋒（55㌔級以下）が重量オーバーで失格したことです。長い間、猛練習を積んで来た選手が試合ではなく、ルールの前に敗れ去ったことは残念でなりません。この思いは地元の大会役員も同じだったようで、「体位の向上著しい、しかも成長期にある高校生のウエイトを55㌔以下に保たせることに問題はな

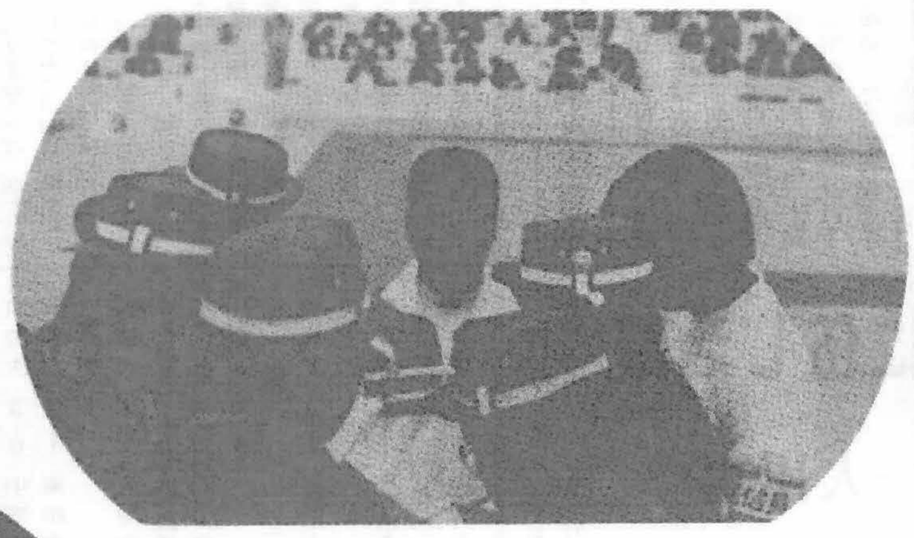
お菓子と喫茶とお食事の店
株式会社 荒木屋
代表取締役社長 須田信夫
群馬県沼田市840
本店 TEL (4)4545(代表)
東原売店 TEL (2)4665
レストラン TEL (3)5827

井浦接骨院
院長 井浦康彦
群馬県利根郡月夜野町後閑175
TEL 027862-2501



大会に花を添える渋川女子高生と地元婦人会の踊り（写真上）も冴えて

記者のインタビューを受ける松本優勝監督



会場前には「臨時郵便局」もできて

柔道競技会場を心よく引き受けて下さった渋川市の五万市民あげてのご協力と、群馬県柔道連盟の会員が、それぞれの立場で〝断じておこなってくれた〟総合力の偉大さを改めて思い知らされ、感謝の念でいっぱいです。

榛名山の東麓に広がる〝日本の真中、緑の渋川〟で柔道の全国大会が開かれたのは、こんどの国体で三回目を数えます。第一回は昭和四十四年の全国高校総体、昨年は国体リハーサル大会としての全国中学校大会ですが、今回の三十八回あかぎ国体程権威の重さを身にしみて感じた大会は経験しませんでした。もし、役員並びに各県の選手団から〝あかぎ国体の運営はよかった〟とおほめをいただけるとしたら、あの四四総体と全中大会の成功が私たちに自信をつけてくれたものと思います。

国体会場となった渋川総合公園体育館が、伊香保温泉のすぐそばにあることから、役員選手団の宿舎に恵

関口恒五郎

少年・体重別の再検討を提案

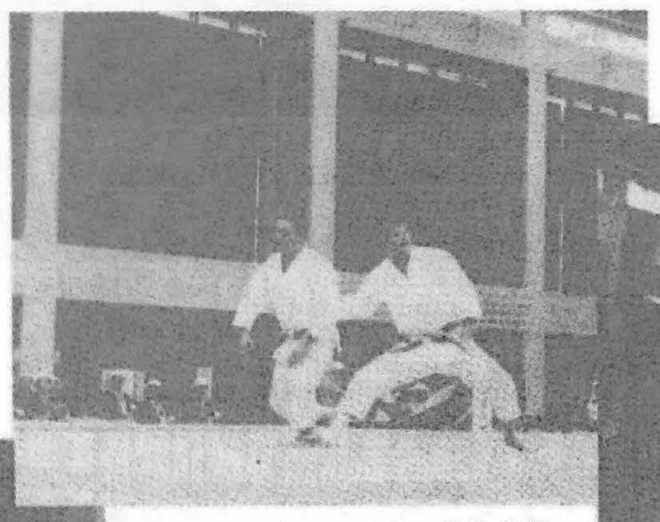
柔道のエース吉原秀忠君（前橋商三年）が常陸宮さまから輝く天皇杯をいただいたあの感激は、個人の名誉を超えて、柔道競技に新しい形でスポットライトが当てられたものとして熱いものを感じました。そんな私にも一つだけ心残りがあります。それは少年の部の競技を前に行われた計量のだろうか」と言う声が反省会の席で聞かれました。そこで大変重大な問題ですが、私は現行の以下、60㌔以下、71㌔以下、86㌔以下、86㌔以上」を「60㌔以下、71㌔以下、78㌔以下、86㌔以上」に改めていただけたらと、この紙面をお借りしてご提案申し上げる次第です。

あかぎ国体柔道競技会が終って一私の胸には今なお、あの日の感動が余韻となって伝わって参ります。最後になりましたが、嘉納全柔連会長、各都道府県の柔連会長をはじめ幹部の先生方にご出席をいただき、私たちを励まして下さったご厚意に対しまして「ありがとうございました」と、厚くお礼を申し上げ、今後も群馬柔道をますます充実させてゆくことをお誓いして私の所感を結ばせていただきます。

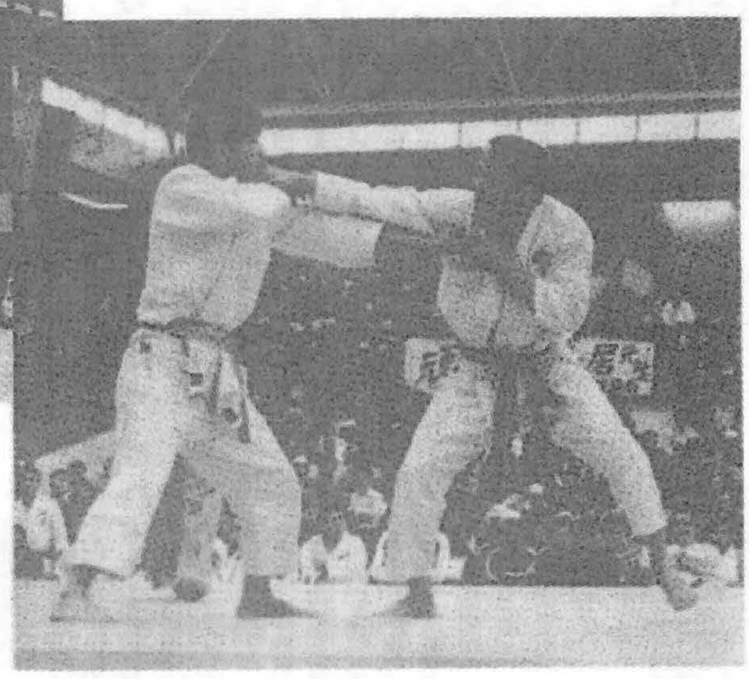
（群馬県柔連会長）

【注】この記事は講道館発行「柔道」十二月号から転載させていただきました。

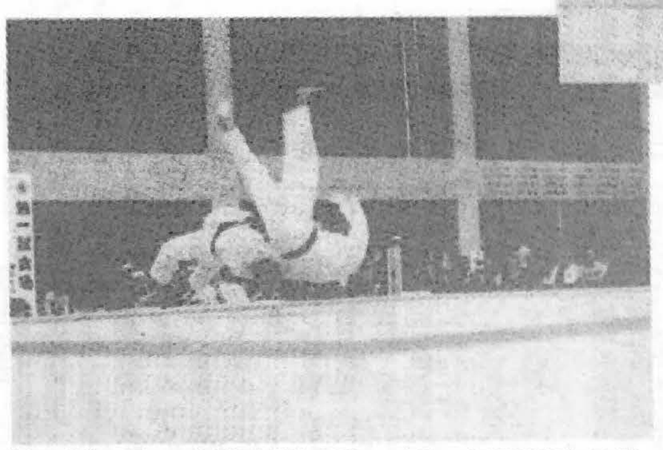
観戦中の本県審判員



古式の形　取・関口孝義７段
受・柳谷勝之６段



健闘する寺町良次選手（右）＝成年の部＝



投の形　取・大藤忠昭５段　受・塚田純也５段

井浦接骨院
院長　井浦宣彦
群馬県利根郡新治村布施1577
TEL　02786-4-0649

荒物・紙・石鹸・家庭用品・雑貨・畳材料
総合卸問屋
㈱マルキホームズ
代表取締役　石澤頼之助
沼田市上原町1697
TEL(0278)3－0110㈹・3－2982

記録・きろく・キロク

群大ベスト8の健闘

正木(全日本学生2連勝)擁す天理に善戦

設立記念—全日本大学柔道大会

全日本大学柔道連盟（関口恒五郎会長）の設立を記念する第一回全日本大学柔道大会は、四十八校が出場して十二月四日、東京都立小石川学校体育館で行われた。同大会には二年連続全日本学生チャンピオンの正木を擁する天理大、東日本の雄・筑波大をはじめとする強豪も出場。本県からは関東予選で優勝した群馬大学が参加して大活躍。準々決勝で天理に善戦及ばず敗れ去ったが「群大強し」の印象を会場に焼きつけた。

決勝は予想通り筑波と天理の間で争われ、筑波が初優勝した。

▽二回戦
群馬大 3—1 東京経大
▽三回戦
群馬大 3—1 中部柔専
▽準々決勝
天理大 4—0 群馬大
▽準決勝
筑波大 3—0 中京大
天理大 3—1 東洋大
▽決　勝
筑波大 2—1 天理大

◇創立記念・全日本大学柔道大会関東地区予選（11月23日・埼玉県川口市武道センター）
▽準々決勝
群馬大 3—1 神奈川大
▽準決勝
群馬大 2—1 宇都宮大
▽決　勝
群馬大 3—1 埼玉大

七五三木聡 引分 松本 章平
松本 昌弘 合せ技○横原 宏行
井野 正彦○背負投 鎌塚 智樹
熊井 宏之○体落 吉田 高
新井 聡明○内股 中沢 充

前商、育英、沼田、利商が関東大会へ

◇第6回関東高校新人柔道大会県予選（11月20日・県武道館）
▽一回戦
前　商 4人残 太　工
中之条 4人残 前橋南
西邑楽 3人残 前　工
藤　岡 3人残 渋　川
藤　工 1人残 佐　農
沼　田 5人残 樺　名
利　商 4人残 前橋南
高　崎 4人残 太　田
富　岡 3人残 高　商
伊　工 代表戦 利　農
高崎北 1人残 中　央
農　二 2人残 常　盤
▽二回戦
前　商 4人残 渋　工
中之条 1人残 西邑楽
藤　岡 4人残 樹　徳
沼　田 5人残 藤　工
利　商 5人残 高　崎
富　岡 2人残 伊　工
農　二 4人残 高崎北
育　英 5人残 勢　農
▽準々決勝
前　商 4人残 中之条
沼　田 2人残 藤　岡
利　商 4人残 富　岡
育　英 3人残 農　二
▽準決勝
前　商 1人残 沼　田
育　英 2人残 利　商
▽決　勝
前　商 1人残 育　英
星野 悟引分 小林 諭
毛呂 達也 引分 鏡 其和
狩野 浩一○背負 佐俣 信行
狩野 浩一 引分 福島 信雄
岩田 晴行 引分 宮内 悟

（ベスト4の前橋商、育英、沼田、利根商が二月十一日、千葉市で開かれる関東大会へ出場する）

前商が勝つ

◇県高校新人柔道大会（11月13日・県武道館）
▽一回戦
前　商 5—0 高　商
渋　川 4—0 高崎北
農　二 2—1 樹　徳
桐　工 3—1 伊　商
樺　名 5—0 長野原
西邑楽 3—2 吉　井
高　崎 2—1 前橋南
利　商 4—0 富　岡
沼　田 5—0 佐　農
常　磐 4—1 利　農
中之条 1—1 渋　工
（代表戦）
前　工 3—1 館　林
伊　工 2—2 桐生南
（代表戦）
藤　岡 3—0 前　橋
太　工 2—0 高　工
▽二回戦
前　商 4—0 渋　川
農　二 5—0 桐　工
西邑楽 4—0 樺　名
利　商 3—1 高　崎
沼　田 5—0 勢　農
中之条 3—0 常　磐
伊　工 2—2 前　工
（代表戦）
藤　岡 3—0 前　商
▽準々決勝
前　商 3—0 農　二
利　商 4—1 西邑楽
沼　田 2—1 中之条
育　英 5—0 伊　工
▽準決勝
前　商 4—0 利　商
育　英 4—1 沼　田
▽決　勝
前　商 2—0 育　英
星野 悟○引き分○入沢 憲二
佐藤 信治○大内刈 原 泰文
毛呂 達也 引き分 福島 信雄
狩野 浩一○大内刈 小林 諭
笠間 好雄 引き分 野田 聡

小学生は新田町少年団が1位

第5回境町近隣大会

境町体育協会はこのほど、同町社会体育館で、第五回境町近隣親善柔道大会（境町教委、上毛新聞社など後援）を開いた。同大会は、柔道の底辺拡大と地域の交流を図るため東毛地区を中心とした小中学生を対象に続けているもので、ことしは境町をはじめ、周辺市町村の十五柔道場が参加。試合は小学生の部が団体戦、中学生の部は体重別の個人戦で競った。出場は小学生の部に十三チーム、中学生の部は五十一人で、それぞれ上位四チーム（人）が決勝トーナメントに出場した。

【小学生の部】①新田町柔道スポーツ少年団②毛呂柔道場③境町柔道教室、足利修練館岡ノ谷道場

【中学生の部】◇軽量級 ①田代武久（境町柔道教室）②福島伸一（同）③常見祐男（同）福島和雄（毛呂柔道場）

◇中量級 ①橋本浩一（毛呂柔道場）②今井雄和（同）③川端真治（境町柔道教室）富田隆史（邑楽町柔道スポーツ少年団）

◇重量級 ①高山忠重（毛呂柔道場）②小山勝由（桐生柔道スポーツ少年団）③寒合義一（同）青野雅史（玉村中）

全日本新人体重別

吉原(前商)大学生に伍し活躍

本県からただ一人出場

第十五回全日本新人体重別柔道選手権大会は、十一月二十七日、全日本柔道連盟の主催で東京・国士館大学武道館で行われた。本県からは関東予選の86㌔以下級で優勝した吉原秀忠選手（前商）が出場。一回戦で和気秀幸（天理大二年）を僅差で破り二回戦に進出したが、岩田浩輔（名古屋保健衛生大二年）に有効をとられて惜敗した。

◇全日本新人体重別柔道選手権関東地区予選（10月30日・横浜刑務所内道場）
◇60㌔以下級
▽一回戦
小　沢㊀技 有　七五三木（茨城）（群大）
◇65㌔以下級
▽一回戦
坂　下○合せ技 小　畑（茨城）
▽二回戦
小　畑○僅　差 佐々木（神奈川）（育英）
◇78㌔以下級
▽一回戦
鏑　木㊀僅　差 狩　野（千葉）（前商）
◇86㌔以下級
▽一回戦
吉　原○払い腰 小　山（前商）（栃木）
▽二回戦
吉　原㊀僅　差 市　村（前商）（千葉）
▽決　勝
吉　原㊀僅　差 浜　埜（茨城）
◇95㌔以上級
一回戦
吉　田㊀技 有　田　中（前商）（千葉）
▽二回戦
吉　田㊀僅　差 池　田（前商）（栃木）
▽決　勝
多田隈○合せ技 吉　田（神奈川）

県内最強を誇る新生・前橋商チーム

関口病院(川渕)が〝両手に花〟

無段の部は紙谷が制す

県実業団大会

第九回県実業団柔道大会は十一月二十七日、前橋市の県武道館で行われた。団体は一部（五人戦）に四チーム、二部（三人戦）に七チームが出場。一部は国体強化指定選手の雨谷ら有力選手を擁する関口病院（渋川）が二連勝をめざす東京三洋（大泉）を破って二年ぶり五回目の優勝をした。

関口病院は二部でも決勝トーナメントで東京三洋、牛込接骨院を下して〝両手に花〟の優勝となった。

【団体戦】◇一部 ①関口病院②東京三洋電機③富沢整形外科病院

◇二部 ①関口病院②牛込接骨院B③東京三洋電機、高崎ハム

【個人戦】◇25歳未満 ①雨谷（関口病院）②野尻（東京三洋）③山崎（田島接骨院）東条（関口病院）

◇25～30歳未満 ①大沢（田島接骨院）②高橋（牛込接骨院）③小沼（高崎ハム）塩原（東京三洋）

◇無段の部 ①紙谷（牛込接骨院）②田中（田島接骨院）岡田（川端建設）

編集後記

世の中、いいことも悪いことも重なるものだが、わが県柔連には、いいことが重なった昭和五十八年だった。

第一は私たち柔道マンが長い間夢みてきた団体の総合優勝を果たしたこと。そのことを、胸を張って報告できたことを喜んでいる。

次は国体Vに花を添えるように、ハワイ柔道連盟から国体選手に招待状が届いたこと。この新聞がお手もとに届くころは、ハワイの新春を楽しんでいるはずである。

そして、関口県柔連会長が県体育協会長に就任して〝有終の美〟を飾った。

こうした喜びを新しいバネにして、県柔連の一層の飛躍を一来年はそんな年にしたいもの。

〝勝ってカブトの緒を締めよ〟ながら…。

（牛　込）

工作・鍛圧・産業・精密機械・工具
株式会社 山崎機械店
〒370 高崎市飯塚町１８０９番地
ＴＥＬ（0273）（22）2701(代)
代表取締役 山崎 公一
専務取締役 山崎 敏夫
取締役営業部長 梅津 稔
技術部長（柔道部顧問） 山崎 定吉
技術部次長（柔道部顧問） 菅原 慶広
営業部課長（柔道部長） 佐々木幸雄
課長代理（柔道部監督） 竹内 一浩
工具部課長（柔道部コーチ） 吉田 順一
工具部（柔道部員） 森田 考明
代理店 ●小松製作所（プレス・ベンダー・シャー） ●津上 ●遠州製作（ＮＣ工作機）
●三菱電機（ワイヤカット・放電加工機） ●大隈鉄工所（ＮＣ工作機）
●トルンプ社（レーザープレス） ●アガトン社 その他輸入機械

ぐんま柔道

発行所　群馬県柔道連盟
発行人　関口　恒五郎
編集室
高崎市飯塚町１０４０
桜井　弘
電　話　0273－61－2502

嘉納師範遺訓

柔道は心身の力を最も有効に使用する道であるその修業は攻撃防御の練習に由って身体精神を鍛練修養し斯道の神髄を体得する事であるそうして是に由って已を完成し世を補益するが柔道修行の究竟の目的である。

県選手権

今川（中之条高教員）が初優勝

決勝で福島を破る

今年の〝柔道県一〟を決める県柔道選手権大会は、全日本に通じる関東大会への出場権をかけて、二月十九日、県武道館で行われた。今大会には技に自信の選手が出場、熱闘をくりひろげた結果、準決勝までの五試合をすべて一本勝ちをした好調の今川眞明（中之条高教員）が決勝で福島美千行（県スポーツセンター）を僅差で破り初優勝を飾った。

なお、県選手権二連勝の青山（前工教員）、全日本出場経験をもつ桜沢はともに欠場した。

初優勝の今川選手

▽一回戦
今川　眞明○上四方　須藤　隆
丹羽　弘之　払　腰一佐藤　信治
野尻　猛一払　腰　松沢　功
新井　良信　内　股○大沢　均
雨谷　紀雄○十字固　金井　芳明
貝瀬　雅人　一秋原　仁
島田　泰紀　一保坂　勇
井野　正彦　不　戦○大沢　盛夫
木暮　修○内　股　諸田　泰徳
毛呂　達也　一東条　清志
篠原　隆　小外刈一菊地　正幸
城田　興一　袈裟固　藤塚　博幸
沖田　浩一○十字固　宮路　純一
狩野　浩一○十字固　宮路　純一
須永　拓治○送り足　杉木　延雄
八木原真一　不　戦○根岸　宏
福島美千行○送襟絞　大川　勝利
金子　忍　横四方○福島　信雄
吉田　一夫　内股返○須田　和之

▽二回戦
青木　清○不　戦　飛井　宏之
小畑　伸治　一鏡　真和
山崎　政男○不　戦　桜沢　博之
▽三回戦
今川　眞明○内　股　佐藤　信治
野尻　猛一大外刈　大沢　均
雨谷　紀雄○横四方　萩原　仁
保坂　勇　大外刈○大沢　盛夫
木暮　修○返し技　東条　清志
菊地　正幸　縦四方○小畑　順一
藤塚　博幸○払　腰　狩野　浩一
須永　拓治　払　腰○根岸　宏
福島美千行　払　腰○小柴　伸一
飯笹　明宏一　黒岩　邦夫
小林　節　一本背○大関　健一
石田　哲夫　大外刈○長谷川正博
高松　守人○内　股　諸田　洋一
福島　信雄　払　腰一須田　和之
青木　清○不　戦
一山崎　政男
▽四回戦
今川　眞明○上四方　大沢　盛夫
山崎　政男○不　戦　桜沢　博之
▽準決勝
今川　眞明○上四方　根岸　宏
（中之条高教員）
福島美千行一　高松　守人
（県スポーツセンター）　（関口病院）
▽決勝
今川　眞明一　福島美千行

福島、全日本へ〝もう一歩〟

決定戦で野瀬に惜敗

全日本柔道関東予選

今年度の関東柔道選手権大会（兼全日本選手権関東地区予選）は三月十八日、宇都宮市の栃木県武道館で開催された。本県からは県選手権大会の勝者、今川をはじめ二位の福島、三位の高松、根岸の四選手が出場。なかでは福島が好調で、三回戦で茨城の松井に敗れたが、敗者復活戦で一昨年の関東代表、細谷（茨城）に一本勝ち、代表決定戦でも強豪野瀬（埼玉）を苦しめる好試合をして会場をわかせた。

福島は五、六位決定に勝って全日本の補欠になったが、今年も県勢はもう一歩のところで関東の厚い壁の前に涙をのんだ。

今川は二回戦で伏兵服部（茨城）と対戦中に足首を負傷、横四方固めで敗れた。

▽一回戦
○福　島　一　千代田（埼玉）
（埼玉）
○今　川　一　西　田（山梨）
○玉　谷　一　高　松（千葉）
○小　倉　一　根　岸（千葉）
▽二回戦
○福　島　鈴　木（送襟絞め（栃木））
○服　部（茨城）今　川（横四方固）
▽三回戦
○松　井（茨城）福　島（横四方固）
▽敗者復活・一回戦
福　島　細　谷（朽木倒し（神奈川））
▽二回戦
○野　瀬（埼玉）福　島（▽五、六位決定戦）
○福　島　中　村（業　権（茨城））
【順位】①松井勲（茨城）②中島政司（埼玉）③野瀬浩昌（同）④渡辺孝司（栃木）―以上・全日本へ出場
▽補欠―福島美千行（群馬）

ハンカリー・カップ

寺町が堂々の優勝

桜沢博に次ぐ快挙

寺町選手

第八回ハンガリー国際柔道大会が三月三、四の二日間、ブタペストで開かれた。

前橋高教員の寺町良次選手（現・高崎高）は、全柔連のヨーロッパ遠征メンバーに選ばれて同大会の六五以下級に出場、決勝でルーマニアのニクラエと対戦、巴技の技有を連取、合わせ技で優勝の快挙をなしとげた。本県では桜沢博之選手が警視庁時代に同大会に優勝しており、二人目の殊勲となった。

石井道場は京都に敗れる

全国少年柔道大会

第四回全国少年柔道大会は、五月五、六の二日間、新装なった東京・講道館で行われた。

県代表の石井道場（榛名町）は一回戦で京都に敗れ、個人戦も六年の部で川原（石井道場）が二回戦で善戦及ばず姿を消した。

【団体戦】▽一回戦
京都少年5―0石井道場
柔道クラブ
小野裕成○払腰　富沢充芳
村雲裕成○払腰　清水信治
渡辺正喜○有効　川原裕道
松山竜二○横四方塚越忠勝
金政丈司○送足　渡辺　潤
【個人戦】▽五年一回戦
小笠原孝○払腰　清水信治
斉（青森）　（石井）
▽六年一回戦
川原裕道○谷落　羽合隆幸
（石井）　（鳥取）
▽二回戦
江崎陽一○僅差　川原裕道
（長野）
（関連記事四面）

菊地、能登氏が六段に

59年鏡開き昇段者（1月8日）

▽初段―門倉　信一（高崎）
▽二段―早川　弘（同）
慎原　千明（同）
▽三段―大谷　良助（前橋）
川口　昌郎（大間々）
津久井一伶（同）
▽四段―細野　浩治（前橋）
小池喜太郎（伊勢崎）
雷田　好雄（尾島）
▽五段―萩原弥惣治（前橋）
平井将太郎（同）
新井　実作（境）
川島　一夫（大間々）
▽六段―菊地　文治（高崎）
能登力太郎（安中）

くろおび

柔道マン待望の講道館国際柔道センターが完成した。新講道館は四百二十畳敷きの大道場（七階）をはじめ、観客席（八階）等、諸設備が完備している◆話は昨秋のあかぎ国体にさかのぼる。国体期間中、群柔連の役員のほとんどが、本部のある伊香保グランドホテルに泊った。そこで全柔連の嘉納行光会長と直接話をかわす機会に恵まれた。本県役員はその印象を「会長の庶民性にひかれた」と異口同音に語り、いっしょに記念写真も撮らせていただいた◆ホテルのエレベーターで会長と乗り合わせたある役員は「あいにくの雨ですね。大会運営に当たる役員の皆さんが、大変ですねえ」とやさしい言葉をかけられ、すっかり恐縮していた。若さと庶民的な人柄で、本県柔道マンの心をひきつけた嘉納会長は、言うまでもなく講道館長でもある。新講道館の運営にも、あの思いやりと若さにあふれる行動力で、きっとすばらしい実績を残してくれることだろう◆運営といえば〝あかぎ国体〟で忘れ得ぬ思い出がある。いかつい男の熱気がムンムンする柔道会場で、補助役員として献身的な活躍をしてくれた地元、渋川の女子高校生たちのことである。とりわけ、早朝から会場入り口に立って、選手や役員に「おはようございます」とかけてくれた、さわやかな言葉に、どんなに救われたことか「初めに言葉あり」は聖書の世界だけではないようだ。願わくは、新講道館の受付にも、あの日の女子高生たちのような〝さわやかさん〟がいてくれたら、道場に通う柔道修業者の足も、一段と軽やかになると思うが、どんなものだろうか。（錯言）

〝私たちは信用を大切にしつづけます〟
宅地建物取引業・不動産管理・各種損害保険代理業
広田住宅センター
代　表　広　田　誠四郎
〒370 群馬県高崎市田町92
TEL. 0273（25）0055
FAX. 0273（23）9403
桜井道場有段者会員　広田誠四郎、　本田弘敏

三四郎たちの進路

あの選手はどの大学へ、それとも就職か―中学、高校を通じて私たちを楽しませてくれた〝三四郎〟たちの進路は、やはり気になるもの。そこで、各学校別の進路先を特集してみた。

【前橋商】吉原秀忠（中央大）吉田一夫（東海大）
【前橋工】吉田宏（群馬ビーエス）星野敦史（三ツ葉電機）松崎透（前橋刑務所）須藤栄二（上武實材）坂内正義（トヨタ自動車）原沢弘（流通経済大）
【前橋育英高】富沢弘樹（東北柔専）田上一也（東海大）船津孝正（国士舘大）石川雅明（国際武道大）高橋守利（関東学院大）小畑順一（県警）星野健一（前橋調理師学校）狩野靖彦（自営）山口進（富士オート）田島俊男（東京三洋電機）富沢豊（国際武道大）
【樹徳高】板橋真也（国際武道大）渡辺洋（中央銘板）
【沼田高】望月貴光（浪）君島明（関東地方建設局）小林一行（角屋工業）
【高崎高】寺沢保夫（花田学園柔整科）半田邊朗（早稲田大）広神芳信（中央大）串田覚（慶応大）竹中健治（浪人）北村実（早稲田大）
【藤岡高】神保浩之（呉竹学園柔整科）金田浩（東京三洋）山口真寿巳（三ツ葉電機）小林剛（浪人）
【渋川高】佐藤正規（群馬大・教育）
【上武大】柳下卓哉（埼玉富士見農協）平石裕一（宇都宮産業開発）

〝あかぎ国体〟少年優勝の原動力

吉原・中央、吉田・東海大へ　小畑は県警

【利根商】飯島庄二（草津・飯島館）阿部光浩（国士舘大）石川雅明（国際武道大）高橋守利（関東学院大）小畑順一（県警）池田光一（公務員）
【利根農】林雄志（農業）大塚邦男（東北柔専）

三段、県警の飯笹が制す

初段佐俣（青英）二段は諸田（県警）

県段別選手権

（1月29日・県武道館）

【初段の部】
▽一回戦
加藤 哲哉 ○一宮前 明弘
立川 一弘 ○一月橋 誠
田中 和道 ○八木 善行
▽二回戦
坂内 正義○袈裟固 宮前 明弘
根岸 克彦○不 戦 岡沢 厳
高木 孝彰○払い腰 網井 均
青木 潤 ○一須田 好和
小林 諭○ 内藤 浩
桃沢 浩一○背負投 井上 茂朗
諸田 猛○一背負投 萩原 仁
月橋 誠 内 股○岩田 晴行
佐俣 信行○内 股 石田 哲保
小野里梅雄○不 戦 山口 敦
宮崎 純一 背負投○高橋 章二
小林 節○袈裟固 鬼形 利明
小林 正佳○合せ技 吉野 一幸
牛久保重智○払い腰 山岸 久
田村 重幸 ○一角田 泰紀
田中 和道○不 戦 七五三木聡
▽三回戦
坂内 正義○十字固 根岸 克彦
高木 孝彰○横四方 須田 好和
小林 諭○内 股 桃沢 浩一
諸田 猛 払い腰○岩田 晴行
佐俣 信行○小外刈 小野里梅雄
高橋 章二 大外刈○小林 節
小林 正佳○払い腰 牛久保重智
角田 泰紀 ○一田中 和道
▽四回戦
坂内 正義○上四方 高木 孝彰
小林 諭 払い腰○岩田 晴行
佐俣 信行○袈裟固 小林 節
小林 正佳○合せ技 田中 和道
▽準決勝
坂内 正義 払い腰○岩田 晴行
（青英） （前商）
佐俣 信行○内 股 小林 正佳
▽決 勝
佐俣 信行○内 股 岩田 晴行
【二段の部】
▽一回戦
加藤 哲哉 ○一宮前 明弘
立川 一弘 ○一月橋 誠
田中 和道○ 八木 善行
▽二回戦
坂内 正義○袈裟固 宮前 明弘
根岸 克彦○不 戦 岡沢 厳
高木 孝彰○払い腰 網井 均
青木 潤 ○一須田 好和
小林 諭○ 内藤 浩
桃沢 浩一○背負投 井上 茂朗
諸田 猛○一背負投 萩原 仁
月橋 誠 内 股○岩田 晴行
佐俣 信行○内 股 石田 哲保
小野里梅雄○不 戦 山口 敦
宮崎 純一 背負投○高橋 章二
小林 節○袈裟固 鬼形 利明
小林 正佳○合せ技 吉野 一幸
牛久保重智○払い腰 山岸 久
田村 重幸 ○一角田 泰紀
田中 和道○不 戦 七五三木聡
▽三回戦
坂内 正義○十字固 根岸 克彦
高木 孝彰○横四方 須田 好和
小林 諭○内 股 桃沢 浩一
諸田 猛 払い腰○岩田 晴行
佐俣 信行○小外刈 小野里梅雄
高橋 章二 大外刈○小林 節
小林 正佳○払い腰 牛久保重智
角田 泰紀 ○一田中 和道
▽四回戦
坂内 正義○上四方 高木 孝彰
小林 諭 払い腰○岩田 晴行
佐俣 信行○袈裟固 小林 節
小林 正佳○合せ技 田中 和道
▽準決勝
坂内 正義 払い腰○岩田 晴行
（青英） （前商）
佐俣 信行○内 股 小林 正佳
▽決 勝
佐俣 信行○内 股 小林 正佳
【三段の部】
▽一回戦
井野 正彦○ 小沼 真和○希み勝 八木原真一
（群 大） ▽二回戦
今成 克之○関せつ 千場 始 雨谷 紀雄○ 富沢 豊
宮沢 紀夫 内 股○飯笹 明宏 菊地 修一 払い腰○福島 信雄
【準決勝】 諸田 泰徳○内 股 野尻 猛
井野 正彦○ 須田 和之 柳沢 弘光 合せ技○吉原 秀思
（群 大） 飛井 宏之○上四方 太斎 忠史
今成 克之○飯笹 明宏 品川 公博 横四方○東条 潤志
（県 警） 星野 悟 内 股○藤塚 博幸
【決 勝】 鏡 真和○吉田 一夫
須藤 隆○ 松井 英之 ▽三回戦
諸田 幸二○ 長瀬 高志 雨谷 紀雄○ 福島 信雄
▽二回戦 飛井 宏之○ 吉原 秀思
高松 守人○背負投 須藤 隆 小林 諭 払い腰○岩田 晴行
本幕 修○ 大沢 均 （県 警） 東条 潤志
寺町 良次○大内刈 小柴 伸一 藤塚 博幸○ 吉田 一夫
諸田 幸二 横四方○福島美千行 ▽準決勝
▽準決勝 雨谷 紀雄○ 福島 信雄
福島美千行○ 本幕 修 諸田 泰徳○ 吉原 秀思
【五段の部】 （関口道場） 藤塚 博幸○ 東条 潤志
▽決 勝 ▽決 勝
福島美千行○ 本幕 修 諸田 泰徳○ 藤塚 博幸
（群 大） （県 警）
▽決 勝
諸田 泰徳○ 藤塚 博幸

▶先鋒今井（渋川）、毛呂（新田）で左跳腰で一本勝ち　▶総合優勝の北群馬・渋川チーム

大杯は北群馬渋川（Aブロック優勝）

今川、高松らが大活躍

第18回関口杯

第十八回関口杯大会は四月十五日、県武道館で開かれた。〝あかぎ国体後〟はじめての関口杯大会とあって観衆もいつもより多く、Aブロックは利根沼田支部、Cブロックは群馬郡支部がそれぞれ優勝した。

【Aブロック】①北群馬渋川②高崎③前橋
【Bブロック】①利根沼田②邑楽館林③甘楽富岡
【Cブロック】①群馬②山田③吾妻
◇四戦全勝者＝今川直明（北群馬渋川）木幕修（新田太田）小安弘行（桐生）成塚文雄（山田）牧島秀夫（山田）

・B・C各ブロックとも国体強化選手が大活躍して大会を盛り上げた。

総合優勝のタイトルは、今川、福島、高松、小林、雨谷らの国体強化選手をそろえてAブロックを制した北群馬渋川支部が獲得。Bブロックは利根沼田支部、Cブロックは群馬郡支部がそれぞれ優勝した。

沼田、二回戦進出ならず

全国高校選手権

第六回全国高校柔道選手権大会は三月二十日、東京の日本武道館で開催、全国予選を勝ち抜いた五十二校が参加して高校日本一が争われた。本県から沼田高が出場したが、善戦むなしく一回戦で敗退した。

▽一回戦
東海大五　沼　田
（福岡）4人残し　本田 英朗（技 有）斎藤 直市
本田 英朗（縦四方固）
本田 英朗（袈 裟）青木 則夫
本田 英朗（袈 裟）八田 敏彦
本田 英朗（引 分）小林 希
山田 浩司（技 有）生方 浩哉

観戦記

〝あかぎ国体〟再現の充実ぶり

頼もしい高校勢

○…〝あかぎ国体〟がもどってきた―今川がいた。少年優勝の主力吉原がきた。福島（美）根岸、高松、木幕修ら、群馬の強化選手も勢ぞろいして、今年の関口杯大会は充実そのものだった。

昨年までは〝あかぎ〟の選手強化で、トップクラスは県内の選手相手に試合をする機会がなかったが、今年からはフル出場できる。

今回、もう一つの驚きは観衆が多かったことである。その期待に国体選手らが見事に応えてくれた。今川の豪快な技に観衆も酔った。圧巻は鳥居、一七二㌔、七一㌔の小兵ながら、県学生界の雄、上武の印南（一八一㌔、一二〇㌔）を右大内刈で有効をとり、間髪をいずれ脚挫十字固めで決めた。まさに「柔よく剛を制す」技だった。

○…ハンガリーカップ優勝の寺町や、香港の日本人学校で体育と柔道を教えて三年ぶりに福岡した白石もすばらしい技を披露してくれた。彼らの国際的感覚も、少年選手たちのあこがれになろう。

全国から有望選手を集めて、昨年は日体大を破り、国士舘大を苦しめた上武大勢の実力も特筆したい。名支部のポイントゲッターとして出場した柔道専門学校出身の若い整復師たちの活躍も目立った。

○…二年前、県警選手の潤滑をくろおび棚で指摘したが、最近の県警勢は段別選手権やこの大会で見事な巻き返しぶりを示した。両椛沢の叔父、勝コンビの指導力も頼もしい。真面目そのものの群大熊井の努力のあとも見た。群大といえば新井能明は、県柔道界の名伯楽・新井強化部長の長男で一八五の長身、将来が楽しみなひとりだ。

群大勢でもう一人、特筆ものの選手がいる。一般選手の中に入って、六年間トップクラスを守り続けた、医学生井野の存在である。

高校勢の活躍も頼もしかった。このところ急成長の育英の福島、佐俣、前商の佐藤、毛呂らの若アユが、吉原らの後にしっかりと続いている。

○…大会を支えてくれた裏方にもふれておきたい。まず、忘れてならない人は江原隆紀氏だ。国体の大成功もこの人があったればこそ。

全日本高校の一人に選ばれてアメリカ遠征から帰ったばかりの前商・狩野浩一（北群馬・渋川）が時計係をつとめた。同じ係にはジュニアの指定選手・植田と、講道学舎で鍛えて帰郷した高木も。ともに前商の有望新人である。

○…最後に、心ならずも苦言を提しておかねばならないことがある。

「審判、しっかりしろ！」―二階席のギャラリーの声である。

（鐘書）

貴方の愛車の相談役に

モービル石油株式会社代理店
株式会社日本ダンロップ代理店
大成火災海上保険株式会社代理店

株式会社 正田卯平商店

館林市本町3－1－7
TEL 0276(74)1600(代)

福島（県スポーツセンター）が準優勝

育英佐俣も3位の健闘

東京近県段別

第三十七回東京近県柔道大会は三月二十日、東京・警視庁武道館で行われた。本県から五人の選手が出場、四段の部で福島美千行（県スポーツセンター）が準優勝、初段の部でも佐俣信行（育英高）が三位に入賞して会場をわかせた。

◇五段の部　▽二回戦
○鳥居（福原（警視庁））
▽三回戦
○成田（鳥居（埼玉）

◇四段の部　▽二回戦
○福島（大野（埼玉））
▽三回戦
○福島（西田（山梨））
▽準決勝
○福島（岡角（皇宮））
▽決勝
○柳田（福島（千葉））
◇三段の部　▽一回戦
○阪笹（後藤（皇宮））
▽二回戦
○川原畑（飯笹（神奈川））
◇二段の部　▽一回戦
○諸田（柳浦（練馬））
▽二回戦
○諸田（落合（文京））
▽三回戦
○野村（諸田（山梨））
◇初段の部　▽一回戦
○佐俣（坂本（中央））
▽二回戦
○佐俣（鈴木（練馬））
▽三回戦
○佐俣（森山（江戸川））

石井道場（名）が二連勝

全国少年柔道予選

第四回全国少年柔道大会（全日本柔道連盟主催、全日本柔道連盟）中盤・川原畑道（練名五小六年）次鋒・清水佳浩（練名八小五年）、副将・塚越浩勝（金精中央小六年）大将・飯沼（高崎西部小六年）の五人。清水、川原は個人戦にも出場する。

▽単決勝
館野（佐俣（新木））

望む（県）の出場チームを決める県予選が四月一日、前橋市の県武道館で開かれ、石井道場チーム（練名町）が二年連続優勝を達成、来月五、六の両日、東京都文京区の講道館で開かれる本大会の出場権を獲得した。

本大会に出場する選手は先鋒（ほう）・富沢大芳（練名七小五）、副将・塚越浩勝（金精中央小六年）、大将・飯沼（高崎西部小六年）、清水、川原は個人戦にも出場する。

▽二回戦
高崎柔救　2―1川田柔救
佐藤道場　2―0新田町スポ少
▽三回戦
田島道場　5―0下仁田柔救
毛呂道場　5―0松井田柔救
石川道場　5―0北橘柔救
塚井道場　4―0高崎柔救
弘道館　3―1新町柔少
桐生柔道ス　4―1中之条道
塚越道場　4―0安部町柔救
石井道場　1―1佐藤道場
（内容勝ち）
▽三回戦
毛呂道場　2―1田島道場
石川道場　2―1塚井道場
桐生柔道ス　4―1弘道館
石井道場　2―0塚越道場
▽準決勝
毛呂道場　3―1石川道場
石井道場　2―1桐生柔道ス
▽決勝
石井道場　2―1毛呂道場
富沢（引き分け）斉藤
清水（けさ固め）小林
川原（引き分け）松島
塚越（けさ固め）福島
渡辺（優勢）永野

昭和59年度行事予定表

群馬県柔道連盟

月	日	曜	県内行事	時間	会場	月	日	曜	県外行事	会場
4	1	日	全国少年柔道大会県予選	9:00	県武道館	4	28	土	全国高段者大会	講道館
	8	日	柔道本部総会	15:00	群接会館		29	祭	全日本柔道選手権大会	日本武道館
	15	日	関口杯支部対抗柔道大会	10:00	県武道館					
	22	日	審判講習会	9:00	〃					
5	6	日	高校学年別大会（個人）	9:00	県武道館	5	5	祭	全日本大学柔道体重別選手権関東予選	浦和市
	12	土	高校総体兼関東予選（個人）	〃	〃		6	日	全国少年柔道大会	講道館
	13	日	〃　（団体）	〃	〃		20	日	全日本選抜柔道体重別選手権大会	福岡市
	27	日	本部審査会（一般3・4段、女子）	10:00	〃		27	日	全日本実業柔道団体対抗大会	大阪市
							27	日	三笠記念関東七県対抗	横須賀市
6	3	日	高校選手権大会（個人）	9:00	県武道館	6	1	金	全国警察柔道選手権大会（個人）	日本武道館
	10	日	中学校春季大会（団体）	〃	〃		2~3	土~日	全日本大学柔道体重別選手権大会	講道館
	17	日	高校選手権大会（団体）	〃	〃		9~10	土~日	関東高校柔道大会	栃木県
	24	日	中学校春季大会（個人）	〃	〃	7	8	日	全国国立大学優勝大会	講道館
7	1	日	全国教員大会県予選	10:00	県武道館		22	日	全日本大学柔道優勝大会関東予選	浦和市
	1	日	女子練習会	13:00	〃		24-25	土~日	金鷲旗高校柔道大会	福岡市
	8	日	警察一般合同柔道大会	9:00	〃	8	上旬		関東甲信越大学体育大会	千葉県
	8	日	全国定通制高校大会県予選	〃	前工		11-13	土~月	全国高校総体	秋田市
	8	日	中学校選抜強化	〃	高崎市		12	日	全国定通制高校大会	講道館
	15	日	団体第1次予選	10:00	県武道館		11-12	土~日	関東中学校大会	横須賀市
	22	日	団体第2次予選	〃	〃		19	日	関東女子選手権兼全日本女子関東予選	川口市
8	1	水	中学校総体兼全国大会予選（団体）	9:00	県武道館		19	日	全国教員大会	境港市
	2	木	〃　（個人）	〃	〃		21-22	火~水	全国中学校大会	大津市
	10	金	スポーツ少年大会	10:00	〃		26	日	全日本実業柔道個人選手権大会	講道館
	19	日	紅白試合	〃	〃	9	1~2	土~日	全日本大学柔道優勝大会	講道館
	26	日	本部審査会（一般3・4段、女子）	〃	〃		9	日	全日本女子選手権大会	〃
	26	日	県高　段者大会	14:00	〃		9	日	関東高段者大会	千葉県
9	2	日	定時制高校大会	9:00	県武道館		14	金	関東警察柔道大会	日本武道館
	9	日	県青年祭	9:30	前橋市民体育館		15	祭	東日本実業柔道大会	講道館
	9	日	道場連合会大会	9:00	県武道館		19	水	関柔連6段審議会	茨城県
	27	木	警察大会	〃	〃	10	13-15	土~月	第39回国民体育大会柔道競技	天理市
	30	日	紙上審査会	14:00	〃		21	日	全日本体重別選手権大会関東予選	千葉県
10	21	日	小学生総体	9:00	県武道館	11	7	水	全国警察大会（団体）	日本武道館
	28	日	実業団大会	13:00	〃		10-11	土~日	全国青年大会柔道競技	講道館
11	4	日	県民体育大会	9:00	県武道館		11	日	関柔連6段形審議会	県立武道館
	11	日	高校新人大会	〃	〃		11	日	全日本大学新人柔道大会	未定
	18	日	高校新人大会関東予選	〃	〃		18	日	全日本選抜柔道団体選手権大会	愛知県
	25	日	中学校新人大会	〃	〃		23	祭	全日本産業別柔道大会	講道館
12	2	日	対東北柔専試合	13:00	県武道館		25	日	全日本新人体重別選手権大会	神戸市
	16	日	本部審査会（一般3・4段、女子）	10:00	〃		下旬		北関東五大学柔道大会	水戸市
60	3	日	段別選手権大会	10:00	県武道館	12	12	水	関東連7．8段審議会	群馬県
／	3	日	新年会、昇段祝賀会	16:00	未定	60/1	27	日	関東連6段昇段祝賀会	川口市
2	17	日	県選手権大会	10:00	県武道館	2	11	祭	関東高校新人大会	講道館
	24	日	本部審査会（一般3・4段、女子）	〃	〃		17	日	関柔連7．8段形審査会	千葉県
						3	16	土	関東柔道連合会総会	千葉県
							17	日	関東柔道選手権兼全日本選手権関東予選	〃
							21	祭	全国高校選手権大会	日本武道館
							21	祭	東京近県柔道大会	講道館

県強化練習会	毎週　木曜日午後6:00から	県武道館

名称	干番号	所在地	電話
柔道連盟	371	前橋市岩神町1-4-6県武道館内	0272-33-7516
県武道館	371	前橋市岩神町1－4－6	0272-32-2642

（注）1．定例会、会計日は、毎月最終日曜日とし、変更の場合は、別途通知する。
2．予定表に変更を生じたときは、別途通知する。
3．高段者推せん委員会は、別途通知する。

邑楽・館林支部

指導部長	館野政道	支部長	原口市
副指導部長	山田勇	副支部長	中里伍一
〃	木村仁志	〃	浜道久
〃	内田靖人	理事長	横山恵一

県武道館の人気もの

○…昔の講道館大道場には、毎日のけいこで、いつのまにか出来た〝○○先生のコーナー〟というものがあった。特に強いという先生ではないが、そのコーナーへ行くと必ず○○先生が居て、独特の方法でけいこをつけているのである。とにかく毎日来ているので、柔道に対する熱意のほどがわかるというものである。

○…前橋の県武道館では、昭和四十五年の開館以来、柔道教室を開いているが、ここには〝柔道一家〟といってもいいほど熱心にけいこに通っている親子がいる。金子さん一家である。

▽父親　金子忠雄（四八歳）
▽長男　和明（二一歳）
▽次男　利弘（一九歳）
▽三男　正雄（一五歳）

〝柔道一家〟金子さん

5人とも皆勤の努力家

▽甥　浩（一三歳）

○…金子さん一家の五人は、風が吹こうが雨が降ろうが、休まず毎週月・水・金のけいこ日には、そろって参加している。

教室は成・少年とも午後五時半から七時半ごろまで開かれるが、金子さん一家は休んだことがない。そのうえ土・日曜に行われる大会や行事にも、ほとんど姿をみせている。とにかく一家は柔道に明け暮れしているのである。

○…父親の忠雄さんは四段で、県武道館の助教をつとめている。柔道一家のけん引車でもある。長男は中学時代から柔道をはじめ、育英高校では選手として活躍。現在は三段で農協職員。二男は一段で会社員。三男は中学三年生で初段。そして甥は中学二年で一級である。

全員が左技で、背負投や、体落を得意とし、教室終了後に一家そろってひと通り打ち込み練習もやるという熱心さで、めきめきと力をつけている。

毎晩そろってのけいこは、武道館の人気者であり、教室の模範となっている。今後、県下大会はもちろん、全国レベルでの活躍を大いに期待したい。（鈴木　元一＝県武道館師範）

地域の記録

市民一体で大会を成功

館林署管内少年柔道

「負けるものか」と豆三四郎たちの激突

「伸びる芽に愛を、希望を、厳しさを」をテーマに館林署、防犯委員会、少年警察協助員連絡会の主催による恒例の「館林署管内少年柔道大会」が、一月二十二、三十一日の二日間開かれた。運営は警察官の方々が勢力的に担当して下さり、官民一体となっての意義深い大会となった。上位入賞者は次の通り。

【団体戦】①館林A②板倉A③館林B

【個人戦】▽八一・二年の部▽①栗原史朗（板倉）②井出貴善（館林）③延山知正（板倉）

▽三・四年の部　①川村友也（館林）②栗原正明（板倉）③中島昌宏（館林）

▽五・六年の部　①青五沢学（館林）②内田靖孝（館林）③木村和弘（館林）

地区対抗リーグで二中地区勝つ

五十八年前橋市民スポーツ祭柔道大会

（58年11月3日　市民体育館）

【高校生の部】

◇一年　①星野悟（前商）②黒沢正典（育英）③田島満（育英）

◇二年　①佐藤信治（前商）②毛呂達也（前商）③宮内悟（育英）

◇三年　①船津孝正（富沢）②山口進（富沢）③今井敏之（田島）

【一般の部】

◇無段者　①平川善明（群大）②小川賢一（群大）③田中良美（田島）

◇初段　①七五三木聡（群大）②竹内巧（群大）③設楽芳範（群大）

◇二段　①新井聡明②富沢豊（田島）③松本昌弘（群大）

◇三段　①金子和明（県武）②山崎政男（田島）③千場始（富沢）

【女子の部】

◇小学一・二年　①田島真紀子（田島）②程山弥生（田島）③浅野智美（北沢）

◇同三・四年　①出沢知美（田島）②飯野啓子（三浦）③斉藤美保（北沢）

◇同五・六年　①本多暁子（田島）②田島教江（田島）③根岸和美（市民体育館柔教）

◇中学一年　①小田香織（二中）②竹内里佳（二中）③松本良美（二中）

◇高校・一般　①水野修子（県武）②霞千晶（田島）

【高段者の部】

◇四段

茂木　義幸×三橋　好
田中　豊吉　三浦　昭男
真下　順次×狩野桂次郎
安喰　完二　川端　義隆
金子　忠雄　大沢　均

◇五段

小林　充×北沢　武広
塚田　純也　周東　正夫
松本　邦夫　岡　知己
古谷　一雄×栗原　洸
藤井　恒雄　古平　亀雄
北沢　広司○樺沢　由秋

◇六段

彦坂　信行　岩木昭太郎
柳谷　勝之×井出　昌利
田島　敏隆×樺沢　光雄
宮沢　勤×石倉　貞幸
小泉　猪助×小畑兼五郎

◇七段

丹羽　文雄×高山　明

【六地区対抗リーグ戦】

▽三位決定

四中地区　一―一　三中地区

（代表戦で四中）

▽決　勝

二中地区　一―一　七中地区

（代表戦で二中）

◇順位　①二中地区②七中地区③四中地区

地域の記録

小学生団体は毛呂柔道

館林市スポーツ少年団近県柔道

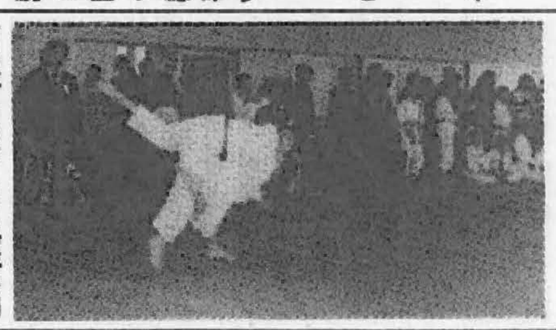
第三回館林市スポーツ少年団近県交流柔道大会は昨年十二月二十五日、城沼総合体育館で開かれた。小学生は一チーム十人による団体戦、中学生はA、Bブロックに分かれて個人戦を競った。

【小学生】◇団体の部―①岩舟町少年柔道会②毛呂道場③長良スポーツ少年団

【中学生】◇個人の部

▽Aブロック―①武田明（毛呂）②長倉良治（多々良中）③飯塚幹夫（多々良中）斉五沢剛（館林一中）

▽Bブロック―①高山忠重（毛呂）②橋本淳樹（境町）③今井輝和（毛呂）松島通憲（同）



町長杯をめざして熱戦展開

三県から百七十人が出場

邑楽町長杯近県少年柔道

第五回邑楽町長杯近県少年柔道大会は、栃木、埼玉、群馬の三県から十九チーム、百七十人が出場して、三月二十五日、邑楽町武道館で行われた。

試合は個人戦で争われ、入賞得点で団体（道場別）の順位も競った。個人戦の学年別優勝者、団体の順位は次の通り。

【個人】▽小学校一年　小山武彦（桐生）

▽二年　清水彰（羽生）

▽三年　飯塚淳（毛呂）

▽四年　須永徳義（岡谷）

▽五年　早川教吉（邑楽）

▽六年　佐藤晃（昭徳）

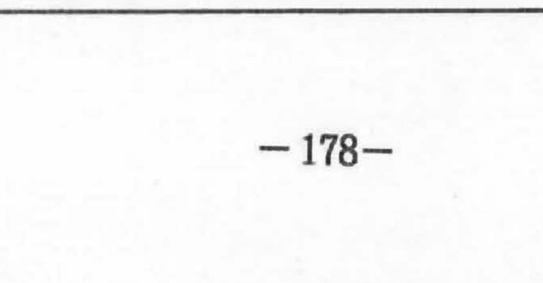
【団体】①毛呂道場　26点②吉田道場　24点③桐生道場　23点④岡ノ谷道場　21点⑤新田町スポーツ教室　19点⑥羽生柔道教室　18点

〝関口体協〟の誕生を幹部でお祝い

県柔連・関口恒五郎会長の県体育協会長就任祝賀会

が、一月二十四日、前橋の厚生年金会館で開かれた。

関口会長は〝あかぎ国体〟秋季大会のあと県体協会長を勇退した浜名一雄氏（故人）のあとをうけて、第五代会長に就任。この日は県柔連の本部・支部役員が出席、柔道界から選ばれて県体協の最高ポストについた新会長の就任を、心から祝い合った。



謝辞をのべる関口会長

編集後記

「いやあ、○○県の温泉に家族ぐるみで招かれて、感激だったなあ」―最近、こんな話を耳にして、こちらまでうれしくなった。

昨秋の〝あかぎ国体〟で来県した他県の選手が、民宿で心からのもてなしを受けた。その返礼ということらしいが、両方に限りなき〝まごころ〟を感じる。

私たちも、ただ技を磨くだけでなく、心のある選手に―そんな気持ちを忘れずに、柔道着をつけたいものである。（祥）

株式会社　整染ワコー

代表取締役社長　腰塚治男
代表取締役専務　小林　満

桐生市琴平町9－18
電話0277－43－1011

（ニット生地・レース生地等
染色整理仕上加工）

ぐんま柔道

発行所　群馬県柔道連盟
発行人　関口　恒五郎
編集室
高崎市飯塚町１０４０
桜井　弘
電　話　0273－61－2502

嘉納師範遺訓

柔道は心身の力を最も有効に使用する道であるその修業は攻撃防御の練習に由って身体精神を鍛練修業し斯道の神髄を体得する事であるそうして是に由って已を完成し世を補益するが柔道修行の究竟の目的である。

佐藤達也が優勝（71キロ）

新井隆義（95キロ）は3位

全日本新人体重別

第十六回全日本新人体重別選手権大会は十一月二十五日、神戸市立中央体育館で七階級に二十歳（大学二年）以下の百十八人が参加して行われた。本県から六十キロ級に出場した荻原克己（育英三年）は緒戦で惜敗したが、本県出身の佐藤達也（育英―国士舘大二年）が七十一㌔級で優勝、新井隆義（前商―日体大二年）が九十五㌔級で三位に入賞した。

優勝した佐藤選手（左）と3位の新井選手

▽六十キロ以下級　一回戦
杉村　歩（中京大）　大内刈　荻原（育英）
▽七十一キロ以下級一回戦
佐藤　○大外刈　北山巧児（国士大）
▽二回戦
佐藤　○大外刈　河野一樹（志度高）
▽準々決勝
佐藤　㊁背負投　古田知史（天理大）
▽準決勝
佐藤　㊀大外刈　近藤克幸（大牟田高）
▽決勝
佐藤　○肩固め　清水泰幸（中京大）
▽95キロ以下級　二回戦
新井　○一本背　田中清一（日体大）　（北信栄専）
▽準々決勝
新井　○背負投　浜田浩一（東海四）
武藤祐次㊁判定　新井（天理大）

【二回戦】
○育英　田川（福岡）　小林

育英善戦す

59年度金鷲旗高校大会

59.7.24　於・福岡

四人残し

小林　○関節　野田
〃　○払腰　広末　○小外　坂本
〃　○崩上　小林　引分　森山
〃　引分　榎本　引分　船度

【三回戦】
○育英　熊野（和歌山）
一人残し
小林　㊁抬小　藤田　引分　山本　引分　前　引分　船度

【四回戦】
育英　○日大三島（静岡）
一人残し
小林　笈川　引分
宮内　引分　小井出　引分
佐保　内股㊁川口　引分
〃　裏投　秋山
福島　手内㊁高橋　合技○

東京三洋惜敗す

第34回全日本実業団

五月二十七日（日）、第三十四回全日本実業柔道団体対抗大会が、大阪市中央体育館で開催された。この大会は、一部（選手五名、段数制限なし）十四チーム、二部（選手五名、合計段数十段以内）六十九チームが参加、東京三洋柔道部は二部に出場した。戦績は次の通り。

二回戦
東京三洋　五対○　米子市役所
三回戦
東京三洋　二対一　中央市場
四回戦
東京三洋　一対二　新日鉄八幡
（結果ベスト16）

【内容】
二回戦全員好調、特に先鋒の高橋選手が試合開始二秒で電光石火の背負い投げで一本。
三回戦大将須永選手、百二十キロの巨漢を得意の背負い投げで一本。二陣菊地選手パワフル柔道で相手を圧倒。
四回戦先鋒高橋選手が試合開始十秒、得意の背負い投げで一本。副将は試合中負傷して棄権。結果一対二で惜敗、副将の負傷がなければ一対一の内容勝ちになっているところだった。東京三洋は小柄な選手ながら、巨漢選手が多い中で良く頑張った。

【選手】
須永拓治（冷凍機製造三課）
大川勝利（CC製造五課）
小淵伸治（冷凍機製造二課）
菊地修一（空調製造四課）
高橋敬二（空調製造四課）
【補欠】
柳沢弘光（空調金属課）
前原健司（冷凍機ユニット課）

あかぎの再現ならず

わかくさ国体

第39回国民体育大会
59．10．13～15
奈良県・天理市

少年の部

一回戦
群馬　0－2　静岡
須田　×　星名　○
荻原　×　市川　㊀
星野　×　白波
佐俣　大外刈り　柴田○
福島　内股　秋山○

成年の部

一回戦
群馬　2－0　秋田
小室　×　小室
㊁寺町　巴投げ　丹
○椛沢　送足、背負三浦　今川
今川　×　摂津　福島
福島　×　渡辺

二回戦
群馬　4－0　石川
○小室　払い腰　永広
㊁寺町　巴投げ　表
椛沢　×　宮越
㊁今川　小外掛け　高村
○福島　双手刈り　藤田

三回戦
群馬　0－0　京都
小室　×　野口
寺町　×　三宅
椛沢　×　慶留間
今川　×　田畑
福島　×　小西
代表戦
今川　優勢勝ち　田畑㊀
須田、星野をポイントゲッターにして、他の三人は引き分け戦法に出たが、この二人が引き分けられ、逆に後ろ二人の引き分け役が点を取られた。

成年の部

一回戦　大会随一の巨漢百六十二㌔の渡辺を今川は0対0。代表戦は今川が再び田畑と対戦。払い巻込みに軽く膝をついて僅差負け。

総評

少年は昨年の優勝チームの先鋒、須田が残っていたが腰の故障のため昨年より不調。今年全国高校総体三位の星野が中堅にいても、他に得点力がないため苦戦を免れなかった。

成年はメンバーは昨年とほとんど同じ。県外遠征も昨年よりは少ないものの、かなりの回数をこなした。群馬より好成績のチームは皆、日常の練習が本県の上に出る府県ばかり。今の練習形態、選手層でこれ以上の成績をあげるのは非常に難しい。（新井禮次郎記）

くろおび

山口香選手が第三回世界女子柔道で初優勝した。日本が女子柔道で初めて獲得した金メダルである。彫を中心とした女子柔道の日本は欧米諸国に出遅れた。◆山口香選手が、中学時代に全日本チャンピオンになって以来、全日本七連覇、山口選手は現在筑波大二年生である。香ちゃんから香さんになった。しかし乍ら、山口選手にしても、全国中学二位、インターハイ一位になるタイトルがない。東京の町道場・西村道場で鍛げいこに励んだと聞く。中学大会や高校大会が数多くある男子に較べて、ローカルな町道場主催の大会に女子の部がある程度の現状で、よくぞ大学まで続けられたものだと感心する。◆本人の努力はもちろんだが彼女をとりまく環境にも恵まれたのであろう。本県の女子柔道界でも、桜井文子、木野修子両選手が独自の努力を続けているが、彼女らの出場できる試合があまりにも少ない。たしかに、中学、高校の柔道部に女子が入部するということは、指導者にとって男子との練習量の違いや、更衣室の問題、女子選手の心理、生理状態の管理等、難題がある。しかし乍ら、面倒くさがらないで中体連や高体連で、女子の大会を一日も早く開催していただきたい。幸い、本県の中体連では女子の県大会も四年前から行っている。◆今年の県小学生総体や、県道場大会に出場した女子の中にも、将来、山口香選手のようになれるであろう選手が沢山いた。中学一年の柳井真奈美、茂原和子、六年の本多暁子、根岸真由美、武井佳絵、小竹実千代、五年の山口桂、出沢知美、四年の中島稜子、堀越恵、佐藤美保らの素質は充分ある。彼女らが中学、高校に進学する時には、関東や全国の中学、高校大会で女子の試合が採用されるように切望する。（編集）

松島整形外科医院
院長　松島健治
伊勢崎市今泉町2－418－4
電話0270(25)0991

昭和五十九年九月十五日（日）東京講道館国際柔道センターにおいて、第二十一回東日本実業団体柔道大会が行われた。この大会は、名古屋以北を東日本地区とした全日本実業団体柔道大会につぐ、伝統ある大会である。

東京三洋奮闘す

第21回　東日本実業団柔道大会

参加約六十団体、出場チームを一部（三人制、計十段以内）、二部（三人制、計七段以内）、三部（三人制、計四段以内）としたトーナメント戦で行われる。今回は一部十八チーム、二部四十九チーム、三部三十六チームが出場した。

この大会の主な常時出場チームは、京葉ガス、千葉消防局、王子製紙等で、その外〇〇（株）、〇〇事業所などといった、大企業のうち事業所単位のチームも出場して大会を盛りあげた。

東京三洋柔道部は、群馬県から唯一のチームとして第一回大会より連続出場を誇り、昭和五十四年の第十六回大会では、二部で第三位に入賞して大会史にその栄光を残しているのを始めとして、毎回ベスト8と上位進出の好成績をあげている。

なお、今年より大会一カ月前より部内で練習試合を行う等、実戦にそなえた。

試合結果及び出場選手、監督は左の通り。

三部Aチーム
一回戦　シード
二回戦　凸版印刷に二対一で勝
三回戦　東京消防庁に一対二で敗
ベスト8に進出

三部Bチーム
一回戦　シード
二回戦　横浜そごうに、二対一で勝
三回戦　愛知製鋼に〇対三で敗
ベスト8に進出

【監督】越塚輝雄（二部B）
【選手】松本芳明（二部A）浜直久（三部）、須永拓治、塩原正之、槻沢弘光、大川勝利、小瀬伸治、菊池修一、前原健司、永井享、野尻猛、高橋竜二、田島俊男、金田浩。

（越塚輝雄記）

星野　悟（前商）3位入賞

第33回全国高校大会

第33回全国高等学校柔道大会は八月十一日から十三日までの三日間、秋田経済法科大学体育館で開かれ、本県代表の星野悟（前商）は、二年生ながら大健闘し第三位に入賞した。これは昨年の軽重量級優勝の吉原秀忠（前商→中央大）に次ぐ快挙である。あかぎ国体の強化のあとに、着実に本県の底辺が育っていることを実証したことになる。

◇個人戦　軽量級（60㌔以下）

▽予選リーグ
宮崎　淳㊀　増上四　青木　清（島取境）（武川市）
今川義則㊀　小内刈　青木　清（岐阜大垣）
▽中量級（71㌔以下）予選リーグ
星野　悟　引分　池田太郎（前商）（香川志度）
星野　悟㊀　青負投　斎藤　昭典（島根浜田）
星野　悟㊀　小内刈　小田　豊昭（大分国東）
▽決勝トーナメント一回戦
星野　悟　不戦勝
▽準々決勝
星野　悟㊀　双手刈　荻原　雄司
小内刈（新潟第一）
▽準決勝
古賀　稔彦〇合技　星野　悟（東京世田谷学園）
▽軽重量級（86㌔以下）予選リーグ
狩野浩一〇逆十字固　小塚　巧（前商）
狩野浩一〇逆十字固　台田　英生（秋田台川）
（香川坂出一）
▽決勝トーナメント一回戦
徳田真三㊀大内刈　狩野　浩一（京都商）
▽重量級（86㌔以上）予選リーグ
未森浩幸㊁有効　福島　信雄（宮城都城）
早坂勇人　引分　福島　信雄（宮城東北）

関東女子選手権兼全日本女子予選

昭和五十九年度、関東女子柔道選手権大会兼全日本女子柔道選手権大会関東予選は八月十九日、埼玉県川口市立体育武道センターで開かれ、本県代表の水野修子（育英高）が五十六キロ級で、桜井文子（常磐高職員）が六十一キロ級でそれぞれ優勝した。

▽48キロ級一回戦
赤池安代㊀一　清水澄枝（神奈川）（群馬）
▽52キロ級一回戦
中田久美　〇一武田　美雪（千葉）（群馬）
▽準々決勝
荒井智子㊀一吉田節美子（群馬）（神奈川）
▽準決勝
藤田恵美　〇一荒井　智子（千葉）
▽56キロ級一回戦
鎌田恵子　〇一飯田　真弓（千葉）（群馬）
水野修子　〇一井坂　瑞穂（群馬）（茨城）
▽準々決勝
水野修子㊀一　金子公重（千葉）
▽準決勝
水野修子㊁一長谷川双葉（神奈川）
▽決勝
水野修子㊀一鎌田　恵子
▽61キロ級　準々決勝
桜井文子　〇一北迫真喜子（群馬）（栃木）
▽準決勝
桜井文子　〇一柳　博美（千葉）
▽決勝
桜井文子　〇一田中智幸登（千葉）（栃木）
▽66キロ級一回戦
石塚正之　〇一福塚　優子（栃木）（群馬）
▽72㌔級　準々決勝
新井左恵子〇一岩間　良子（群馬）（茨城）
▽準決勝
黒川　琴美〇一新井左恵子（栃木）
▽72キロ級以上一回戦
大塚喜代子〇一霞　千晶（千葉）（群馬）

水野・桜井が優勝

水野修子が3位

第24回三笠艦記念大会

第24回三笠艦記念関東七県対抗柔道選手権大会・関東女子選手権大会は五月二十七日、横須賀学院体育館で行われ、七県対抗に出場の男子チームは惜敗し、決勝トーナメント進出はならなかった。女子の個人戦では、水野修子（育英高）が勝ち進み、第三位に入賞した。

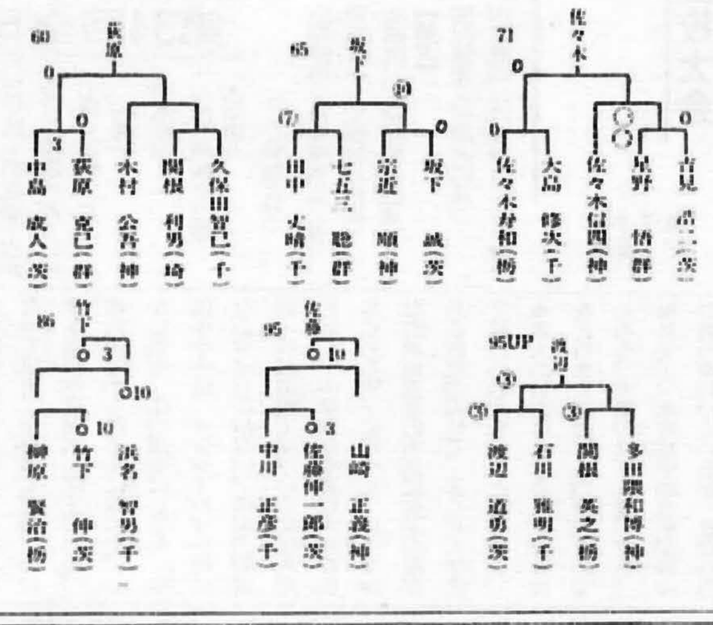
三部チーム
一回戦、シード
二回戦、札幌市役所に二対一で勝
三回戦、日本電気相模原に二対〇で勝
四回戦　豊田工機に一対一の内容で敗
ベスト4に進出

▽団体男子予選リーグ戦
横須賀　①一一　△群馬
原田幸男〇　袈裟固　岩田　晴行
中垣　弘　引分　狩野　浩一
後藤竜二　引分　熊井　宏之
渡辺文夫　引分　福島美千行
戸田　聡　引分　根岸　宏
関根英之〇　合技　岩田　館野弘行　小内刈㊁狩野
木下尚則〇崩上四　熊井　若林和信　引分　福島
▽一回戦
水野修子㊁大内刈　佐々木慧恵　（群馬）
鈴木　賢一〇　体落　根岸　（茨城）
群馬②一△山梨
岩田　引分　小宮　治彦
狩野　引分　野村　剛史
熊井㊁小内刈　吉田　敏昭
福島㊁大腰　酒田　和之
根岸　業権　小林　義則
▽関東女子選手権
▽一回戦
水野修子㊁大内刈　佐々木慧恵
（群馬）
八戸かおり㊀僅差　桜井　文子（神奈川）（群馬）
水野　〇上四方固　長谷川和子（横須賀）
▽準決勝
大村　嘉奈　合技　水野（神奈川）

荻原克己（育英）が初優勝

全日本新人体重別関東地区予選

全日本新人体重別柔道選手権大会は10月28日、講道館で開かれ、本県の荻原克己（育英高）選手が60㌔級で優勝した。



▽60㌔級　準決勝
荻原克己〇一一中嶋成人（茨城）（育英）
決勝
荻原克己〇一一木村公吾（神奈川）
▽65㌔級一回戦
田中丈晴〇一一七五三木（千葉）（群大）
▽71㌔級
吉見浩二〇一一星野　悟（茨城）（前商）
▽78㌔級一回戦
西野大馨〇一一狩野浩一（茨城）（前商）

出場者数三十名
茨城七、神奈川七、千葉七、群馬四、栃木三、埼玉二

群馬県柔道連盟　群馬支部

支部長　上野　泰司
理事長　石井　清一
副支部長　斎藤鬼四郎
会計　萩原　達
副支部長　森沢　隆次
他　理事一同

群馬から勝つ

59.12.2　於・県武道館

対東北柔専親善試合

群馬10―6柔専

狩野　㊀小内　大塚
岩田　小外㊀高山　金井
宮内　崩袈○葛西　高木　引分　手嶋
毛呂　引分　石崎　今成　内股○水元
小林（正）　引分　佐藤　金子（利）　引分　竹
原　○崩横　山本　藤塚　○袈裟　須藤
小林（諭）　引分　湯本　寺町　㊁大内　浦川
白石　○一背　水元　小室　引分　中村
生方　膝車㊀植木　小柴　㊀送足　野田
鏡　引分　富沢　飯笹　引分　三好
新井　引分　広瀬　鳥居　㊁一背　滝谷
松本　崩横○浦川　引分　小山

佐俣　○崩横　富永
熊井　㊁大返　小林
福島（信）　㊁朽倒　北川
引分　渡辺
双刈㊀高橋
引分　手嶋
内股○水元
引分　竹
○袈裟　須藤
㊁大内　浦川
引分　中村
㊀送足　野田
引分　三好
㊁一背　滝谷
引分　小山
福島（美）

第8回小学生総体

6年男子 重量級は飯島信芳が制す

6年女子は本多暁子が4連覇

第八回県小学生総合体育大会は十月二十一日、県武道館で行われた。女子六年に出場の本多暁子（田島）は四年連続優勝の偉業をなしとげた。

柔道

【四年生の部】◇軽量級　①松平英司（桜井）②仲田（新田）③狩野（境町）渡辺（新町）◇中量級　①小此木久延（毛呂）②福島（同）③伊東（新田）山田（桜井）◇軽重量級　①飯塚淳（毛呂）②田中（同）③剣持（剣持）大塚（石川）◇重量級　①赤沢良太（田島）②菅野（桐生）③笠原（高崎柔教）太田（川田）

【五年生の部】◇軽量級　①谷田恵仁（毛呂）②奥（新田）③富沢（石井）桜井（桜井）◇中量級　①高田晃（毛呂）②星野（境町）③佐藤（佐藤）福田（島選）◇軽重量級　①角田広之（毛呂）②吉良（三浦）③大野（万場）小林（毛呂）◇重量級　①近野好秋（剣持）②金井（田島）③斎藤（三浦）加藤（毛呂）

【六年生の部】◇軽量級　①小松崎哲史（佐藤）②清水（石井）③柏川（新田）金井（同）◇中量級　①松平徹士（桜井）②深沼（新田）③根林（石川）斎藤（高崎柔教）◇軽重量級　①渡辺貫志（新里）②川原（石井）③井上（尾島）大川（境町）◇重量級　①飯島信芳（境ヶ岡）②川島（島選）③田村（石川）星野（桐生）

【女子の部】◇四年生　①中島綾子（高崎柔教）②堀越（美九里）③井上（尾島）佐藤（佐藤）◇五年生　①山口桂（石川）②出沢（田島）③吉沢（高崎柔教）押切（佐藤）◇六年生　①本多暁子（田島）②根岸（藤岡）③武井（高崎柔教）笠原（同）

東條と塩原が制す

第10回実業団大会

第十回県実業団大会は十月二十八日、前橋・県武道館で行われ、団体一部が関口病院、二部は東京三洋が優勝を飾った。個人戦は二十五歳未満の部を東條清志（関口病院）、二十五歳以上三十歳未満は塩原正之（東京三洋）が共に優勝した。

▽個人有段者二十五歳未満
菊池○―金田（東京三洋）（牛込接骨）
東條○―矢島（関口病院）（高崎ハム）
小淵○―阿部（東京三洋）（牛込接骨）
小椋不戦勝　萱場（関口病院）（セコム）

▽準決勝
東條㊀―菊池
小椋㊁―小淵

▽決勝
東條○―小椋

金子○―須永（セコム）（東京三洋）
小沼㊀―斎藤（高崎ハム）（牛込接骨）

▽準決勝
金子○―森山（高崎ハム）
塩原○―小沼

▽決勝
塩原㊀―金子

▽団体一部リーグ戦
①関口病院（4勝）②東京三洋（3勝1敗）③セコム（2勝2敗）④富沢整形（1勝3敗）⑤東京電力（4敗）

▽二部Aブロックリーグ戦
①東京三洋B（2勝）②高崎ハム（1勝1敗）③川端建設A（2敗）

▽Bブロックリーグ戦
①東京三洋A（2勝）②牛込接骨院（1勝1敗）③川端建設B（2敗）

▽決勝トーナメント・準決勝
牛込接骨院　2―1　東京三洋B
東京三洋A　3―0　牛込接骨院

▽決勝
東京三洋A　2―1　東京三洋B
東京三洋A　2―0　高崎ハム

寺町（高崎高教）らが代表

全国教員大会県予選

全国教員大会県予選は七月一日、県武道館で行われ寺町（高崎高教）ら五人の代表が決まった。

新井　引分　白石
碓井　㊁永躰
今川　引分　木暮
寺町　引分　小安
島居　○腕固　新井
寺町　引分　今川
木暮　○内股　小安
島居　引分　白石
先鋒　寺町　良次

昭三十二年四月十六日生　一六七㌢　六十五㌔　高崎高校
次鋒　永躰　敏明
昭二十四年七月三十一日生　一六八㌢　六十八㌔　渋川高校
中堅　島居　吉二
昭三十年六月一日生　一七一㌢　七十四㌔　渋川工業高校
副将　今川　直明
昭三十五年八月二十三日生　一七〇㌢　百十三㌔　中之条高校
大将　木暮　修
昭三十五年四月十七日生　一七七㌢　八十八㌔　太田南中学校

城田潤二（前高）小林諭（育英）が抜群

県紅白試合

五十九年度紅白試合は八月十九日、県武道館で行われ、一級の部で城田潤二（前橋高）が八人抜き、初段の部で小林諭が六人抜きでそれぞれ抜群、即日昇段をした。

結果は次の通り

（一級の部は割愛）

初段の部（A）

青木　豊実　○鈴木　善樹
千木良典明○　〃　○松島　幹夫
〃　○奈良　勝士　佐藤　博之　○　〃
井浦　知道○　〃　○生方　光彦
諸田　光　○　〃　岡田　暢英○
〃　○大川　伸二　〃　○松原　太宏
安澤　英正×　〃　千明　孝三○
渭水　義通　〃　小畑　順一○
〃　○上原　正樹　〃　○登坂　和久
〃　○小林　諭　山岸　久男○
〃　原田　雅樹○　〃　堀口　宗彦○
〃　多胡　裕史○　〃　竹淵　伸二○
〃　笠間　好雄○　〃

埴田　直勝○　清水　信晴
〃　○小林　広光　〃　○金子　正雄
小暮　貴男○　〃　岡泉　茂×　〃
鈴木　徹×本間　清　小澤　厚樹　○内田　智之
〃　○野村　英樹　〃　小野里隆二　○星野　宗義
久保田　至○　〃　○船津　睦
〃　○星野　貴史　〃　杉本　則夫○
〃　丸林　隆行×　〃　萩原　仁○
〃　○斎藤　直市　〃　武井　信幸×
〃　○桜井　徳彦　〃　○山本　雅美
〃　○諸田　政彦　〃　富岡　克己○
〃　○小林　諭　〃　山岸　久男○
〃　原田　雅樹○　〃　堀口　宗彦○
〃　多胡　裕史○　〃　竹淵　伸二○
〃　笠間　好雄○　〃

初段の部（B）

正田　竜一○　原澤　一美
〃　○阿部　繁　〃　○小管　一也
大谷　哲保○　〃　宇津木洋一○
〃　×田端　泰幸　関　正信　○深代　洋
原　陽寿　○　〃

青木　豊　○　〃　有坂　等○　〃
○川村　一幸　〃　笹沢　典行○　〃
○福島　秀雄　〃　○斎藤　裕之×　〃
千葉　始×斉藤　裕之　〃
木内　文夫　○市場　芳浩　〃
杉本　延雄○　〃　○諸田　政彦　〃
宮前　明弘○　小林　正佳　〃
○高木　孝彰　〃　原　泰之×　〃
小暮　大輔○　斉藤　秦光　〃
○保坂　勇　〃　今川　○内股　小安
〃　×田島　俊男　〃

伊丹　義治　○深代　洋
剣持　宣典×　〃　高橋　勝　○高山　義光
入澤　憲二×　〃　西村　正朗○　岡田　茂
〃　×原　昭次　細谷　睦　×山岸　慎
永井　享○　赤沼　節博　〃　○川浦　一弘
小山　勝由×諸田　政彦　〃　今井　一也　○諸田　洋一
〃　○登坂　和久　〃　佐藤　潤二　○　〃
〃　○小林　諭　〃　竹之内賢二　○　〃
〃　原田　雅樹○　〃　茂藤沢　昭男　○　〃
〃　多胡　裕史○　〃　倉沢　貴志　○鳴村　和彦
〃　竹淵　伸二　○　〃　曽根久仁光　○　〃
〃　笠間　好雄○　〃

二段の部

安藤　裕之×田島　隆行
黒岩　邦夫×渡辺　勝志
細矢　洋　○小林　俊一
助名三津夫×　〃
柳沢　弘光　○高田　利明
富沢　保×　〃
宮内　悟×三田　英喜

三段の部

細貝　昭吾○　辻野　友久
〃　○桜井　薫
青木　良人　○　〃
斉藤　裕之×　〃
千葉　始×斉藤　裕之
〃

四段の部

松井　英之×長瀬　高志

"私たちは信用を大切にしつづけます"

宅地建物取引業・不動産管理・各種損害保険代理業

広田住宅センター

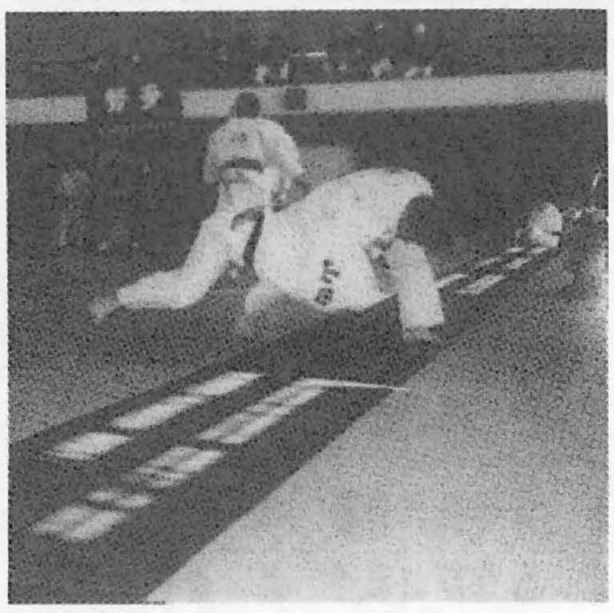
代　表　広　田　誠四郎

〒370 群馬県高崎市田町92
TEL. 0273（25）0055
FAX. 0273（23）9403

桜井道場有段者会会員　広田誠四郎、　本田弘敏

第22回県民大会

市の部は渋川
利根は郡の部制す



第二十二回県民秋季大会は十一月四日県武道館で行われた。この大会は昨年から、先鋒（二十歳未満）、次鋒（二十五歳未満）、中堅（三十歳未満）、副将（三十五歳未満）、大将（三十五歳以上）の年令別のチームによる試合となったが、特に三十歳以上の選手にけいこ不足が目立ち、怪我をする選手が多かった。

試合は、市の部で渋川市が、郡の部で利根郡が、それぞれ優勝した。

（以下成績）

▽市の部　一回戦

太田　3―1　館林
藤岡　2（内容）2　桐生
前橋　1（代表）1　沼田

▽準々決勝

渋川　2―1　太田
高崎　3―1　安中
富岡　3―1　藤岡
前橋　4―0　伊勢崎

▽準決勝

渋川　3―1　高崎
前橋　2―0　富岡

▽決勝

渋川　2―1　前橋

星野　梧○有効　宮内　梧
今川直明○つばめ返し　茂木克之

▽準決勝

小林　茂　引分　大沢　均
新井　博　不戦○樺沢博之
永峰敏明　引分　周東正夫

▽郡の部　一回戦

群馬　4―0　碓氷
佐波　3―2　多野
利根　5―0　新田
甘楽　3―1　山田

▽準々決勝

群馬　2（内容）2　吾妻

北群馬　3―1　佐波
利根　5―0　邑楽
勢多　2―0　甘楽

▽準決勝

群馬　2―1　北群馬
利根　2―1　勢多

▽決勝

利根　2―0　群馬

小林　諭○横四　鈴木　徹
生津義雄　引分　佐藤一也
原沢研祐　引分　宮崎幸二
堤　利夫○横四　松沢　勝
沢田芳信　引分　石井　洋

川田（沼田）が
初優勝（小学A）

第20回県スポーツ少年団大会

第二十回群馬県スポーツ少年団大会は八月十日、県武道館で行われた。小学の部では、A組で川田（沼田）、B組で毛呂（尾島）、中学の部は、A組で毛呂、B組で境（佐波）がそれぞれ優勝した。

▽小学男子A　準決勝

高崎西部　3―2　佐藤スポーツ
川田　4―1　中之条

決勝

川田　3―2　高崎西部

▽少年男子B　準決勝

桐生　2―2　新田町
毛呂　3―0　境町

決勝

毛呂　3―1　桐生

▽中学男子A　準決勝

毛呂　3―0　高崎西部

決勝

渋川北　3―2　大間々
毛呂　2―0　渋川北

▽中学男子B

決勝

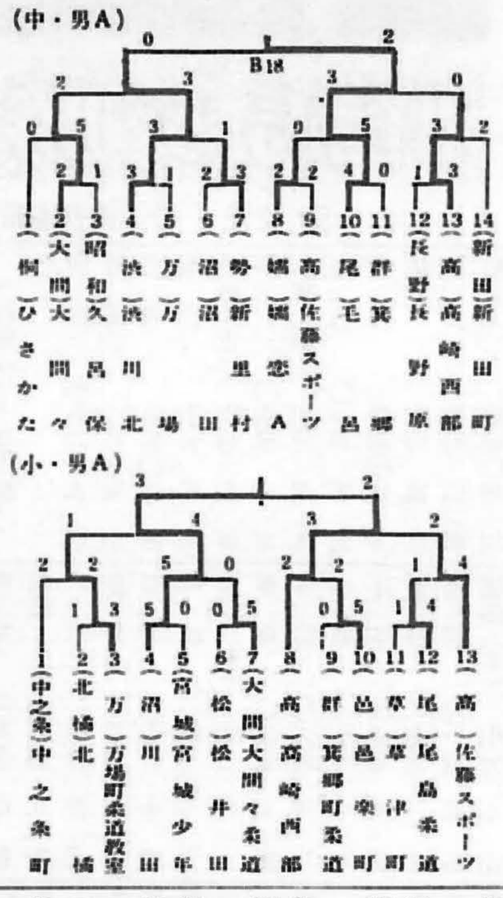
桐生　4―1　中之条
境　5―0　長良

決勝

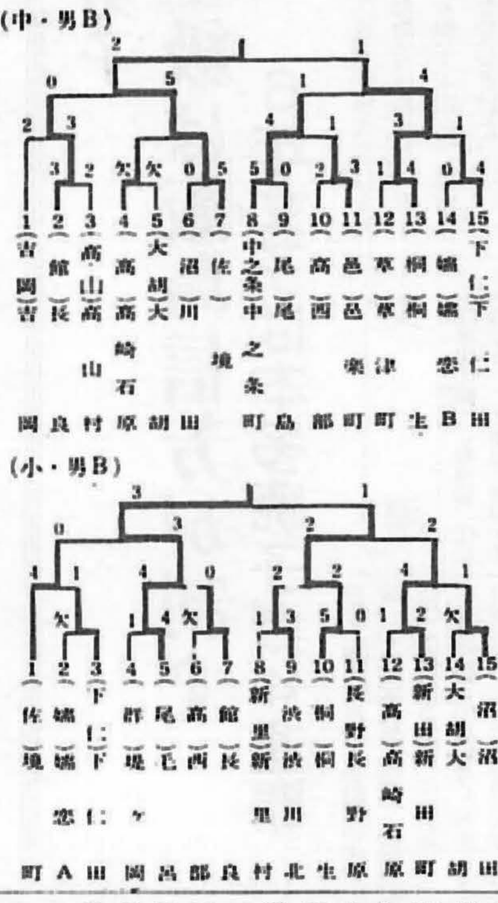
境　2―1　桐生

期日　59年8月10日㈮　会場　県武道館　競技開始時刻　11：00

（中・男A）



（中・男B）



（小・男A）

（小・男B）

高木父子3人で入賞
田島・桧物谷が
関東一の実力披露

県道場大会

第三十一回県柔道場大会は九月九日、県武道館で行われた。中学三年軽量級と重量級には、先の関東中学大会で優勝した田島章充（田島）と桧物谷武（石井）が出場、それぞれ関東一の実力を披露し優勝した。また桜井道場から出場した高木克彦（参段の部三位）と長男で前橋一年の孝彰（初段の部優勝）、次男啓光（中二重量級二位）の父子三人はそろって入賞。三十一回続いた道場大会の歴史でも父子三人の入賞は初めての記録。

【小学生】◇一年　▽軽量級　①恩田元仁（佐藤）②東島（剣持）③斎藤（修道）須藤（北沢）▽中量級　①北爪孝史（北沢）②須藤（三浦）③赤尾（石井）台田（木暮）▽軽重量級　①樋口和元（桜井）②清水（石井）③加辺（鵜浅）本間（佐藤）▽重量級　①川田吉晃（修道）②松岡（剣持）③菊地（修道）尾内（同）◇二年　▽軽量級　①恩田元仁（佐藤）②東島（剣持）③斎藤（修道）須藤（北沢）▽中量級　①北爪孝史（北沢）②須藤（三浦）③赤尾（石井）台田（木暮）▽軽重量級　①樋口和元（桜井）②清水（石井）③加辺（鵜浅）本間（佐藤）▽重量級　①川田吉晃（修道）②松岡（剣持）③菊地（修道）尾内（同）◇三年　▽軽量級　①恩田元仁（佐藤）②東島（剣持）③斎藤（修道）須藤（北沢）▽中量級　①北爪孝史（北沢）②須藤（三浦）③赤尾（石井）台田（木暮）▽軽重量級　①樋口和元（桜井）②清水（石井）③加辺（鵜浅）本間（佐藤）▽重量級　①川田吉晃（修道）②松岡（剣持）③菊地（修道）尾内（同）◇4年　▽軽量級　①松平英司（桜井）②門倉（同）③針塚（柴崎）長岡（田島）▽中量級　①山田孝之（桜井）②木島（同）③吉田（松村）大林（神宮）▽軽重量級　①樋口毅（桜井）②大塚（石川）③清水（石井）須田（同）▽重量級　①赤沢良太（田島）②中島（石井）③坂本（桜井）田沢（同）◇3年　▽軽量級　①根岸利宏（田島）②佐藤（桜井）③中沢（古平）武井（木暮）▽中量級　①佐藤義則（佐藤）②金沢（同）③鵜部（桜井）高沢（石井）▽軽重量級　①清水信治（石井）②茂木（修道）③塚田（三浦）清水（石井）▽重量級　①斎藤直樹（田島）②近野（剣持）③平井（三浦）井口（桜井）◇6年　▽軽量級　①小松崎（佐藤）②清水（石井）③恩田（佐藤）阿久沢（同）▽中量級　①根林秀充（石川）②松平（桜井）③市川（石川）田島（石井）▽軽重量級　①斎藤徳彦（石川）②田島（田島）③小幡（弘道）渡辺（石井）▽重量級　①須田崇司（弘道）②山田（木暮）③田村（石川）中村（同）【中学生】◇一年　▽軽量級　①横山貴志（鵜浅）②堀口（佐藤）③清水（石井）深野（鵜浅）▽中量級　①戸塚信幸（桜井）②長谷川（佐藤）③深沢（関）堀越（鵜浅）▽軽重量級　①清水和樹（石井）②森田（三浦）③松本英（石井）松本光（同）▽重量級　①広神浩治（石井）②木暮（修道）③堀込（関）川和（三浦）◇二年　▽軽量級　①高橋眠太（桜井）②瀬ノ木（修道）③岡谷（古平）村田（桜井）▽中量級　①桑子精一（修道）②鵜辺（同）③一倉（神宮）小牧（須藤）▽軽重量級　①福島正幸（関）②宮下（佐藤）③黒岩（柴崎）松枝（田島）▽重量級　①青野雅史（石川）②高木（桜井）③狩野（田島）宮沢（同）◇3年　▽軽量級　①田島章充（田島）②佐藤（桜井）③成沢（同）山本（田島）▽中量級　①星野信夫（関）②都丸（関）③新井（桜井）北田（柴崎）▽軽重量級　①清水延酒（桜井）②植原（須藤）③藤木（関）竹内（田島）▽重量級　①松物谷武（石井）②宮寺（鵜浅）③川島（田島）奈良（同）【女子】◇小学生　▽一年　①田島明紀子（田島）②程山（同）③藤川（古平）木島（桜井）▽二年　①大塚美恵子（石川）②本多（田島）③佐藤（佐藤）浅野（北沢）▽三段　①小椋国吉（弘道）②茂木（田島）③中村（桜井）高木（同）【青年】▽無段　①関口博雄（北沢）②田中（田島）③岡田（同）▽初段　①高木孝彰（桜井）②原（佐藤）③小林（宮沢）斎藤（島）▽二段　①佐藤信治（桜井）②八木原（田島）③田島（田島）岡崎（剣持）▽三段　①小椋国吉（弘道）②茂木（田島）③中村（桜井）高木（同）◇2年　▽軽量級　①高橋眠太（桜井）②瀬ノ木（修道）③岡谷（古平）村田（桜井）▽中量級　①桑子精一（修道）②鵜辺（同）③一倉（神宮）小牧（須藤）▽軽重量級　①福島正幸（関）②宮下（佐藤）③黒岩（柴崎）松枝（田島）▽重量級　①青野雅史（石川）②高木（桜井）③狩野（田島）宮沢（同）◇3年　▽軽量級　①田島章充（田島）②佐藤（桜井）③成沢（同）山本（田島）▽中量級　①星野信夫（関）②都丸（関）③新井（桜井）北田（柴崎）▽軽重量級　①清水延酒（桜井）②植原（須藤）③藤木（関）竹内（田島）▽重量級　①松物谷武（石井）②宮寺（鵜浅）③川島（田島）奈良（同）◇4年　▽軽量級　①根岸利宏（田島）②茂木（修道）③塚田（三浦）清水（石井）▽中量級　①佐藤義則（佐藤）②金沢（同）③鵜部（桜井）高沢（石井）▽軽重量級　①清水信治（石井）②茂木（修道）③塚田（三浦）清水（石井）▽重量級　①斎藤直樹（田島）②近野（剣持）③平井（三浦）井口（桜井）◇5年　▽軽量級　①根岸利宏（田島）②佐藤（桜井）③中沢（古平）武井（木暮）▽中量級　①佐藤義則（佐藤）②金沢（同）③鵜部（桜井）高沢（石井）▽軽重量級　①清水信治（石井）②茂木（修道）③塚田（三浦）清水（石井）▽重量級　①斎藤直樹（田島）②近野（剣持）③平井（三浦）井口（桜井）◇6年　▽軽量級　①小松崎（佐藤）②清水（石井）③恩田（佐藤）阿久沢（同）▽中量級　①根林秀充（石川）②松平（桜井）③市川（石川）田島（石井）▽軽重量級　①斎藤徳彦（石川）②田島（田島）③小幡（弘道）渡辺（石井）▽重量級　①須田崇司（弘道）②山田（木暮）③田村（石川）中村（同）【中学生】◇一年　▽軽量級　①横山貴志（鵜浅）②堀口（佐藤）③清水（石井）深野（鵜浅）▽中量級　①戸塚信幸（桜井）②長谷川（佐藤）③深沢（関）堀越（鵜浅）▽軽重量級　①清水和樹（石井）②森田（三浦）③松本英（石井）松本光（同）▽重量級　①広神浩治（石井）②木暮（修道）③堀込（関）川和（三浦）◇二年　▽軽量級　①高橋眠太（桜井）②瀬ノ木（修道）③岡谷（古平）村田（桜井）▽中量級　①桑子精一（修道）②鵜辺（同）③一倉（神宮）小牧（須藤）▽軽重量級　①福島正幸（関）②宮下（佐藤）③黒岩（柴崎）松枝（田島）▽重量級　①青野雅史（石川）②高木（桜井）③狩野（田島）宮沢（同）◇3年　▽軽量級　①田島章充（田島）②佐藤（桜井）③成沢（同）山本（田島）▽中量級　①星野信夫（関）②都丸（関）③新井（桜井）北田（柴崎）▽軽重量級　①清水延酒（桜井）②植原（須藤）③藤木（関）竹内（田島）▽重量級　①松物谷武（石井）②宮寺（鵜浅）③川島（田島）奈良（同）◇4年　▽軽量級　①根岸利宏（田島）②茂木（修道）③塚田（三浦）清水（石井）▽中量級　①佐藤義則（佐藤）②金沢（同）③鵜部（桜井）高沢（石井）▽軽重量級　①清水信治（石井）②茂木（修道）③塚田（三浦）清水（石井）▽重量級　①斎藤直樹（田島）②近野（剣持）③平井（三浦）井口（桜井）◇5年　▽軽量級　①根岸利宏（田島）②佐藤（桜井）③中沢（古平）武井（木暮）▽中量級　①佐藤義則（佐藤）②金沢（同）③鵜部（桜井）高沢（石井）▽軽重量級　①清水信治（石井）②茂木（修道）③塚田（三浦）清水（石井）▽重量級　①斎藤直樹（田島）②近野（剣持）③平井（三浦）井口（桜井）◇6年　▽軽量級　①小松崎（佐藤）②清水（石井）③恩田（佐藤）阿久沢（同）▽中量級　①根林秀充（石川）②松平（桜井）③市川（石川）田島（石井）▽軽重量級　①斎藤徳彦（石川）②田島（田島）③小幡（弘道）渡辺（石井）▽重量級　①須田崇司（弘道）②山田（木暮）③田村（石川）中村（同）【中学生】◇一年　▽軽量級　①横山貴志（鵜浅）②堀口（佐藤）③清水（石井）深野（鵜浅）▽中量級　①戸塚信幸（桜井）②長谷川（佐藤）③深沢（関）堀越（鵜浅）▽軽重量級　①清水和樹（石井）②森田（三浦）③松本英（石井）松本光（同）▽重量級　①広神浩治（石井）②木暮（修道）③堀込（関）川和（三浦）◇二年　▽軽量級　①高橋眠太（桜井）②瀬ノ木（修道）③岡谷（古平）村田（桜井）▽中量級　①桑子精一（修道）②鵜辺（同）③一倉（神宮）小牧（須藤）▽軽重量級　①福島正幸（関）②宮下（佐藤）③黒岩（柴崎）松枝（田島）▽重量級　①青野雅史（石川）②高木（桜井）③狩野（田島）宮沢（同）◇3年　▽軽量級　①田島章充（田島）②佐藤（桜井）③成沢（同）山本（田島）▽中量級　①星野信夫（関）②都丸（関）③新井（桜井）北田（柴崎）▽軽重量級　①清水延酒（桜井）②植原（須藤）③藤木（関）竹内（田島）▽重量級　①松物谷武（石井）②宮寺（鵜浅）③川島（田島）奈良（同）

県高段者大会

昭和59年8月26日
於：県武道館

六段

長谷川祐一×林　二郎
原口　市×井野　豊
内山孝三郎×栗原　賢治
福田　耕平○柴崎　洋行

五段

安沢雄太郎×安沢　武久

群馬県推奨銘菓
風の音．寒桜．
創業慶応3年　三和屋
藤岡市中央通り5丁目電(22)0003番

壮年柔道大会開かる

第1回県民スポーツ祭

県民総参加のスポーツ運動則進事業の一環として、第一回県民スポーツ祭壮年柔道大会が八月二十六日、県武道館で開かれた。

（初段の部）
清水　忠勝　○乾　芳隆
（二段の部）
奥　昌宏○　八田　敏亘
福田　誠　○笠原　伸之
（三段の部）
霞　正俊○　高橋　広
清水　正芳○　久保田貞行
（三段の部）
高木　克彦　○島飼　英雄
小峰　久男　○林　康夫
坂本　幸男　○横澤　永宏
久保田　務○　青木　良人
須田　功○　河内　昭
江田　光夫○　辻野　友久
中野　恒次○　小曽根一雄
（四段の部）
木曾佑一郎○　長谷川　実
赤川　崇明　○平井　敦
成田　祐二○　水野　弘三
田部井米司　○川端　義隆
石井　隆　○川端　哲雄
西川　留吉○　津久井彦一
荻原　勲○　金子　忠雄
（五段の部）
荻原　達　○北沢　広司
安沢　武久　×福島　清高
田村　浩志　×松平　勝機
碓井　良一　×佐藤　隆
大淵　裕　○小林　充
安藤謙太郎　×茂原　勤

高校

前商勢が3学年を制覇

59年県高校学年別大会

昭和五十九年度、県高校学年別大会は五月六日、県武道館で行われ、一年の部は高木孝彰、二年の部は星野悟、三年の部は狩野浩一がそれぞれ優勝。三人とも前商勢であった。

【一年の部】
▼準々決勝
小曽　大助○払　腰　岡泉　茂（農二）
酒井田　晶○内　股　木村　守（前商）
（育英）
尾崎　章○内　股　金子　正雄（沼田）
高木　孝彰○袖釣込腰　大島　茂喜（前商）
▼準決勝
酒井田　晶　○小曽　大助
高木　孝彰○袖釣込腰　尾崎　章
▼決　勝
高木　孝彰○払釣足　小曽　大助
受けの強い高木に対し、小曽内股で攻撃するが決まらず、二分すぎ高木は小曽の内股を、払い釣足で返し一本勝。

【二年の部】
▼準々決勝
生方　浩哉　○野田　聡（沼田）
宮崎　高久　十字固○星野　悟（前商）
生方　和人　横四方○宮前　明弘（農二）
小林　諭○縦四方　宮崎　純一（利商）
▼準決勝
野田　聡　背負投○星野　悟（前商）
小林　諭○　宮前　明弘（前商）
▼決　勝
星野　悟○　背負投　小林　諭
互角の試合内容であったが、終了直前の組みぎわ、星野の右体落としが技有り、そのまま抑え込みに入るがきまらず、時間切れ星野の優勝旗。

【三年の部】
▼準々決勝
狩野　浩一○　小林　希（沼田）
黒岩　邦夫　○佐俣　信行（育英）
佐藤　信治○　八田　敏彦（沼田）
品川　公博　内　股○福島　信雄（農二）
▼準決勝
狩野　浩一○　佐俣　信行（育英）
佐藤　信治　上四方○福島　信雄
▼決　勝
狩野　浩一○　福島　信雄
互いに組み手争いから大内刈内股と攻撃する狩野に対し、体落し、内股で攻撃をゆるめない福島の互角の戦いとなった。三分過ぎ福島の小内刈を狩野が返したが不十分、時間切れ。
前商の各学年優勝は初めて。

第19回高校総体

前商6年連続15回目

個人は福島（育英）が優勝

第十九回群馬県高等学校総合体育大会は五月十二日十三日の両日、県武道館で行われ、前橋商が六年連続十五回目の優勝をきめた。個人戦は育英の福島信雄が初優勝した。

【団体】▽一回戦
太田5―0伊商　高商4―1武尊
渋川4―1中央　藤岡4―0新島
前工5―0新田　佐農4―0藤工
前南4―1吉井　富岡5―0安中
利農5―0桐生　桐丘3―2渋西
太工4―1榛名　蚕糸3―2大泉
渋工2―1長野原　大間3―2鯨恋
樹徳5―0館林　高崎2―2前橋
（内容勝ち）
桐工4―1方場　伊東3―1板倉
▽二回戦
前商5―0太田　勢農3―1高商
渋川5―0前西　藤岡4―1西邑
前工2―2伊工　前南3―0佐農
（内容勝ち）
富岡3―1桐南　沼田4―0利農
利商5―0桐丘　常磐5―0太工
渋工5―0蚕糸　中条5―0大間
農二2―1樹徳　高崎3―0高工
高北5―0桐工　育英5―0伊東
▽三回戦
前商5―0勢農　藤岡3―0渋川
前工3―1前南　沼田3―0富岡
利商2―0常磐　中条3―1渋工
農二2―1高崎　育英4―0高北
▽準々決勝
前商5―0藤岡　沼田3―0前工
利商2―0中条　育英5―0農二
▽準決勝
前商3―2沼田　育英2―0利商
▽決　勝
前商2―1育英

個人戦（Aブロック）

一位　福島信雄（育英）
二位　小林　諭（育英）
三位　佐俣信行（育英）

個人戦（Bブロック）

▽準々決勝
小林　正伸　払　腰○宮崎　純一（利商）
高木　孝彰○　内　股　宮崎　純一
福島　信雄○大外刈　塚原　隆（農二）
牛久保重智　内　股○高木　孝彰（前商）
都丸　直樹　後袈裟○　塚原　隆（勢多農）
福島　信雄○袈裟固　小林　勇（太工）
▽準決勝
高木　孝彰○　宮崎　純一
福島　信雄○大外刈　塚原　隆
▽決　勝
福島　信雄○内股透　高木　孝彰

個人戦（Cブロック）

▽準々決勝
鎌田　康弘　○品川　公博（板倉）
青木　清○大外刈　笹沢　典行（農二）
栖沢　邦剛　○金子　忍（渋工）
佐俣　信行○払　腰　田沼　実（蕨岡）
青木　清　大外刈○品川　公博（育英）
佐俣　信行○　横四方　金子　径（桐南）
▽準決勝
品川　公博○内股透　佐俣　信行（育英）

轟雄二（前工）が優勝

第15回全国定通制県予選

第十五回全国高校定時制柔道大会群馬県予選は、七月八日、前橋工業高道場で行われ、轟雄二（前工）が一年生ながら優勝した。な お七位までが全国大会に出場。

優勝　轟　雄二　前橋工　一年
二位　清水　博美　渋市工　三年
三位　染谷　貴裕　前橋工　一年
小川　一夫　太田高　二年
五位　久保田　宙　沼田高　二年
六位　村上　一行　中之条高二年
七位　加藤　繁範　沼田高　一年

県高校選手権

佐藤信治が殊勲

前商団結の勝利

個人は青木（渋工）ら4人

五十九年度県高校選手権大会兼全国高校県予選は六月三日、個人戦、十七日に団体戦が行われ、個人の部軽量級は青木清、中量級は星野悟、軽重量級は狩野浩一、重量級は福島信雄がそれぞれ優勝。団体の部は、負傷のため主将の狩野浩一を欠いた前商が、団結力で宿敵育英を破った。特に佐藤信治の活躍が光った。

【個人戦】
▽軽量級・準々決勝
青木（渋工）○―深野（樹徳）
館野（前南）●―荻原（育英）
大関（農二）○―諸田（利商）
渋沢（樹徳）○―岡田（新島）
▽準決勝
青木（渋工）○―館野（前南）
大関（農二）○―渋沢（樹徳）
▽決勝
星野（前商）●―小林（沼田）
▽中量級・準々決勝
星野（前商）○―堀井（中之）
諸田（利商）○―城田（高崎）
毛呂（前商）○―川島（常磐）
小林（沼田）●―山岸（農二）
▽準決勝
星野（前商）○―諸田（利商）
小林（沼田）○―毛呂（前商）
▽決勝
星野（前商）●―小林（沼田）
▽軽重量級・準決勝
狩野（前商）○―牛久保（前橋）
小林（育英）●―小川（西邑）
竹鼻（利商）○―黒岩（中之）
佐俣（育英）○―岩田（前商）
▽準決勝
狩野（前商）●―小林（育英）
▽決勝
狩野（前商）●―佐俣（育英）
▽重量級・準々決勝
福島（育英）○―生方（前商）
品川（農二）○―木多（利商）
鏡（育英）○―小野（利農）
佐藤（前商）●―藤野（桐工）
▽準決勝
佐俣（育英）○―竹鼻（利商）
▽決勝
狩野（前商）●―佐俣（育英）
▽重量級・準々決勝
福島（育英）○―品川（農二）
佐藤（前商）●―鏡（育英）
▽決勝
福島（育英）○―佐藤（前商）
【団体戦】
▽一回戦
渋川5―0新田
農大二5―0藤工
桐南5―0桐生
太田4―1万場
長野原3―1武尊
中之条2―0前橋
桐工3―1高北
桐丘4―1吉井
佐農4―1前西
藤岡4―0樹徳
榛名2内容2大泉
渋工5―0伊東
伊工3―1勢農
▽二回戦
前商5―0渋川
農二5―0前工
桐南棄権高崎
高崎4―1太田
高工3―2長野原
渋西2―1館林
前商5―0渋川
農二5―0前工
桐南棄権高崎
高崎4―1太田
高工3―2長野原
渋西2―1館林
▽三回戦
前商5―0利農
中之条5―0桐丘
農大二5―0藤工
常磐5―0佐農
前工5―0高北
利農5―0前商
中之条5―0桐丘
樹徳2―1渋川
農二5―0渋西
富岡3―1橋恋
中之条2―1樹徳
藤岡4―1万場
太工4―1県央
常磐5―0勢農
利農5―0常磐
太工4―1館林
常磐5―0高崎
藤岡4―1太工
農二5―0富岡
高崎4―1館林
▽準々決勝
前商5―0藤岡
中之条2―1樹徳
常磐5―0中之条
太工3―1前橋
▽準決勝
前商3―1利商
常磐5―0太工
▽決勝
前商3―2常磐

昭和五十九年度群馬県高等学校新人柔道大会は十一月十一日、県武道館で行われ、前商が育英に1対1ながら内容差で辛勝した。

▽一回戦
伊商3―2吉井
藤岡4―0桐南
利農3―1伊工
桐丘2内容2武尊
館林失格西邑実
沼田5―0太田
▽二回戦
前商5―0伊商
高商5―0新島
前商3―1利商
高崎3―2渋工
勢農4―1長野原
育英1内容1沼田
館林4―1前南
高崎3―2渋工
▽決勝
前商3―1育英

前商が内容で育英を制す

59年県高校新人大会

星野の背負投さえ前商優勝

県高校新人兼関東新人予選

県高校新人大会兼関東新人大会県予選は十一月十八日県武道館で行われ、決勝は前商・育英の対戦となり、大将戦にもつれこみ、前商星野が試合開始九秒で巨漢斉藤を背負投で一本とり、快勝した。

▽勝ち抜戦　三回戦
前橋商　五人残　館林　桐生工　一人残
樹徳　四人残　沼田　農大二　三人残
農大二　四人残　藤岡　利根商　二人残
利根商　四人残　高崎商　樹徳　四人残
高崎　三人残　富岡　高崎　三人残
渋川　三人残　利根農　渋川西　二人残
育英　五人残　前橋
▽準々決勝
前橋商　五人残　桐生工
樹徳　四人残　農大二
利根商　二人残　高崎
▽準決勝
前橋商　三人残　農大二
育英　三人残　利根商
▽決勝
前橋商　一人残　育英
岩田晴行　引分　入沢憲二
生方和人　引分　原　泰之
小林正佳○反則　酒井田晶
小林正佳　引分　小林　諭
高木孝彰　反則○斉藤泰光
星野　悟○背負　斉藤泰光

中学校

第十九回中学校総合体育大会柔道個人戦

第十九回中学校総合体育大会柔道個人戦は、八月二日県武道館で行われた。

今年度より七八・一㌔以上、中量級六五・一㌔～七八㌔、軽中量級五五・一㌔～六五㌔、軽量級五五㌔以下の四階級で行われた。

全階級ともシード選手が順当に勝ちあがり、番狂わせの少ない大会であったが、五五㌔以下で、ノーシードながら、二位になった万場中の斎藤選手の活躍が光った。なお、女子も二十一人の参加があった。

高山（尾島中）2年連続優勝

▼軽量級

【決勝戦】

シード選手の田島（前二）と斎藤（万場）、両者とも動きの速い技をかけ合い、自分の持っている力をだしつくした感がある。試合終了まぎわに田島選手が横四方固で技ありをとり優勝した。

①田島章充（前二中）②斉藤秀次（万場中）③井浦将文（新治中）、高橋龍太（高島村（子持中）と武田（尾島）選手、昨日の団体戦の雪辱をはらそうと、積極的に技をかかる武田だが、島村に巧みにかわされ、島村選手が僅差で優勝した。

①島村好則（子持中）②武田朗（尾島中）③今井輝和（尾島中）、高木啓光（安中二中）

▼重量級

【決勝戦】

昨年のこの大会で優勝している高山（尾島）と、三位になった桧物谷（榛名）の対決となったが、高山選手が大内返しを見事にきめて連続優勝をした。また、高山はこの日の試合を全て一本勝ちとした。

①高山忠重（尾島中）②桧物谷武（榛名中）③小山勝由（桐生北中）、坂田実路（館林一中）

▼女子

【決勝戦】

毛呂（尾島）と柳井（塚沢）の対決となった。決勝戦にふさわしく、お互いに持ち味をだしきって戦ったが、試合巧者の毛呂選手が僅差で辛勝した。

①毛呂和美（尾島中）②柳井真奈美（塚沢中）③松本良美（前二中）、高橋緑（渋北中）。

①星野伸夫（渋北中）②狩野秀夫（渋中）③内林哲也（前六中）、黒岩作太郎（繖恋西中）

▼中量級

【決勝戦】

星野（渋北）と狩野（渋川）、お互いによく手のうちを知っている選手同志の対決は、技のスピードにまさる星野選手が僅差で辛勝した。

①星野伸夫（渋北中）②狩野秀夫（渋中）③内林哲也（前六中）、黒岩作太郎（繖恋西中）

▼軽中量級

【決勝戦】

星野（渋北）と狩野（渋川）、お互いによく手のうちを知っている選手同志の対決は、技のスピードにまさる星野選手が僅差で辛勝した。

①星野伸夫（渋北中）②狩野秀夫（渋中）③内林哲也（前六中）、黒岩作太郎（繖恋西中）

尾島中が優勝

59年県中学新人

2年ぶり2度目

五十九年度県中学校新人大会は、十一月二十五日、県武道館で行われ、尾島中がライバル校の子持中を破り二年ぶり二度目の優勝を果たした。

▽準々決勝

尾　島　3－1　境　南（新田）（佐波）

木　瀬　3－2　万　場（前橋）（多野）

太田西　3－1　前橋六（太田）（前橋）

子　持　4－0　細　打（北群）（新田）

▽準決勝

尾　島　2－1　木　瀬（長浜裕二〇青負　港慎一郎）

子　持　3－1　太田西（大谷政行〇横四　大野正史）

▽決勝

尾　島　3－1　子　持（鶴見純也〇青負　山岸　敬）（松島達也　引分　白井哲也）（関根浩一　けさ〇関口尚樹）

関東中学校体育大会

重量級 桧物谷（榛名）（前橋（二中））制す

59.8.11～12

於・横須賀市総合体育館

▽決勝

桧物谷　優勢　高　山（桧名）（明大中野）

▽軽量級

桧物谷　優勢　佐々木（榛名）（弦巻）

▽準決勝

田島　優勢　小　山（前橋二）（桐生北）

▽決勝

田島　優勢　田　代（尾島）（打越）

三中地区が優勝

前橋市民スポーツ祭

50.10.28

於・市民体育館

【団体】

▽決勝トーナメント1回戦

川口西（埼玉）3－1尾　島

【個人】

◇重量級▽準決勝

桧物谷　うちまた　泰（榛名）（明大中野）

▽決勝

高山優勢小山田（尾島）（桐生北）

▽六地区対抗戦

①三中地区②利根西地区③二中地区

▽一般の部　無段者

①関口博雄②富田③池上

▽初段

①佐々木努②松浦③吉田

▽二段

①金子利弘②関口③石田

▽三段

①金子和明②富沢

▽女子の部　小学1・2年

①本多陽子②田島③浅野

▽小学校3・4年

①田島真紀子②程山③菊地

▽小学校5・6年

①本多暁子②出沢③飯野

▽中学2年

①島田香

▽一般

①霞千晶②狩野

▽男子の部　小学1・2年

①大塚学②五十嵐③森本

▽小学3・4年

①赤沢良太②小林③小沢

▽小学5・6年

①斎藤直樹②金子③石井

▽中学1年

①境原守②深代③小浜

▽中学2年

①内林祐二②富沢③松枝

▽中学3年

①奈良昇志②田島③野村

▽高校1年

①福水信晴②古平③剣持

▽高校2年

①有坂等②倉沢③曽根

▽高段者の部　四段

茂木義幸　引分　田中豊吉

安喰完二〇　真下順次

金子忠雄　引分　三浦昭男

大沢　均〇　平井　敦

狩野桂次　引分　水野弘三

松井英之〇　那須　忠

山崎政男〇　三留功次

平井啓太　引分　木村長盛

大島一美　引分　福室高男

▽五段

小林　充　引分　松本邦夫

塚田純也　引分　北沢武広

岡　知己　引分　周東正夫

古谷一雄　引分　古平亀雄

藤井恒雄　引分　栗原　洪

北沢広司　引分　樺沢由秋

新井信雄　引分　三橋　好

川端義隆　引分　小川正行

▽六段

井出昌明〇　彦坂信行

柳谷勝之　引分　樺沢光雄

田島敏隆　引分　宮沢　勲

石倉貞幸　引分　池田　進

小泉猶助　引分　大島由安

小畑兼五〇　笹沢周作

▽七段

丹羽文雄　引分　金井次郎

尾島が雪辱

第8回県中学春季大会

打倒、子持中に燃える尾島中が、県中学校秋季大会の雪辱をはたした。

第八回県中学校春季柔道大会は、六月十日、県武道館で行われた。ベスト四は予想どおりシード校が活躍して勝ちあがった。

決勝戦は秋季大会に続き、尾島中、子持中、二度めの対決となったが、ボイントゲッターを持つ尾島中が二対一で辛勝した。なお個人戦は二十四日に行われた。

▽決勝戦

尾島中②―△子持中

武　田　引き分　関　口

今　井〇払い腰　石　岡

松　島　引き分　萩　原

高　山〇大内返　白　井

増　田　注　意〇島　村

①尾島中　②子持中　③館林第一中、前橋第二中

▽個人入賞者△

【軽量級】

優　勝　田島　章充（前橋二中）

準優勝　高橋　勇二（古巻中）

三　位　高橋　龍太（高崎一中）

井浦　将文（新治中）

【軽中量級】

優　勝　星野　伸夫（渋川北中）

準優勝　内林　哲也（前橋六中）

三　位　黒岩作太郎（繖恋西中）

狩野　秀夫（渋川中）

【中量級】

優　勝　今井　輝和（尾島中）

準優勝　高木　啓光（安中二中）

三　位　高梨　俊行（北橋中）

積水　延浩（高崎四中）

【重量級】

優　勝　高山　忠重（尾島中）

準優勝　桧物谷　武（榛名中）

三　位　小山　勝由（桐生北中）

坂田　実路（館林一中）

▽女子個人戦△

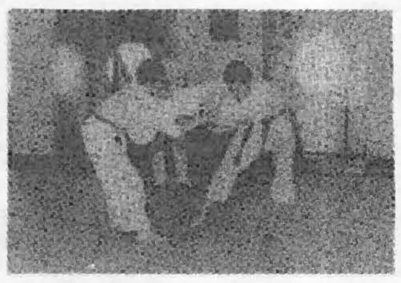
優　勝　柳井真奈美（塚沢中）

準優勝　瀬水　澄枝（強戸中）

三　位　毛呂　和美（尾島中）

松堂るみえ（南橋中）

西邑楽少年大会開かる



少年の健全育成を目的に、大泉地区学校、警察連絡協議会、大泉地区防犯委員会、大泉警察署の主催による「第一回西邑楽地区少年柔剣道大会」が、六月十六日、邑楽町武道館で西邑楽四中学校、生徒九十六人の出場により盛大に行われ意義深い大会となりました。入賞者は次の通りです。

◇五十五キロ以下

優　勝　秋元浩一（邑楽中二年）

準優勝　橋本和明（邑楽中三年）

◇六十五キロ以下

優　勝　斎田隆史（邑楽中三年）

準優勝　小林昭博（千代田中二年）

◇七十八キロ以上

優　勝　岩瀬伸丈（大泉南中三年）

準優勝　関根豊法（千代田中三年）

一般女子は内田和子

館林市柔道大会

館林市柔道大会は五月二十七日、城沼総合体育館で一〇〇人余りの選手が出場し、熱戦が展開されました。

▽小学3・4年の部

①川村友也②柿沼秀樹③根岸則雄③延山知正

▽小学5・6年の部

①島田香

▽一般

①霞千晶②狩野

▽男子の部　小学1・2年

①大塚学②五十嵐③森本

▽小学3・4年

①赤沢良太②小林③小沢

▽小学5・6年

①斎藤直樹②金子③石井

▽中学1年

①境原守②深代③小浜

▽中学2年

①内林祐二②富沢③松枝

▽中学3年

①奈良昇志②田島③野村

▽高校1年

①福水信晴②古平③剣持

▽高校2年

①内田靖孝　②斎五沢　学

▽中学1年の部

①木村和弘　②小貫稔公

③井野口直也　③加藤昌明

▽中学2・3年の部A

①木村哲也　②松岡敏彦

③金子　信　③石原　篤

▽中学2・3年の部B

①外丸久男　②大塚晴司

③大井紀明　③野木村秀世

▽一般女子の部

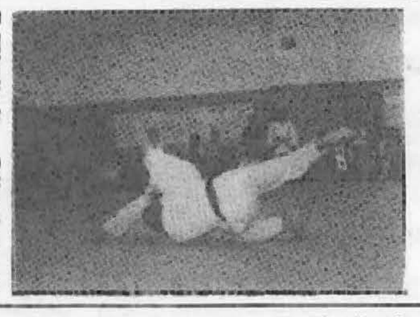
①内田和子　②飯田真弓

③武田美雪

▽初段の部

①内田恵子　②家住　弘

③川上　実



桧沢博之五段が結婚

「あかぎ国体」総合優勝の原動力となった、県警の桧沢博之さんが、五月二十六日、前橋商工会議所会館桜の間で、結婚披露宴を開き、約三百十人の参会者に祝福された。新婦の中島光代さんは県立前橋女子高から群馬大学教育学部体育科卒のオ媛で体操の国体選手（宮崎国体出場）である。

編集後記

全国少年柔道大会県予選を皮切に始まった本年度の行事予定は、全て円滑に運営され、残すところは来たる二月の段別選手権と、県選手権の二つとなった。これからは寒さに向かって辛い日々だが、健康管理に留意して技を研き、十二分な力が発揮出来る事を願ってやまない。それぞれのタイトルは誰の手に輝くだろう。

（祥）

2功労者逝く

県柔連庶務部長、前橋支部長

七段　高山　明先生

大正十年三月十二日生、前中・東洋大卒。

学徒出陣でフィリピン方面へ転戦、二十一年復員後、教職につく。特に芳賀中、元総社中、三中で数多くの名選手を育成した。なかでも、糸井義一、桧沢博之、小畑順一らを育てた功績は大きい。五月二十三日、群大病院で心筋こうそくのため逝去、享年六十三歳。戒名・法徳院達誉柔山居士

県柔連参与

八段　石井国雄先生

明治四十三年一月二十四日生、勢農・早大政経卒

榛名町長（四期）、県柔連常任理事・組織部長普及部長・会計部長・行事部長・監事・参与を歴任、五十八年五月講道館八段、五十九年四月・勲四等旭日小綬章、五十九年五月・県体協「スポーツ功労章」、五十九年十一月・従五位勲四等旭日小綬章、十一月十一日、脳血栓のため逝去、享年七十四歳。戒名・長峻院鐵心耕道大居士

ぐんま柔道

発行所　群馬県柔道連盟
発行人　関口　恒五郎
編集室
高崎市飯塚町1040
桜井　弘
電話　0273－61－2502

嘉納師範遺訓

柔道は心身の力を最も有効に使用する道であるその修業は攻撃防御の練習に由って身体精神を鍛練修養し斯道の神髄を体得する事であるそうして是に由って已を完成し世を補益するが柔道修行の究竟の目的である。

県選手権

今川（中之条高教員）が二連覇で涙

福島再び決勝で

左から寺町、木暮、今川、福島、高松

今年の県選手権大会は、二月十七日、県武道館で行われ、今川直明（中之条高教員）が、決勝で福島三千行（スポ振）を昨年に引き続いて破り、二連勝した。今年も、あかぎ国体の強化選手が上位を独占したが、高校生や若い選手の成長もめざましく、あかぎの強化選手に僅差判定に持ち込む選手もあり、将来に希望が持てた。

▽二回戦
今川○小外掛小林（中高教）（前商）
塩原○腕挫佐俣（三洋）（育英）
諸田●僅差狩野（県警）（前商）
大沢●僅差浜田（田島）（藤高）
寺町○巴投岩田（高々教）（前商）
雨谷●僅差野尻（関口）（三洋）
小柴○内股大川（県警）（三洋）
木暮○内股福島（育英）（前商）
高松○青負高橋（太田南中教）（育英）
藤塚○内股鏡（県警）（育英）
小椋●僅差毛呂（関口）（前商）
鳥居○不戦斎藤（渋工教）（育英）
飯笹●僅差高木（県警）（前商）
小林○出足払熊井（育英）（群大）
東条○背負埴田（関口）（前商）
福島○十字固青木（スポ振）（沼高）

▽三回戦
今川○上四方塩原（利商）（前商）
大沢●僅差諸田（利商）（前商）
寺町●僅差雨谷（前商）（前商）
木暮○内股小柴（前商）（県警）
高松●僅差藤塚（県警）（育英）
小椋○大内刈鳥居（育英）（常磐）
飯笹●僅差小林（育英）（常磐）
福島●大腰東条（常磐）（三洋）

▽準々決勝
今川○合技大沢（三洋）（利商）
木暮○払腰寺町（利商）（前商）
高松●僅差小椋（前商）（県警）
福島●僅差飯笹（県警）（育英）

▽準決勝
今川●僅差木暮（三洋）（前商）
福島○小外刈高松（育英）（県警）

▽決勝
今川○小外掛福島（三洋）（育英）

□二回戦
原○上四方諸田（育英）（利商）
原○上四方宮前（育英）（県警）
宮崎○内股清水（県警）（前商）
宮崎○内股酒井田（前商）（常磐）
原●僅差宮崎（育英）（三洋）

□二段の部
藤塚●僅差大川（県警）（三洋）
菊地●僅差小林（三洋）（育英）
小淵●僅差小林（三洋）（前商）

▽準々決勝
藤塚●僅差菊地（県警）（三洋）
福島○送り襟小淵（育英）（三洋）

▽決勝
藤塚●僅差福島（県警）（育英）

□三段の部
飯笹○体落し須永（県警）（三洋）
小椋○上四方諸田（関口）（県警）

▽準決勝
飯笹●僅差小椋（県警）（三洋）
高松○不戦長瀬（関口）（富沢）

▽決勝
高松○内股小柴（関口）（県警）

□五段の部
根岸●僅差大沢（太田）（県警）

▽準決勝
桂沢○体落し島居（県警）（高崎）
桂沢○送り足根岸（高崎）（県警）

▽決勝
桂沢○内股川島（高崎）（県警）

□四段の部
飯笹●僅差小椋（県警）（県警）

▽準決勝
高松○不戦長瀬（関口）（富沢）

▽決勝
飯笹●僅差塩原（県警）（三洋）

□六段の部
小室○内股前原（前商）（県警）

▽準決勝
小室○内股小柴（前商）（県警）

▽決勝
小室○内股川島（前商）（三洋）

□初段の部
▽準々決勝
宮前○大外刈小室（農二）（前商）

山崎聖治

県警勢が活躍 二、三階級を制す

県段別選手権

今年の県段別選手権大会は、二月三日、県武道館で行われ、五段の部で桂沢（県警）、四段の部…高松（関口病院）、三段の部…飯笹（県警）、二段の部…藤塚（県警）、初段の部…原（育英）がそれぞれ優勝した。

群馬勢健闘す 鳥居が五段の部で三位

東京近県大会

今年の東京近県柔道大会は、三月二十一日、講道館で行われ、本県から五段の部…鳥居吉二、四段の部…小柴伸一、参段の部…藤塚博幸、弐段の部…飯笹明宏、初段の部…宮崎純一、中学二年の部…青野雅史、中学一年の部…広神浩治、小学六年の部…飯島信芳、五年の部…近野好秋の九人が出場し、四人が三位に入賞した。

▽第三位入賞者
五段の部　鳥居　吉二
初段の部　宮崎　純一
中学二年の部　青野　雅史
小学六年の部　飯島　信芳

無念!!

今川、力尽きる… 群馬の悲願ならず

関東柔道選手権・全日本予選

関東柔道選手権大会兼全日本選手権予選は、三月十七日、千葉県武道館で行われた。本県から出場の四人のうち今川は、敗者復活戦で勝ち上がり、全日本大会出場をかけた最後の試合で渡辺孝司（栃木）と対戦し、力尽きて僅差判定負で涙をのんだ。昨年の福島と同様、群馬の悲願はならなかった。

▽一回戦
今川○横四方小林（群馬）（山梨）
吉鷹○僅差福島（茨城）（群馬）
御嶽●僅差高松（神奈川）（群馬）
若林○僅差木暮（栃木）（群馬）

▽二回戦
今川○内股佐藤（群馬）（栃木）

▽準々決勝
松井○横四方今川（茨城）（群馬）

▽敗者復活戦一回戦
今川○一本小倉（千葉）
及川●僅差高松（千葉）

▽二回戦
渡辺●僅差今川（栃木）

桜井（常磐高職）が3位

第1回オーストラリア国際大会

第一回オーストラリア国際大会は、一月二十五日から二十七日までの三日間、メルボルンのバスケットボールスタジアムで行われ、本県から出場の桜井文子（常磐高職）は三位に入賞した。

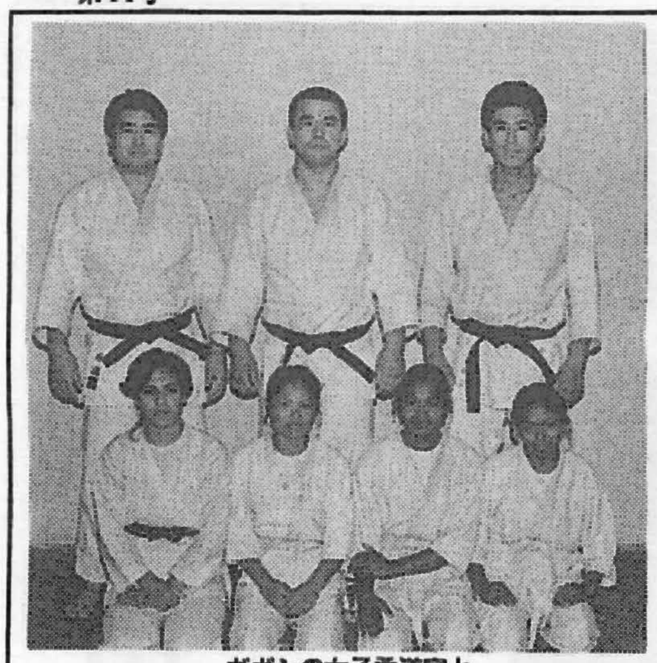
□女子61㌔級
▽三回戦
桜井○大外刈ビック（豪州）
▽四回戦
ブース●体落し桜井（豪州）
▽三位決定戦
桜井○送襟絞河本（国士大）

群馬県柔道連盟 勢多支部

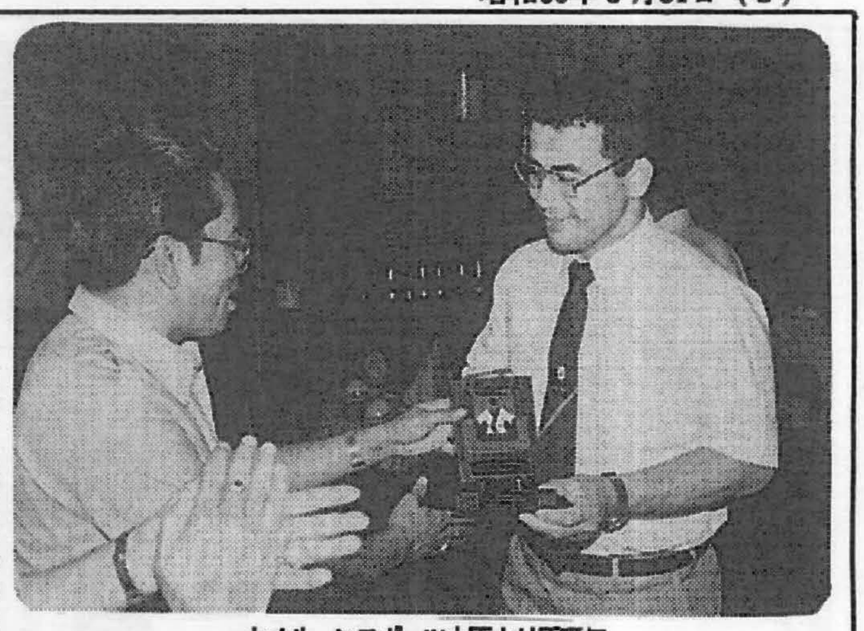
支部長　北爪　隆雄
副支部長　石井　恒男
伊藤　利市
堀込　征吾
強化部長　大藤　忠昭
評議員　三田善一郎
石橋　吉一
小沢　陸男
津久井彦一
成田　祐二
木暮　治一
横澤　元
今井　弘之
坂田　和平
入沢　拓夫
顧問　北爪　健次
相談役　新井禮次郎
山本　崇夫

桛沢五段(県警)がアフリカで指導

あかぎ国体総合優勝の原動力となった、県警の桛沢五段が、国際交流基金の派遣で、二月十五日から三月二十二日まで、アフリカ諸国を訪問して帰国した。今回、派遣された一行は高橋富士男六段（東北学院大学職員）、佐原恭輔六段（長野県警）、佐野五郎五段（福岡県警）、桛沢博之五段の四人で、柔道使節団として、実技指導やデモンストレーション等を行い、日本とアフリカ諸国との相互理解、友好親善を深めた。訪問先は、象牙海岸、ガボン、カメルーン、中央アフリカ、ガーナ、セネガルで、とくに桛沢五段の華麗な技に各地で人気が集まった。

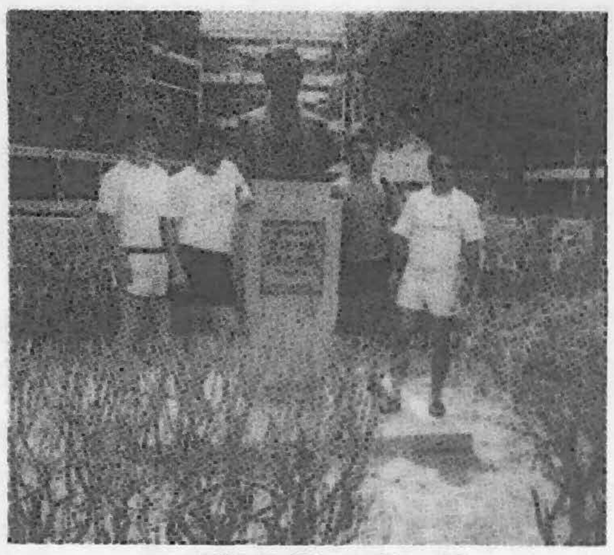


ガボンの女子柔道家と



カメルーンスポーツ大臣より感受与

象牙海岸大使館公邸にて プロテニスの塩口さん(中央)と



野口英世銅像前にて（ガーナ）

講道館鏡開式 昇段者

〈六段〉
黒澤嶽（桐生）角田長司（勢多）清水一芳（利・沼）網島浩祥（桐生）星野勲（北・渋）江原隆起（群馬）新後開雅太郎（高崎）鎌塚正良（高崎）越塚輝雄（邑・館）大藤忠昭（勢多）

〈五段〉
星野光一（利・沼）松本義次郎（碓・安）木村弘（吾妻）新井善平（佐・伊）赤川崇明（佐・伊）大谷卓弥（北・渋）飯塚初男（北・渋）

〈四段〉
諸田俊吾（利・沼）芝崎滋（利・沼）芝崎公一（利・沼）富沢静（多・藤）中島照全（多・藤）外山重喜（北・渋）

〈三段〉
狩野賢三（北・渋）有賀英明（北・渋）

〈二段〉
福田登志宏（高崎）松村典三（北・渋）小淵勝司（北・渋）

〈初段〉
小川睦男（北・渋）松村貞次（北・渋）

全国高校柔道選手権

育英が関東予選を通過

第七回関東高校柔道新人大会兼全国大会関東地区予選は、二月十一日、東京の講道館で行われた。本県から出場の育英と前商が、二回戦まで進出し、育英が全国大会への出場権を獲得。前商は初戦が代表勝ちのため、大会規定により代表権を得られなかった。

▽一回戦
育英　2残　日本航空（群馬）（山梨）
前橋商　代表　藤嶺藤沢（群馬）（神奈川）

育英・三回戦で惜敗

第七回全国高校柔道選手権は二十一日、日本武道館で、全国から五十二校が参加し、世田谷学園（東京）が初優勝した。本県から出場の育英は大健闘したが、三回戦で沖縄尚学（沖縄）に惜敗した。

▽一回戦
育英　2人残　崇徳（広島）

▽二回戦
育英　2人残　高砂（兵庫）

▽三回戦
沖縄尚学　2人残　育英（沖縄）
木更中央　3残　農大二（千葉）
越生　1残　利根商（埼玉）（群馬）

▽二回戦
大宮工業　2残　育英（埼玉）
国士館　1残　前橋商（東京）

相田みつを

—負ける練習—

柔道の基本は受身
受身とは投げ飛ばされる練習　人の前で叩きつけられる練習
人の前でころぶ練習　人の前で負ける練習です。
つまり、人の前で失敗をしたり　恥をさらす練習です。
自分のカッコの悪さを
多くの人の前で　ぶざまにさらけ出す練習
それが受身です。

柔道の基本では
カッコよく勝つことを教えない
素直にころぶことを教える　いさぎよく負けることを教える
長い人生には
カッコよく勝つことよりも
ぶざまに負けたり
だらしなく恥をさらすことのほうが　はるかに多いからです。
だから柔道では　初めに負け方を教える
しかも、本腰を入れて　負けることを教える

その代り
ころんでもすぐ起き上がる　負けてもすぐ立ち直る
それが受身の極意
極意が身につけば達人だ

若者よ　失敗を気にするな
負けるときにはさらりと負けるがいい
口惜しいときには「こんちくしょう!!」
と、正直に叫ぶがいい　弁解なんか一切するな
泣きたいときには　思いきり泣くがいい
やせ我慢などすることはない

その代り
スカッーと泣いて　ケロリと止めるんだ
早くから勝つことを覚えるな
負けることをうんと学べ　恥をさらすことにうまくなれ
そして下積みや下働きの　苦しみをたっぷり体験することだ
体験したものは身につく
身についたものー　それはほんものだ

若者よ
頭と体のやわらかいうちに　受身をうんと習っておけ
受身さえ身につけておけば
何回失敗してもすぐ立ち直ることができるから…

そして
負け方や受身の　ほんとうに身についた人間が
世の中の悲しみや苦しみに耐えて
ひと（他人）の胸の痛みを　心の底から理解できる
やさしく暖かい人間になれるんです。

そういう悲しみに耐えた　暖かいこころの人間のことを
観音さま、仏さま、と呼ぶんです。

「雨の日には雨の中を
風の日には風の中を」から抜粋

発行者　米田典夫

試合に負けた時や人生に疲かれた時に読んで下さい。
とくに試合に勝った時に読んで下さい。（編集）

受身

群馬県柔道連盟　吾妻支部

支部長	林	二郎	理事長	後藤	忠一
副支部長	江戸	鉄夫	副理事長	山本	隆男
〃	山田	寅幸			
〃	後藤	三郎	会計部長	新井	幸逸

高崎が2年ぶり3度目

二部初優勝の大間々チーム

二部は大間々が悲願の初優勝

26回警察一般合同大会

警察法施行三十周年を記念した群馬県警察・一般合同柔道大会が、五十九年七月八日、県武道館で行われた。試合は記念大会にふさわしい盛り上がりを見せ、一部は高崎が二年ぶり三度目の優勝、二部は大間々が優勝した。

□一部予選リーグ

▽一組
①太田②伊勢崎③沼田④藤岡

▽二組
①前橋②渋川③館林

▽三組
①高崎②前橋東③桐生

□決勝リーグ

太田	3−3	前橋

篠田 横四方○宮内
川島 内股○田村
中島 ケサ固○松沢
小野塚 引分け 茂木
木暮 ○内股 金子
根岸○ケサ固 小池
木暮○送り足 竹原
高崎 3−1 太田
原○払腰 川島
佐藤○横四方 松原
武井○肩固め 篠田
桑原 引分け 小野塚
本田 引分け 木暮修
原沢 大外刈○根岸
鳥居 引分け 木暮
高崎 4−1 前橋
原○払腰 宮内
佐藤○送り足 田村
武井 引分け 松沢
本田 引分け 茂木
桑原○小内刈 金子
鳥居○上四方 小池
原沢 背負投○竹原

【田村高崎警察署長談】
「高校生の原君と佐藤君が全勝賞で大活躍し、ほかの一般選手も警察官も、ほとんど失点がなかった。井上監督以下選手諸君に感謝する」

□二部予選リーグ

▽一組
①大間々②大泉③下仁田④長野原

▽二組
①大胡②松井田③境

▽三組
①吾妻②富岡③安中

□決勝リーグ

大間々	3−0	大胡
諸田	引分け	大沢
西堀○払腰		藤掛
神尾○背負投		今井
牧島○背負投		重田
成塚	引分け	石橋

大間々	3−1	吾妻
諸田㊀背負投		宮崎
西堀 背負投㊀		吉田

牧島○背負投 石原
神尾 引分け 野上
成塚○内股 山田

吾妻 2−1 大胡
宮崎 引分け 大沢
宮内 引分け 藤掛
吉田㊀背負投 今井
石原 内股透○重田
野上㊀背負投 石橋

この結果、
一部優勝 高崎
二位 太田
三位 前橋
二部優勝 大間々
二位 吾妻
三位 大胡

◇全勝賞
原 泰之（高崎）
佐藤信治（高崎）

根岸 宏（太田）
島秀夫（大間々）
吉田 肇（吾妻）

試合

木島輝久男

「一本、それまで」

こういう審判の声がした。ぼくが、おさえこみで一本とった。これが、ぼくの一本勝ちの最初だった。とても気持ちがよく、すっきりした。

それからも、何回か勝ったけど、みんなゆうこう勝ちで、すっきりする勝ちは、一回も無かった。それだけ、ぼくが弱いんだ、と思った。

だから、いっしょうけんめい練習して、今度の試合では、立ち技で一本とりたいなと思っている。

「境町柔道教室10年のあゆみ」から抜粋

少年じゅうどう大会

永井 裕吾

はじめていった、少年じゅうどう大会で、三いの賞じょうを、もらいました。

とってもうれしかったです。でも、やせにまけてしまって、とってもくやしかった。

こんどのときは、二いになってもいいから、けっしょうにでられるように、がんばりたいとおもいます。

箕郷町柔道スポーツ少年団誌「ぼくたちの柔道」から抜粋

関口 巌

群馬県警が三位

関東警察柔道

五十九年度関東警察柔道大会は、五十九年九月十四日、日本武道館で行われた。警視庁、皇宮警察及び管区内十県から十二チームが参加して、A組、B組に分かれ、それぞれ覇を競った。群馬県警はB組一班に出場、昨年と同じ、三位に入賞した。

▽試合結果
B組一班
群馬 4−1 新潟
群馬 4−2 長野
静岡 8−0 群馬

チーム、小池選手の力強い選手宣誓により熱戦の火ぶたが切られた。今大会から、一部チームでも決勝リーグ戦の方式をとったので、充実した好試合が展開された。

▽一部
優勝 高崎警察署
準優勝 警務部・学校
第三位 警備部

▽第二部
優勝 富岡警察署
準優勝 大泉警察署
第三位 大間々警察署

▽全勝賞
小畑 順一（学校）
桑原 文男（高崎）
武井 光浩（高崎）
吉田 尚人（高崎）
武井 隆夫（富岡）

▽永年出場者表彰
川島仙一郎（交機隊）
吉田 諄一（藤岡）
宮沢 巧（富岡）
小倉 博基（富岡）
本多 幸一（館林）
小林 広道（渋川）

優勝は高崎署（1部）

2部は富岡署が制す

59年度 県警察柔道

五十九年度群馬県警察柔道大会は、十月三十一日、群馬県武道館で、一部十五チーム、二部十チームの総勢百八十人の精鋭が集い、盛大に行われた。大会は河村本部長のあいさつ、有田公安委員長、桑子警友会理事長の祝辞のあと、前橋署

新治中が上位を独占

利根・沼田中学新人

第十七回利根・沼田中学新人大会は十二月九日、記念体育館で行われ、十八チームが参加、新治中Aと新治中Bの決戦でAが圧勝し優勝した。

【団体】
優勝 新治中A
二位 新治中B
三位 西中
三位 利南中A

高3の部で八田（沼田）が優勝

第三十二回部会対抗と第十六回高校学年別大会は、十二月十六日、沼田の記念体育館で行われ、部会対抗では沼田Aチームが、高校学年別では、三年の部で八田敏彦、二年の部で小林論、一年の部で酒井田晶がそれぞれ優勝した。

□部会対抗・団体
優勝・沼田A
二位 新治
三位 沼田B
三位 昭和A

利根・沼田部会
対抗高校学年別

□高校学年別・個人
▽三年の部
①八田敏彦（沼）②小林希（沼）③月橋薇（沼）
③小野圭三（沼）

▽二年の部
①小林論（育）②青木則夫（沼）③深井勝彦（武）
生方浩哉（沼）

▽一年の部
①酒井田晶（育）②木村守（沼）③原昭次（農）
星野貴史（武）

ほねつぎ 関口接骨院
関口幸夫
群馬県大間々町桐原202番地4号 ☎0277（73）4199

（有段者の部）有阪が優勝

碓氷・安中支部柔道大会

五十九年度、碓氷・安中支部柔道大会は、五十九年十一月二十三日安中二中柔道場で、百三十人が参加し、行われた。

【幼年、女子の部】
①横山文彦②金井志保子③岡部敦美、佐藤貴広
【小学一年の部】
①矢野高志②横山朋史
③屋敷延久、北条憲史
【小学二年の部】
①山田広樹②高林俊一
③林俊介、浅川聖道
【小学三年の部】
①久田始　②金子亮司
③須藤学、木村吉宣
【小学四年の部】
①柿沢友成②高林博
③林裕介、小俣哲家
【小学五年の部】
①矢野俊介②金井剛
③上原拳、吉田弘
【小学六年の部】
①拓植貴之②木村真樹
③水沢文夫
【小学女子の部】
①大島陽子②古賀奈々子
③佐藤典也、小俣智子
【中学一年の部】
①柿沢健一②高木敏行
③山田和弘、有阪栄治
【中学二年の部】
①新部俊之②神沢充
③長日部豊、伊藤裕徳
【中学三年の部】
①新井学　②熊谷僚二
【一般無段者の部】
①工藤正　②新部俊之
③神沢充、佐藤和夫
【一般有段者の部】
①有阪正明②青木博
③木村真樹
③上原義久、中山聡宣

300人で交流

館林市スポ少近県交流会

本大会は、近接市町村より二十団体、三百六人の選手を集めて行った。

小学校の部は、団体戦十五チームずつの三ブロックに分け、リーグ戦を行い、各ブロックの一位で決勝リーグ戦を行った。

中学生の部個人戦は、百五十六人の選手を五十二人ずつの三ブロックに分け、各ブロックから優勝一、準優勝一、第三位二名を決めた。

試合成績は左の通り。

【小学生団体戦】
優勝　毛呂道場（B）
準優勝　境町柔道教室
第三位　長良柔道スポーツ少年団
第一ブロック
長良・唐沢・尾島・吉岡・椎名
第二ブロック
毛呂（B）、岡ノ谷、岩舟、昭徳館、新田
第三ブロック
境町・毛呂（A）、大平、吉田・板倉
【中学生個人戦】
第一ブロック
①長浜孝夫②黒川賢一③永田能裕、恩田源三
第二ブロック
①山口功一②高橋洋恭③内藤弘純、武井和世
第三ブロック
①瀬下裕幸②下條秀一③牧原洋幸、高橋義幸

池田地区が優勝

沼田市政30周年記念第14回市民体育大会

市政三十周年記念事業第十四回沼田市民体育大会は九月二日、沼小講堂記念体育館で、八地区から五人一チームによる団体戦で行われ、大将に堀江英也四段を持つ池田地区が優勝した。

【団体戦】
優勝　池田地区
二位　西部地区
三位　東部地区
四位　利南地区

有段者の部は安中（桜井）がV

59年度高崎市民大会

五十九年度高崎市民大会は十一月十一日、高崎市武道館で行われた。幼稚園の部から一般までの約三百人の選手により、熱戦が展開され、東北柔専出の安中（桜井）が巨漢の小暮（高崎教）を背負投で決めて初優勝した。成績は次の通り。

大会成績

種目	第1位 氏名	所属	第2位 氏名	所属	第3位 氏名	所属
幼稚園	石井秀行	佐藤	中島梢	高柔教	本川潤子	高柔教
小一、軽量級	恩田元仁	佐藤	加辺彰浩	鳥浅	伊藤文晃	桜井
〃　重量級	本間貴之	佐藤	樋口和之	桜井	田島一晃	茂原
〃二、軽量級	長井秀憲	佐藤	石井猛志	佐藤	吉井雄亮	桜井
〃　重量級	佐藤正信	佐藤	沢木輝和	佐藤	竹本一裕	〃
〃三、軽量級	高橋俊将	佐藤	中山隆弘	佐藤	田堀洋義	佐藤高柔教
〃　重量級	永岡祐一	佐藤	柳沢篤史	佐藤	木押累克	佐藤
〃四、軽量級	山田孝之	桜井	門倉貴浩	桜井	上中哲宏	佐藤桜井
〃　重量級	樋口毅	桜井	笠原武彦	高柔教	木桜島三	桜井
〃五、軽量級	佐藤義則	佐藤	根岸利宏	佐藤	小長島浩	佐藤鎌塚
〃　重量級	井口力也	桜井	新井日出夫	桜井	磯部光	桜井
〃六、軽量級	広兼昌隆	佐藤	小松崎哲史	佐藤	植金原沢	桜井佐藤
〃　重量級	原健寿	桜井	斎藤忠雄	高柔教	阿久沢弘	佐藤
小一、二女子	佐藤聖子	佐藤	小野友美	高柔教	瀬間道武	〃
〃　三、女子	佐藤幸子	佐藤	田村朋実	高柔教	丸山友幹	高柔教
〃　四、女子	中島綾子	高柔教	佐藤美保	佐藤	高橋生夫	〃
小五、女子	吉沢久美	高柔教	田村ひとみ	高柔教	本川淑子	高柔教
〃　六、女子	武井佳絵	高柔教	笠原直美	高柔教	木島三恵	桜井
中学、女子	柳井真奈美	塚中	茂原和子	豊岡中	小竹実千代	高柔教
中一、軽量級	横山貴志	片岡中	堀口潤一	佐野中	渡辺薫子	寺中
〃　軽中量級	戸塚信幸	七中	堀越大司	三中	松本有幸	塚中
〃　中量級	大谷秀樹	寺中	長谷川亮	塚中	永井良弥	佐野中
〃　重量級	佐藤信之	寺中	萩原伸一	寺中	金子勇	佐倉中
中二、軽量級	高橋龍太	一中	清水純一	七中	勝中保沢茂	七〃
〃　軽中量級	宮下健一	塚中	女部田正一	七中	中田町村信	四〃
〃　中量級	萩原健志	佐野中	周藤広一	一中	横矢島田大多	八倉中
〃　重量級	篠崎高則	塚中	小野里博	八中	本美隆多好	七四中
一般有段者	安中長男	桜井	小暮大輔	高柔教	浦高野野崇	四七中
〃　無段者	小林隆	高鉄	森岡紀之	高経大	新堀井正	二高南中
〃　女子	高橋宏子	佐藤			新川康弘	高佐南中
					渡松辺本有幸	塚中
					永金井良弥	佐野中
					勝中保沢茂	七〃
					上中町信充	四〃
					木桜島井敬三	八倉中
					小長島谷川友浩志	七四中
					磯部光利	二高南中
					植金原沢健勇	高佐南中
					阿久沢瀬間弘道武	塚中
					丸高山橋友幹生夫	佐野中
					本川木島淑子三恵知	高桜経大
					小竹実千代子	高桜井
					渡松辺本有幸子	寺塚中
					永金井良弥子	佐倉野中
					勝中保沢茂弥	七〃中
					上中町信充樹賢	四〃中
					木桜島井敬三博史	八倉中
					小長島谷川友浩志彦	七四中
					磯部光利	二高南中
					植金原沢健勇一

ぐんま柔道

発行所　群馬県柔道連盟
発行人　関口　恒五郎
編集室
〒370 高崎市南大類町1251
牛込祥浩
電話　0273(52)1748～9

高崎師範道訓
柔道は心身の力を最も有効に使用する道である
その修行は攻撃防禦の練習に由って身體精神を鍛錬修養し　新道の神髄を體得する事である
そうして是由って己れを完成し世を補益するが柔道修行の究竟の目的である

総合優勝は佐波・伊勢崎支部

第19回関口杯支部対抗柔道大会

第一九回、関口杯支部対抗柔道大会は、昭和六〇年四月一四日（日）、午前九時から群馬県武道館で開催された。参加一五支部、一五チーム、熱戦の結果、A組は、北群馬・渋川支部、B組は、佐波・伊勢崎支部、C組は、多野・藤岡支部がそれぞれ優勝、総合優勝はB組優勝の佐波・伊勢崎支部が一二年ぶり二回めの栄冠に輝いた。

全勝賞は、今川直明四段（印南恵造三段、藤井広二段、島田浩伸三段、土肥悦男初段）の五人が該当した。

柔の形は、昭和三〇年代に一度行われたであろうか第一回オーストラリヤ国際大会、六一kg級、第三位の桜井文子二段と水野修子二段によって演武された。

固の形は、鈴木元一七段と北爪隆雄七段によって演武された。競技成績、得点その他は左の通り。

（○は勝、△は敗、□は引き分け、分母は勝ち数、分子は一本勝一〇点、技有り八点、有効六点の点数合計）

【A組】①北群馬、渋川（小林茂四段、高松守人四段、今川直明四段、福島美千行四段、小椋国吉三段、雨谷紀雄二段、東条清志二段）四勝、②新田・太田（木暮昌利五段、根岸宏五段、木暮修四段、小野塚弘四段、毛呂照明二段、石岩光彦初段）三勝一敗、③利根・沼田（堀江英也五段、原沢研祐四段、阿部学四段、生津義雄四段、小峯昌顕四段、須田和之四段、小峯孝二段）二勝二敗、④前橋（大沢均四段、飯笹明宏三段、金子和明三段、諸田泰徳三段、茂木克之三段、斉藤泰光初段、生方和人初段）二勝二敗、⑤高崎（鳥居吉二五段、本田弘敏四段、熊井宏之三段、広瀬勝二段、佐藤信治二段、浜田剛二段、原泰之初段）四敗。

【B組】①佐波・伊勢崎（島田浩伸三段、印南恵造三段、藤井広二段、牛久保重和二段、馬場保明二段、田島満初段、大里省二初段）四勝、②邑楽・館林（須永拓治四段、菊池修一二段、大川勝利二段、小渕伸治二段、高橋竜二二段、野尻猛二段、金田浩二段）二勝一敗二分け、③甘楽・富岡（白石豊樹四段、新井淳司四段、秋山雅仁四段、中村成一四段、鳥飼英雄三段、東沢武彦三段、安中長男三段）二勝二敗、④群馬（黒沢和由四段、宮崎幸二四段、吉田豊四段、西山久志二段、林義彦二段、鈴木徹初段、檜物谷武初段）一勝三敗、⑤勢多（木暮治一四段、今井弘之四段、藤井猛司三段小沼学三段、木暮才治三段狩野一広二段、新井聡明二段）三敗一分け。

【C組】①多野・藤岡（木村信雄四段、玉井三善三段、久保彰洋三段、宮沢紀夫三段、堀越政克三段、浅見繁男初段、宮前明弘初段）四勝、②吾妻（野上創造四段、山崎政男三段、吉田肇二段、黒岩邦夫二段、宮崎高久初段、菊池正幸初段、本間清光山武嘉（再）新田、太田柴宮喜義（新）利根、沼田、角屋浩司（新）邑楽、館林、原口市（再）北群馬、渋川、小竹恒夫（再）多野、藤岡、恵後原和一郎（再）碓氷、安中、大井宏（新）甘楽、富岡、今井孝造（再）勢多、北爪隆雄（再）群馬、上野泰司（再）吾妻、林二郎（再）山田、長谷金八（再）

（総合優勝した佐波・伊勢崎支部）

A組

番号	支部名	前橋	北群馬渋川	利根沼田	高崎	新田太田	得点	順位
5	太新田	(2-5)	1-△	(1-0)	(3-0)	(3-2)	66	2
4	高崎	1-△	△-1	0-1	2-△	(2-0)	42	5
3	利根沼田	(1-0)	0-1	(0-0)	(2-0)	(2-0)	34	3
2	北群馬渋川	(3-0)	(0-2)	(0-0)	(2-0)	(2-0)	96	1
1	前橋	(3-0)	(0-2)	(0-0)	△-2	(2-0)	36	4

B組

番号	支部名	館林邑楽	富岡甘楽	群馬	勢多	佐波伊勢崎	得点	順位
5	佐波伊勢崎	(4-3)	0-0	0-0	1-1	1-1	126	1
4	勢多	1-1	0-0	0-0		1-1	30	5
3	群馬	0-0	0-0		1-1	1-△	44	4
2	富岡甘楽	0-0		0-0	4-0	3-0	80	3
1	館林邑楽		2-1	0-0	2-1	1-1	56	2

C組

番号	支部名	安中碓氷	桐生	山田	藤岡多野	吾妻	得点	順位
5	吾妻	(1-0)	(2-0)	2-2	(2-0)		48	2
4	藤岡多野	(2-0)	(3-0)	(3-0)		(2-0)	94	1
3	山田	2-2	(3-0)		1-△	1-△	68	3
2	桐生	(2-1)		△-2	△-0	△-1	84	4
1	安中碓氷		△-0	2-0	△-0	△-0	20	5

山下、現役引退！

山下泰裕六段（二八）＝東海大講師＝昭和六〇年六月一七日、現役引退を表明。昨夏、ロス五輪無差別級で優勝、国民栄誉賞獲得。世界選手権で四個の金メダル。前人未踏の全日本選手権九連勝。柔道は小学校四年生から始めたというが、一八年間の柔道生活で、連勝記録は昭和五二年の日ソ親善大会以来、不滅の二〇三。

一メートル八〇センチ、一二七キロ、世界最強の男、不世出の柔道家は不敗の王者のまま、柔道界だけではなく広い階層から多くの人々の惜しまれる声を背中いっぱいにうけて、「結論からいえば体力の限界、最近は精神的なハリがなくなって……」。

といいながらも「悔いはありません。ボクは本当に幸せでした」。とさわやかな言葉を残して青畳と別れを告げた。

昭和六十年定期総会

昭和六〇年四年七日、群接会館において総会が開催された。昭和五九年度行事経過報告、その他が行われた。続いて、昭和六〇年度の新役員の大方が定められ年間行事計画について等が検討された。以下新役員。

（会　長）
関口恒五郎（再）

（副会長）
山口　智（再）
関口　孝義（再）
森　英樹（新）

（理事長）
中島　淳吉（再）

（副理事長）
柳沢　勝之（再）

（審議委員長）
今井　孝造（再）

（部　長）
庶務、松本大五郎（新）会計、常見和民（新）審議、荒井国義（新）指導、石倉清一（新）

（指名理事）
須田信夫（再）小野貞義（再）鈴木元一（再）山本崇夫（再）

（支部長）
前橋、宮沢勧（新）高崎、牛込祥浩（新）桐生、福島昭吉（新）佐波、伊勢崎、貞幸（再）普及、宮沢勧（新）強化、新井禮次郎（再）広報、牛込祥浩（新）行事、樺沢光雄（新）女子、石井

「小林（育英）が優勝」
松前杯柔道大会

昭和六〇年三月二二日、東海大学湘南校舎、武道館において第一〇回松前杯柔道大会が開催され、本県から、七一キロ以下級に前商の星野、埴田。育英の黒沢、田島の四選手。八六キロ以下級に育英の小林、飯野。前商の岡泉、岩田の四選手、無差別級には育英の斉藤、原。前商の小林、高山の四選手、合せて一二人の選手が出場した。七一キロ以下級では星野悟（前商）が三位に入賞。八六キロ以下級では小林諭（育英）が優勝を果たした。

群馬　②―②　横須賀
宮崎○―　荒木
小林　―（二）原田
小椋　―○重田
今川　引分　浅津
根岸（二）―　徳差

関東女子
柔道選手権大会

関東女子柔道選手権大会は昭和六〇年五月二六日、横須賀市総合体育館で開催され、本県から新井左恵子（常盤二年）と、桜井文子（常盤職員）が出場したが惜しくも一回戦で敗退した。優勝は栃木県の黒川琴美選手。

第25回三笠艦記念
関東七県対抗

第二五回三笠艦記念関東七県対抗は、昭和六〇年五月二六日、横須賀市総合体育会館で開催された。優勝は神奈川県、本県は予選リーグから勝ちあがれなかった。Bブロック予選リーグ結果は左の通り。

群馬　△―②　茨城
宮崎　―○大沼
小林　引分　大久保
小椋　―○渡辺
今川　○―　広瀬
根岸　引分　春田

高崎市
乾内科クリニック
院長　乾　純和
高崎市下小塙町1635
☎(0273) 43―3368

第二十回群馬県高等学校総合体育大会
初優勝！利根商業高等学校
第三十三回関東高等学校柔道大会予選会

第二〇回群馬県高等学校総合体育大会柔道競技、兼第三三回関東高等学校柔道大会県予選会は、昭和六〇年五月一一日（個人戦）、一二日（団体戦）の両日県武道館で開催され、団体戦では利根商が前商を一対一の内容でやぶり、初優勝をした。以下戦績は左の通り。

一回戦

佐農▲③方場西邑業▲③前南
前西▲②伊東　新島③▲桐南
高北▲③前橋　渋川④▲高商
桐丘▲②前工　勢農⑤▲蚕系
桐生▲③伊工　藤工〇―安中
県央▲⑤樹徳　高工④▲大泉
伊商▲⑤沼田　中央▲⑤太工
大間間▲③嬬恋武尊▲③太田
渋工④▲渋西長野原▲④桐工

二回戦

前商⑥▲万場前南▲〇利根農
榛名②▲伊東　新島▲④高崎
藤岡③▲前橋　渋川②▲前工
館林③▲勢農　伊工▲⑤農二
利根商⑤▲藤工樹徳⑤▲富岡
高工▲④沼田本工▲③中之条
常磐⑤▲嬬恋　太田④▲板倉
吉井▲④渋工　桐工▲⑤育英

三回戦

前商⑤▲利根農榛名▲⑤高崎
藤岡▲②渋川　館林▲⑤農二
利根商④▲樹徳沼田①▲中之条
常磐⑤▲太田　渋工▲⑤育英

四回戦

前商④―▲高崎
渋川▲―③農二

利根商①―▲沼田
常磐▲―①育英

準決勝

前商▲―①利根商
埴田　引き分　諸田
小室　引き分　笛木
星野㊀―畑
小林―㊀宮崎
清水　引き分　竹渕

決勝

前商④―▲農二
利根商①―▲育英

敗者復活戦

高崎③▲渋工　渋川▲―②樹徳
沼田〇―▲館林常磐②▲利根農
高崎▲―③樹徳　沼田②▲常磐

個人戦

〔Aブロック〕

三回戦

小林　諭〇十字園　鈴木　善樹
（育英）　（高崎）
馬場　保明　横四方〇菊池　正幸
（伊工）　（中之条）

〔Bブロック〕

三回戦

小林　諭〇横四方　菊池　正幸
城田　潤二〇小外刈　斉藤　直市
高山　忠重〇大内刈　高橋　義典
保坂　勇　脇固め〇武田　義伸

準決勝

小林　諭〇大内刈　城田　潤二
高山　忠重　谷落し〇武田　義伸

決勝

小林　諭〇十字園　武田　義伸

四回戦

富前　明弘〇後袈裟　飯塚　真弘
（農二）　（万場）
宇木　清文―㊀静　忠之
（樹徳）　（育英）

浜田　剛〇大外刈　市川壮一郎
（藤岡）　（新島）
寺田　一成　袈裟固〇栗原　英一
（佐波農）　（常磐）
清水　崇行〇内　股林　道広
（前商）　（勢農）
須田　達也―㊀竹内　弘明
（高崎）　（利商）
鯉田　康弘　巡四方〇仲村　仁
（板倉）　（伊工）
田村　一衛　大内返〇青木　則夫
（渋工）　（沼田）

準決勝

富前　明弘―㊀静　忠之
浜田　剛内　股〇栗原　英一
清水　崇行〇裸絞め　竹内　弘明
仲村　仁―㊀青木　則夫

決勝

富前　明弘―㊀静　忠之
後袈裟〇栗原　英一
清水　崇行〇払い腰　青木　則夫

〔Cブロック〕

三回戦

富島　純一〇関節技　深井　勝彦
（利商）　（武尊）
川浦　一弘　足払い〇牛久保重智
（前橋）　（高商）

準決勝

富島　純一〇内　股　笠間　好雄
（樹徳）　（育英）

静　忠之　後袈裟〇栗原　英一
清水　崇行〇払い腰　青木　則夫

決勝

富島　純一〇内　股　笠間　好雄

武田　義伸―㊀清水　崇行
清水　崇行　背負投㊁笠間　好雄
武田　義伸　一本背〇笠間　好雄

▼ABCブロック二位者リーグ

小林　諭㊀―栗原　英一
栗原　英一　内　股〇富島　純一
小林　諭〇上四方　富島　純一
①小林諭②富島純一③栗原英一

▼ABCブロック一位者リーグ

①笠間好雄②清水崇行③武田義伸

個人戦（女子の部）

阪　千晶〇横四方　樋塚　優子
（育英）　（常磐）

四回戦

今井　一也〇大内刈　黒田　幸男
（農二）　（県央）
栖沢　邦剛　横四万〇石岩　光彦
（高工）　（常磐）
飯野　和仁〇関節技　吉卓　和典
（育英）　（前西）
町田　英樹　背負投〇笠間　好雄
（渋西）　（前商）
本間　清㊀―赤見　透
（中之条）　（新島）
清水　守　体落し〇生方　浩哉
（勢農）　（沼田）

準決勝

富島　純一〇横四方　牛久保重智
今井　一也　大内刈㊁石岩　光彦
飯野　和仁―㊀笠間　好雄
本間　清　上四方〇生方　浩哉

決勝

富島　純一〇十字園　石岩　光彦
富島　好雄㊀―生方　浩哉

決勝

富前　明弘〇後袈裟　飯塚　真弘
宇木　清文―㊀静　忠之

四回戦

富前　明弘―㊀静　忠之
浜田　剛内　股〇栗原　英一
清水　崇行〇裸絞め　竹内　弘明
仲村　仁―㊀青木　則夫

準決勝

静　忠之　後袈裟〇栗原　英一
清水　崇行〇払い腰　青木　則夫

決勝

富島　純一〇内　股　笠間　好雄

武田　義伸―㊀清水　崇行
武田　義伸　一本背〇笠間　好雄

▼ABCブロック二位者リーグ

①笠間好雄②富島純一③栗原英一

▼ABCブロック一位者リーグ

①笠間好雄②清水崇行③武田義伸

個人戦（女子の部）

阪　千晶〇横四方　樋塚　優子
（常磐）　（育英）

四回戦

新井左恵子〇体落し　須田　英美
（常磐）　横四方　（渋西）
阪　千晶　小内刈㊁新井左恵子
樋塚　優子〇背負投　須田　英美
阪　千晶〇　須田　英美
樋塚　優子　払い腰〇新井左恵子
①新井左恵子②阪千晶③樋塚優子
④須田英美

優勝、利根商業高等学校

佐藤勇夫監督談

二〇回もの大会の中で初めての優勝です。本当にうれしい事です。奇跡が起ったとしか思えませんが、選手の一人一人が本当によくやってくれました。中学時代にはベスト8ぐらいの選手ばかりで、特に目だったところはなかったようですが、高校に入って急速に進歩したようです。これは、OB会の人達のご協力の賜だと感謝しております。

（選手宣誓は柔道の星野　悟選手―前商―）

小林論選手が準優勝
団体戦二位に前橋育英
関東高校体育大会

関東高校体育大会は、昭和六〇年六月八日、東京、講道館で開催された。群馬県から、個人、団体とも高校総体の上位入賞者及び入賞校が出場した。個人戦では、前橋育英高校の小林論選手が準優勝、団体戦でも前橋育英高校が二位に入賞した。

個人戦
決勝トーナメント

一回戦

小林㊀―原田
（育英）　（横須賀学院）

準決勝

小林―㊀後藤
（育英）　（東海大相模）

決勝

小林　諭〇十字園　鈴木　善樹
（育英）　（高崎）
馬場　保明　横四方〇菊池　正幸
（伊工）　（中之条）

団体戦
決勝トーナメント

一回戦

前橋育英①―▲東海大浦安
前橋　商③―▲土浦日大

準準決勝

作新学院②―▲大宮工
前橋育英②―▲東海大相模
木更津中央①―▲私藤沢

準決勝

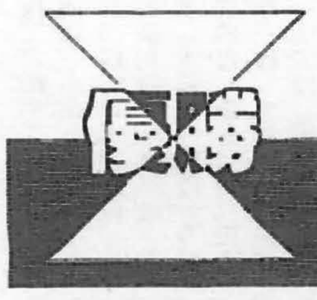
前橋育英▲―③世田谷学園
世田谷学園⑤―▲前橋　商

準決勝

前橋育英②―▲作新学園
世田谷学園③▲木更津中央

決勝

前橋育英▲―③世田谷学園
①世田谷学園②前橋育英③作新学園、木更津中央



一年生　高山忠重（前商）
二年生　栗原英一（常磐）
三年生　小林正佳（前商）

学年別＊学年別

群馬県高等学校、学年別（個人）大会は、昭和六〇年五月六日、県武道館で開催され学年チャンピオンが決った。四回戦からの戦績は左の通り。

▼一年生の部

四回戦

中島　潔〇横四方　染谷　貴裕
（沼田）　（前工）
高山　忠重〇払い腰　斉藤　秀次
（前商）　（万場）
奈良　昇志〇横四方　岩瀬　伸丈
（育英）　（本工）
坂田　実路　僅差〇北田　昌洋
（常磐）　（渋川）

五回戦

中島　潔　小外刈〇高山　忠重
奈良　昇志㊁返し技　北田　昌洋
宮寺雄一郎〇払い腰　新井　孝幸
小山　勝由〇体落し　武田　朗

準決勝

高山　忠重〇僅差　小山　勝由
①高山忠重②小山勝由③奈良昇志・宮寺雄一郎

決勝

高木　孝彰㊁一本背　富岡　克巳
（前商）　（農二）
賀美　芳隆〇小外刈　鳥田　隆之
（本工）　（渋西）
飯野　和仁〇上四方　真庭　隆光
（育英）　（利商）
永井　兼市　横四方〇栗原　英一
（渋工）　（常磐）
片岡　葵治　背負投〇石岩　光彦
（玉村）　（常磐）

▼二年生の部

四回戦

宮寺雄一郎〇上四方　島村　好則
（農二）　（渋川）
田村　弘之　内　股㊁新井　孝幸
（利商）　（万場）
松本　英尚　大外刈㊁小山　勝由
（桐生）　（前商）
武田　朗㊁足払い　鶴田　裕司
（常磐）㊁払い巻　（前西）

住まい造りのお手伝い
角屋工業株式会社
代表取締役　角屋浩司
沼田市戸鹿野町59-4　☎(0278)23-5321(代)

井浦接骨院
院長　井浦康彦
利根郡月夜野町後閑175
☎0278(62)2501

第三五回群馬県高等学校柔道選手権大会、兼、第三四回全国高等学校柔道大会群馬県予選は、昭和六〇年六月二日、個人戦、体重別四階級及び女子の部。昭和六〇年六月二二日、団体戦が県武道館で開催された。個人戦、団体戦の戦績は左の通り。

第35回群馬県高等学校柔道選手権大会　第34回全国高等学校柔道大会群馬県予選

団体優勝は前橋商業高等学校

女子の部　新井左恵子（常磐）
軽量級　井上和己（前商）
中量級　星野悟（前商）
軽重量級　小林論（育英）
重量級　小林正佳（前商）

個人戦

畑　伸之○横四方　入江　剛

▼軽量級

三回戦

（利商）岩渕　英明　○一貝瀬　雅久（吉井）
（藤岡）　（利農）
茂木　和幸○合せ技　阿藤　栄　鈴木　良地　片羽絞○須田　好和
（高崎）　（前商）
吉田　文彦　送襟絞○宇津木洋一　増島　千春　十字固○多胡　利己
（渋工）　（渋川）　（板倉）　（育英）
松原　太宏○一　高橋　登（中之条）

岩野　雅広　合せ技○太田　順一（伊工）　（利商）
諸田　猛○十字固　片田陽一郎（利商）　（渋工）
関　正信　肩固め○八須　雅樹（高崎）　（樹徳）
石田　哲保○背負投　羽鳥　裕（渋川）　（伊工）
横沢　和利　上四方○井上　和己（前工）　（前商）
田島　章充○　宮沢　英正（育英）　（利商）
梅山　和喜　背負投○鵜田　政志（渋西）　（常磐）
本多　大志○片羽絞　佐藤　潤一（利農）　（沼田）
金子　雅明○片羽絞　竹本　哲也（桐生）　（高崎）

四回戦

畑　伸之○上四方　貝瀬　雅久
茂木　和幸　上四方○須田　好和
宇津木洋一○払い腰　多胡　利己
松原　太宏　○一太田　順一
諸田　猛○一　八須　雅樹
石田　哲保　○一井上　和己
田島　章充　背負投○鵜田　政志
金子　雅明○片羽絞　竹本　哲也（桐生）　（高崎）

五回戦

畑　伸之　捨小内○須田　好和
宇津木洋一　一本背○太田　順一
諸田　猛　○一井上　和己
鵜田　政志○背負投　本田　大志
本田　大志○体落し　金子　雅明

準決勝

須田　好和　○一井上　和己
井上　和己○一　太田　順一
　　鵜田　政志

決勝

須田　好和　○一井上　和己
①井上和己②須田好和③太田順一・鵜田政志

▼中量級

三回戦

星野　悟○上四方　関本　秀男（前商）　（伊工）
山口　彰　送襟絞○武田　朗（嬬恋）　（常磐）
長井　兼市　送足払○今井　一也（渋工）　（農二）

岩渕　英明　○一貝瀬　雅久（吉井）
（藤岡）　（利農）
茂木　和幸○合せ技　阿藤　栄　鈴木　良地　片羽絞○須田　好和
（高崎）　（前商）
吉田　文彦　送襟絞○宇津木洋一　増島　千春　十字固○多胡　利己
（渋工）　（渋川）　（板倉）　（育英）
松原　太宏○一　高橋　登（中之条）

田貝　勝彦　○一市川　晃久（吉井）　（高崎）
小室　篤○払い腰　小野塚　寅（前商）　（前橋）
野田　猛○大外刈　小野里和也（太工）　（藤岡）
黒沢　正典○縦四方　狩野　和昭（育英）　（前西）
三枝　洋　袈裟固○斉藤　直市（渋西）　（沼田）
埴田　直勝○上四方　田村　孝幸（前商）　（利農）
前原　一雄　十字固○田島　隆行（桐生）　（育英）
生方　一正○払い腰　飯塚　真弘（前商）　（万場）
高橋　勝　横四方○角田　泰紀（沼田）　（渋工）
横塚　明久○一　笛木　幹雄（常磐）　（利商）
串田　英一　縦四方○入沢　憲二（藤工）　（育英）
小室　篤○十字固　斉藤　直市
埴田　直勝○一　田島　隆行
生方　一正大内刈○入沢　憲二

準決勝

星野　悟○縦四方　今井　一也
小室　篤○十字固　斉藤　直市
埴田　直勝○一　田島　隆行
生方　一正○送足払　角田　泰紀
横塚　明久　縦四方○入沢　憲二

決勝

星野　悟○青負投　埴田　直勝
①星野悟②埴田直勝③小室篤・入沢憲二

▼軽重量級

三回戦

小林　諭○横四方　松島　正明（桐生）　（育英）

星野　悟○上四方　武田　朗（館林）　（利商）
今井　一也○袈裟固　市川　晃久（渋工）　（藤工）
小室　篤○大外刈　野田　猛（藤岡）　（利農）
黒沢　正典　○一斉藤　直市（育英）
生方　一正○送足払　角田　泰紀（前商）
横塚　明久　縦四方○入沢　憲二（万場）

四回戦

星野　悟○上四方　今井　一也
小室　篤○十字固　斉藤　直市
埴田　直勝○一　田島　隆行
生方　一正大内刈○入沢　憲二

準決勝

星野　悟○青負投　小室　篤
埴田　直勝○上四方　入沢　憲二

決勝

小林　諭○内股　飯野　和仁
①小林諭②飯野和仁③岩田晴行・竹渕伸二

五回戦

星野　悟○縦四方　今井　一也
小室　篤○十字固　斉藤　直市
埴田　直勝○一　田島　隆行
生方　一正○送足払　角田　泰紀
横塚　明久　縦四方○入沢　憲二

準決勝

小林　諭○小外刈　岩田　晴行
竹渕　伸二　腕絡み○飯野　和仁

決勝

小林　諭○内股　飯野　和仁
①小林諭②飯野和仁③岩田晴行・竹渕伸二

群馬県高等学校学年別大会

（個人戦）

▼重量級

三回戦

小林　正佳○内股　小森　重成（前商）　（伊工）
真庭　隆光　払い腰○宮永　政行（利商）　（太工）
小野　清○袈裟固　荒井　秀明（板倉）
野田　聡○　狩野　裕一（育英）　（常磐）
斉藤　泰光○払い腰　須田　達也（育英）　（高崎）
清水　俊幸　大外刈○保坂　勇（桐丘）　（前工）
町田　英樹○袈裟固　清水　義通（高商）
菊地　正幸　横四方○栗原　英一（中之条）　（常磐）
原　泰之○　井上　明隆（育英）　（伊東）
藤野　一豊　○高村　好則（桐工）　（渋川）
石岩　光彦○腕絡み　安保　智明（常磐）　（伊工）
中島　潔　大外刈○清水　崇行（沼田）　（前商）
宮崎　高久○払い腰　坂本　利男（中之条）　（高崎）
新井　勝利　横四方○宮前　明弘（渋西）　（農二）
須藤　英一○袈裟固　酒井田　晶（常磐）　（育英）
斉五沢　剛　横四方○宮崎　純一（館林）　（利商）

小林　正佳○内股　石田　晋保（前商）　（伊工）
丸橋　隆行○一　差　宮永　政行（渋川）　（太工）
内田　智之　横四方○酒井田　晶（農二）　（育英）
（高崎）

五回戦

高木　孝彰○横四方　賀美　芳隆（前商）　（渋川）
飯野　和仁　内股○栗原　英一（伊東）　（中之条）
石岩　光彦○一　差　清水　崇行（沼田）　（前商）
丸橋　隆行　内股○酒井田　晶（育英）　竹渕　伸二　横四方○武田　義伸（利商）

準決勝

高木　孝彰　関　節○栗原　英一（常磐）
石岩　光彦○一　差　酒井田　晶　保坂　勇　袈裟固○原　泰之（前工）　（育英）

決勝

狩野　裕一○一　差　深野　悦司（常磐）　（樹徳）

栗原　英一○後袈裟　石岩　光彦（前商）　（渋川）
①栗原英一②石岩光彦③高木孝彰・酒井田晶

▼三年生の部

四回戦

小林　正佳○内股　石田　晋保（前商）　（渋川）
菊池　正幸○内　股　生方　浩哉（中之条）　（沼田）

準決勝

竹渕　伸二　横四方○武田　義伸（利商）　（常磐）
富崎　純一○十字固　高橋　義則（利商）　（農二）

決勝

小林　正佳○一　差　宮崎　純一（前商）　（伊工）
①小林正佳②宮崎純一③原泰之・小林諭

茂木　治　足取小○笠間　好雄（佐農）　（前商）
鈴木　良也　従四方○小林　諭（高崎）　（育英）

五回戦

小林　正佳○払い腰　菊池　正幸
武田　義伸　袈裟固○原　泰之
富崎　純一○十字固　狩野　裕一
笠原　好雄　崩袈裟○小林　諭

準決勝

小林　正佳○払い腰　原　泰之
富崎　純一○一内　股　小林　諭

決勝

小林　正佳○一　差　宮崎　純一（前商）　（伊工）
①小林正佳②宮崎純一③原泰之・小林諭

■女子の部

（決勝リーグ）

稲塚　優子一○新井左恵子（常磐）　（常磐）

新井左恵子○一　霞　千晶（常磐）
須田　英美一○稲塚　優子（沼田）　（常磐）
稲塚　優子一○霞　千晶（常磐）
須田　英美一○新井左恵子（沼田）　（常磐）
①新井左恵子②霞千晶③稲塚優子④須田英美

団体戦

一回戦

太田③—②前　南（伊工）⑤—△伊　商
武尊△—④高　商　桐工△—⑤樹　徳
富岡①—△桐　生　板倉△—③渋　工
利根農③—△高　崎　大泉△　⑤前　西
中之条④—△桐ヶ丘　嬬恋△—⑤前　商
藤岡⑤—△西邑楽
沼田⑤—△渋　西
常磐⑤—△吉　井
伊工③—△勢多農
樹徳④—△伊　東
前西③—△藤　工
嬬恋△—③高　工

二回戦

利根商⑤—△太　田　三回戦
高商③—△太　工　利根商④—△高　商
前橋△—⑤渋　川　渋川④—△高　北
富岡△—③高　北　利根農③—△館　林
桐南△—④利根農　中之条△—①農　二
明和県央△—④館　林　育英⑤—△前　工
佐波農△—⑤中之条　樹徳△—⑤前　商
藤岡△—③農　二
育英③—△沼　田
常磐⑤—△長野原
工③—②万　場

四回戦

利根商④—△渋　川
利根農△—⑤農　二
育英⑤—△前　工
樹徳△—⑤前　商

準決勝

利根商③—△農　二
育英△—②前　商

決勝

前商②—△利根商
岩田×竹渕
生方　内透○諸田
星野×宮崎
清水○払腰　小野塚
小林○払腰　笛木

群馬県柔道連盟　新田・太田支部

支部長	柴　義人	喜　清治	総部長	剣持　和　彦	
副支部長	関口　賢史	喜　市豊也	強化部長	関木　昌隆之和郎	
副支部長	栗原　卓		副強化	吉川　俊二	
理事長	木暮島　相		指導部長	横内　史	
会計部長	岡崎		副指導	奥沢	
副会計	富川		普通部長	木暮	
総務部長			審議部長		

個人戦78キロ超級優勝

青野雅史君(玉村中)

第9回群馬県中学校春季柔道大会

第九回群馬県中学校春季柔道大会は、団体戦が昭和六〇年六月九日、個人戦は同六月二三日、県武道館で開催された。以下戦績は左の通り。

個人戦

五五キロ以下級

二回戦
松島　達也○―田代　仁志（尾島）
梅沢　真史―○半田　克也（境南）
伏見　英則―○小畑　孝博（太東）
狩野　忠―○長谷川　亮（桐北）
金子　伸和―○秋元　浩一（赤北）
山田　透○―福田　一彦（館三）
瀬適木信道○―原沢　貞和（前三）
鶴見　純也○―棗　権（太西）
大槻　―○栗原　宏司（新治）
高橋　龍太○―樺沢　邦彦（渋北）
柳沢　健一○―高橋　英丹（高一）
高橋　達也○―南雲　健次（富岡）
常見　州勇○―松井　英樹（古巻）
須田　英輝○―是沢　宏行（池田）
柳沢　剛―○松本　茂昌（箕郷）
矢島　健一―○山崎　剛（富南）

三回戦
松島　達也○―半田　克也（藤北）
小畑　孝博―○長谷川　亮（木瀬）
秋元　浩一○―柳沢　健一（子持）
牛込　―○小林　三宮○―小村（鎌倉）
吉村　○―小杉　井上―○小林（水上）
新井（な）―○本多　大沢　―○大間間東（渋北）
柳井（ま）○―諸田　高橋　―○北爪（佐東）
羽鳥　幸一○―山中　久幸　茂原　―○堀越（子持）
橋本　誠○―見田村健司　髙橋　龍太○―瀬適木信道（宮郷）

四回戦
松島　達也○―長谷川　亮（赤北）
秋元　浩一○―柳沢　健一（塚沢）
高橋　龍太○―鶴見　純也（古巻）
常見　州勇○―山崎　剛（邑楽）

準決勝
松島　達也○―秋元　浩一（館三）
高橋　龍太○―常見　州勇（富南）

決勝
松島　達也○―常見　州勇（前六）

①松島達也（新田尾島中）
②常見州勇（佐波境南中）
③秋元浩一（邑楽中）、高橋龍太（高崎一中）

六五キロ以下級

二回戦
河合　和彦○―及川　充（綿打）
松本　光弘―○重野　天秀（榛名）
赤坂　学○―大塚　正樹（城西）
須藤　誠昭○―宮下　健一（粕川）
羽鳥　幸一○―山中　久幸（子持）
橋本　誠○―見田村健司（宮郷）

三回戦
河合　和彦○―重野　天秀（万場）
赤坂　学○―須藤　誠昭（榛名）
羽鳥　幸一○―橋本　誠（小沢）
小沢　哲夫―○岡田　信昭（竹内）
竹内　玲人―○黛　豊（桶垣）
桶垣　秀樹―○桑子　精一（福島）
福島　正幸○―入沢　未光（西沢）
西沢　康明○―清水　和樹（羽鳥）
羽鳥　幸一○―岡田　信昭（黛）
黛　豊―○桑子　精一（福島）
福島　正幸○―西沢　康明（橋本）

四回戦
和彦○―須藤　誠昭（河合）
幸一○―岡田　信昭（羽鳥）
桑子　精一○―福島　正幸（桑子）

準決勝
河合　和彦○―羽鳥　幸一（桑子）

決勝
羽鳥　幸一―○桑子　精一（①桑子精一（太田強戸中）②羽鳥幸一（北群子持中）③河合和彦（利根新治中）、福島正幸（渋川中））

七八キロ以下級

二回戦
高木　啓光○―小林　昭博（安二）
三原　一宏―○木村　和豊（殖蓮）
木暮　守宏○―小沢　和也（下東）
長谷川正樹―○内山　康久（境）
広神　浩治○―三瓶　和博（榛名）

三回戦
富山　義三○―中里　知洋（篠崎）
高則―○深代　和信（福田）
和重○―新井　尚登（松島）
正―○家合　義一（青野）
雅史○―小鮒　崇（川野）
伸二○―萩原　伸一（三田）
博幸―○松島　正（諏訪）
勝之○―富沢　一三（玉村）
小鮒　崇○―棗　権（中央）
伸二○―松本　慎助（川野）
荒木　慎吾―○萩原　伸一（前五）
田中　潤市―○三田　博幸（伊香保）
松島　正○―小島　達也（勢東）
池田　剛―○諏訪　勝之（桐北）
富沢　一三○―八木原　悟（草津）

四回戦
富山　義三○―深代　和信（福田）
和重○―家合　義一（青野）
雅史○―川野　伸二（松島）
正○―諏訪　勝之（準決勝）富山　義三○―家合　義一（青野　雅史○―松島　正（勢多東中）

決勝
富山　義三○―青野　雅史（①青野雅史（玉村中）②家合義一（桐生北中）③富山義三（長野原中）、松島正（勢多東中））

準決勝
松島　達也○―田代　仁志（境南）
梅沢　真史―○半田　克也（宮郷）
伏見　英則―○小畑　孝博（桐北）
狩野　忠―○長谷川　亮（赤北）
金子　伸和―○秋元　浩一（邑楽）
山田　透○―福田　一彦（群馬南）
柳沢　健一○―高橋　英丹（安一）
高橋　達也○―南雲　健次（沼田）
高橋　龍太○―樺沢　邦彦（前三）
瀬適木信道○―原沢　貞和（新治）
大槻　―○栗原　宏司（大泉北）
鶴見　純也○―棗　権（尾島）
常見　州勇○―松井　英樹（池田）
須田　英輝○―是沢　宏行（伊一）
柳沢　剛―○松本　茂昌（藤北）
矢島　健一―○山崎　剛（子持）

三回戦
松島　達也○―半田　克也（藤北）
小畑　孝博―○長谷川　亮（木瀬）
秋元　浩一○―柳沢　健一（子持）
牛込　―○小林　三宮○―小村（鎌倉）
吉村　○―小杉　井上―○小林（水上）
新井（な）―○本多　大沢　―○大間間東（渋北）
柳井（ま）○―諸田　高橋　―○北爪（佐東）
羽鳥　幸一○―山中　久幸　茂原　―○堀越（子持）
橋本　誠○―見田村健司　高橋　龍太○―瀬適木信道（宮郷）

四回戦
松島　達也○―長谷川　亮（赤北）
秋元　浩一○―柳沢　健一（塚沢）
高橋　龍太○―鶴見　純也（古巻）
常見　州勇○―山崎　剛（邑楽）

準決勝
松島　達也○―秋元　浩一（館三）
高橋　龍太○―常見　州勇（富南）

決勝
松島　達也○―常見　州勇（前六）

①松島達也（新田尾島中）
②常見州勇（佐波境南中）
③秋元浩一（邑楽中）、高橋龍太（高崎一中）

六五キロ以下級

二回戦
河合　和彦○―及川　充（綿打）
松本　光弘―○重野　天秀（榛名）
赤坂　学○―大塚　正樹（城西）
須藤　誠昭○―宮下　健一（粕川）
羽鳥　幸一○―山中　久幸（子持）
橋本　誠○―見田村健司（宮郷）

三回戦
河合　和彦○―重野　天秀（万場）
赤坂　学○―須藤　誠昭（榛名）
羽鳥　幸一○―橋本　誠（小沢）
小沢　哲夫―○岡田　信昭（竹内）
竹内　玲人―○黛　豊（桶垣）
桶垣　秀樹―○桑子　精一（福島）
福島　正幸○―入沢　未光（西沢）
西沢　康明○―清水　和樹（羽鳥）
羽鳥　幸一○―岡田　信昭（黛）
黛　豊―○桑子　精一（福島）
福島　正幸○―西沢　康明（橋本）

四回戦
和彦○―須藤　誠昭（河合）
幸一○―岡田　信昭（羽鳥）
桑子　精一○―福島　正幸（桑子）

準決勝
河合　和彦○―羽鳥　幸一（桑子）

決勝
羽鳥　幸一―○桑子　精一（①桑子精一（太田強戸中）②羽鳥幸一（北群子持中）③河合和彦（利根新治中）、福島正幸（渋川中））

七八キロ以下級

二回戦
高木　啓光○―小林　昭博（安二）
三原　一宏―○木村　和豊（殖蓮）
木暮　守宏○―小沢　和也（下東）
長谷川正樹―○内山　康久（境）
広神　浩治○―三瓶　和博（榛名）

三回戦
富山　義三○―中里　知洋（篠崎）
高則―○深代　和信（福田）
和重○―新井　尚登（松島）
正―○家合　義一（青野）
雅史○―小鮒　崇（川野）
伸二○―萩原　伸一（三田）
博幸―○松島　正（諏訪）
勝之○―富沢　一三（玉村）
小鮒　崇○―棗　権（中央）
伸二○―松本　慎助（川野）
荒木　慎吾―○萩原　伸一（前五）
田中　潤市―○三田　博幸（伊香保）
松島　正○―小島　達也（勢東）
池田　剛―○諏訪　勝之（桐北）
富沢　一三○―八木原　悟（草津）

四回戦
富山　義三○―深代　和信（福田）
和重○―家合　義一（青野）
雅史○―川野　伸二（松島）
正○―諏訪　勝之（準決勝）富山　義三○―家合　義一（青野　雅史○―松島　正（勢多東中）

決勝
富山　義三○―青野　雅史（①青野雅史（玉村中）②家合義一（桐生北中）③富山義三（長野原中）、松島正（勢多東中））

準決勝
榛名　中5―0柏川中
子持　中3―1境南中

決勝
子持　中3―2榛名中

準決勝
境南　中4―0榛東中
子持　中3―0長野原東
万場　中3―0邑楽中

二回戦
榛名　中2―0尾島中
山岸㊁―背負　松本
①子持中②榛名中③境南中
③柏川中

準決勝
榛名　中5―0前橋六中
榛名　中2―0安中二中
柏川　中5―0城西中
境南　中5―0下仁田東
子持　中5―0万場中

準決勝
北野　雄二―○塩浦　和平（新治）
神戸　明○―入沢　勲（富南）
町田　好明―○狩野　敦（大胡）
渡辺　浩充―○吉田臣次郎（強戸）
今井　哲也○―岡田　重治（下東）
福島　博一―○根岸　天明（綿打）
小野　勝男―○高野　進（水上）
松枝　義○―深沢　貞雄（前二）
三浦　修―○大沢　隆志（桜木）

三回戦
高木　啓光○―木村　和豊
木暮　守宏○―内山　康久
広神　浩治○―塩浦　和平
神戸　明―○狩野　敦
吉田臣次郎―○根岸　天明
高野　進―○松枝　義
今井　哲也―○川端　真治
斉藤　道彦―○大沢　隆志

四回戦
高木　啓光○―木暮　守宏
広神　浩治―○狩野　敦
根岸　天明○―松枝　義
川端　真治―○大沢　隆志

準決勝
高木　啓光○―狩野　敦
根岸　天明―○大沢　隆志

決勝
高木　啓光○―大沢　隆志（①高木啓光（安中二中）②大沢隆志（榛名中）③狩野敦（倉賀野中）、根岸天明（伊勢崎四中））

七八キロ超級

二回戦
大谷　政行―　富山　義三（尾島）
荒井　清志―　中里　知洋（藤東）
田辺　和称―○篠崎　高則（利南）
深代　和信○―勝田　明良（太南）
福田　和重○―田口　勝治（箕郷）
米山　正宗―○新井　尚登（渋北）
松島　正○―槙村　俊輔（伊一）
坂本　栄―○家合　義一（粕川）
青野　雅史○―高瀬　恵樹（桐北）

準決勝
北爪　○―小田
本多　―○柳井（ま）

決勝
北爪　○―柳井（ま）（①北爪弘子（赤堀中）②柳井真奈美（塚沢中）③小田香織（前二中）、本多暁子（前二中））

中学女子優勝

赤堀中　北爪　弘子さん

二位　塚沢中　松井真奈美さん

（各クラス上位入賞者）

中学校春季大会女子の部は、例年にない激戦が展開された。上位入賞者の、北爪弘子、柳井真奈美、小田香織、本多暁子選手には期待も大きい。

二回戦
高橋　―○茂原（水上）
掘越　○―林（藤岡）
武井（さ）―○高橋（佐野）
竹内　―○北爪（前二）
小田　○―小島（ち）（前二）

団体は子持中が制覇

団体戦は、各地区の代表二四校が三校づつ八ブロックに分れて予選リーグ戦を行い、各ブロックで勝ち残った二校、合せて一六校によって決勝トーナメント戦を行い、優勝を競った。戦績は左の通り。

★決勝トーナメント（上段が勝ち校）

一回戦
境南　中4―0榛東中
子持　中3―0長野原東
万場　中3―0邑楽中

二回戦
榛名　中2―0尾島中
山岸㊁―背負　松本
①子持中②榛名中③境南中
③柏川中

準決勝
榛名　中5―0柏川中
子持　中3―1境南中

決勝
子持　中3―2榛名中

準決勝
羽鳥　小内㊂―広神
港　　体落㊀―大澤
関口○一背　清水
白井○払腰　大井
山岸㊁背負　松本

準決勝
河合　和彦○―羽鳥　幸一
桑子　精一○―福島　正幸

決勝
羽鳥　幸一―○桑子　精一（①桑子精一（太田強戸中）②羽鳥幸一（北群子持中）③河合和彦（利根新治中）、福島正幸（渋川中））

昭和60年4月開院
高崎駅東口前
長瀬接骨院
接骨師　長瀬高志
高崎市栄町2の21
☎(0273)25-3544

昭和60年4月開業
高橋接骨院
接骨師　高橋利明
施療時間　午前8時～12時30分
午後3時～6時30分
高崎市小八木町1506-2　☎(0273)63-1172

第四回高崎スポ少

佐藤少年団が大活躍

第四回高崎市スポーツ少年団柔道大会は、昭和六〇年五月二六日（日）、高崎市武道館に、佐藤、高崎石原、堤ケ岡、箕郷、茂原、松井田、高崎西部の各スポーツ少年団七団体、二三五人の参加によって開催された。

団体戦では、小学生、中学生の部に優勝、個人戦においても佐藤スポーツ少年団の活躍が目立った大会であった。個人各部、団体戦の三位までは左の通り。

✣個人戦✣

▼小学一年の部
①高橋寛（西部）②石井秀行（佐藤）③田島誠司（西部）、渡辺幸治（堤ケ岡）

▼小学二年の部
【軽量級】
①恩田元仁（佐藤）②坂本周平（堤ケ岡）③長井芳光（西部）、山田敏広（松井田）

【重量級】
①吉田幸司（西部）②嶋方剛（西部）③本間貴之（佐藤）、矢野高志（松井田）

▼小学三年の部
【軽量級】
①沢木輝和（佐藤）②石井猛志（佐藤）③長井秀憲（佐藤）、橋村大介（堤ケ岡）

【重量級】
①田端洋一（佐藤）②佐藤正信（佐藤）③川村徹（松井田）、堀越義則（石原）

▼小学四年の部
【軽量級】
①高橋俊将（佐藤）②城田伊織（佐藤）③本間友和（佐藤）、押切克行（佐藤）

【重量級】
①永岡祐一（佐藤）②柳沢篤史（佐藤）③外処忍（西部）、嶋方誠（西部）

▼小学五年の部
【軽量級】
①速水直樹（堤ケ岡）②坂本大輔（堤ケ岡）③坂本太郎（堤ケ岡）、渡辺真悟（堤ケ岡）

【重量級】
①笠原武彦（石原）②小枝剛（西部）③戸塚宣昭（西部）、長谷川友彦（西部）

▼小学六年の部
【軽量級】
①佐藤義則（佐藤）②根岸利宏（佐藤）③恩田貴（佐藤）、藤本宏（佐藤）

【重量級】
①金沢勇一（佐藤）②生方勝己（堤ケ岡）③悴田一輝（西部）、広田耕志（堤ケ岡）

▼中学一年の部
【軽量級】
①広兼昌隆（佐藤）②小松崎哲史（佐藤）③瀬間武（佐藤）、小島健一（佐藤）

【重量級】
①大井貴志（西部）②高橋幹夫（石原）③小出聡（佐藤）、永井和雄（箕郷）

▼中学二年の部
【軽量級】
①大谷秀樹（石原）②長谷川亮（佐藤）③横山貴志（石原）、堀越大司（石原）

【重量級】
①戸塚信幸（西部）②佐藤信文（石原）③萩原伸一（石原）、柳沢健一（西部）

▼中学三年の部
【軽量級】
①宮下健一（佐藤）②須田英輝（箕郷）③清水純一（西部）、野上誠久（西部）

【重量級】
①福田和重（箕郷）②増田実（箕郷）③篠崎高則（佐藤）、西山直幸（西部）

✣女子の部✣

■小学一年の部
①中島楠（石原）②本川潤子（石原）

■小学二年の部
①藤川友紀（堤ケ岡）②金井志保子（松井田）

■小学三年の部
①佐藤聖子（佐藤）②小野友美（石原）③小枝里恵（西部）、本川淑子（石原）

■小学四年の部
①田中小百合（堤ケ岡）②浅川つぐみ（石原）、菊地純子（石原）

■小学校五年の部
①中島綾子（石原）②剣持恵理（堤ケ岡）③佐藤美保（佐藤）、小林麗子（石原）

■小学六年の部
①吉沢久美子（石原）②押切恵（佐藤）③田島益美（茂原）

■中学一年の部
①笠原直美（石原）②本川滋子（石原）

■中学二年の部
①茂原和子（茂原）②木村裕美（佐藤）

✣団体戦✣

（小学生の部）
①佐藤スポーツ少年団②高崎石原スポーツ少年団③堤ケ岡スポーツ少年団、箕郷スポーツ少年団

（中学生の部）
①佐藤スポーツ少年団②高崎石原スポーツ少年団③高崎西部スポーツ少年団、箕郷スポーツ少年団

（佐藤伯幸記）

前橋市民柔道大会

女子、抜群の強さ

本多暁子さん

前橋市民柔道大会は、昭和六十年五月三日（金）午前九時より前橋市民体育館柔道場で開催された。入賞者は左の通り。

【小学校】

▼一年
①藤田剛（附属）②鈴木才樹（芳）③小見和浩（嶺）

▼二年
①森本晃司（岩神）②須藤真也（広瀬）③須藤美春（荒子）

▼三年
①高橋学（中央）②山本学（附属）③周東利至（永明）、若井修（天神）

▼四年
①小林篤史（元総社）②本多善光（城東）③徳永力（附属）、福田剛（元総社北）

▼五年
①赤沢良太（桂萱）②小川真太郎（岩神）③小沢宣信（総社）、栗間政人（桃木）

▼六年
①斉藤直樹（山王）②吉良武夫（朝倉）③若井真（天神）、金井章人（細井）

【中学校】

▼一年
①田島淑充（附属）②静俊明（南橘）③酒井亮（附属）、安藤修（春日）

▼二年
①塩浦三明（木瀬）②境原守（一）③川和仁（広瀬）、河村俊英（二）

▼三年
①富沢秀之（四）②岡田信昭（木瀬）③塩浦和平（木瀬）、狩野直樹（鎌倉）

【高等学校】

▼一年
①奈良昇志（育英）②田島章充（育英）③鎌塚正志（育英）金子浩（育英）

▼二年
①野村英樹（育英）②清水信晴（育英）③橋本裕之（育英）、高橋重人（育英）

▼三年
①登坂和久（育英）②高橋崇（育英）③田島満（育英）、中林亮一（育英）

【一　般】

▼無段者
①小川賢一（群大）②富田久生（刑務官）③池上欣四郎（刑務官）、狩野和彦（田島道場）

▼初段
①志村龍男（群大）②田口一行（刑務官）③璽谷建志（群大）

▼二段
①金子利弘（県武道館）

▼三段
①八木原真一（田島道場）

【小学校】女子

▼二年
①田島明紀子（城東）②堤山みどり（城東）

▼三年
①本多陽子（城東）②浅野智美（桃木）

▼四年
①田島真紀子（城東）②小見祐子（嶺）③程山弥生（城東）

▼五年
①須藤英子（荒子）

▼六年
①出沢知美（城東）②長津富士子（荒牧）

【中学校】

▼一年
①本多暁子（二）②古谷さおり（鎌倉）③牛込綾子（鎌倉）、伊比恵子（鎌倉）

▼二年
①竹内里佳（二）②島田香（四）

【高等学校】

①山田啓子（群女附）

【一　般】

①狩野礼子（田島道場）

初めての優勝

高崎塚沢小六年　金沢勇一

やっと優勝できた。ぼくは、二年生の時から柔道をずっーとやってきて初めての優勝である。いままでの成績は準優勝までがやっとだった。だからとてもうれしい。

ぼくは試合の日皆んな強そうなのであまり自信がなかったが、道場の先生が「今回はチャンスだから気合を入れていけ。」といわれた。今日の作戦は背おい投げでやってみようと思った。試合を勝ち進むにつれて気合が入ってきた。そして決勝まできた。決勝の相手は、ぼくと同じように背おい投げをする。

ぼくは必ず勝つと思った。そしてついに初めて優勝ができた。明日からは、もっともっと練習をして、いつも優勝したい。

柔道をやって

高崎塚沢中三年　宮下健一

僕が柔道を始めたのは中学一年の時でした。最初は学校の部活動だけでやっていましたが、中学一年の十月に佐藤道場に入門しました。入門したてのうちは練習についていけませんでしたが、早く練習についていけるように一生懸命練習しました。けれども最初のうちは、試合に出ても一回戦で負けたりして成績はあまりよくありませんでした。でも、練習を積んでいくうちに試合の成績もよくなっていきました。

そして、第三十九回高崎市民柔道大会の中学二年軽中量級の部で初めて優勝しました。それから調子がよくなっていき、五月二十六日におこなわれた第四回高崎市スポーツ少年団大会で、中学生団体の部に優勝、個人戦では中学三年軽量級の部で優勝しました。団体戦では予想どうり決勝で高崎柔道教室とあたりました。みんながんばって三対二で勝ちました。個人戦でも思っていたより楽に勝てました。

この試合でうれしかったことは、優勝したことはもちろんですが、それよりもいつも練習していたにもかかわらず、試合で一回も一本をとったことのなかった背負い投げが、二本もきまったことでした。これは、佐藤先生の指導のおかげと今までやってきた苦しい練習の成果だと思います。

これからも、もっともっと練習をして良い試合ができるように頑張りたいと思います。

団体優勝、毛呂柔道場

21団体、192人が出場

第6回邑楽町長杯争奪近県少年柔道大会

昭和五九年体育年度は連日、雨と風に悩まされたがしめくくりの最終日、三月三一日は群馬柔道の発展を寿ぐかのような好天に恵まれた。第六回邑楽町長杯争奪近県少年柔道大会は、邑楽町武道館に栃木、埼玉群馬の精鋭二一団体、小学生一年から六年まで一八九人の選手の出場によって開催された。個人戦、団体戦の入賞は左の通り。

【個人戦】

▼一年生
①川島真二（毛呂）②大川義行（昭徳館）③寺本裕輝（羽生市）、岡ノ谷州啓（岡ノ谷）

▼二年生
①小林陽介（阿部）②小山武彦（桐生市）、③小菅均（羽生市）、大竹敬司（邑楽町）

▼三年生
①木村年克（毛呂）②小宮大輔（岡ノ谷）③清水彰（羽生市）、栗原俊夫（邑楽町）

▼四年生
①飯塚淳（毛呂）②三田泰平（岡ノ谷）③新井靖（岩舟町）、永島孝行（岩舟町）

▼五年生
①須永徳義（岡ノ谷）②近野好秋（剣持）③永島浩行（岩舟町）、星野光伸（境町）

▼六年生
①井上裕光（尾島町）②戸口恵孝（吉田）3福島満広（毛呂）早川教吉（邑楽町）

【団体戦】
①毛呂柔道場②修練塾岡ノ谷道場③岩舟少年柔道会
（中里伍一通信員）

群馬県柔道連盟　前橋支部

支部長　宮沢　勧
前橋市表町1—25—1　☎(0272) 21—5515

副支部長　柳谷勝之
田島敏隆
樺沢光雄
理事長　石倉貞之
会計部長　小林充

昭和60年度　行事予定

月	日	曜	県内行事	時間	会場
4	7	日	全国少年柔道大会予選	9:00	県武道館
	7	日	柔連本部総会	15:00	群馬会館
	14	日	関口杯支部対抗柔道大会	10:00	県武道館
	21	日	審判講習会	9:00	〃
5	6	月	高校学年別大会(個人)	9:00	県武道館
	11	土	高校総体兼関東予選(個人)	〃	〃
	12	日	〃 (団体)	〃	〃
	26	日	本部審査(一般3・4段，女子)	10:00	〃
6	2	日	高校選手権大会(個人)	9:00	県武道館
	9	日	中学校春季大会(団体)	〃	〃
	22	土	高校選手権大会(団体)	〃	〃
	23	日	中学校春季大会(個人)	〃	〃
7	7	日	全国定通制高校大会予選	9:00	県武道館
	7	日	全国教員大会予選	13:00	〃
	7	日	女子講習会並びに第8会関東女子柔道選手権大会	14:00	〃
	14	日	団体第1次予選	10:00	〃
	21	日	団体第2次予選	〃	〃
	28	日			
	30	火	中学校総体兼全国大会予選(団体)	10:00	〃
	31	水	〃 (個人)	9:00	〃
8	10	土	スポーツ少年団大会	10:00	県武道館
	18	日	紅白試合	〃	〃
	25	日	本部審査会(一般3・4段，女子)	〃	〃
	25	日	壮年大会	14:00	〃
	25	日	高段者大会	16:00	〃
9	5	水	警察大会	9:00	県武道館
	8	日	道場連合会大会	〃	〃
	8	日	定時制高校大会	〃	前橋工
	15	日	青年祭	9:30	前橋市民体育館
	29	日	紙上審査会	14:00	県武道館
10	13	日	小学生総体	9:00	県武道館
11	3	日	県民体育大会	9:00	県武道館
	4	月	中学校新人大会	〃	〃
	10	日	高校新人大会	〃	〃
	17	日	高校新人大会関東予選	〃	〃
12	1	日	女子選手権大会	10:00	県武道館
	1	日	対東北柔導試合	13:00	〃
	8	日	実業団大会	〃	〃
	22	日	本部審査会(一般3・4段，女子)	10:00	〃
61/1	26	日	段別選手権大会	10:00	県武道館
2	2	日	新年会・昇段祝賀会	16:00	未定
	16	日	県選手権大会	10:00	県武道館
	23	日	本部審査会(一般3・4段，女子)	〃	〃
3	15	土	関東柔道連合会総会		未定
	16	日	関東柔道選手権大会兼全日本関東予選	未定	県武道館

月	日	曜	県外行事	会場
4	28	日	全国高段者大会	講道館
	29	月	全日本柔道選手権大会	日本武道館
5	上旬		全日本大学柔道体重別選手権関東予選	浦和市
	6	月	全国少年柔道大会	講道館
	18	土	関柔連7・8段祝賀会	未定
	26	日	全日本実業柔道団体対抗大会	札幌市
	26	日	三笠記念関東七県対抗	横須賀市
	31	金	全国警察柔道選手権大会(個人)	日本武道館
6	8~9	土~日	関東高校柔道大会	講道館
	23	日	全日本大学柔道体重別選手権大会	〃
7	上旬		全国国立大学優勝大会	講道館
	14	日	全日本選抜柔道体重別選手権大会	福岡市
	下旬		全日本大学柔道優勝大会関東予選	浦和市
	24~25	水~木	金・鷲旗高校柔道大会	福岡市
	28	日	関東「形」競技会	川口市
8	1~3	木~土	全国高校総体	石川県(群馬県)
	7~8	水~木	関東中信越大学体育大会	水戸市・前橋市
	10~11	土~日	関東中学校大会	講道館
	11	日	全国定通制高校大会	川口市
	11	日	関東女子選手権兼全日本女子関東予選	埼玉県
	18	日	全国教育大会	北海道
	24~25	土~日	全国中学校大会	大阪市
	25	日	全日本実業柔道個人選手権大会	神戸市
	25~29	日~木	ユニバーシアード神戸大会	〃
9	8	日	全日本女子体重別選手権大会	講道館
	8	日	関東高段者大会	神奈川県
	26	木	関柔連6段審議会	〃
	26~29	木~日	世界柔道選手権大会	ソウル
	27	金	関東警察柔道大会	日本武道館
10	5~6	土~日	全日本大学柔道大会	講道館
	12	日	全日本新人体重別選手権大会関東予選	神奈川県
	21~23	月~水	国民体育大会	鳥取県
	27	日	関柔連6段形審査会	川口市
11	7	木	全国警察大会(団体)	日本武道館
	9~10	土~日	全国青年団大会柔道競技	講道館
	17	日	全日本選抜柔道団体選手権大会	愛知県
	24	日	全日本新人体重別選手権大会	講道館
	下旬		北関東五大学柔道大会	(高崎市)
12	7~8	土~日	福岡国際女子柔道選手権大会	福岡市
61/1	26	日	関柔連6段昇段祝賀会	川口市
2	11	火	関東高校新人大会	千葉市
3	2	日	全日本女子選手権大会	愛知県
	15	土	関東柔道連合会総会	群馬県
	16	日	関東柔道選手権大会兼全日本関東予選	〃
	21	金	全国高校選手権大会	日本武道館
	21	金	東京近県柔道大会	講道館

県強化練習会	毎週　木曜日　午後6:00から	県武道館

(注) 1　定例会，会計日は毎月最終日曜日とし変更の場合は，別途通知する。
2　予定表に変更を生じたときは，別途通知する。

名称	〒番号	所在地	電話
柔道連盟	371	前橋市岩神町1-1-6 県武道館内	0272-33-7516
県武道館	371	前橋市岩神町1-4-6	0272-32-2642

六年重量級は大井貴志君

第一回少年柔道大会

高崎警察署主催による第一回少年柔道大会は，昭和六〇年三月一〇日，高崎市武道館で開催された。柔道の部の入賞者は左の通り。

（小学生）

▼四年軽量①石井幹起（石井）②石井久雄（石井）③須田隆治（石井），清水仁（石井）▼四年重量①樋口毅（桜井）②笠原武彦（高崎）③中島誠（石井），武藤太（桜井）▼五年軽量①佐藤義則（佐藤）②新井日出夫（桜井）③市川英久（佐藤），根岸利宏（佐藤）▼五年重量①清水信治（石井）②井口力也（桜井）③福島昭二（堤ケ岡），金沢勇一（佐藤）▼六年軽量①松平徹士（桜井）②広兼昌隆（佐藤）③田島琢己（石井），瀬間武（佐藤）▼六年重量①大井貴志（篠塚）②渡辺潤（石井）③仁木邦信（須藤），高橋幹夫（高崎）

（中学生）

▼一年軽量①長谷川亮（佐藤）②戸塚信幸（桜井）③横山貴志（高崎），大谷秀樹（高崎）▼一年重量①広神浩治（石井）②佐藤信之（高崎）②仁木和則（須藤），清水和樹（石井）▼二年軽量①高橋龍太（桜井）②西沢康明（桜井）③清水純一（篠塚），西山直幸（篠塚）▼二年重量①高木啓光（桜井）②木暮守宏（桜井）③本多隆信（篠塚），福田和重（笹郷）

女子の部

（小学生）

■四年①中島綾子（高崎）②佐藤美保（佐藤）③大沼夕佳（堤ケ岡），剣持恵利（堤ケ岡）■五年①吉沢久美子（高崎）②神切恵（佐藤）③田島益美（茂原）■六年①武井佳絵（高崎）②笠原直美（高崎）③木川樹子（高崎），関口陽子（高崎）

（中学生）

①柳井真奈美（佐藤）②茂原和子（茂原）③武井絵美（高崎），木村裕美（佐藤）

第31回藤岡市民柔道大会

小学二，三年生は斉藤忍選手

第三一回藤岡市民柔道大会は，昭和六〇年六月一六日，藤岡市武道館で開催された。各部の入賞者は左の通り。

▼小学二・三年生の部①斉藤忍②新井政幸③篠原彰也，横塚みゆき▼小学四年生の部①奥山智和②冬木明③高田誠，柳井光▼小学五年生の部高橋勝②松本英明③根岸和光，佐佐木美佳▼小学六年生の部①井田和寿②植野進③荒沢寿，柳井順司▼中学一年生の部①高橋元②矢島秀敏③中野克裕，平柳俊一▼中学二年生の部①黒沢隆行②大平淳一③関口健二，田野学▼中学三年生の部①荒井将志②入沢勲③浦部久夫，松本昇▼一般無段者の部①矢島誠②山田賢一③斉藤誠，渡辺勇吉▼一般有段者の部①浅見繁男②小野里和也③串田英一，市川裕一

（山田広男通信員）

お願い

柔道に関係する「作文」「詩」「写真」「イラスト」。その他，質問，ご意見を是非左記まで，住所，年令，所属を明記の上ご投稿下さい。

〒三七〇　高崎市南大類町一，二五一
牛込祥浩
TEL　〇二七三（五二）一七四八～九

お願い事項は，「ぐんま柔道」初めてのこころみです。それぞれ，他人を中傷する事なく群馬県柔道界がますます発展する内容のものをお待ちしております。宜しくお願い致します。

後記

趣味は広く才気煥発な前広報部長▼笹井弘先生の後任として初めての「ぐんま柔道」です▼年間行事予定表の掲載もあり▼一時も早く発刊しなければと気ばかり焦っても▼紙面を充たすものがなく延び延びになってしまいましたが▼どうやら第四十五号の発刊となりました▼ご購読いただいた通り昭和六〇年六月末日までの行事をまとめさせていただきました▼内容については花をとるか実をとるか▼それぞれの立場で色々なご意見があるかと思いますが▼繊細な神経と卓越した技術を必要とする渓流釣りから▼竿一本あれば誰にでも出来る釣りに▼すなわち三角形の頂点もさる事ながら▼三角形の広い部分をより広くそして▼明らかにしてゆく所存です▼日の目をみずに苦しみだけを体験しただけで柔道を離れてゆく後輩達が何と多い事か▼そんな後輩達も激励できる紙面になればこの上ない幸せだと思います▼紙面作りには先輩諸賢のご意見を尊重し又▼公私に渉りご教示を頂いております上毛新聞社中野卓也編集局次長には▼ご意見番を是非お願いします。

整形外科
西富岡医院
横山保
群馬県富岡市七日市658　☎02746(2)0898

ぐんま柔道

発行所　群馬県柔道連盟
発行人　関口　恒五郎
編集室
〒370 高崎市南大類町1251
牛込祥浩
電話　0273(52)1748～9

高崎商業高校訓
柔道は心身の力を最も有効に使用する道である
その修行は終始為楽の練習に由って身体精神を鍛練修養し、新道の伸張と発揚する事である
こうして是に由って人となり世を律する事である
柔道修行の究竟の目的である

少年男子は二回戦で惜敗
成年男子は準決勝に進出

「明日へ向かってはばたこう」をスローガンにした第四十回国民体育大会（わかとり国体）秋季大会は、十月二十日、鳥取市の県立布勢総合運動公園陸上競技場で開会式が行われた。柔道競技は境港市民体育館で少年男子は二十一、二十二日。成年男子は二十二、二十三日の三日間にわたって熱戦が展開された。国体出場者、戦績は左の通り。

（選手，役員団）

◎成年男子
監督　石倉　貞幸（県警）
コーチ　大藤　忠昭（柔整師）
六十kg級　井上　英明（県警）
七一kg級　寺町　良次（高崎高教諭）
八六kg級　椛沢　博之（県警）
十八六kg級　今川　直明（中之条高教諭）
無差別級　福島美千行（県スポ振）

二回戦
群馬 ②―△長崎
先井上㊀―松倉
次寺町㊁―佐原
中椛沢 引分 嶋田
副今川 引分 下岸
大福島 ―○高山

三回戦
群馬 ①―△
先井上引分 小川
次寺町引分 山田
中椛沢引分 玉山
副今川引分 松島
大福島引分 藤戸
代表 今川○―松島

四回戦
群馬 ②―△ 鳥取
先井上㊁― 前田
次寺町 ―㊁塚田
中椛沢引分 高野
副今川○― 吉村
大福島 ―㊀小西

準決勝
群馬 △―① 滋賀
先井上引分 宮本
次寺町引分 久保
中椛沢 引分 杉山
副今川㊁― 撫佐
大福島 ―○伊東

三位決定戦
群馬 △―② 奈良
先井上引分 加藤
次寺町引分 吉田
中椛沢 ―○西田
副今川引分 野村
大福島 ―○正木

◎少年男子
監督　松本　邦夫（前橋商教諭）
コーチ　新井　信雄（前橋育英高教諭）
五五kg級　須田　好和（前商）
六十kg級　井上　和已（前商）
七一kg級　星野　悟（前商）
八六kg級　小林　諭（育英）
無差別級　小林　正佳（前商）

一回戦
群馬 ①―△ 鹿児島
先須田引分 石田
次井上引分 榎谷
中星野引分 折口
副小林(諭)―㊀柳田
大小林(正)○―下野

二回戦
群馬 △―① 大坂
先須田引分 久保
次井上㊁― 奥田
中星野引分 中島
副小林(諭)引分 谷口
大小林(正)―○田中
（石倉貞幸記）

（対和歌山代表戦今川，松島を押える）

三回戦
長野に力及ばず

第十回全国教員柔道大会は八月十八日、山梨県身延町民体育館に四十三県を集めて開催された。本県の戦績は左の通り。

一回戦
群馬 ①―1大阪
鳥居吉二 引き分 明石義人
今川直明○合せ技 高橋憲一
塚田純也 警告㊀桶野博之
寺町良次 引き分 軍野勝明
木暮修 引き分 高橋渡

二回戦
群馬 ③―1岩手
鳥居吉二○合せ技△久慈行治
今川直明○内股△中島敦
塚田純也△袈裟固○石川幸男
寺町良次 引き分 横田昭彦
木暮修㊁大外刈△阿部博之

三回戦
群馬 0―①長野
鳥居吉二 引き分 北村桂一
今川直明 引き分 山岸修
塚田純也 崩上四○井出英孝
寺町良次 引き分 宮原一治
木暮修 引き分 津金武寿
（江原隆起記）

桜井文子、三位に入賞

第八回全日本女子体重別選手権大会は、東京講堂館に於いて九月八日開催され、本県から六十一kg級に桜井文子（常磐高職）、七十二kg級に霞千晶（前橋育英高三年）が出場した。

六十一kg以下級
一回戦
桜井　文子○―△太田　芽

桜井　文子○―佐伯　芳
準決勝
桜井　文子―○八戸かおり

七十二kg超級
一回戦
霞　千晶―○松尾　徳子
（光山武嘉記）
（安沢謙太郎記）

高橋龍太
上位にくい込

第十六回全国中学校柔道大会は八月二十三日～二十四日の三日間、北海道滝川市スポーツセンターで開催された。個人戦は各階級三人づつが三十二組に分かれて予選リーグを行い、予選リーグを行った。団体戦は三チームづつが十六組に分かれて予選リーグを行い、予選リーグから勝ちあがったチームが決勝リーグを行い、決勝戦、東京、弦巻中が、福岡、洞北中に代表戦の決果勝って四年ぶり二回めの優勝を果たした。

子持中は二年連続四回めの出場に闘志を燃やしたが、予選リーグから勝ちあがれなかった。

各試合決果は次の通り。

▼個人戦
〈決勝トーナメント〉
（一回戦）
高橋　龍太○―菊地　環
（群　馬）　（長　野）
（準準決勝）
高橋　龍太―○上原　貴志
（熊　本）
重量級
（一回戦）
青野　雅史―○松本　昌広
（群　馬）　（東　京）
中軽量級、渡辺浩充。中量級、関口尚樹は予選リーグから勝ちあがれなかった。

▼団体戦
〈予選リーグ〉
①正強中（奈良）②子持中（群馬）③長岡南中（新潟）
（新後閑雅太郎記）

霞千晶が優勝

昭和六十年度、関東女子柔道選手権大会兼、全日本女子柔道選手権大会関東予選は、八月十一日埼玉県川口市立体育武道センターで、七階級に六十三人の選手が出場し、各階級で熱戦が展開された。

（一48kg）
一回戦
堀越　裕子（群馬）
△―○
佐通百合子（栃木）
柳井真奈美（群馬）
△―○
塚原　千里（山梨）
（一52kg）
二回戦
高橋　緑（群馬）
△―○
上田　佳花（埼玉）
真弓（群馬）
○―△
大島　聖子（埼玉）
準決勝
飯田　真弓
△―○
鎌田　恵子（千葉）
（一56kg）
一回戦
北爪　弘子（群馬）
○―△
高田　智治（埼玉）
二回戦
水野　修子（群馬）
△―○
金井　千春（茨城）
北爪　弘子
△―○

（一61kg）
一回戦
毛呂　和美（群馬）
○―△
並木　智子（千葉）
二回戦
桜井　文子（群馬）
○―△
水滝　栄子（千葉）
毛呂　和美
△―○
田中智幸登（栃木）

長谷川双葉（神奈川）

決勝進出
もう一歩

第十回関東中学校柔道大会は八月十一日、水戸市、茨城県武道館で開催された。試合決果は次の通り。

個人戦
〈軽量級〉
一回戦
松島　達也　片羽紋○大森　基晴
（尾島・群馬）　（東相・神奈）
常見　州男㊁―　坪谷　聡
（境南・群馬）　（城北・埼玉）
二回戦
高橋　龍太○―　若葉　修
（高一・群馬）　（城西・千葉）
常見　修勇　内股○土屋　好英
（浅川・山梨）
三回戦
高橋　龍太　背負投　田代　学
（群　馬）　（東　京）

準決勝
桜井　文子○―△藤本　涼子（茨城）
決　勝
桜井　文子―○
田中智幸登（栃木）
（一66kg）
一回戦
稲塚　優子（群馬）
△―○
未木まなみ（山梨）
二回戦
新井左恵子（群馬）
△―○
稲垣ひとみ（千葉）
（一72kg）
一回戦
須田　英美（群馬）
△―○
安田　弘子（埼玉）
（＋72kg）
準決勝
霞　千晶
○―△
鈴木　香（千葉）
決　勝
霞　千晶
○―△
鈴木　洋子（千葉）
（光山武嘉記）

〈中軽量級〉
一回戦
桑子　精一㊀―　金森　裕二
（強戸・群馬）　（弦巻・東京）
西沢　康明　大外刈　有泉　博紀
（高四・群馬）　（市川・山梨）
二回戦
桑子　精一㊀―　坂下　将利
（高階・埼玉）
西沢　康明　送襟絞○福葉　和人
（茂木・栃木）
渡辺　浩充　背負落㊁塚田　利浩
（強戸・群馬）　（三和・茨城）
三回戦
桑子　精一　払腰㊁長谷川秀也
（一宮・千葉）

〈中量級〉
一回戦
大沢　隆志○―　田島　浩晃
（榛名・群馬）　（明中・東京）
狩野　敬○―　花田　康親
（倉賀・群馬）　（桜木・埼玉）
二回戦
大沢　隆志　内股㊁片嶋　照幸
（陽南・栃木）
狩野　敬　内股㊁広田　尚也
（福栄・千葉）
関口　尚樹○―　松本　大志
（子持・群馬）　（旭・千葉）
三回戦
関口　尚樹　内股○桑　光秀
（明中・東京）

〈重量級〉
一回戦
宴含　義一○―　日高昇太郎
（桐北・群馬）　（八東・千葉）
白井　哲也○横四方　飯本　孝司
（子持・群馬）　（亜西・山梨）
二回戦
青野　雅史㊁袈裟固　黒川　秀人
（玉村・群馬）　（鹿西・栃木）
宴含　義一　横四方○細谷　金彦
（万騎・神奈）
白井　哲也―㊁村田　正浩
（波一・茨城）
三回戦
青野　雅史―㊁松本　量広
（弦巻・東京）

団体戦
予選リーグ
一組
①弦巻（東京）二勝○敗
②尾島（群馬）○勝一分
③韮崎東（山梨）○勝一分
四組
①鹿島（茨城）二勝○敗
②榛名（群馬）一勝一敗
③川口西（埼玉）○勝二敗
五組
①東海大相撲（神奈川）二勝○敗
②陽東（栃木）一勝一敗
③子持（群馬）○勝二敗
本県からの出場者は、決勝トーナメントに進出できなかった。
（新後閑雅太郎記）

市の部は前橋 郡の部は邑楽が優勝

第二十三回群馬県民体育大会秋季大会、柔道競技は十一月三日県武道館で開催された。

◇市の部　一回戦

沼田 3―0 桐生
高崎 2―0 太田
藤岡 2―1 富岡

（↑ 前橋チーム）

（↓ 邑楽チーム）

二回戦

沼田 3―0 安中
前橋 2―0 渋川
高崎 2―1 館林
藤岡 3―1 伊勢崎

準決勝

前橋 3―1 沼田
高崎 4―0 藤岡

決勝

前橋 3―1 高崎

①前橋②高崎③沼田、藤岡

◇郡の部

一回戦

群馬 3―0 甘楽
佐波 3―1 利根
北群馬 3―0 多野

二回戦

勢多 3―0 群馬
邑楽 2―1 吾妻
山田 3―1 佐波
北群馬 3―0 碓氷

準決勝

邑楽 3―1 勢多
北群馬 4―1 山田

決勝

邑楽 3―2 北群馬

①邑楽②北群馬③勢多、山田

石沢沼田）○―△高橋（安中）

伯仲した実力

団体一次予選は、七月十四日、県武道館で開催され各階級の上位者が次のように選ばれた。

成　年

▼六十kg級
諸田徳寿（沼田）、井上英明（県警）、小柴伸一（県警）、飯笹明彦（県警）

▼七十一kg級
鳥井吉二（渋工教）、雨谷紀雄（渋川）、小椋国吉（渋川）

▼八十六kg級
八木信行（県警）、小柴伸一（県警）

▼十八十六kg級

▼無差別級
丸山勉（県警）、藤塚博幸（県警）

少　年

▼五十五kg級
井浦知道（利商）、田島章光（育英）

▼六十kg級
畑伸之（利商）、諸田猛（利商）、安沢英正（利商）

▼七十一kg級
小室篤（前商）、川島雄浩（常磐）

▼八十六kg級
竹渕伸二（利商）、岩田晴行（前商）

▼無差別級
斉藤泰光（育英）、生方和人（前商）

（江原隆起記）

各階級にシード選手が加わる

国体二次予選は、七月二十一日、県武道館で開催された。一次予選を通過した選手にシード選手が加わり、各階級とも力のこもった試合が展開された。各階級の順位は左の通り。

◇成　年

▼六十kg級
①井上英明（県警）②諸田徳寿（沼田）③小室昌顕（沼田）④新井淳司（富岡）

▼七十一kg級
①寺町良次（前橋）②小椋国吉（渋川）③鳥居吉二（高崎）④雨谷紀雄（渋川）

▼八十六kg級
①●沢博元（県警）②飯笹明宏（県警）③小柴伸一（県警）④八木信行（県警）

▼八十六kg級

▼無差別級

◇Aブロック
①今川直明（渋川）②藤塚博幸（県警）③須藤真矢（沼田）

◇Bブロック
①福島美千行（渋川）②諸田泰徳（県警）③九山勉（県警）

◇AB決勝
①今川直明②福島美千行③藤塚博幸④諸田泰徳

◇少　年

▼五十五kg級
①須田好和（前商）②田島章光（育英）③井浦知道（利商）④太田順一（利商）

▼六十kg級
①井上和己（前商）②諸田猛（利商）③畑伸之（利商）④安沢英正（利商）

▼七十一kg級
①星野悟（前商）②塩田直勝（前商）③小室篤（前商）④川島雄浩（常磐）

▼八十六kg級
①小林諭（育英）②岩田晴行（前商）③飯野和仁（育英）④竹渕伸二（利商）

▼無差別級
①小林正佳（前商）②原泰之（育英）③斉藤康光（育英）④生方和人（前商）

（山本崇夫記）

七階級で熱い戦い

第八回関東女子選手権大会選考会は七月七日、県武道館で開催された。各階級の入賞者は左の通り。

―48kg級
①柳井真奈美（佐藤道場）②堀越裕子（美九里柔道教室）③茂原和子（茂原道場）

―52kg級
①飯田真弓（館林）②高橋緑（渋川）③渡辺有子（高崎柔教）

―56kg級
①水野修子（前橋）②北爪弘子（赤堀中）③武田美雪（館林）

―61kg級
①毛呂和美（毛呂）②内田和子（館林）③石関敬子（渋川）④桜井文子（常磐高職）

―66kg級
①新井左恵子（常磐）②稲塚優子（常磐）

―72kg級
①須田英美（渋川、北群馬）

＋72kg級

関東大会出場者が決定

第十七回全日本新人体重別柔道選手権大会関東地区予選の出場者は、次の通りに決った。優勝者は関東代表として第十七回全国日本新人体重別柔道選手権大会に出場する資格を得る。

監督
塚田純也（伊勢崎商業高校）

選手

60kg以下級
田島　晃光（前橋育英高校）

65kg以下級
諸田　猛（利根商業高校）

71kg以下級
小畑　順一（高崎警察署）

78kg以下級
岩田　晴久（前橋商業高校）

86kg以下級
①簗千晶（育英）②石沢祥子（沼女）③吉村麗子（渋川）

（江原隆起記）

五人の選手が決定

笠間　好雄（前橋商業高校）

95kg超級
原　泰之（前橋育英高校）

（塚田純也記）

第十回全国教員柔道大会の選手は、七月七日左の通り決定、監督は未定。

塚田純也（伊勢崎商業高校）、鳥居吉二（渋川工業高校）、寺町良次（高崎高校）、今川直明（中之条高校）、木暮　修（太田南中学）

（江原隆起記）

往年の技を競う

若さ溢れる力

県高段者大会は八月二十五日、県武道館で開催された。

五段の部
横谷引き分小暮（高崎）

五段の部
桜井良衛、小池喜太郎、小林　充、佐藤伯幸、関　知己、三橋　好、茂原　勤、松平勝機、中島国雄、川端義隆、横谷利夫、北沢武広、市川正人、伊藤利一、小暮　茂、野口雄望、鎌塚正良、林　二郎、牛込祥浩、長谷川祐一、井野　豊

六段の部
茂原　引き分　安澤（高崎）（佐波、伊勢崎）
井野　引き分　福田（高崎）（佐波、伊勢崎）
林　引き分　長谷川（吾妻）（桐生）
原口　引き分　栗原（邑楽　館林）（新町、太田）

（宮沢勧記）

（選ばれた16人）

優秀賞に十六人

第二回県民スポーツ祭、壮年柔道大会は八月二十五日、県武道館で開催された。出場者、各優秀賞者は左の通り。

◇出場者
初段　高井　享、清水忠勝
二段　清水正芳、高橋喜広、佐々木幸雄、梅津　稔、八田敏亘
三段　桜井保男、浅見　晃、渡辺　進、清水　茂、坂本幸男、久保田　務、横沢　求、稲野辺貞郎、奥昌　宏、須田　功
四段　田中豊吉、井上盟夫、三浦昭男、須田年水、木暮法孝、宮原正孝、茂木義幸、長谷川　実、野上創造、宮原正孝、津久井彦一、飯塚勝男、成田祐二、狩野桂次郎、横沢　元、田辺井米司、

◇各優秀賞者
①清水正勝（初段）②桜井武二（初段）③乾　喜隆（初段）④酒井勇治（初段）⑤今井美喜雄（二段）⑥小林　始（二段）⑦宇田川哲朗（二段）⑧高木克彦（三段）⑨林　康夫（三段）⑩黒川信昭（三段）⑪西村満郎（三段）⑫江田光夫（三段）⑬須田　功（三段）⑭堤　利夫（四段）⑮金子忠雄（四段）⑯大渕　裕（五段）

（宮沢勧記）

各支部から多数の会員が受講

十月六日県武道館で、審判員講習会が開かれた。講師は石倉貞幸指導部及び、岩木昭太郎同副部長。各支部から多数の会員が出席して講義をうけた。

（↑説明をする石倉指導部長）

医用電子機器販売 修理・開業設備一式
青木商会
前橋市東片貝町 市場通り226
TEL(0272)24-3752(代)

清水信治が五連覇

第七回群馬郡少年柔道大会は、七月十四日群馬町武道館に八団体、百十五人の小学生選手が集って熱戦が展開された。戦績は左の通り。

【団体戦】

決勝

石井道場A　②―△　鎌塚道場

清水(崇)袈裟〇悴田(竜)
清水(昇)〇袈裟　外　処
石　井　引き分　長谷川
中　島　返し技㊁新　井
清水(信)〇袖釣悴田(一)

①石井道場A②鎌塚道場③石井道場B、須藤道場

石井道場A　石井洋監督談。選手達は毎日一生懸命練習しております。その結果優勝出来たものだと思います。明日から又頑張って来年も優勝を目指します。ありがとうご座居ました。

【個人戦】

▼一年生①高橋寛（石井）青木哲也（須藤）③大沢則之（石井）、須藤良（須藤）▼二年生軽量級①塚越晶子（石井）②長井芳光（鎌塚）③大竹大（石井）、藤川友紀（堤ケ岡）重量級①大沢康之輔（石井）②嶋方剛（鎌塚）③吉田幸司（鎌塚）、清水悠一（石井）▼三年生軽量級①悴田竜二（鎌塚）②清水崇（石井）③福村大介（堤ケ岡）、清水寛之（石井）重量級①上原一人（石井）②田嶋順大（堤ケ岡）③南雲亮太（須藤）鈴木康祐（石井）▼四年生軽量級①田中瑞英（箕郷）②渡辺享（鎌塚）③樋口幸次（石井）松本賢司（石井）―重量級①清水昇（石井）②大広敬之（石井）③広神裕二（石井）、安西直也（堤ケ岡）▼五年生―軽量級①石井久雄（石井）②清水仁（石井）③坂本大輔（堤ケ岡乗附昭夫（堤ケ岡）―中量級①石井幹起（石井）②須田陸治（石井）③小幡英明（鎌塚）浦沢幹典（堤ケ岡）―重量級①戸塚宣和（鎌塚）②吉田勝己（石井）③小林浩之（須藤）茂田貴寛（堤ケ岡）▼六年生―軽量級①小牧英光（須藤）②多田健一（堤ケ岡）③田中宏征（堤ケ岡）関口康弘（石井）―中量級①清水信治（石井）②新井清道（鎌塚）③吉田孝之（石井）清水通宏（石井）―重量級①悴田一輝（鎌塚）②広田耕志（堤ケ岡）③渡辺豊（鎌塚）金巾和也（須藤）

昨日までの梅雨空が一転し快晴、猛暑となったこの日、選手百十五人とその家族の熱気の中で繰りひろげられた大会も、大きな事故はなく無事終りました。

暑さの為、試合中ボーッとしている選手も見られましたが、これも子供の大会らしい感じがしました。しかし、子供は反対に、ご両親、特にお母さん方の声援は年令を超越した気魂がこもって、暑さもふっとんだようでした。

（小野和男記）

優勝は高校生、小暮大輔

第四十回高崎市民体育大会柔道競技は十一月十日、高崎市民体育大会柔道競技は十一月十日、高崎市武道館で開催された。小学校の行事と重なって例年になく参加者は少なかったが、幼稚園児から一撒まで男子二十三階級、女子八階級の各試合場では其れぞれの熱戦が展開された。

入賞者は左の通り

【幼稚園】

▼軽量級①西野公章（佐藤）②市川薫（鎌塚）③小島順二（佐藤）③三木厚志（高桑教）▼重量級①高橋真悟（佐藤）②鎌田剛介（桜井）③吉井隆之（桜井）

【小学生】

▼一年①青木哲也（須藤）②富沢裕（桜井）③西出淳（茂原）▼二年軽量級①恩田元仁（佐藤）②本間貴之（佐藤）③加辺彰治（湯浅）③関知可（高柔教）▼重量級①樋口和之（桜井）②三木憲洋（高柔教）③清水友明（桜井）▼三年軽量級①長井秀憲（佐藤）②吉井一雄（桜井）③青木基剛（佐藤）③塩沢繁治（茂原）▼重量級①佐藤正信（佐藤）②田端洋一（佐藤）③堀義則▼四年軽量級①高橋俊将（佐藤）②中山隆弘（佐藤③小桜泰樹（桜井）③富沢隆光（桜井）▼四年重量級①本間友和（佐藤）②伊藤純二（桜井）③新井薫（高柔教）③中山隆（桜井）▼五年軽量級①山田孝之（桜井）②門倉貴浩（桜井）③渡辺友道（佐藤）③青木寿幸（佐藤）▼重量級①樋口毅（桜井）②笠原武彦（高柔教）③大田淳（佐藤）③武藤太（桜井）▼六年軽量級①佐藤義則（佐藤）②磯部光利（桜井）③新井日出夫（桜井）③桜井太郎（桜井）▼重量級①金沢勇一（佐藤）②井口力也（桜井）③市川英久（佐藤）③川島功浩（桜井）

女子の部

▼一年①中島楢②関口雅子（高柔教）③本川潤子（高柔教）▼三年①小野友美（高柔教）②本川淑子（高柔教）▼四年①浅川つぐみ（高柔教）②菊地紀子（高柔教）▼五年①中島綾子（高柔教）②田辺ひとみ（高柔教）③大沢仁美（高柔教）▼六年①押切恵（佐藤）②吉沢久美子（高柔教）

【中学生】

女子の部

▼一年①武井佳給（高柔教）②笠原直美（高柔教）③関口陽子（高柔教）▼二年①柳井真奈美（佐藤）②茂原和子（茂原）③渡辺有子（高柔教）③松本幸子（塚中）

男子の部

▼一年軽量級①小松崎哲史（塚中）②鈴木信一（塚中）③小島健一（塚中）③恩田剛（塚中）▼軽中量級①瀬間武（塚中）②広兼昌隆（塚中）③阿久沢弘道（塚中）③斉藤隆二（片岡中）▼中量級①高橋幹夫（片岡中）②中山誠二（佐野中）③矢島貴志（倉賀野中）③小林範弘（七中）▼重量級①石沢洋行（八中）②平井貴弘（倉賀野中）③藤宮輝明（南八幡）③小幡英明（鎌塚）浦沢幹典（堤ケ岡）―重量級①戸塚宣和（鎌塚）②吉田勝己（石井）③小林浩之（須藤）茂田貴寛（堤ケ岡）▼六年生―軽量級①小牧英光（須藤）②多田健一（堤ケ岡）③田中宏征（堤ケ岡）関口康弘（石井）―中量級①清水信治（石井）②新井清道（鎌塚）③吉田孝之（石井）清水通宏（石井）―重量級①悴田一輝（鎌塚）②広田耕志（堤ケ岡）③渡辺豊（鎌塚）金巾和也（須藤）

▼二年軽量級①横山貴志（片岡中）②川島友仁（四中）③小西真登（倉賀野中）▼軽中量級①戸塚信幸（七中）②長谷川亮（塚中）③大谷秀樹（寺中）③石田暢弘（七中）▼中量級①堀越大司（三中）②中沢賢（七中）③角田元臣（三中）③勝俣茂樹（七中）▼重量級①萩原伸一（寺中）②佐藤信之（寺中）③横田大輔（八中）③江原栄文

【一撒有段者】

【一般】

▼有段者①小暮大輔（高柔教）②渡辺良行（桜井）③風間久直（高経大）③富田良夫（高経大）▼無段者①津島利明（茂原）②杉本真（高経大）③本城武則（高経大）③秦博史（高経大）▼女子の部①高橋宏子（佐藤）

（佐藤伯幸記）

団体戦は三中地区

前橋市民スポーツ祭柔道大会は十月二十七日、前橋市民体育館で開催された。参加者は個人戦、団体戦に二百八十人の多くを数えた。

入賞者、入賞団体は左の通り。

【小学生の部】

▼低学年①鈴木才樹（芳賀小）②阿部明雄（岡道場）③中島祐一郎（芳賀小）▼中学年①小林篤史（古平道場）②若井　修（田島道場）③高橋　学（田島道場）▼高学年①斉藤直樹（三浦道場）②赤沢良太（田島道場）③高橋正樹（芳賀小）

【中学生の部】

▼一年①安藤　修（春日中）②静　俊明（南橋中）③吉田将浩（木瀬中）▼二年①塩浦三明（木瀬中）②生方誠二（南橋中）③深代　剛（東中）▼三年①塩浦和平（木瀬中）②前原　悟（鎌倉中）③岡崎（敬之（前橋一中）

【高校生の部】

▼一年①松物谷武（前商）②高山忠重（前商）③狩野秀夫（前商）▼二年①岡泉　茂（前商）②生方一正（前商）③金山明永（農二）▼三年①田島隆行（育英）②黒沢正典（育英）③森　敏之（田島道場）

【一般の部】

▼無段者①関口博雄（北沢道場）②富田久生（前刑）③宮田　勝（前刑）▼初段①田口一行（前刑）②吉田孝行（前刑）③小池昌司（芳賀）▼二段①川野秀明（前刑）②信沢晃一（芳賀）③石田川実（前刑）▼三段①鳥山典秀（田島道場）②柿沢康樹（田島道場）

女子の部

【小学生の部】

▼無段者①田島明紀子（田島道場）②程山みどり（田島道場）③木村由貴（北沢道場）▼中学年①田島真紀子（田島道場）②本多陽子（田島道場）③小幡葉子（岡道場）▼高学年①出沢知美（城東小）②須藤英子（荒子小）

【中学校の部】

▼一年①本多睦子（前二中）▼高校・一般①赤石美代子（勢農）

【団体戦】

①三中地区②四中地区③二中地区

（宮沢勤記）

最優秀選手に上村健一

桐生市体育祭柔道大会は、十月二十七日桐生市青年の家体育館で開催された。個人戦には百一人、団体戦には十二団体、六十人の選手が熱戦を展開した。

入賞者、入賞団体は左の通り。

【小学生男子】

▼一年①伏見祐介（北小）②生方俊和（昭和）③荒木弘光（北小）③村上義明（北小）▼二年①諸岡博之（北小）②中谷忍（北小）③和田竜一（西小）▼三年①小山武彦（北小）②野口雄嗣（西小）③佐々木晃平（北小）③金子秀男（北）▼四年①飯塚和幸（神明）②石田隆（南小）②中島祐輔（北小）③金子訓明（北小）▼五年①中野善隆（北）②清水浩一（南）③谷善宜（北小）▼六年①加藤弘道（南小）②正田勝利（北小）③小堀俊光（菱小）③中野雅之（北小）

敢闘賞　横塚　剛（北小）

【小学生女子】

▼1・2年①真尾浩子（東小）②菅野美香（東小）▼三年①小野沢美樹（北小）②川田美紀（神明小）▼四年豆生田美貴（北小）②宮本有子（北小）③嶋岡美智子（菱）③菅野照美（東小）▼五・六年①佐々木優子（北小）②吉田陽子（北小）③嶋岡美代子（菱小）③前原宏美（北小）

【中学生男子】

▼一年軽量①茂木芳雄（広中）②佐藤慎（菱中）③中島貴歩（北小）③茂木健久（北小）▼一年重量①中沢孝之（東中）②田中博（北中）③星野直也（北中）③井田貴志（桜中）▼二年軽量①伏見英則（北中）②飯塚晃弘（広中）③清水勝利（東中）③中山朋章（広中）▼二年重量①池田剛（北中）②東條欣信（広中）③古畑雅和（広中）③木村宏一（広）

【団体戦】

▼一年①樹徳A（井野　保、八須雅樹、深野悦司、上村健一、松島雄二）②青年の家A（正田竜一、小山勝由、家合義一、石田陽司、安藤尚登）③樹徳B（桜井一芳、茂木隆行、宇木清文、霞ケ浦朝仁、桑原直人）③久方柔道（星野　智、玉木宏二、鈴木康夫、高橋幸夫、麦倉

****

決勝戦は渋川A・B

昭和六十年度北群馬渋川勢多市町村対抗柔道大会は十一日二十三日、渋川高等学校柔道場で開催された。結果は次の通り。

▼予選リーグ

（A組）

①渋川B②吉岡B③古巻A

①子持A②古巻B③吉岡B④渋川D

▼決勝トーナメント

準決勝

渋　川B③―1豊　秋
渋　川A②―1子持A

決勝

渋　川A③―1渋川B

①渋川A②渋川B③子持A④豊秋。

（永躰敏明記）

（B組）

①豊秋②渋川C③赤城A④伊香保⑤子持C

（C組）

①渋川A②子持D③赤城B④榛東⑤北橋B

（D組）

①子持B⑤北橋A

（B組）

①三中地区②四中地区③二中地区

（宮沢勤記）

▼三年軽量①山中久幸（北中）②押山公彦（桜中）③内山洋行（広中）③木村優一（東中）▼三年重量①正田竜一（北中）②須田卓伸（広中）③三浦修（桜）③小沢和也（東）

【中学生女子】

▼一・二・三年①天田桜（東中）②天田麗文（東中）③本多昭子（菱）③嶋岡久美子（菱）

【団体】

▼一般①樹徳A（井野　保、八須雅樹、深野悦司、上村健一、松島雄二）②青年の家A（正田竜一、小山勝由、家合義一、石田陽司、安藤尚登）③樹徳B（桜井一芳、茂木隆行、宇木清文、霞ケ浦朝仁、桑原直人）③久方柔道（星野　智、玉木宏二、鈴木康夫、高橋幸夫、麦倉

****

榛名町が優勝

昭和六十年度第二十三回群馬郡民体育大会柔道競技は、九月十五日箕郷町立武道館で開催された。戦績は左の通り。

【団体戦】

箕郷町　△―⑤　榛名町
森　本　内　股〇桧物谷
村　上　上四方〇樋　口
赤　沼　横袈固〇柄　沢
高　橋　引き分　富　岡
西　山　内股㊁佐藤(一)
松本(昌)大外刈〇宮　崎
松本(昭)〇体落　今　井

榛名町　④―△　群馬町
桧物谷〇合せ技　松　島
細　谷　内股㊁清水(義)
佐藤(忠)〇横四　佐　藤

▼最優秀選手賞　上村健一

（福島昭吉記）

（樹徳A）

富　岡〇合せ技　掘　口
佐　藤(一)〇横四清水(茂)
宮　崎　引き分　高　橋
今　井　内　股〇吉　田

箕郷町　△―④　群馬町
森　本　払い腰〇松　島
村　上　払腰〇清水(義)
赤　沼　㊁佐　藤
高　橋〇釣込腰　大　沢
西　山　内股〇清水(茂)
松本(昌)㊁　高　橋
松本(昭)引き分　黒　崎
①榛名町②群馬町③箕郷町

【個人戦】

▼一般①清水茂②松本昌弘▼高校①鈴木徹②樋口義幸③桧物谷武、川原拓也

（小野和男記）

歴史から昇段試合まで

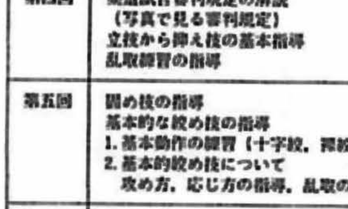
八月二・三・四・六・七・八日計六日間、主催前橋市教育委員会前橋市体育振興公社群馬県柔道連盟前橋支部で行われた。

市内在住の中学一～二年生四十六名が熱心に各先生の講義を受けた。

特に桂沢博之先生の得意技の内股、背負投、大内刈、小内刈の各技に目を丸くして聞きいっていたのが印象的だった。

又、皆勤者には終了後皆勤証が手渡された。

（宮沢勤記）



（桂沢選手の実技）

回	指導内容	担当者
第一回	開会 ○柔道の歴史と意義　○道場と礼法　○練習上の心構え ○柔道着の扱い方　○準備（整理）運動　○立礼坐礼 ○坐り方，立ち方　○受身　○自然（自習）体　○組み方 ○移動要領　○作り（崩し）と掛け ○投げ技の解説 足技・腰技・手技のうち基本的なものについて，膝車・支釣込足・大腰乱取指導	沢東島 宮周田
第二回	○投げ技の解説 足技・腰技・手技のうち基本的なものについて解説（得意技） ○正しい練習法・かかり練習・約束練習・自由練乱取の指導	沢沢(博) 宮桂田北島沢
第三回	○投げ技の解説 ・足技・腰技・手技のうち基本的なものについて解説（試合・練習等に多く用いられる投技説明指導） ・大外刈・体落・小内刈・内股・払腰・背負投 ・　乱取指導 異食体塾 ○固め技の指導 1. 基本動作の練習　2. 基本的な抑え技について 攻め方・応じ方の指導（基本的な連絡変化の練習） 3. 固め技による乱取　4. かかり練習　5. 正しい練習法 袈裟固・横四方・上四方固・その他，乱取の指導	沢谷沢田出倉 宮柳北池井石
第四回	柔道試合審判規定の解説 （写真で見る審判規定） 立技から抑え技の基本指導 乱取練習の指導	沢沢(光)島 宮桂田
第五回	固め技の指導 基本的な絞め技の指導 1. 基本動作の練習（十字絞，裸絞，送襟絞，その他） 2. 基本的絞め技について 攻め方，応じ方の指導，乱取の練習の指導	沢沢(光)島 宮桂田
第六回	○昇段試合について ○安全管理について 投げ技の連絡変化のうち一般的技の解説指導 大内刈↔体落，大内刈↔小内刈，背負投↔大内刈，小内刈 ○質疑応答，質疑ができるだけ多くでるようにする，必要な時は問いかける。	沢沢(光)島 宮桂田

一対〇で榛名が初優勝

第十二回県中学校新柔道大会は十一月四日、県武道館で開催され榛名中学が一対〇で子持中学を下して初優勝した。

▽予選リーグ

（一ブロック）
①高崎七(高崎)②木崎(新田)③鬼石(多野)

（二ブロック）
①前橋二(前橋)②渋川北(渋川)③新治(利根)

（三ブロック）
①富士見(勢多)②安中一(安中)③藤岡北(藤岡)

（四ブロック）
①宮郷(伊勢崎)②桐生北(桐生)③玉村(佐波)

（五ブロック）
①榛名(群馬)②草津(吾妻)③前橋一(前橋)

（六ブロック）
①水上(利根)②多多良(館林)③甘楽二(甘楽)

（七ブロック）
①大泉南(邑楽)②塚沢(高崎)③城西(太田)

（八ブロック）
①榛東(北群馬)②沼田西(沼田)③富岡東(富岡)

（九ブロック）
①子持(北群馬)②賀郷(群馬)③下仁田東(甘楽)

（十ブロック）
①大胡(勢多)②高崎四(高崎)③伊勢崎四(伊勢崎)

（十一ブロック）
①太田南(太田)②古巻(渋川)③利根南(沼田)

（十二ブロック）
①邑楽(邑楽)②月夜野(利根)③藤岡東(藤岡)

（十三ブロック）
①尾島(新田)②木瀬(前橋)③広沢(桐生)

（十四ブロック）
①万場(多野)②安中二(安中)③館林一(館林)

（十五ブロック）
①寺尾(高崎)②富岡(富岡)③中之条一(吾妻)

（十六ブロック）
①境南(佐波)②新里(勢多)③芳賀(前橋)

▽決勝トーナメント

（一回戦）
高崎七1―③前橋二
富士見③―1宮郷
榛名⑤―0水上
大泉南③―2榛東
子持③―1大胡
太田南②―2邑楽
尾島③―0万場
寺尾③―2境南
前橋二①―1富士見
榛名④―0大泉南
子持④―0太田南
尾島④―1寺尾

（二回戦）
前橋二①―③榛名
榛名②―1尾島
子持①―0尾島

（準決勝）
前橋二①―③榛名
子持①―0尾島

（決勝戦）
榛名①―0子持

（榛名中学）

形競技会に参加して

石倉貞幸

七月二十八日（日）埼玉県川口市立武道館において、関東柔道連合会主催・第一回関東形競技会が開催された。

この大会の趣旨は、最近勝負のみにこだわる柔道が盛んになり、柔道本来の稽古（昔の事を手本にして参考にすること）思想が薄れてきているのを憂えたからである。

群馬県代表
投の形
取　六段　大藤忠昭
受　五段　塚田純也
極の形
取　四段　金子和明
受　三段　金子利弘
取　七段　鈴木元一
受　六段　石倉貞幸

投の形は、各県代表二組以内、合計十一組の中で競われた、一組の大藤、塚田組は、あかぎ国体で、講道館の形の最高の権威者の指導を受け「投の形」の演技を披露した実績を持つ、稽古も積んでおり、演技は、他の競技者を寄せつけない、技の表現力、風格、態度であり、観覧者、他の競技者一同が感嘆の目で見守っていた。これは上位入賞確実と思われた。

二組の金子兄弟も、一組に負けず、劣らず、何処という落度もなく、堂々と立派に演技することが出来、これで群馬代表が、上位を確保できるものと確信できた。ところが、結果は、最優秀、千葉、優秀、神奈川、茨城埼玉であり、群馬県代表の名前は、発表されなかった。何処に群馬代表の欠点があったのか不明である。

極の形は、各県一組づつの合計七組で競われた。鈴木、石倉組は、技、態度、風格ともに他県には、負けない、と自負してきた。

結果は、最優秀、山梨、優秀　千葉、群馬、埼玉であった。

この競技会は、第一回でもあり、大会運営その他に、慣れない所があり、不備のところが目立ったので以下気付いた点を、列挙してみると

一　「投の形」は、二組一緒に演技をし採点をしたが、演技は、一組づつに絞るべきであり、二組一諸の演技は、評価できないと思われる。

二　演技の遅速を計測する、計時係員がいなかった。これでは、正確な演技時間が不明であり、判断の基が無い。

三　審査員は、二方向以上から見るべきである。特に「極の形」においては、技の効き具合、方向等が、正面席からだけでは、判らない面もある。

四　評価の公表をしてもらいたい。評価の仕方は、技六〇点、態度二〇点、風格二〇点というのみであり、余りにも大ざっぱ過ぎており、例えば、体操競技のようにその場で公開で出すようにすれば、公平と思われ、審査員の評価の仕方も選手が評価できる。

集計の仕方も、公表されなかったので審査員の不信の原因になってしまう。

五　審査員が、標準の形を知っているのだろうか、疑問を持った。それは、各県代表の審査員であるから、審査員は、自県の選手の選考、演技の指導について、参与して来ているものと思われるが、それが各県余りにもまちまちであり、戦前行われていたやり方で投の形をしている組もあり、これで、権威ある公平な審査点をつけられるのか、判断に迷うものである。

中央から「形」の権威者を招き、審査を依頼する。

以上の点に気付いた。総合的に、審査員の評価が真剣でなく、選手は、何日も稽古して来ているのだから確り審査してもらいたい。競技会は、演技会ではないのである。

今後の予定は、昭和六一年は、投の形、柔の形　昭和六二年は、投の形、古式の形を実施する予定となっている。

是非、群柔連会員多数参加してもらいたい。

榛名、尾島、子持が関東へ

第一回県中学校選抜強化兼関東大会予選大会は七月七日高崎市立武道館で開催された。試合は予選、決勝戦共にリーグ戦で行われ上位三チーム、榛名、尾島、子持中学が関東大会の出場権を獲得した。

▽予選リーグ

（A）
①榛名②境南③城西

（B）
①子持②尾島③柏川④下仁田

▽決勝リーグ
榛名中①―1尾島中
広神引き分鶴見
大井引き分松島
大沢引き分大谷
清水体落し三長浜
松本三捨小内松村
子持中②―1境南中
羽鳥引き分常見
関口〇袈裟固小沢
白井引き分川端
港　払い腰三長谷川
山岸〇横紋め田代
榛名中0―③子持中
広神引き分羽鳥
大井引き分松島
大沢引き分大谷
清水横紋め〇港
松本袈裟固〇山岸
尾島中0―①子持中
鶴見引き分羽鳥
松島上四方〇関口
大谷引き分白井
浜　引き分港
松村引き分山岸
①子持②榛名③尾島④境南
尾島中0―0境南中
鶴見引き分常見
松島引き分小沢
大谷引き分川端
長浜引き分長谷川
松村引き分田代
榛名中①―0境南中
広神三内股常見
大井引き分小沢
大沢引き分川端
水　引き分長谷川
松本引き分田代

子持が逆転優勝

第九回県中学校春季柔道大会団体戦は六月九日、県武道館で開催され子持中が優勝した。

▽予選リーグ

（A）
①前橋六②長野原東③館林三

（B）
①尾島②邑楽③沼田西

（C）
①城西②榛東③富岡東

（D）
①柏川②下仁田東③伊勢崎四

（E）
①子持②榛名③新治

（H）
①万場②安中二③綿打

▽決勝トーナメント

一回戦
前橋六0―⑤榛名
尾　島②―0安中二
城西②―2古巻
川　②―1木瀬
塚沢2―②下仁田東
境南④―0榛東
子　持③―0長野原東
万　場③―0邑楽

二回戦
榛名②―1尾島
城西0―⑤柏川
下仁田東0―⑤境南

（準決勝）
前橋二①―③榛名
子　持①―0尾島

（決勝戦）
榛名①―0子持

重量級は青野雅史

入賞者は左の通り。

▽軽量級（一55kg）
①松島達也（尾島）②常見州勇（境南）③秋元浩一（邑楽）、高橋龍太（高崎一）

▽軽中量級（一65kg）
①桑子精一（強戸）②羽鳥幸一（子持）③福島正幸（渋川北）、河合和彦（新治）

▽中量級（一78kg）
①高木啓光（安中二）②大沢隆志（榛名）③狩野敦（倉賀野）、根岸天明（伊勢崎四）

▽重量級（十78kg）
①青野雅史（玉村）②家合義一（桐生北）③松島正（勢多東）、富山義三（長野原東）

▽女子
①北爪弘子（赤堀）②柳井真奈美（塚沢）③小田香織（前橋二）、本多暁子（前橋二）

（中村勝伸記）

寺尾が優勝

高崎市中体連柔道夏季大会は七月二十一日、市武道館で開催された。

団体戦、個人戦の戦績は次の通り。

▽団体戦〈予選リーグ〉
（A組）
①塚沢②三中③倉賀野

（B組）
①四中②佐野③八中④一中

（C組）
①七中②片岡③高南④矢中

（D組）
①寺尾②二中③八幡

〈決勝トーナメント〉
準決勝
塚　沢2―③四　中
七　中0―③寺　尾
決　勝
寺　尾③―2四　中

①寺尾②四中③塚沢、七中

▽個人戦入賞者
（軽量級）
①高橋龍太（一中）②長谷川亮（塚沢）③清水純一（七中）横山貴志（片岡）

（軽中量級）
①西沢康明（四中）②戸塚信幸（七沢）③大谷秀樹（寺尾）宮下健一（塚沢）

（中量級）
①狩野　敬（倉賀野）②高野　進（七沢）③岸　義将（八中）萩原健志（佐野）

（重量級）
①篠原高則（塚沢）②萩原伸一（寺尾）③川原　修（佐野）、小野塚博（八中）

〇女子個人戦
①柳井真奈美（塚沢）②武井佳絵（佐野）③木村裕美（塚沢）、武井聡美（佐野）

（新後閑雅太郎記）

（中村勝伸記）

（新後閑雅太郎記）

社団法人　群馬県接骨師会

名誉会長　永井寿雄

会長　細野嘉晴

副会長　牛込弘明　浦井康彦
専務理事　中村重昭
常任理事　柳谷勝之　大島由安　大林平二郎　関井亀久一　福島親宏　井島晴
理事　田代淳一　内山孝三郎　鈴木行正　栗原伝一郎　田部井治男　石原仁　栗原伝一郎
監事　井中浩一　村井田守　奥沢二郎　金井角次　桜井弘　代田忠篤三　金子英　牛込祥　樺沢洋威　大沢彦　戸所芳男　田部井治男　井浦宣彦　猪俣正美　剣持和彦　細谷長流
支部長　大井

子持が2年連続優勝

寝技と忍耐の勝利

第二十回県中学校総合体育大会、第三十五回柔道大会兼第十六回全国中学校柔道大会予選は七月三十日（団体戦）三十一日（個人戦）に開催された。

団体戦決勝戦は子持と境南の対戦となった。子持は先鋒の山岸が、境南の先鋒、常見に体落しで有効を取られ苦しいスタートとなったが、次鋒の港、内山は港が一本背負で一本勝ちした。中堅戦内山、大谷は勢いにのった内山が小内刈で技有をとってリードした。副将大将戦は互いに譲らず引き分けとし、今大会二連覇を達成し全国大会を決めた。

団体戦

▼予選リーグ

（A）
①粕川（勢多）②邑楽（邑楽）③万場（多野）

（B）
①子持（北群）②館林（館林）③利南（沼田）

（C）
①尾島（新田）②古巻（渋川）③箕郷（群馬）

（D）
①安中二（安中）②新治（利根）③下仁田東（甘楽）

（E）
①桐生北（桐生）②富岡南（富岡）③長野原東（吾妻）

（F）
①榛名（群馬）②寺尾（高崎）③藤岡東（藤岡）

（G）
①境南（佐波）②綿打（新田）③伊勢崎一（伊勢崎）

（H）
①強戸（太田）②榛東（北群）③前六（前橋）

▼決勝トーナメント

一回戦
粕川②―2綿打
子持⑤―0榛東
尾島③―0富南
安二一②―寺尾
桐北②―0新治
榛名④―1古巻
境南③―0邑楽
強戸③―1館一

二回戦
粕川0―⑤子持
尾島1―②寺尾
桐北1―③榛名
境南③―1強戸

準決勝
子持④―1寺尾
榛名0―①境南

決勝戦
子持中②――△境南中
山岸　体落し㊀常見
港　○一本背　小沢
内山㊀小内刈　大谷

個人戦

55kg以下級

一回戦
関口　引分け　長谷川
白井　引分け　川端
①子持中（北群馬郡）②境南中（佐波郡）③寺尾中（高崎）、榛名中（群馬郡）
矢島　健一○―山越　清彦（甘楽・二中）（伊勢・三中）
田代　仁志―○狩野　忠（佐波・境南中）（勢多・赤北中）
栗原　宏司―○堀越　英和（邑・大泉北中）（館・多々良中）
小畑　孝博―○梅沢　真史（前橋・六中）（太田・東中）
下田　秀人―○玉井　秀治（藤岡・西中）（多野・万場中）
堀江　明典○―島津　良一（渋川・古巻中）（吾・嬬恋西中）
（欠　場）―○並木　寿昌（富岡・南中）
長谷川　亮○―山田　高弘（高崎・塚沢中）（群馬・中央中）
鶴見　純也○―伏見　英則（新田・尾島中）（桐山・北中）
高橋　英丹○―田村　孝助（多野・万場中）（利根・新治中）

二回戦
松島　達也○―矢島　健一（新田・尾島中）
狩野　忠○―山田　透（富岡・富岡中）
柳沢　健一○―木村　優一（安中・一中）（桐山・東中）
堀越　英和―○原沢　貞和（利根・新治中）
大野　正史○―梅沢　真史（北群・子持中）
木檜　敏明―○高橋　達也（吾妻・原町中）（渋川・古巻中）
南雲　健次―○小牧　成一（沼田・沼田中）（藤岡・南中）
玉井　秀治―○高橋　龍太（高崎・高一中）
堀江　明典―○秋元　浩一（桐山・東中）
並木　寿昌―○石田　仁（邑楽・邑楽中）
黒岩　豊―○鈴木　吉徳（渋・古巻）（沼・利南）
大谷　智康○―橋本　誠（佐・境南）（伊・宮郷）

二回戦
八坂　匡史○―萩原　洋（勢・粕川）（前・鎌倉）
渡辺　浩充○―新部　俊之（太・強戸）（安・二中）
阿部　利憲―○山岸　敬（利根・新治）（北・子持）
戸塚　信幸○―井口　佳宣（高・七中）（千代田・邑）
丸沢　栄二―○松本　光弘（甘・二中）（群・榛名）

準決勝
粕川0―⑤子持
尾島1―②寺尾
桐北1―③榛名
境南③―1強戸

決勝戦
子持④―1寺尾
榛名0―①境南

決勝戦
子持中②――△境南中
山岸　体落し㊀常見
港　○一本背　小沢
内山㊀小内刈　大谷

半田　克也―○鶴見　純也（伊勢・宮郷中）
瀬廼木信道○―石原　篤（太田・西中）（館・多々良中）
柳原　隆○―松本　茂昌（沼田・沼田中）（藤岡・北中）
高橋　英丹―○常見　州男（佐波・境南中）

三回戦
松島　達也○―狩野　忠（勢多・赤北中）
柳沢　健一○―原沢　貞和（安中・一中）（桐山・東中）
大野　正史○―高橋　達也（太田・西中）（館・多々良中）
小牧　成一―○高橋　龍太（沼田・沼田中）（藤岡・北中）
秋元　浩一○―石田　仁（渋川・古巻中）（吾・嬬恋西中）
山崎　剛―○長谷川　亮（高崎・塚沢中）（群馬・中央中）
鶴見　純也○―瀬廼木信道（邑・大泉北中）
柳原　隆―○常見　州男（佐波・境南中）

四回戦
松島　達也○―柳沢　健一（伊勢・宮郷中）
大野　正史○―高橋　龍太（藤岡・南中）
秋元　浩一○―長谷川　亮（渋川・古巻中）
鶴見　純也―○常見　州男（吾・嬬恋西中）

準決勝
松島　達也―○高橋　龍太（高一中）
秋元　浩一―○常見　州男（邑楽中）

決勝戦
高橋　龍太○―常見　州男
①高橋龍太（高一中）②常見州男（境南中）③松島達也（尾島中）、秋元浩一（邑楽中）

65kg級

一回戦
中村　訓○―須藤　秀信（吾・長原）（館・一中）
見田村健司○―山田　章善（富・富岡）（藤・北中）
重野　天秀―○長浜　裕二（多・万場）（新・尾島）
阿部　利憲―○山岸　敬（利根・新治）（北・子持）
戸塚　信幸○―井口　佳宣（高・七中）（千代田・邑）
丸沢　栄二―○松本　光弘（甘・二中）（群・榛名）
八坂　匡史○―萩原　洋（勢・粕川）（前・鎌倉）
渡辺　浩充○―新部　俊之（太・強戸）（安・二中）
黒岩　豊―○鈴木　吉徳（渋・古巻）（沼・利南）
大谷　智康○―橋本　誠（佐・境南）（伊・宮郷）

二回戦
桑子　精一○―中村　訓（太田・強戸）
見田村健司―○南雲　達也（沼・利南）
上原　正光○―斉藤　芳直（安・二中）（甘・二中）
長浜　裕二―○小沢　哲夫（佐・境南）
岡田　信昭○―山中　久幸（勢・粕川）
清水　和樹○―松浦　竜人（群・榛名）（伊・宮郷）
戸塚　信幸○―福島　正幸（渋・渋北）
河合　和彦○―松本　光弘（利根・新治）
八坂　匡史―○石川　訓（新・木崎）
高橋　一郎―○小孫谷博幸（藤・東中）（邑・板倉）
渡辺　浩充○―黛　豊（富・南中）
西沢　康明○―鈴木　吉徳（高・四中）
斉藤　忠○―大井　紀明（多・万場）（館・一中）
大塚　正樹○―押山　公彦（吾・長東）（桐・桜木）
大谷　智康―○港　慎一郎（北群・子持）

三回戦
桑子　精一○―南雲　達也
上原　正光―○小沢　哲夫
山岸　敬○―岡田　信幸
清水　和樹―○戸塚　信幸
河合　和彦○―石川　訓
小孫谷博幸―○渡辺　浩充
西沢　康明○―斉藤　忠
大塚　正樹―○港　慎一郎

四回戦
桑子　精一○―小沢　哲夫
山岸　敬○―戸塚　信幸
河合　和彦―○渡辺　浩充
西沢　康明○―港　慎一郎

準決勝
桑子　精一○―戸塚　信幸
渡辺　浩充○―西沢　康明

決勝戦
桑子　精一―○渡辺　浩充
①渡辺浩充（強戸中）②桑子精一（強戸中）③西沢康明（高四中）、戸塚信幸（高七中）

78kg以下級

一回戦
飯塚　正樹―○塩浦　和兵（館・多々良）（前・木瀬）
梅山　明○―神戸　明（多・新町）（富・南中）
竹渕　省三○―入沢　勲（吾・中之条）（藤・小野中）
高野　進○―三浦　修（高・高七）（桐・桐桜木）
森　貴之―○田中栄治郎（利・新治中）（渋・古巻中）
坂下浩一郎―○浦部　久夫（館・三中）（藤・藤東）
斉藤　道彦―○三原　一宏（多・万場中）（渋・渋中）
三沢　慎一―○山崎　敏明（安・安一）（勢・新里中）
木村　和豊○―今井　哲也（伊・殖蓮中）（甘・下東）
長谷川正樹○―今井　勉（佐波・境南）（太・城西）

二回戦
高木　啓光○―塩浦　和平（安・安二）
梅山　明―○川端　真治（佐波・境南）
小暮　守宏―○町田　好明（甘・下東）（勢・大胡）
松村　強志○―高野　進（新・尾島中）
三原　一宏○―藤井　昭二（利・昭南）
岡田　重治―○富田　大地（邑・大泉南）（沼・沼中）
生方　力―○小林　昭博（沼・西中）（邑・千代田中）
関口　尚樹○―中島　克久（北群・子持）（太・南中）
田中栄治郎―○根岸　天明（伊・伊勢四）
大澤　隆志○―浦部　久夫（群・榛中）
高木　啓光―○関口　尚樹（渋北）（藤岡北）
安藤　誠―○新井　尚登（多・新町中）（邑・邑楽中）
東條　欣信―○神沢　充（桐・広沢）（安・二中）
川和　仁―○高瀬　恵樹（前・広瀬中）（新・藪塚中）
長目部　豊―○山口　剛（安・二中）（吾・長東中）
斉藤　浩次○―荒井　清志（富・南中）（藤・東中）
八木原　悟○―（太・西中）
萩原　伸一○―石沢慎一郎（高・寺尾中）（沼・利南中）
松島　正○―大塚　朋宏（伊・一中）（甘・下仁田東中）

三回戦
青野　雅史○―新井　尚登（佐・玉村中）
仁木　和則―○小暮　順之（太・強戸中）
田辺　和弥―○三田　博幸（沼・利南中）（富・南中）
神沢　充○―川野　伸二（渋・渋川中）
篠崎　高則○―生方　修（高・塚沢中）
富沢　一三○―木村　哲也（吾・草津中）（館・四中）
松本　慎助―○佐藤　真一（利・水上中）（伊・四中）
高瀬　恵樹○―松島　正（勢・東中）
白井　哲也○―山口　剛（北・子持中）
斉藤　浩次―○松村　信幸（勢・粕川中）
田口　勝司○―小島　達也（利・新治中）（館・三中）
八木原　悟―○小舗　崇（群・中央中）
諏訪　勝之○―萩原　伸一（邑・大泉北中）
狩野　直樹○―阿部　正人（前・鎌倉中）（多・新町中）
大谷　政行―○米山　正崇（新・尾島中）（渋・北中）
松島　正―○家合　義一（桐山・北中）

準決勝
青野　雅史○―神沢　充
篠崎　高則○―富沢　一三
佐藤　真一―○高瀬　恵樹
白井　哲也○―松村　信幸
諏訪　勝司―○小舗　崇
勝之○―狩野　直樹
大谷　政行―○家合　義一

決勝戦
青野　雅史○―神沢　充
①青野雅史（玉村中）②家合義一（桐北中）③白井哲也（子持中）、高瀬恵樹（藪塚中）

（女子50kg以下級）

一回戦
小杉明日香―○奥山　宮加（水上）（渋北）
長谷川雅美○―飯塚　牧子（前二）（水上）
西川　綾美―○新井　真弓（水上）（東佐）
加部　典子―○竹内　里佳（中一）（前二）
新井　幸子―○後藤支紀子（東佐）（渋北）
萩原由美子○―小島　久枝（長東）（東佐）

二回戦
本多　暁子○―（前二）
阿久津尚香―○武井　聡美（赤堀）（佐野）
関　偉津子―○伊比　恵子（中一）（鎌倉）
奥山　宮加○―柳田　奈美（東佐）（東佐）
毛塚　美香―○長谷川雅美（吾・中一）（前二）
下境めぐみ○―松本　幸子（東佐）（塚沢）
高橋　弥生―○堀越　裕子（大間々東）（藤岡東）
新井　真弓―○柳井真奈美（塚沢）（塚沢）
高橋　緑○―小林美枝子（渋北）（藤岡北）
島田　香○―上原　貴恵（前四）（安中二）
八高　奈美―○武井　佳絵（水上）（佐野）
竹内　里佳○―新井菜穂美（東佐）（東佐）
石井恵美子―○後藤支紀子（水上）
藤沢とく江―○木村　裕美（前二）（塚沢）
朝田みゆき○―諸田　幸代（藤岡北）（沼田）
萩原由美子○―三宮　和美（前二）

三回戦
本多　暁子○―武井　聡美
伊比　恵子―○奥山　宮加
長谷川雅美―○下境めぐみ
堀越　裕子―○柳井真奈美
高橋　緑○―島田　香
武井　佳絵―○竹内　里佳
後藤支紀子○―木村　裕美
朝田みゆき―○三宮　和美

四回戦
本多　暁子○―奥山　宮加
下境めぐみ―○柳井真奈美
高橋　緑○―竹内　里佳
後藤支紀子―○三宮　和美

準決勝
本多　暁子○―柳井真奈美
高橋　緑○―後藤支紀子

決勝戦
本多　暁子○―高橋　緑
①本多暁子（前二中）②高橋緑（渋北中）③柳井真奈美（塚沢中）、後藤支紀子（渋北中）

（女子50kg超級）

一回戦
中島とみ子○―（吾・長東）
小野沢　薫○―磯　純美子（渋北）（東佐）
豊田　栄子○―石本　純香（吾・長東）（大間々東）
古谷さおり○―石野細峰鈴（前四）（安中二）
小林　輝美○―小島　千明（吾・中一）（東佐）
林　あい子―○牛込　綾子（吾・中一）（鎌倉）
小林　陽子○―（利・水上）

二回戦
北爪　弘子○―中島とみ子（赤堀）
小野沢　薫―○豊田　栄子
小野　律子○―古谷さおり（利・水上）
小林　輝美―○斉藤　雅子（鎌倉）

三回戦
北爪　弘子○―神沢　充
小野　律子○―富沢　一三
小田　香織○―牛込　綾子（前二）
岸部　則子―○小林　陽子（安中二）
吉村　麗子○―松本　良美（渋北）
石川　佳子○―上原　優光（安中二）

準決勝
北爪　弘子○―豊田　栄子
小田　香織○―斉藤　雅子
吉村　麗子―○石川　佳子

決勝戦
北爪　弘子○―小野　律子
①北爪弘子（赤堀中）②小田香織（前二中）③石川佳子（玉村中）、小野律子（水上中）

（新後閑雅太郎記）

に優勝者
620人が参加

第九回県小学生総合体育大会は十月十三日、県武道館で開催され四年生から六年生までの男女十五階級に、六二〇人が競った。戦績は次の通り。

▽四年生

軽重量級（30kg未満）

一回戦

増村 幸木―○石田 隆（桐生柔）
（田島）
熊谷 翰○―高橋 一徳（桐生柔）
（川田）
中山 陸弘○―大沼 岳久（中之条）
（佐藤）
北爪 敦靭―○樋口 幸次（堤ヶ岡）
（高城）
中嶋 昭博○―栗 権（石井）
（北橋）
西山 伴―○富岡 暁彦（新里村）
（茂原）
栗 権 ―○渡辺 享（新里村）
（熊塚）
山口 好則―○山崎 務（大胡）
（邑楽町）
狩野 光哉○―江原 智博（長良）
（栗崎）
近藤 明○―栗 権（大胡）
（芳賀）
関場 秀禅―○清村 泰弘（新田）
（新町）
冬木 明○―山口 公男（高山村）
（美久里）
目崎 泰弘○―熊塚 洋史（石井）

一回戦

奥山 智知○―渡辺 茂雄（富沢）
高橋 俊将○―津久井 淳（石井）
準決勝
奥山 智知○―清村 泰弘（桐生柔）
中山 陸弘○―高橋 俊将（万場）
決勝
中山 陸弘○―高橋 俊将（境町）
○高橋俊将の中山陸弘③清村泰弘・奥山智知

軽重量級（35kg～45kg）

一回戦

石原 智―○広神 裕治（新田）
萩原 幸和○―北爪 康弘（石井）
金井 幸己―○嶋方 誠（木暮）
須藤 学―○生方 智之（新里村）
高下 貴光○―羽鳥 和行（確東教）
中島 祐輔○―藤田 満（石川）
深津 文弘○―広神 裕治（弘道館）
新井 薫○―須田 英明（高崎）
荒井 克彦―○結城 潤一（富沢）

二回戦

平野 吉男○―生方 智之（邑楽町）
安藤 将記○―斉藤 幹広（弘道館）
木暮 雅人―○栗原 俊夫（下仁田）
萩原 幸和○―山本 将人（吾妻）
清水 順男―○永岡 祐一（堤ヶ岡）
嶋方 誠―○高橋 厚（佐藤）
富岡 秀人○―中島 祐輔（伊勢崎）
小林 篤史○―高橋 仁（新町）
塩野 吉男○―生方 智之（古平）
塚越 雅幸（佐藤）
石倉 雅人○―佐俣 昌則（木暮）
吉沢亜津史○―新井 薫（新里村）
中村 友和○―牛木 倫明（堤ヶ岡）
佐藤 芳寿―○清水 昇（桐生柔）

（邑楽町）　（石井）
結城 潤一○―羽鳥 匠（長良）

三回戦

深津 文広―○萩原 康弘（茂原）
永岡 祐一○―高橋 厚（吾妻）
平野 吉男○―安藤 将記（弘道館）
栗原 俊夫○―川島 圭三（木暮）
富岡 秀人―○小林 篤史（新町）
塩野 剛 石倉 雅人（長良）
清水 昇○―結城 潤一（富沢）

四回戦

萩原 幸和―○永岡 祐一（堤ヶ岡）
栗原 俊夫○―川島 圭三（木暮）
富岡 秀人―○小林 篤史（新町）
塩野 剛 石倉 雅人（長良）
吉沢亜津史○―牛木 倫明（堤ヶ岡）
清水 昇○―結城 潤一（富沢）

準決勝
永岡 祐一○―平野 吉男（邑楽町）
小林 篤史―○清水 昇（石井）
決勝
永岡 祐一○―清水 昇（石井）
○永岡祐一の清水 昇③平野吉男・小林篤史

中重量級（30kg～35kg）

一回戦

新井 洋志○―外山 高裕（境町）
川上 実○―渡辺 大祐（長良）
栗 権 ―○安松 淳（新里村）
今井 新二○―城田 伊織（毛呂）
石井 敦―○山田 徳司（邑楽町）
黒沢 利幸○―加部 真也（下仁田）
高野 明正―○松沢 秀樹（桐生柔）
高崎 智○―栗 権（弘道館）
蓮沼 利春○―根岸 辰弥（新里村）
栗 権 ―○小林 久典（吾妻）

二回戦

堀口 正尚―○新井 洋志（石川）
川上 実○―木村 博之（下仁田）
本多 善光○―栗 権（田島）
安松 淳―○永井 優美（境町）
小沢健一郎―○今井 新二（新町

15階級 男女

男

一回戦

高橋 正樹○千葉 忠（伊藤 孝志○小俣 哲豪（古草）
中島 誠○小川真太郎（薬師 権 ○今井 洋文
都丸 誠志○笹沢 正臣（加賀美光則 ○大月 伸一
飯塚 淳○守下 敏之（毛呂）（新田）
小沢 喜信○萬場 浩樹（小島 志浩○武藤 太
飯塚 淳○戸塚 真昭（田中 英明○中島 誠
笹沢 正臣○樋口 毅（準決勝）
萬場 浩樹○小島 志浩（飯塚 淳○戸塚 真昭
田中 英明○中島 誠（笹沢 正臣○樋口 毅
準決勝
小島 志浩○飯塚 淳（田中 英明○樋口 毅
決勝
飯塚 淳○樋口 毅（①飯塚淳の樋口毅③田中英明・小島志浩）

重量級（55kg以上）

一回戦
角田 信吉○高橋 勝（中之条）（藤岡）
中沢 直樹○樋口 晋吾（草津）（下仁田）
吉田 祐輝○長谷川友彦（原市）（英久里）
（堤ヶ岡）（鏑）
大川原孝彦○小島 忠大（紫崎）（邑楽町）
小枝 剛○笠原 武彦（鏑塚）（高崎）
山田 政宗○白石 典人（県武）（石川）
飯塚 俊幸○吉野 敏男（毛呂）（桐生柔）
二回戦
赤沢 良太○高橋 勝（田島）（川田）
畑口 晋吾 太田 貴志（川田）
三田 純○川村 友也（剣持）
長谷川友彦○柿沢 友成（確東敦）
小林 浩二○大川原孝彦（川田）
笠原 武彦○山崎 源（塚田 純次○本多 伸匡（中之条）（境町）
白石 典人○飯塚 俊幸（三回戦）
赤沢 良太○川村 友也（川村 友也○長谷川友彦
大川原孝彦○笠原 武彦（本多 伸匡○飯塚 俊幸
赤沢 良太○川村 友也（笠原 武彦○飯塚 俊幸
準決勝
赤沢 良太○笠原 武彦（①赤沢良太の笠原武彦③飯塚秀敏・川村友也）

▽六年生

軽重量級（35kg未満）

一回戦
森山 正洋○谷田 恵二（新里村）（毛呂）
生方 貴方○青木 民雄（高橋 均○小林 義広（三浦）
（藤岡）（吉城）
須田 充芳○田中 宏征（堤ヶ岡）（堤ヶ岡）
増山 真視○相羽 浩章（桐生柔）（大胡）
栗 権 ○篠田 秀（弘道館）
浦野 允規○福野 進（原市）（英久里）
須田 亮○岡本 守弘（恩田 貴（佐藤）
中島 誠○小川真太郎（薬師 権 ○今井 洋文
都丸 誠志○笹沢 正臣（加賀美光則 ○大月 伸一
飯塚 淳○守下 敏之（毛呂）（新田）
小沢 喜信○萬場 浩樹（小島 志浩○武藤 太
飯塚 淳○戸塚 真昭（田中 英明○中島 誠
笹沢 正臣○樋口 毅（準決勝）
萬場 浩樹○小島 志浩（飯塚 淳○戸塚 真昭
田中 英明○中島 誠（笹沢 正臣○樋口 毅
準決勝
小島 志浩○飯塚 淳（田中 英明○樋口 毅
決勝
飯塚 淳○樋口 毅（①飯塚淳の樋口毅③田中英明・小島志浩）

重量級（35kg～45kg）

一回戦
古賀 秀樹○内田（安中）（毛呂）
外山 陽一○石渕 哲也（芳賀）（鏑鶏）
野口 耕司○斉藤 豊成（尾島）（富沢）
高橋 徹○庭山 道成（万場）（真道館）
佐藤 義則○栗 権（佐藤）
下田 剛志○生方 剛（北橋）（大胡）
栗 権 ○大庭 栄次（境町）
二回戦
清水 信治○内田（石井）
栗 権 ○狩野満之助（北橋）
桑原 和明○相京 徳仁（川田）（高山村）
栗 権 ○大庭 栄次（境町）
星野 利行○塚越 直樹（新里村）（鏑塚）
藤田 修○吉田 弘（弘道館）（原市）
塚越 直樹○関口 大輔（赤堀）
外山 陽一○栗 権（石井）
武井 久幸○野口 耕司（木暮）
長谷川卓也○市川 英久（新里村）（佐藤）
豆生田和貴○古賀 勝（久方）（安中）
岡田 亮介○高橋 孝之（伊勢崎）（長良）
金澤 宏樹○河野 弘（長良）（鏑道館）
清水 貴治○新井日出夫（川田）（桜井）
小室 一也○須田 正（高山村）（弘道館）
星野 光伸○小堀 俊光（境町）（桐生柔）
庭山 道成○増田 貴志（正田 勝利○栗 権（芳賀）
川島 功治○秋間 久雄（桜井）（赤堀）
星野 龍一○多田 建一（大胡）（堤ヶ岡）
栗 権 ○松村 真樹（高崎）
角田 正弘○栗 権（桐生柔）
金沢 勇一○植原 健一（清水 貴治○新井日出夫（川田）（桜井）
金澤 宏樹○河野 弘（長良）（伊勢崎）
岡田 亮介○高橋 孝之（長良）（鏑道館）
豆生田和貴○古賀 勝（久方）（安中）
長沼 千春○高田知恵子（外山 陽一○栗 権（武井 久幸○野口 耕司（木暮）
長谷川卓也○市川 英久（新里村）（佐藤）
堀口 清文○須田賢一郎（石井）（赤堀）
新井 清道○生方 勝巳（四回戦）
金沢 勇一○柴元 輝明（新里村）（鏑塚）
藤田 修○吉田 弘（弘道館）（原市）
塚越 直樹○関口 大輔（赤堀）
外山 陽一○栗 権（石井）
武井 久幸○野口 耕司（木暮）
長谷川卓也○市川 英久（新里村）（佐藤）
豆生田和貴○古賀 勝（久方）（安中）
岡田 亮介○高橋 孝之（伊勢崎）（長良）
金澤 宏樹○河野 弘（長良）（鏑道館）
清水 貴治○新井日出夫（川田）（桜井）
小室 一也○須田 正（高山村）（弘道館）
星野 光伸○小堀 俊光（境町）（桐生柔）
庭山 道成○増田 貴志（正田 勝利○栗 権（芳賀）
川島 功治○秋間 久雄（桜井）（赤堀）
星野 龍一○多田 建一（大胡）（堤ヶ岡）
栗 権 ○松村 真樹（高崎）
角田 正弘○栗 権（桐生柔）
金沢 勇一○植原 健一（清水 貴治○新井日出夫（川田）（桜井）
金澤 宏樹○河野 弘（長良）（伊勢崎）
岡田 亮介○高橋 孝之（長良）（鏑道館）
豆生田和貴○古賀 勝（久方）（安中）
長沼 千春○高田知恵子（①長沼千春の高田知恵子③小堀美歩・浅川つぐみ）

五年生女子

一回戦
亀井 千恵○石川 幸子（久方）（吉城）
剣持 恵里○井上 摩子（堤ヶ岡）（尾島）
田中 里枝○飯川 優子（北橋）（尾島）
佐藤 美穂○荻原 雅代（佐藤）（赤堀）
栗 権 ○小林 順子（高崎）
金沢 勇一○植原 健一（清水 貴治○新井日出夫（川田）（桜井）
金澤 宏樹○河野 弘（長良）（伊勢崎）
岡田 亮介○高橋 孝之（長良）（鏑道館）
豆生田和貴○古賀 勝（久方）（安中）
長沼 千春○高田知恵子（①長沼千春の高田知恵子③小堀美歩・浅川つぐみ）

軽重量級（45kg～60kg）

一回戦
栗 権 ○福田 操（邑楽町）
新井 直樹○長沼 剛（高崎）（毛呂）
栗 権 ○石関 昭男（堤ヶ岡）（三浦）
柳井 順司○竹上 昌宏（美久里）（万場）
小巻 英光○常味 修（須藤）（高崎）
矢野 俊介○横塚 剛（松井田）（桐協）
深沢 元○下田 剛志（新町）（北橋）
三回戦
清水 信治○狩野満之助（石井）（北橋）
相京 徳仁○大庭 栄次（境町）（北橋）
星野 利行○吉田 弘（新里村）（原市）
塚越 直樹○外山 陽一（武井 久幸○市川 英久（豆生田和貴○高橋 孝之（河野 弘○新井日出夫（須田 正○星野 光伸（増田 貴志○正田 勝利（角田 正弘○川島 功治（星野 龍一○松村 真樹（佐藤 義則○石関 昭男（新井 直樹○福田 操（柳井 順司○栗 権（小牧 英光○矢野 俊介（四回戦
清水 信治○大庭 栄次（星野 利行○塚越 直樹（市川 英久○高橋 孝之（新井日出夫○星野 光伸（正田 勝利○川島 功治（多田 建一○佐藤 義則（石関 昭男○柳井 順司（矢野 俊介○深沢 元（五回戦
清水 信治○星野 利行（高橋 孝之○新井日出夫（川島 功治○佐藤 義則（柳井 順司○矢野 俊介（準決勝
清水 信治○新井日出夫（佐藤 義則○矢野 俊介（清水 信治○佐藤 義則（①清水信治の佐藤義則③新井日出夫・矢野俊介）

四年生女子

一回戦
阿久津静香○佐藤 幸子（赤堀）（佐藤）
田中 美和○原 育代（安中）（藤岡）
石原久美子○猪熊 幸美（新田）（弘道館）
斉藤 典世○大堀 優紀（安中）（県武）
菊地 紀子○宮本 有子（高崎）（桐生柔）
古賀奈々子○香川裕美子（安中）（高山村）
浅川つぐみ○豆生田美貴（久方）（高崎）
唐沢 満利○出牛麻紀子（県武）（藤岡）
鶴我 悦子○田村麻里子（藤岡）

（堤ヶ岡）
大川 行助○佐藤 義則（桐生柔）
栗 権 ○福田 操（邑楽町）
新井 直樹○長沼 剛（高崎）（毛呂）
栗 権 ○石関 昭男（堤ヶ岡）（三浦）
柳井 順司○竹上 昌宏（美久里）（万場）
小巻 英光○常味 修（須藤）（高崎）
矢野 俊介○横塚 剛（松井田）（桐協）
深沢 元○下田 剛志（新町）（北橋）
三回戦
清水 信治○狩野満之助（石井）（北橋）
相京 徳仁○大庭 栄次（境町）（北橋）
星野 利行○吉田 弘（新里村）（原市）
塚越 直樹○外山 陽一（武井 久幸○市川 英久（豆生田和貴○高橋 孝之（河野 弘○新井日出夫（須田 正○星野 光伸（増田 貴志○正田 勝利（角田 正弘○川島 功治（星野 龍一○松村 真樹（佐藤 義則○石関 昭男（新井 直樹○福田 操（柳井 順司○栗 権（小牧 英光○矢野 俊介（四回戦
清水 信治○大庭 栄次（星野 利行○塚越 直樹（市川 英久○高橋 孝之（新井日出夫○星野 光伸（正田 勝利○川島 功治（多田 建一○佐藤 義則（石関 昭男○柳井 順司（矢野 俊介○深沢 元（五回戦
清水 信治○星野 利行（高橋 孝之○新井日出夫（川島 功治○佐藤 義則（柳井 順司○矢野 俊介（準決勝
清水 信治○新井日出夫（佐藤 義則○矢野 俊介（清水 信治○佐藤 義則（①清水信治の佐藤義則③新井日出夫・矢野俊介）

四年生女子

一回戦
阿久津静香○佐藤 幸子（赤堀）（佐藤）
田中 美和○原 育代（安中）（藤岡）
石原久美子○猪熊 幸美（新田）（弘道館）
斉藤 典世○大堀 優紀（安中）（県武）
菊地 紀子○宮本 有子（高崎）（桐生柔）
古賀奈々子○香川裕美子（安中）（高山村）
浅川つぐみ○豆生田美貴（久方）（高崎）
唐沢 満利○出牛麻紀子（県武）（藤岡）
鶴我 悦子○田村麻里子（藤岡）

（安中）
高田知恵子○中沢 恵（久方）（新田）
早川 友紀○田中小百合（堤ヶ岡）（邑楽町）
二回戦
佐藤 幸子○田中 美和（石原久美子○小堀 美歩（桐生柔）
長沼 千春○佐藤 紀世（毛呂）
宮本 有子○石原あかね（新田）
狩野 典子○香川裕美子（弘道館）
浅川つぐみ○出牛麻紀子（田島 恵子○田村麻理子（田島）
高田知恵子○田中小百合（三回戦
佐藤 幸子○小堀 美穂（長沼 千春○石原あかね（占賀奈々子○浅川つぐみ（田島真紀子○高田知恵子（準決勝
小堀 美歩○長沼 千春（浅川つぐみ○高田知恵子（決勝
長沼 千春○高田知恵子（①長沼千春の高田知恵子③小堀美歩・浅川つぐみ）

五年生女子

一回戦
亀井 千恵○石川 幸子（久方）（吉城）
剣持 恵里○井上 摩子（堤ヶ岡）（尾島）
田中 里枝○飯川 優子（北橋）（尾島）
佐藤 美穂○荻原 雅代（佐藤）（赤堀）
栗 権 ○小林 順子（高崎）
金沢 勇一○植原 健一（清水 貴治○新井日出夫（川田）（桜井）
金澤 宏樹○河野 弘（長良）（伊勢崎）
岡田 亮介○高橋 孝之（長良）（鏑道館）
豆生田和貴○古賀 勝（久方）（安中）
長沼 千春○高田知恵子（①長沼千春の高田知恵子③小堀美歩・浅川つぐみ）

（尾島）
二回戦
金沢 勇一○森本 幸伸（佐藤）
萩原 誠○柴本 輝明（毛呂）
高橋 均○河内 延彰（松沢 康祐○吉本 祐全（平田 真紀○藤井 良正（長良）
高橋 徹○怪田 一輝（植原 健一○小林 正明（木村 智彦○田端 秀行（角田 宏之○栗 権（
金沢 勇一○柴元 輝明（河内 延彰○吉本 祐全（三回戦
金沢 勇一○森本 幸伸（藤井 良正○怪田 一輝（植原 健一○木村 智彦（生方 勝巳○横本 憲二（
中野 雅之○小池 満重（安原 大輔○吉崎 展一（黒沢 秀明○小川 佳男（遠藤 克正○須田賢一郎（新井 清道○広瀬 堅一（
堀口 清文○須田賢一郎（新井 清道○生方 勝巳（四回戦
金沢 勇一○植原 健一（藤井 良正○怪田 一輝（植原 健一○木村 智彦（角田 宏之○中野 雅之（安原 大輔○黒沢 秀明（堀口 清文○須田賢一郎（新井 清道○生方 勝巳（準決勝
金沢 勇一○植原 健一（角田 宏之○須田賢一郎（決勝
金沢 勇一○角田 宏之（①角田宏之の金沢勇一③須田賢一郎・植原健一）

重量級（60kg以上）

一回戦
栗 権 ○角田 圭司（芳賀）
飯山 恵介○井田 和寿（藤岡）
渡辺 豊○幡谷 政光（鏑塚）
谷津 智洋○青木 幸彦（長良）
和田 春樹○金井 和也（北橋）（須藤）
平井 哲之○井口 力也（桜井）

（安中）
加藤 正行○加藤 弘道（毛呂）（桐生柔）
栗 権 ○小林 典男（草津）
栗 権 ○大谷 和宏（邑楽町）（尾島）
永井 裕哲○平井 一禎（笠懸町）（三浦）
広田 耕志○須田 利久（堤ヶ岡）（桐協）
佐藤 幸二○吉前 隆（須藤）
二回戦
斉藤 直樹○角田 圭司（三浦）
飯山 恵介○渡辺 豊（谷津 智洋○金井 和也（井口 力也○加藤 弘道（金井 章人○小林 典男（大谷 和宏○平井 一禎（須田 利久○佐藤 幸二（栗 権 ○近野 好秋（新町）
三回戦
斉藤 直樹○飯山 恵介（谷津 智洋○加藤 弘道（金井 章人○平井 一禎（須田 正○星野 光伸（増田 貴志○正田 勝利（角田 正弘○川島 功治（星野 龍一○松村 真樹（佐藤 義則○石関 昭男（新井 直樹○福田 操（柳井 順司○栗 権（斉藤 直樹○近藤 好秋（金井 章人○近野 好秋（準決勝
斉藤 直樹○加藤 弘道（斉藤 直樹○近藤 好秋（①斉藤直樹の近野好秋③加藤弘道・金井章人）

六年生女子

一回戦
草野美友紀○神田 浩江（邑楽町）（藤岡）
大島 陽子○木暮 真澄（安中）（田島）
斉藤 博美○吉沢久美子（赤堀）（高崎）
押切 恵○六本木衣重（栗 権 ○山口 恵美（佐藤）（新里村）
萩原 千恵○金子奈津子（新田）（赤堀）
二回戦
山口 桂○草野美友紀（石川）
木暮 真澄○吉沢久美子（六本木衣重○山口 恵美（金子奈津子○出沢 知美（田島）
準決勝
山口 桂○木暮 真澄（六本木衣重○出沢 知美（決勝
山口 桂○出沢 知美（①出沢知美の山口 桂③木暮真澄・六本木衣重）

（安中）
小俣 智子○前原 弘美（高山村）
柏川 陽子○中島 綾子（確東敦）（久方）
栗 権 ○亀井 千恵（新里村）（高崎）
二回戦
剣持 恵里○飛川 優子（佐藤 美保○小林 順子（堀越 恵（佐々木美佳○小沢 万紀（天沼 夕佳○鈴木 恵美（茂木麻由子○相京 陽子（前原 弘美○中島 綾子（三回戦
亀井 千恵○剣持 恵里（佐藤 美穂○堀口理恵子（佐々木美佳○鈴木 恵美（相京 陽子○中島 綾子（準決勝
剣持 恵里○佐藤 美穂（鈴木 恵美○中島 綾子（剣持 恵里○中島 綾子（①中島綾子の剣持恵里③佐藤美保・鈴木恵美）

六年生女子

一回戦
草野美友紀○神田 浩江（邑楽町）（藤岡）
大島 陽子○木暮 真澄（安中）（田島）
斉藤 博美○吉沢久美子（赤堀）（高崎）
押切 恵○六本木衣重（栗 権 ○山口 恵美（佐藤）（新里村）
萩原 千恵○金子奈津子（新田）（赤堀）
二回戦
山口 桂○草野美友紀（石川）
木暮 真澄○吉沢久美子（六本木衣重○山口 恵美（金子奈津子○出沢 知美（田島）
準決勝
山口 桂○木暮 真澄（六本木衣重○出沢 知美（決勝
山口 桂○出沢 知美（①出沢知美の山口 桂③木暮真澄・六本木衣重）

関東大会は前商

関東高校新人大会予選大会は十一月十七日、県武道館で開催された。前橋商業が安定した力で優勝した。結果は次の通り。

（一回戦）
利根農○三人残　富岡
万場○二人残　渋川西
前橋○三人残　藤岡
高崎○三人残　勢多農
常磐○五人残　前橋工
太田○不戦勝　佐波農
渋川○四人残伊勢崎工
沼田○三人残　前橋南

（二回戦）
前橋商○五人残　利根農
伊勢崎商○二人残桐生
樹徳　一人残　前橋西
中之条　三人残　万場
前橋　二人残　桐生南
高崎商　一人残　高崎工
渋川工　一人残　桐生工
育英　四人残　高崎
常磐　二人残　農大二
新島　五人残　嬬恋
太田工　不戦勝　西邑楽
桐丘　一人残　太田
渋川　三人残　館林
高崎北　一人残伊勢崎東
武尊　二人残明和県央
利根商　二人残　沼田

（三回戦）
前橋商　五人残伊勢崎商
樹徳　代表戦　中之条
高崎商　三人残　前橋
育英　三人残　渋川工
常磐　五人残　新島
太田工　二人残　桐丘
渋川　三人残　高崎北
利根商　四人残　武尊

（四回戦）
前橋商　五人残　樹徳
育英　三人残　高崎商
常磐　五人残　太田工
利根商　二人残　渋川

（準決勝）
前橋商　一人残　育英
常磐　四人残　利根商

（決勝）
前橋商　二人残　常磐

嬉しい初優勝　常磐

県高校新人大会は十一月九日、県武道館で開催された。常磐高校が決勝戦、前橋商業に一対一の後、代表戦に勝って初優勝した。試合結果は次の通り。

（常磐高校）

（一回戦）
前橋南③―2武尊
勢多農④―1板倉
太田③―1明和県央
渋川③―1前橋
高崎工　不戦勝伊勢崎東
前橋西③―0渋川西
佐波農③―2万場
樹徳　不戦勝　嬬恋
館林②―1伊勢崎商
高崎⑤―0高崎北

（二回戦）
前橋商⑤―0前橋南
沼田④―1
桐生工⑤―0西邑楽
利根農③―1太田
渋川⑤―0藤岡
高崎商④―0桐生
桐丘　不戦勝　桐生南
農大二②―2高崎工

代表戦
育英⑤―0前橋西
吉井③―2新島
太田工④―1前橋工
中之条④―0佐波農
樹徳③―1伊勢崎工
常磐⑤―0長野原
館林③―2渋川工
利根商⑤―0高崎

（三回戦）
前橋商⑤―0沼田
桐生工③―2利根農
渋川④―0高崎商
農大二④―0桐丘
育英⑤―0吉井
中之条④―1太田工
常磐⑤―0樹徳
利根商④―0館林

（四回戦）
前橋商⑤―0桐生工
農大二③―0渋川
育英⑤―0中之条
常磐③―0利根商

（準優勝）
前橋商④―0農大二
常磐①―0育英

（決勝）
常磐①―1前商

代表戦
①常磐②前商③農大二、育英。

県新人戦優勝のお礼

我が校の柔道部が、創部三年の短い期間で群馬県高校新人戦で優勝出来たのは、本当にうれしい限りです。しかし、その優勝も17日の関東予選で前商に取り返され、優勝持続の難しさを知りました。この経験を生かし、優勝を奪還するため、また今後の飛躍を期してさらに頑張りたいと思います。

最後に、伝統の短い本校が優勝出来たのは、今日までご指導下さった佐波・伊勢崎支部の光山先生、諸先生方、東京三洋電機の方々、新田・太田支部の諸先生方、修道館・小暮先生、毛呂道場・毛呂先生、中学校の諸先生方、県柔連の役員の先生方の御協力のお陰と心から感謝しております。これからもどうぞよろしくお願い致します。紙面をお借りしお礼申し上げます。

常磐高等学校柔道部
校長　羽山　徹
副校長　常見　隆
部長　青木大籍
監督　根岸　宏
監督　桜井文子

□女子、個人戦
50kg以下級
（一回戦）
藤川㊀―有あり岩崎（渋川西）
（決勝）
藤川○袈裟固小沢（勢多農）（渋川西）
55kg以下級
（一回戦）
木暮㊀僅差赤石（渋川西）（勢多農）
関○大外刈南雲（渋川西）（渋川西）
（決勝）
木暮○背負投関（渋川西）
61kg以下級
（決勝）
新井○払い腰竹淵（常磐）（中之条）

（永幹敏明記）

育英　十六強に入る

高校柔道日本一を決める「金鷲旗高校柔道大会」は二十四、二十五の二日間、福岡国際センターで行われ、本県の育英が並み居る強豪を抑えベスト16にくい込んだ。

大会には、全国各都道府県の実力校二百九十七校が参加。世田谷学園（東京）が二年連続三度目の優勝に輝いた。育英は全国高校選手権ベスト16、全国高校総体東京都大会準優勝の実績からシードとなり2回戦から出場。持ち前の積極性と粘りで勝ち進み、ベスト8入りをかけた6回戦で昨年3位の福岡大大濠（福岡）と対戦したが一人残しで惜しくも敗れた。

戦績は次の通り。

（二回戦）
育英○一人残△和歌山北（和歌山）
飯野○横四方　海掘
飯町　引き分　上田
酒井田　引き分　畑中
野田　引き分　坂部
小林○内股　清水
斉藤　（三回戦）
育英○一人残△日大一（東京）
飯野　引き分　森井
原　○払い腰　須田
原　大内刈○小島
小林○一本背　神永
小林　引き分　坂田
斉藤　（四回戦）
育英○一人残△延岡学園（宮崎）
飯野○上四方　浜砂
飯野　引き分　長反
原　引き分　田代
野田　引き分　日高
小林　引き分　野田
斉藤　（五回戦）
育英○一人残△国東（大分）
飯野○横四方　島村
飯野内　股○石丸
原　○袈裟固石丸
原　体落し○志丸
野田○横四方　志丸
野田　引き分　中島
小林　引き分　下山
斉藤　（六回戦）
育英△一人残○福岡大濠（福岡）
飯野　引き分　山田
原　有　効㊁福山
野田　引き分　福山
小林　引き分　長田
斉藤　体落し○野田　房前

育英・新井信雄監督、福岡大濠をやぶってベスト8入りしたかったのですが惜しいところでした。来年はうち（育英）だけではなく他の学校も出場してもらいたいものです。

東京三洋　善戦健闘

第二十二回東日本実業団柔道大会は、台風一過の晴天の試合びよりの、九月一日東京講道館において、一〇五チーム（六十五社）四〇〇名が参加して行われました。当社（東京三洋電機株式会社）からは、二部二チーム、三部二チームが参加し熱戦が繰り広げられた。特に三部Aチームは、高橋君、鏡君らの活躍で堂々三位に入賞をしました。

三部Aチームは、金田、高橋、鏡が順調に勝ち進み決勝進出を賭け、準決勝戦で、王子製紙苫小牧Aと対戦、先鋒金田、次鋒高橋とも善戦したが僅差で敗れ大将の鏡は、せめまくりはしたが、引き分けに終わり二―〇で惜敗し決勝進出はならなかった。しかし第十六回に続き堂々三位に輝いた。

二部Bチームは、初戦強豪新日鉄君津と対戦一対一の引き分けのあと代表戦となり野尻君がみごと一本勝ちをして二回戦に進み三回は、ベスト8を賭けて、西興産業と対戦先鋒野尻君引き分けのあと中堅小淵が膝を責められ敗れ、大将大川が引き分け惜しくもベスト16に終わった。

二部Aチームは、一回戦王子製紙苫小牧Aと対戦したが、一対〇の惜しい負けかたであった。また三部Bチームは、一回戦日本電装を破った後二回戦住友金属鹿島Aと対戦三対〇で敗れた。

全部員が、一丸となり良い成績が上げられ更に展びることと思う。

試合結果

二部　Aチーム

一回戦
東三　0―1　王子製紙苫小牧A
稲垣　△―○　山田
菊池　引き分　能沢
塩原　引き分　山田

二部　Bチーム

一回戦
東三　0―0　新日鉄君津
野尻　○―△　吉田
小淵　引き分　村下
大川　△―○　泰中
野尻　○―△　泰中

二回戦
東三　2―0　喜多村合金
野尻　○―△　大西
小淵　㊁―△　荒深
大川　引き分　足立

三回戦
東三　0―1　西興産業
野尻　引き分　金谷
小淵　△―○　飯田
大川　引き分　飯塚

三部　Bチーム

一回戦
東三　1―1　日本電装
永井　△―㊁　森本
田島　○―△　金岡
前原　引き分　松下

二回戦
東三　3―0　住友金属鹿島
永井　△―○　田山
田島　△―○　粂野
前原　△―○　佐伯

三部　Aチーム

二回戦
東三　1―0　東洋水産
金田　引き分　岩永
高橋　○―△　阿部
鏡　△―○　嶋津

三回戦
東三　2―1　西興産業
金田　△―○　柴垣
高橋　○―△　戸山
鏡　○―△　高橋

準準決勝
東三　3―0　東レ名古屋
金田　○―△　森
高橋　○―△　八幡
鏡　○―△　村上

準決勝
東三　0―2　王子製紙苫小牧A
金田　△―○　三上
高橋　△―○　佐藤
鏡　引き分　今上

（越塚輝雄記）

テレビに登場

田島俊男二段（育英―東京三洋）がフジテレビの「笑っていいとも」「撃突たべるマッチ」に出場した。

「たべるマッチ」には、一次予選に百五十三人が出場した。百五十三人が十五ブロックに分れ、ブロック優勝者が二次予選に臨んだ。二次予選に臨んだ十五人は、にぎり飯二ケを食べる時間を計り、決勝進出者を二人決めた。決勝では早稲田大学の理工科に在籍する学生と、「寿し」の早食いを競ったが、予選タイムをトップで通過した田島俊男二段が、予選タイム通り大差をつけて優勝した。

柔道で鍛えた根性と百二十kgの豊かな肉体とは裏腹に、首と思われる（？）個所の上に可愛いらしくチョコンとついた二十才の顔。

「たべるマッチ」の試合中には、首を叩きながらも寿しを詰め込む仕種。カメラに向ってVサインをおくる余裕。司会者の注文に即答して、靖びが利きすぎている時の表情を憚る事なく粉す柔道二段。

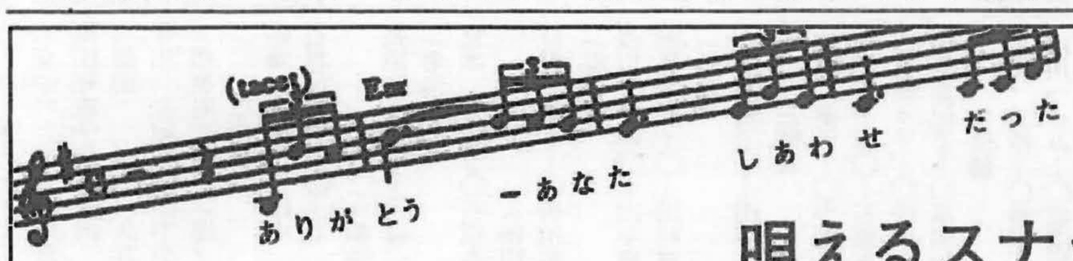
社内にあっては、宴会部長の名を欲しいままにして上司にも大変可愛いがられているタレント性豊かな柔道二段。

まさか、「たべるマッチ」をきっかけに、会社を辞めてタレントになる等とは思われないが、世の中、何所で何が起るか判らない。

後記

サラブレッドから駄馬に変ったような紙面になりました。通信員、係員の先生方にも大変ご迷惑をおかけ致しましたが、ご高読下さい。

（忍）



唄えるスナック
ツー　スリー　フォー
234
高崎市昭和町28（トヨタカローラ高崎昭和町営業所隣）
☎0273（27）2617